

男女共同参画に関する市民意識調査

報告書

令和3年3月

奄美市

目次

第1章 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査対象等	1
3	本報告書の見方	1

第2章 アンケート調査結果

4	回答者の属性	3
5	男女平等の意識について	5
	(1) 各分野における男女の地位の平等感	5
	(2) 男女共同参画の関連用語の認知度	12
	(3) 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと	19
6	就業について	22
	(4) 女性が職業を持つことについての意識	22
	(5) 男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについての意識	26
	(6) 現在の職業	28
	(7) 希望する働き方	31
	(8) 子育てや介護等の家庭の事情を抱えながら、働きやすい職場であるか	34
	(9) リーダー・管理職への昇進希望の有無	37
	(10) 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるもの	39
	(11) 女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために必要なこと	42
7	家庭生活について	45
	(12) 家庭における夫婦の役割分担について	45
	(13) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	53
8	仕事と家庭・地域への取組について	56
	(14) 地域活動への参加状況	56
	(15) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 現実（現状）	60
	(16) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 希望	64
	(17) 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと	68
	(18) 男であることに「責任」や「つらさ」を感じるものの有無	72
	(19) 「責任」や「つらさ」を感じる時	73
9	男女の人権について	74
	(20) 配偶者からの暴行や嫌がらせを受けた経験の有無	74
	(21) 10歳代又は20歳代に、交際相手から暴行や嫌がらせを受けた経験の有無	78
	(22) 暴行や嫌がらせ等についての相談先	82
	(23) 「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」理由	85
	(24) 男女間における暴力を防止するために必要なこと	88
	(25) 子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために、親や大人が心がけるべきこと	91
10	市の男女共同参画施策について	93
	(26) 「男女共同参画社会」の形成に、市が力を入れるべきこと	93
11	その他の記述	95

資料（調査票等）

第 1 章 調査の概要

1 調査目的

男女共同参画社会づくりの取組を進める中で、市民の意識と実態を把握し、前回（平成 29 年度）調査結果と比較した上で、奄美市の現状と課題を抽出し、今後の施策検討及び次期（令和 3 年度～）の男女共同参画計画等策定の基礎資料とするために調査を実施した。

2 調査対象等

- (1) 調査地域 奄美市全域
- (2) 調査対象 奄美市在住の 20 歳以上の男女 2,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為で抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布・回収及び WEB 回答方式
- (5) 調査期間 令和 2 年 11 月 25 日(水)～12 月 15 日(火)
- (6) 回収状況 有効回収数：770 通（郵送回収数 520，WEB 回収数 250） 回収率：38.5%

3 本報告書の見方

- ① 図表中「N」とは、回答総数（あるいは、分類別の回答者数）を表している。
- ② 集計結果は百分率で算出し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 回答にあたって、2 つ以上の回答（複数回答）を認めている場合は、合計は 100%を超える場合がある。
- ④ 本調査の結果分析にあたり、次の調査結果と比較を行っている。
なお、調査結果の比較については、下記調査と設問および選択肢が一致するものを比較の対象としている。

■平成 29 年度 男女共同参画に関する市民意識調査（奄美市）

（20 歳以上の奄美市民 1,500 人、有効回収数 470 人、回収率 31.3%）

※本文中では、「前回調査」または「平成 29 年度奄美市調査」と表記している。

■平成 28 年度 男女共同参画に関する県民意識調査（鹿児島県）

（20 歳以上の鹿児島県民 5,000 人、有効回収数 1,839 人）

※本文中では、「県調査」または「平成 28 年度鹿児島県調査」と表記している。

■令和元年度 男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府）

（18 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 2,645 人）

※本文中では、「内閣府調査」または「令和元年度内閣府調査」と表記している。

※各表の「令和元年度内閣府調査」の欄には、集計結果の百分率のみを掲載している。

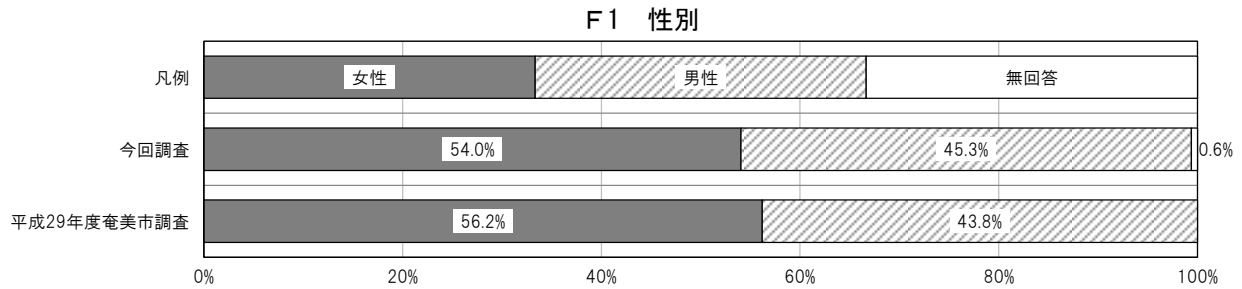
■クロス表上の「 . %」は、各属性で最も高い割合のものを示している。

第2章 アンケート調査結果

4 回答者の属性

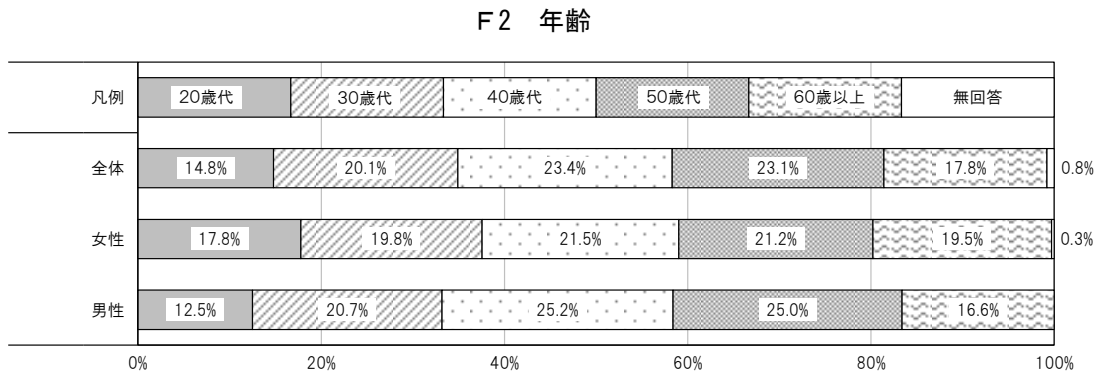
F1 性別

回答者の性別の割合は、「女性」が54.0%、「男性」が45.3%となっている。



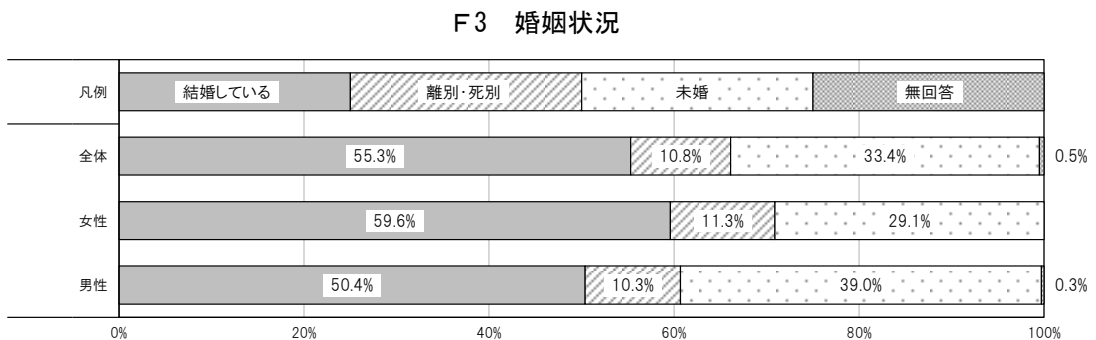
F2 年齢

回答者の年齢は、「40歳代」が23.4%で最も高く、次いで「50歳代」23.1%、「30歳代」20.1%の順となっている。



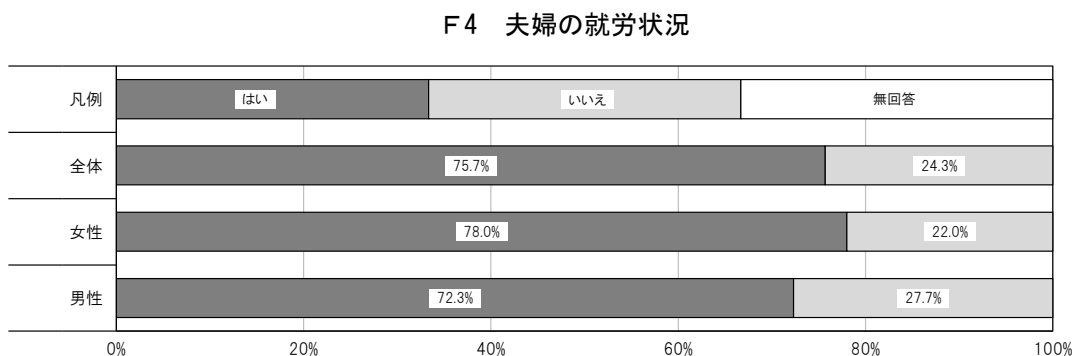
F3 婚姻状況

回答者の婚姻状況については、「結婚している」が55.3%、「離別・死別」が10.8%、「未婚」が33.4%となっている。



F4 夫婦の就労状況

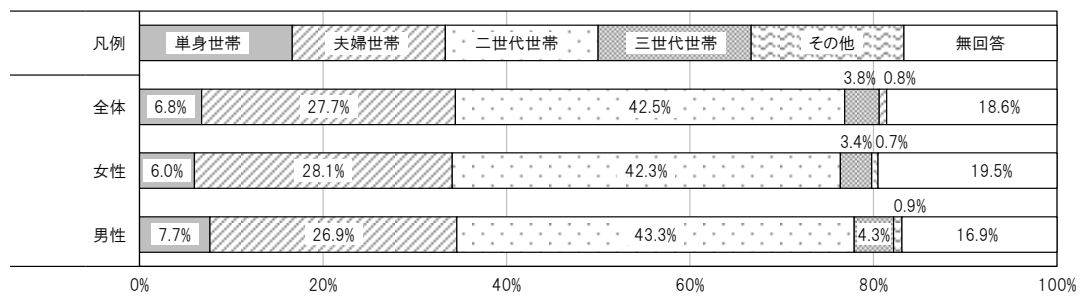
婚姻関係のある夫婦の「共働き」については、「はい」が75.7%、「いいえ」が24.3%となっている。



F5 世帯構成

世帯構成は、「二世帯世帯（親と子など）」が42.5%で最も高く、次いで「夫婦世帯」27.7%、「単身世帯」6.8%の順となっている。

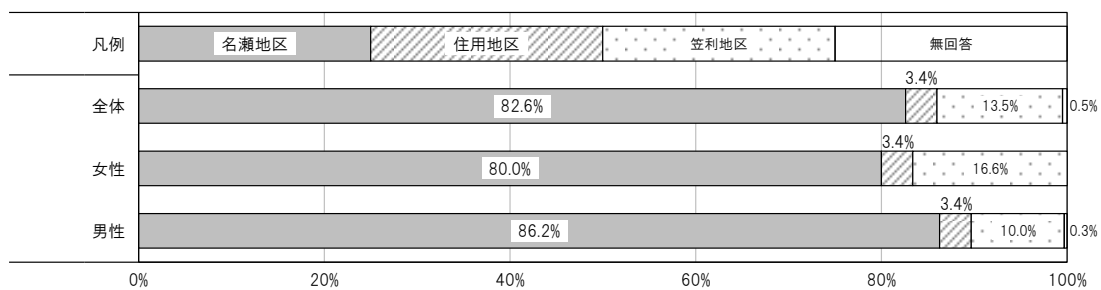
F5 世帯構成



F6 居住地区

居住地区は、「奄美地区」が55.3%、「住用地区」が10.8%、「笠利地区」が33.4%となっている。

F6 居住地区



5 男女平等の意識について

(1) 各分野における男女の地位の平等感

問1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
(各項目ごとに1つずつ選択)

全体では、「平等である」と回答した割合は、『学校教育の中で』の61.8%が最も高く、次いで『家庭の中で』の39.6%、『職場の中で』の37.5%の順となっている。また、「男性優遇」と回答した割合は、『社会通念、慣習・しきたりなどで』の71.5%が最も高く、次いで、『政治の中で』69.4%、『地域社会の中で』51.8%の順となっており、「女性優遇」と回答した割合は、全ての項目で10.0%以下となっている。

【家庭の中で】

全体では、「男性優遇」と回答した割合が45.6%と最も高く、次いで「平等である」39.6%の順となっている。前回調査及び県調査と比較して大きな差はないが、家庭の中での平等感、内閣府調査より5.9ポイント低くなっている。

性別で見ると、「平等である」と回答した割合が、男性で44.4%、女性で35.8%となっており、「男性優遇」と回答した割合は、女性が50.8%、男性が39.2%で11.6ポイントの差がある。

【学校教育の中で】

全体では、「平等である」と回答した割合が61.8%と最も高く、次いで「わからない」17.8%の順となっている。「男性優遇」と回答した割合は12.8%で、前回調査及び県調査と比較して大きな差はない。

性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が65.3%で、女性が58.9%となっている。

【職場の中で】

全体では、「男性優遇」と回答した割合が42.6%と最も高く、次いで「平等である」37.5%の順となっている。「平等である」と回答した割合は、県調査より11.9ポイント、内閣府調査より6.8ポイント高くなっている。

性別で見ると、「平等である」と回答した割合が、男性で41.3%、女性で34.6%となっている。

【地域社会の中で】

全体では、「男性優遇」と回答した割合が51.8%と最も高く、次いで「平等である」29.1%の順となっている。「男性優遇」と感じている人の割合は、前回調査より4.9ポイント低くなっているが、県調査より5.6ポイント、内閣府調査より17.6ポイント高い。

性別で見ると、「平等である」と回答した割合が、男性で35.2%、女性で24.0%となっており、11.2ポイントの差がある。

【法律や制度で】

全体では、「男性優遇」と回答した割合が41.8%と最も高く、次いで「平等である」32.9%の順となっている。「男性優遇」と感じている人の割合は、前回調査より4.9ポイント低くなっているが、県調査より5.6ポイント、内閣府調査より17.6ポイント高い。

性別で見ると、「平等である」と回答した割合が、男性で37.8%、女性で28.8%となっており、9ポイントの差がある。

【社会通念・慣習・しきたりなどで】

全体では、「男性優遇」と回答した割合が、71.5%と最も高く、次いで「平等である」14.4%の順となっている。「男性優遇」と感じている人の割合は、他の項目を19.7ポイント以上上回っており、県調査および内閣府調査より高くなっている。

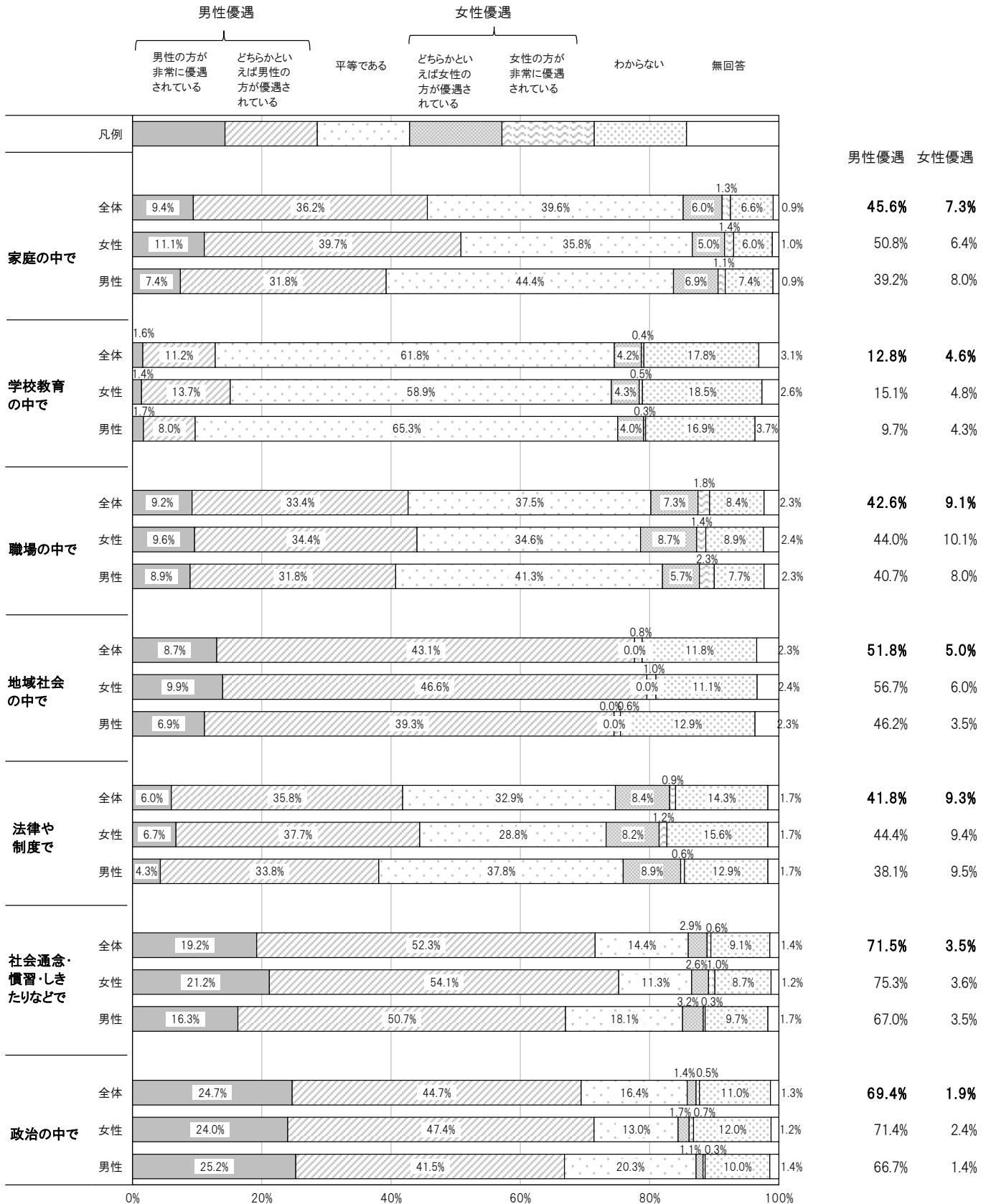
性別で見ると、「男性優遇」と回答した割合が、男性で67.0%、女性で71.4%といずれも高い割合となっている。

【政治の中で】

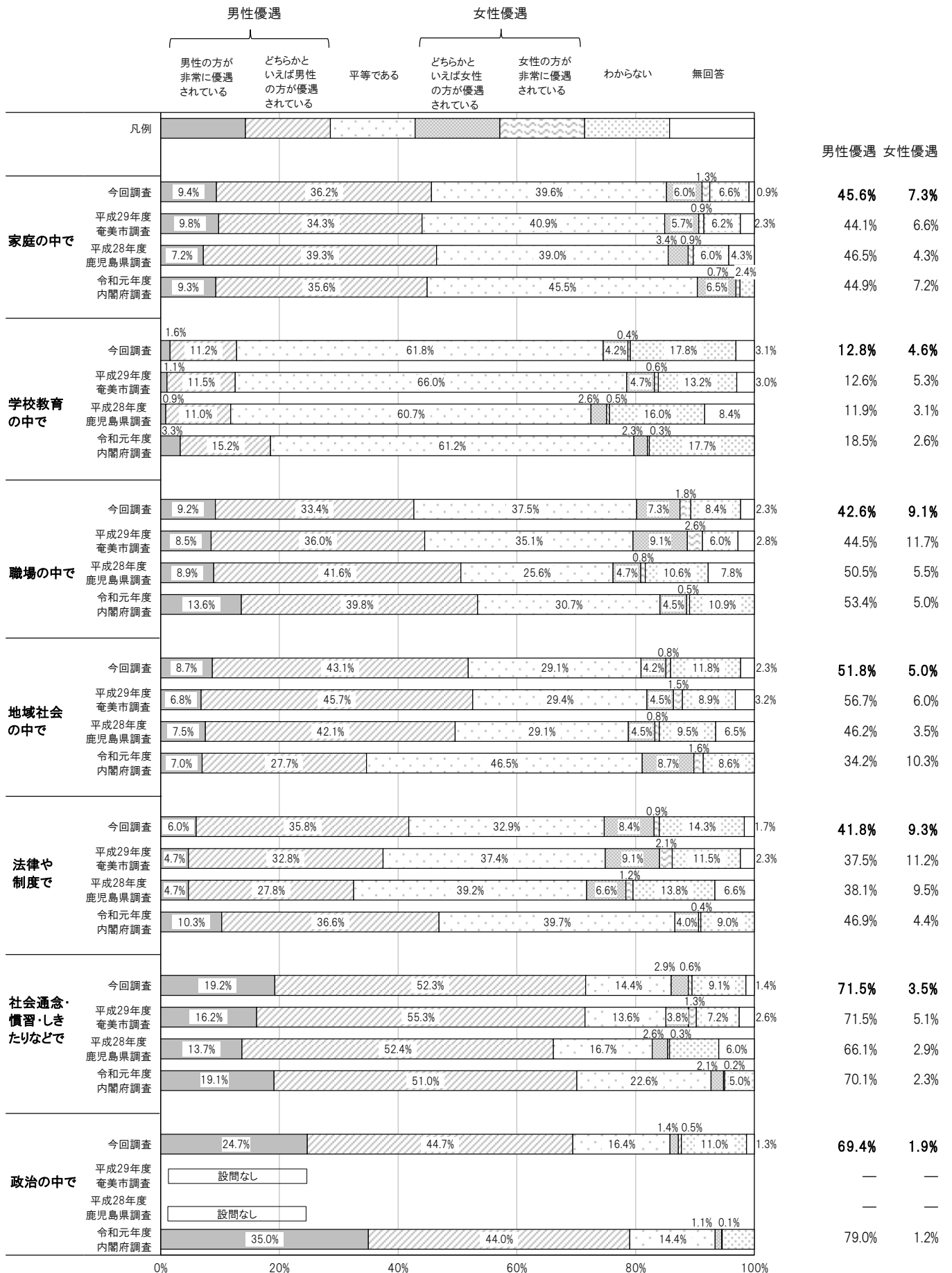
全体では、「男性優遇」と回答した割合が69.4%と最も高く、次いで「平等である」14.4%の順となっている。「男性優遇」と感じている人の割合は、他の項目を19.7ポイント上回っており、県調査および内閣府調査より高くなっている。

性別で見ると、「男性優遇」と回答した割合が、男性で66.7%、女性で71.4%といずれも高い割合となっている。

各分野の男女の地位の平等感（全体・性別）



各分野の男女の地位の平等感（全体、前回・県・内閣府調査）



各分野の男女の地位の平等感 1/4【家庭の中で、学校教育の中で】

	上段:度数 下段:%	【家庭の中で】							【学校教育の中で】							
		サンプル数	優遇された方が非常に	優遇された方が	平等である	優遇された方が	どちらかといえ	わからない	無回答	優遇された方が非常に	優遇された方が	平等である	優遇された方が	どちらかといえ	わからない	無回答
全体	770 100.0%	72 9.4%	279 36.2%	305 39.6%	46 6.0%	10 1.3%	51 6.6%	7 0.9%	12 1.6%	86 11.2%	476 61.8%	32 4.2%	3 0.4%	137 17.8%	24 3.1%	
性別・年代別	女性	416 100.0%	46 11.1%	165 39.7%	149 35.8%	21 5.0%	6 1.4%	25 6.0%	4 1.0%	6 1.4%	57 13.7%	245 58.9%	18 4.3%	2 0.5%	77 18.5%	11 2.6%
	20歳代	52 100.0%	8 15.4%	9 17.3%	23 44.2%	4 7.7%	3 5.8%	5 9.6%	0 0.0%	2 3.8%	5 9.6%	31 59.6%	3 5.8%	0 0.0%	10 19.2%	1 1.9%
	30歳代	86 100.0%	5 5.8%	32 37.2%	36 41.9%	4 4.7%	1 1.2%	8 9.3%	0 0.0%	2 2.3%	11 12.8%	53 61.6%	8 9.3%	0 0.0%	11 12.8%	1 1.2%
	40歳代	105 100.0%	17 16.2%	44 41.9%	35 33.3%	6 5.7%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	15 14.3%	65 61.9%	5 4.8%	1 1.0%	17 16.2%	1 1.0%
	50歳代	104 100.0%	10 9.6%	43 41.3%	36 34.6%	5 4.8%	1 1.0%	7 6.7%	2 1.9%	1 1.0%	17 16.3%	56 53.8%	2 1.9%	1 1.0%	24 23.1%	3 2.9%
	60歳以上	69 100.0%	6 8.7%	37 53.6%	19 27.5%	2 2.9%	0 0.0%	4 5.8%	1 1.4%	0 0.0%	9 13.0%	40 58.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 21.7%	5 7.2%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	349 100.0%	26 7.4%	111 31.8%	155 44.4%	24 6.9%	4 1.1%	26 7.4%	3 0.9%	6 1.7%	28 8.0%	228 65.3%	14 4.0%	1 0.3%	59 16.9%	13 3.7%
	20歳代	62 100.0%	5 8.1%	17 27.4%	29 46.8%	3 4.8%	0 0.0%	8 12.9%	0 0.0%	2 3.2%	5 8.1%	37 59.7%	3 4.8%	0 0.0%	15 24.2%	0 0.0%
	30歳代	69 100.0%	5 7.2%	24 34.8%	28 40.6%	4 5.8%	2 2.9%	4 5.8%	2 2.9%	2 2.9%	5 7.2%	45 65.2%	4 5.8%	1 1.4%	10 14.5%	2 2.9%
	40歳代	75 100.0%	8 10.7%	19 25.3%	34 45.3%	7 9.3%	1 1.3%	5 6.7%	1 1.3%	1 1.3%	5 6.7%	52 69.3%	2 2.7%	0 0.0%	12 16.0%	3 4.0%
	50歳代	74 100.0%	1 1.4%	25 33.8%	40 54.1%	3 4.1%	1 1.4%	4 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.1%	55 74.3%	3 4.1%	0 0.0%	9 12.2%	4 5.4%
	60歳以上	68 100.0%	7 10.3%	26 38.2%	24 35.3%	6 8.8%	0 0.0%	5 7.4%	0 0.0%	1 1.5%	10 14.7%	38 55.9%	2 2.9%	0 0.0%	13 19.1%	4 5.9%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
奄美市調査	平成29年度	470 100.0%	46 9.8%	161 34.3%	192 40.9%	27 5.7%	4 0.9%	29 6.2%	11 2.3%	5 1.1%	54 11.5%	310 66.0%	22 4.7%	3 0.6%	62 13.2%	14 3.0%
	女性	264 100.0%	31 11.7%	105 39.8%	88 33.3%	10 3.8%	2 0.8%	21 8.0%	7 2.7%	4 1.5%	36 13.6%	167 63.3%	11 4.2%	0 0.0%	36 13.6%	10 3.8%
	男性	206 100.0%	15 7.3%	56 27.2%	104 50.5%	17 8.3%	2 1.0%	8 3.9%	4 1.9%	1 0.5%	18 8.7%	143 69.4%	11 5.3%	3 1.5%	26 12.6%	4 1.9%
鹿児島県調査	平成28年度	2,227 100.0%	160 7.2%	875 39.3%	869 39.0%	75 3.4%	19 0.9%	133 6.0%	96 4.3%	19 0.9%	244 11.0%	1,351 60.7%	59 2.6%	11 0.5%	11 16.0%	186 8.4%
	女性	1,252 100.0%	123 9.8%	555 44.3%	408 32.6%	32 2.6%	11 0.9%	85 6.8%	38 3.0%	16 1.3%	156 12.5%	738 58.9%	21 1.7%	3 0.2%	234 18.7%	84 6.7%
	男性	928 100.0%	35 3.8%	319 34.4%	458 49.4%	43 4.6%	8 0.9%	45 4.8%	20 2.2%	2 0.2%	88 9.5%	612 65.9%	38 4.1%	8 0.9%	119 12.8%	61 6.6%
内閣府世論調査	令和元年度	2,645 100.0%	9.3%	35.6%	45.5%	6.5%	0.7%	2.4%	-	3.3%	15.2%	61.2%	2.3%	0.3%	17.7%	-
	女性	1,407 100.0%	11.7%	39.9%	39.1%	5.8%	0.7%	2.8%	-	3.8%	16.0%	59.8%	2.0%	0.4%	18.1%	-
	男性	1,238 100.0%	6.5%	30.8%	52.7%	7.3%	0.7%	1.9%	-	2.7%	14.3%	62.8%	2.6%	0.3%	17.3%	-

各分野の男女の地位の平等感 2/4 【職場の中で、地域社会の中で】

	上段:度数 下段:%	【職場の中で】							【地域社会の中で】						
		優 男 性 の 方 が 非 常 に	優 男 性 の 方 が い え ば	平 等 で あ る	優 女 性 の 方 が い え ば	優 女 性 の 方 が 非 常 に	わ か ら な い	無 回 答	優 男 性 の 方 が 非 常 に	優 男 性 の 方 が い え ば	平 等 で あ る	優 女 性 の 方 が い え ば	優 女 性 の 方 が 非 常 に	わ か ら な い	無 回 答
全体	71 9.2%	257 33.4%	289 37.5%	56 7.3%	14 1.8%	65 8.4%	18 2.3%	67 8.7%	332 43.1%	289 37.5%	56 7.3%	6 0.8%	91 11.8%	18 2.3%	
性別・年代別	女性	40 9.6%	143 34.4%	144 34.6%	36 8.7%	6 1.4%	37 8.9%	10 2.4%	41 9.9%	194 46.6%	144 34.6%	36 8.7%	4 1.0%	46 11.1%	10 2.4%
		20歳代	6 11.5%	10 19.2%	22 42.3%	2 3.8%	2 3.8%	9 17.3%	1 1.9%	6 11.5%	17 32.7%	22 42.3%	2 3.8%	0 0.0%	8 15.4%
	30歳代	4 4.7%	31 36.0%	29 33.7%	11 12.8%	1 1.2%	9 10.5%	1 1.2%	7 8.1%	43 50.0%	29 33.7%	11 12.8%	1 1.2%	9 10.5%	2 2.3%
	40歳代	15 14.3%	32 30.5%	40 38.1%	14 13.3%	1 1.0%	2 1.9%	1 1.0%	13 12.4%	48 45.7%	40 38.1%	14 13.3%	2 1.9%	11 10.5%	1 1.0%
	50歳代	12 11.5%	36 34.6%	36 34.6%	7 6.7%	2 1.9%	8 7.7%	3 2.9%	10 9.6%	51 49.0%	36 34.6%	7 6.7%	1 1.0%	10 9.6%	4 3.8%
	60歳以上	3 4.3%	34 49.3%	17 24.6%	2 2.9%	0 0.0%	9 13.0%	4 5.8%	5 7.2%	35 50.7%	17 24.6%	2 2.9%	0 0.0%	8 11.6%	3 4.3%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	31 8.9%	111 31.8%	144 41.3%	20 5.7%	8 2.3%	27 7.7%	8 2.3%	24 6.9%	137 39.3%	144 41.3%	20 5.7%	2 0.6%	45 12.9%	8 2.3%
		20歳代	8 12.9%	17 27.4%	23 37.1%	2 3.2%	0 0.0%	10 16.1%	2 3.2%	5 8.1%	18 29.0%	23 37.1%	2 3.2%	0 0.0%	17 27.4%
	30歳代	5 7.2%	19 27.5%	33 47.8%	5 7.2%	4 5.8%	2 2.9%	1 1.4%	4 5.8%	24 34.8%	33 47.8%	5 7.2%	2 2.9%	8 11.6%	2 2.9%
	40歳代	5 6.7%	22 29.3%	33 44.0%	7 9.3%	2 2.7%	5 6.7%	1 1.3%	6 8.0%	26 34.7%	33 44.0%	7 9.3%	0 0.0%	8 10.7%	2 2.7%
	50歳代	4 5.4%	26 35.1%	33 44.6%	4 5.4%	1 1.4%	3 4.1%	3 4.1%	2 2.7%	39 52.7%	33 44.6%	4 5.4%	0 0.0%	5 6.8%	3 4.1%
	60歳以上	9 13.2%	27 39.7%	21 30.9%	2 2.9%	1 1.5%	7 10.3%	1 1.5%	7 10.3%	30 44.1%	21 30.9%	2 2.9%	0 0.0%	7 10.3%	1 1.5%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
奄美市調査 平成29年度	全体	40 8.5%	169 36.0%	165 35.1%	43 9.1%	12 2.6%	28 6.0%	13 2.8%	32 6.8%	215 45.7%	165 35.1%	43 9.1%	7 1.5%	42 8.9%	15 3.2%
	女性	30 11.4%	106 40.2%	82 31.1%	21 8.0%	2 0.8%	16 6.1%	7 2.7%	21 8.0%	144 54.5%	82 31.1%	21 8.0%	0 0.0%	28 10.6%	9 3.4%
	男性	10 4.9%	63 30.6%	83 40.3%	22 10.7%	10 4.9%	12 5.8%	6 2.9%	11 5.3%	71 34.5%	83 40.3%	22 10.7%	7 3.4%	14 6.8%	6 2.9%
鹿児島県調査 平成28年度	全体	199 8.9%	927 41.6%	571 25.6%	104 4.7%	17 0.8%	236 10.6%	173 7.8%	168 7.5%	937 42.1%	571 25.6%	104 4.7%	17 0.8%	211 9.5%	145 6.5%
	女性	147 11.7%	543 43.4%	277 22.1%	34 2.7%	5 0.4%	160 12.8%	86 6.9%	121 9.7%	583 46.6%	277 22.1%	34 2.7%	4 0.3%	145 11.6%	65 5.2%
	男性	51 5.5%	383 41.3%	293 31.6%	69 7.4%	12 1.3%	73 7.9%	47 5.1%	45 4.8%	353 38.0%	293 31.6%	69 7.4%	13 1.4%	63 6.8%	41 4.4%
内閣府世論調査 令和元年度	全体	13.6%	39.8%	30.7%	4.5%	0.5%	10.9%	-	7.0%	27.7%	30.7%	4.5%	1.6%	8.6%	-
	女性	14.4%	39.7%	28.4%	4.3%	0.4%	12.8%	-	7.7%	30.3%	28.4%	4.3%	1.1%	8.1%	-
	男性	12.8%	40.0%	33.3%	4.8%	0.5%	8.7%	-	6.1%	24.7%	33.3%	4.8%	2.1%	9.1%	-

各分野の男女の地位の平等感 3/4 【法律や制度で、社会通念、慣習・しきたりなどで】

		【法律や制度で】							【社会通念、慣習・しきたりなどで】						
		優男 遇性の され方 が非常 に	優男 遇性の され方 がとい え	平 等 で あ る	優女 遇性の され方 がとい え	優女 遇性の され方 が非常 に	わ か ら な い	無 回 答	優男 遇性の され方 が非常 に	優男 遇性の され方 がとい え	平 等 で あ る	優女 遇性の され方 がとい え	優女 遇性の され方 が非常 に	わ か ら な い	無 回 答
上段:度数 下段:%															
全体		46 6.0%	276 35.8%	253 32.9%	65 8.4%	7 0.9%	110 14.3%	13 1.7%	148 19.2%	403 52.3%	111 14.4%	22 2.9%	5 0.6%	70 9.1%	11 1.4%
性別・年代別	女性	28 6.7%	157 37.7%	120 28.8%	34 8.2%	5 1.2%	65 15.6%	7 1.7%	88 21.2%	225 54.1%	47 11.3%	11 2.6%	4 1.0%	36 8.7%	5 1.2%
	20歳代	3 5.8%	14 26.9%	17 32.7%	7 13.5%	1 1.9%	10 19.2%	0 0.0%	8 15.4%	24 46.2%	10 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	10 19.2%	0 0.0%
	30歳代	3 3.5%	32 37.2%	21 24.4%	11 12.8%	0 0.0%	17 19.8%	2 2.3%	19 22.1%	46 53.5%	8 9.3%	3 3.5%	2 2.3%	7 8.1%	1 1.2%
	40歳代	7 6.7%	39 37.1%	32 30.5%	10 9.5%	0 0.0%	16 15.2%	1 1.0%	29 27.6%	54 51.4%	10 9.5%	5 4.8%	0 0.0%	6 5.7%	1 1.0%
	50歳代	11 10.6%	42 40.4%	29 27.9%	4 3.8%	4 3.8%	11 10.6%	3 2.9%	20 19.2%	62 59.6%	10 9.6%	1 1.0%	2 1.9%	7 6.7%	2 1.9%
	60歳以上	4 5.8%	30 43.5%	21 30.4%	2 2.9%	0 0.0%	11 15.9%	1 1.4%	12 17.4%	39 56.5%	9 13.0%	2 2.9%	0 0.0%	6 8.7%	1 1.4%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	15 4.3%	118 33.8%	132 37.8%	31 8.9%	2 0.6%	45 12.9%	6 1.7%	57 16.3%	177 50.7%	63 18.1%	11 3.2%	1 0.3%	34 9.7%	6 1.7%
	20歳代	4 6.5%	21 33.9%	15 24.2%	4 6.5%	0 0.0%	18 29.0%	0 0.0%	14 22.6%	19 30.6%	12 19.4%	2 3.2%	0 0.0%	14 22.6%	1 1.6%
	30歳代	4 5.8%	22 31.9%	24 34.8%	9 13.0%	2 2.9%	7 10.1%	1 1.4%	12 17.4%	30 43.5%	17 24.6%	3 4.3%	1 1.4%	5 7.2%	1 1.4%
	40歳代	3 4.0%	25 33.3%	30 40.0%	6 8.0%	0 0.0%	9 12.0%	2 2.7%	12 16.0%	41 54.7%	12 16.0%	1 1.3%	0 0.0%	7 9.3%	2 2.7%
	50歳代	1 1.4%	31 41.9%	29 39.2%	4 5.4%	0 0.0%	6 8.1%	3 4.1%	8 10.8%	49 66.2%	10 13.5%	1 1.4%	0 0.0%	4 5.4%	2 2.7%
	60歳以上	3 4.4%	18 26.5%	34 50.0%	8 11.8%	0 0.0%	5 7.4%	0 0.0%	11 16.2%	38 55.9%	11 16.2%	4 5.9%	0 0.0%	4 5.9%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
奄美市調査	平成29年度	22 4.7%	154 32.8%	176 37.4%	43 9.1%	10 2.1%	54 11.5%	11 2.3%	76 16.2%	260 55.3%	64 13.6%	18 3.8%	6 1.3%	34 7.2%	12 2.6%
	女性	17 6.4%	111 42.0%	75 28.4%	16 6.1%	0 0.0%	38 14.4%	7 2.7%	57 21.6%	153 58.0%	18 6.8%	7 2.7%	1 0.4%	22 8.3%	6 2.3%
	男性	5 2.4%	43 20.9%	101 49.0%	27 13.1%	10 4.9%	16 7.8%	4 1.9%	19 9.2%	107 51.9%	46 22.3%	11 5.3%	5 2.4%	12 5.8%	6 2.9%
鹿児島県調査	平成28年度	104 4.7%	620 27.8%	874 39.2%	147 6.6%	27 1.2%	307 13.8%	148 6.6%	305 13.7%	1,168 52.4%	371 16.7%	58 2.6%	7 0.3%	185 8.3%	133 6.0%
	女性	79 6.3%	434 34.7%	394 31.5%	57 4.6%	7 0.6%	216 17.3%	65 5.2%	229 18.3%	667 53.3%	158 12.6%	19 1.5%	0 0.0%	127 10.1%	52 4.2%
	男性	23 2.5%	186 20.0%	477 51.4%	90 9.7%	20 2.2%	89 9.6%	43 4.6%	74 8.0%	500 53.9%	212 22.8%	39 4.2%	7 0.8%	55 5.9%	41 4.4%
内閣府世論調査	令和元年度	10.3%	36.6%	39.7%	4.0%	0.4%	9.0%	-	19.1%	51.0%	22.6%	2.1%	0.2%	5.0%	-
	女性	12.4%	39.7%	33.3%	3.1%	0.2%	11.2%	-	20.3%	51.2%	20.5%	1.9%	0.1%	6.0%	-
	男性	7.8%	33.2%	46.8%	5.1%	0.6%	6.5%	-	17.6%	50.9%	25.0%	2.3%	0.3%	4.0%	-

各分野の男女の地位の平等感 4/4 【政治の中で】

		【政治の中で】						
上段:度数 下段:%		優 遇 さ の 方 が 非 常 に	優 男 ど 性 の ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	優 女 ど 性 の ち ら か と い え ば	優 女 性 の 方 が 非 常 に	わ か ら な い	無 回 答
全体		190 24.7%	344 44.7%	126 16.4%	11 1.4%	4 0.5%	85 11.0%	10 1.3%
性別・年代別	女性	100 24.0%	197 47.4%	54 13.0%	7 1.7%	3 0.7%	50 12.0%	5 1.2%
	20歳代	14 26.9%	14 26.9%	14 26.9%	1 1.9%	0 0.0%	9 17.3%	0 0.0%
	30歳代	19 22.1%	44 51.2%	6 7.0%	1 1.2%	0 0.0%	15 17.4%	1 1.2%
	40歳代	32 30.5%	49 46.7%	11 10.5%	3 2.9%	1 1.0%	8 7.6%	1 1.0%
	50歳代	21 20.2%	60 57.7%	10 9.6%	2 1.9%	2 1.9%	7 6.7%	2 1.9%
	60歳以上	14 20.3%	30 43.5%	13 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	11 15.9%	1 1.4%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	88 25.2%	145 41.5%	71 20.3%	4 1.1%	1 0.3%	35 10.0%	5 1.4%
	20歳代	19 30.6%	19 30.6%	11 17.7%	0 0.0%	0 0.0%	13 21.0%	0 0.0%
	30歳代	17 24.6%	26 37.7%	15 21.7%	1 1.4%	1 1.4%	8 11.6%	1 1.4%
	40歳代	21 28.0%	30 40.0%	18 24.0%	1 1.3%	0 0.0%	3 4.0%	2 2.7%
	50歳代	17 23.0%	39 52.7%	13 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.1%	2 2.7%
	60歳以上	13 19.1%	31 45.6%	14 20.6%	2 2.9%	0 0.0%	8 11.8%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

奄美市調査 平成29年度	全体	※設問なし						
	女性							
	男性							
鹿児島県調査 平成28年度	全体	※設問なし						
	女性							
	男性							
内閣府世論調査 令和元年度	全体	35.0%	44.0%	14.4%	1.1%	0.1%	5.4%	-
	女性	37.9%	44.5%	11.0%	0.8%	0.1%	5.8%	-
	男性	31.7%	43.5%	18.3%	1.4%	0.2%	5.0%	-

(2) 男女共同参画の関連用語の認知度

問2 あなたは、男女共同参画に関連の深い下の用語について知っていますか。
(各項目ごとに1つずつ選択)

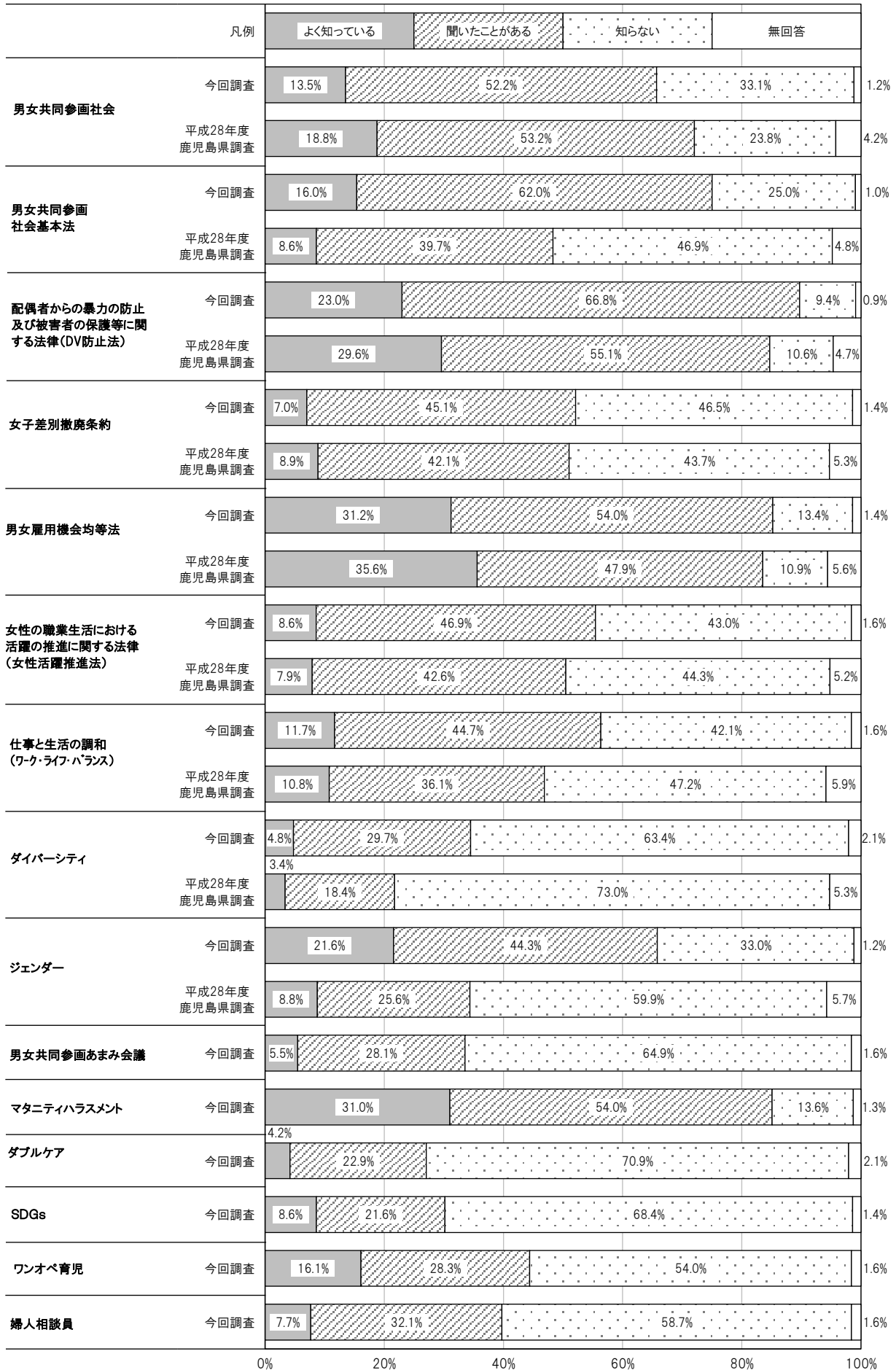
全体では、「よく知っている」と回答した割合が最も高いのは、『男女雇用機会均等法』の31.2%で、次いで、『マタニティハラスメント』の31.0%、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』の23.0%の順となっている。また、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは、『ダブルケア』の70.9%で、次いで『SDGs』68.4%、『男女共同参画あまみ会議』64.9%の順となっている。『女子差別撤廃条約』、『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）』、『ダイバーシティ』、『男女共同参画あまみ会議』、『ダブルケア』、『SDGs』、『婦人相談員』については、「よく知っている」と回答した割合は1割に満たない。

性別でみると、「よく知っている」と回答した割合が最も高いのは、女性では、『マタニティハラスメント』の33.7%で、次いで『男女雇用機会均等法』の32.7%、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』の23.6%の順となっている。男性では、『男女雇用機会均等法』の28.9%が最も高く、次いで『マタニティハラスメント』の28.1%、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』の22.3%の順となっている。

男女共同参画の関連用語の認知度（性別）

凡例		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	
男女共同参画社会	女性	12.7%	53.6%	32.7%	1.0%	
	男性	14.6%	50.1%	33.8%	1.4%	
男女共同参画社会基本法	女性	4.6%	38.5%	55.8%	1.2%	
	男性	6.6%	40.1%	52.1%	1.1%	
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	女性	23.6%	66.8%	8.7%	1.0%	
	男性	22.3%	66.5%	10.3%	0.9%	
女子差別撤廃条約	女性	6.5%	45.9%	46.2%	1.4%	
	男性	7.4%	44.1%	47.0%	1.4%	
男女雇用機会均等法	女性	32.7%	53.1%	12.7%	1.4%	
	男性	28.9%	55.6%	14.0%	1.4%	
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	女性	7.9%	46.9%	43.5%	1.7%	
	男性	9.5%	46.1%	43.0%	1.4%	
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	女性	9.6%	46.4%	42.1%	1.9%	
	男性	14.0%	43.0%	41.8%	1.1%	
ダイバーシティ	女性	4.3%	26.4%	67.3%	1.9%	
	男性	5.2%	33.5%	59.3%	2.0%	
ジェンダー	女性	21.9%	41.8%	34.9%	1.4%	
	男性	20.9%	47.6%	30.7%	0.9%	
男女共同参画あまみ会議	女性	4.6%	28.1%	65.1%	2.2%	
	男性	6.6%	28.1%	64.5%	0.9%	
マタニティハラスメント	女性	33.7%	52.9%	12.0%	1.4%	
	男性	28.1%	55.0%	15.8%	1.1%	
ダブルケア	女性	3.6%	20.9%	73.6%	1.9%	
	男性	4.9%	25.2%	67.9%	2.0%	
SDGs	女性	7.9%	18.5%	72.1%	1.4%	
	男性	9.5%	24.6%	64.5%	1.4%	
ワンオペ育児	女性	17.3%	29.6%	51.2%	1.9%	
	男性	14.9%	27.2%	56.7%	1.1%	
婦人相談員	女性	7.7%	33.4%	57.0%	1.9%	
	男性	7.7%	30.4%	60.7%	1.1%	

男女共同参画の関連用語の認知度（全体，県調査）



男女共同参画の関連用語の認知度 1/5 (性別・年代別, 県調査)

	サンプル数	【男女共同参画社会】				【男女共同参画社会基本法】				【配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)】				
		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	
上段: 度数 下段: %														
全体	770	104	402	255	9	42	300	417	11	177	514	72	7	
	100.0%	13.5%	52.2%	33.1%	1.2%	5.5%	39.0%	54.2%	1.4%	23.0%	66.8%	9.4%	0.9%	
性別・年代別	女性	416	53	223	136	4	19	160	232	5	98	278	36	4
		100.0%	12.7%	53.6%	32.7%	1.0%	4.6%	38.5%	55.8%	1.2%	23.6%	66.8%	8.7%	1.0%
	20歳代	52	5	31	16	0	3	26	23	0	11	31	10	0
		100.0%	9.6%	59.6%	30.8%	0.0%	5.8%	50.0%	44.2%	0.0%	21.2%	59.6%	19.2%	0.0%
	30歳代	86	8	40	38	0	2	24	59	1	19	58	8	1
		100.0%	9.3%	46.5%	44.2%	0.0%	2.3%	27.9%	68.6%	1.2%	22.1%	67.4%	9.3%	1.2%
	40歳代	105	10	54	40	1	5	34	64	2	19	83	2	1
		100.0%	9.5%	51.4%	38.1%	1.0%	4.8%	32.4%	61.0%	1.9%	18.1%	79.0%	1.9%	1.0%
	50歳代	104	16	62	25	1	8	43	52	1	30	63	9	2
		100.0%	15.4%	59.6%	24.0%	1.0%	7.7%	41.3%	50.0%	1.0%	28.8%	60.6%	8.7%	1.9%
	60歳以上	69	14	36	17	2	1	33	34	1	19	43	7	0
		100.0%	20.3%	52.2%	24.6%	2.9%	1.4%	47.8%	49.3%	1.4%	27.5%	62.3%	10.1%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	349	51	175	118	5	23	140	182	4	78	232	36	3
		100.0%	14.6%	50.1%	33.8%	1.4%	6.6%	40.1%	52.1%	1.1%	22.3%	66.5%	10.3%	0.9%
	20歳代	62	12	26	24	0	7	28	26	1	16	37	9	0
	100.0%	19.4%	41.9%	38.7%	0.0%	11.3%	45.2%	41.9%	1.6%	25.8%	59.7%	14.5%	0.0%	
30歳代	69	6	25	35	3	3	17	48	1	13	46	9	1	
	100.0%	8.7%	36.2%	50.7%	4.3%	4.3%	24.6%	69.6%	1.4%	18.8%	66.7%	13.0%	1.4%	
40歳代	75	4	51	19	1	1	36	37	1	18	52	4	1	
	100.0%	5.3%	68.0%	25.3%	1.3%	1.3%	48.0%	49.3%	1.3%	24.0%	69.3%	5.3%	1.3%	
50歳代	74	10	40	23	1	3	32	38	1	13	56	4	1	
	100.0%	13.5%	54.1%	31.1%	1.4%	4.1%	43.2%	51.4%	1.4%	17.6%	75.7%	5.4%	1.4%	
60歳以上	68	19	33	16	0	9	27	32	0	17	41	10	0	
	100.0%	27.9%	48.5%	23.5%	0.0%	13.2%	39.7%	47.1%	0.0%	25.0%	60.3%	14.7%	0.0%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	5	0	4	1	0	0	0	3	2	1	4	0	0	
	100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	
鹿平 児成 島2 県8 調査 年度	全体	2,227	419	1,185	529	94	192	884	1,044	107	659	1,227	237	104
		100.0%	18.8%	53.2%	23.8%	4.2%	8.6%	39.7%	46.9%	4.8%	29.6%	55.1%	10.6%	4.7%
	女性	1,252	199	690	329	34	96	486	628	42	370	710	133	39
	100.0%	15.9%	55.1%	26.3%	2.7%	7.7%	38.8%	50.2%	3.4%	29.6%	56.7%	10.6%	3.1%	
男性	928	219	491	195	23	96	395	411	26	287	514	101	26	
	100.0%	23.6%	52.9%	21.0%	2.5%	10.3%	42.6%	44.3%	2.8%	30.9%	55.4%	10.9%	2.8%	

男女共同参画の関連用語の認知度 2/5 (性別・年代別, 県調査)

	サンプル数	【女子差別撤廃条約】				【男女雇用機会均等法】				【活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)】				
		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	
上段: 度数 下段: %														
全体	770 100.0%	54 7.0%	347 45.1%	358 46.5%	11 1.4%	240 31.2%	416 54.0%	103 13.4%	11 1.4%	66 8.6%	361 46.9%	331 43.0%	12 1.6%	
性別・年代別	女性	416 100.0%	27 6.5%	191 45.9%	192 46.2%	6 1.4%	136 32.7%	221 53.1%	53 12.7%	6 1.4%	33 7.9%	195 46.9%	181 43.5%	7 1.7%
	20歳代	52 100.0%	5 9.6%	27 51.9%	20 38.5%	0 0.0%	10 19.2%	31 59.6%	11 21.2%	0 0.0%	3 5.8%	30 57.7%	19 36.5%	0 0.0%
	30歳代	86 100.0%	6 7.0%	42 48.8%	37 43.0%	1 1.2%	31 36.0%	45 52.3%	9 10.5%	1 1.2%	8 9.3%	40 46.5%	37 43.0%	1 1.2%
	40歳代	105 100.0%	6 5.7%	50 47.6%	47 44.8%	2 1.9%	41 39.0%	54 51.4%	10 9.5%	0 0.0%	10 9.5%	45 42.9%	48 45.7%	2 1.9%
	50歳代	104 100.0%	5 4.8%	48 46.2%	49 47.1%	2 1.9%	36 34.6%	50 48.1%	16 15.4%	2 1.9%	10 9.6%	43 41.3%	49 47.1%	2 1.9%
	60歳以上	69 100.0%	5 7.2%	24 34.8%	39 56.5%	1 1.4%	18 26.1%	41 59.4%	7 10.1%	3 4.3%	2 2.9%	37 53.6%	28 40.6%	2 2.9%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	349 100.0%	26 7.4%	154 44.1%	164 47.0%	5 1.4%	101 28.9%	194 55.6%	49 14.0%	5 1.4%	33 9.5%	161 46.1%	150 43.0%	5 1.4%
	20歳代	62 100.0%	7 11.3%	23 37.1%	32 51.6%	0 0.0%	14 22.6%	38 61.3%	9 14.5%	1 1.6%	7 11.3%	25 40.3%	29 46.8%	1 1.6%
	30歳代	69 100.0%	5 7.2%	33 47.8%	29 42.0%	2 2.9%	18 26.1%	39 56.5%	11 15.9%	1 1.4%	4 5.8%	36 52.2%	28 40.6%	1 1.4%
	40歳代	75 100.0%	9 12.0%	37 49.3%	28 37.3%	1 1.3%	21 28.0%	45 60.0%	7 9.3%	2 2.7%	11 14.7%	37 49.3%	26 34.7%	1 1.3%
	50歳代	74 100.0%	2 2.7%	32 43.2%	39 52.7%	1 1.4%	22 29.7%	42 56.8%	9 12.2%	1 1.4%	3 4.1%	39 52.7%	30 40.5%	2 2.7%
	60歳以上	68 100.0%	3 4.4%	29 42.6%	35 51.5%	1 1.5%	26 38.2%	29 42.6%	13 19.1%	0 0.0%	8 11.8%	23 33.8%	37 54.4%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
鹿平 成児 島2 県8 調査 年度	全体	2,227 100.0%	198 8.9%	938 42.1%	973 43.7%	118 5.3%	793 35.6%	1,067 47.9%	242 10.9%	125 5.6%	176 7.9%	948 42.6%	987 44.3%	116 5.2%
	女性	1,252 100.0%	105 8.4%	543 43.4%	553 44.2%	51 4.1%	404 32.3%	639 51.0%	156 12.5%	53 4.2%	82 6.5%	540 43.1%	581 46.4%	49 3.9%
	男性	928 100.0%	93 10.0%	392 42.2%	415 44.7%	28 3.0%	389 41.9%	424 45.7%	82 8.8%	33 3.6%	94 10.1%	405 43.6%	400 43.1%	29 3.1%

男女共同参画の関連用語の認知度 3/5 (性別・年代別, 県調査)

	サンプル数	【仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)】				【ダイバーシティ】				【ジェンダー】				
		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	
上段: 度数 下段: %														
全体	770	90	344	324	12	37	229	488	16	166	341	254	9	
	100.0%	11.7%	44.7%	42.1%	1.6%	4.8%	29.7%	63.4%	2.1%	21.6%	44.3%	33.0%	1.2%	
性別・年代別	女性	416	40	193	175	8	18	110	280	8	91	174	145	6
		100.0%	9.6%	46.4%	42.1%	1.9%	4.3%	26.4%	67.3%	1.9%	21.9%	41.8%	34.9%	1.4%
	20歳代	52	9	21	22	0	4	16	31	1	14	20	18	0
		100.0%	17.3%	40.4%	42.3%	0.0%	7.7%	30.8%	59.6%	1.9%	26.9%	38.5%	34.6%	0.0%
	30歳代	86	11	40	33	2	4	26	53	3	17	41	27	1
		100.0%	12.8%	46.5%	38.4%	2.3%	4.7%	30.2%	61.6%	3.5%	19.8%	47.7%	31.4%	1.2%
	40歳代	105	11	47	46	1	6	30	67	2	27	50	28	0
		100.0%	10.5%	44.8%	43.8%	1.0%	5.7%	28.6%	63.8%	1.9%	25.7%	47.6%	26.7%	0.0%
	50歳代	104	7	44	51	2	3	24	76	1	23	42	38	1
		100.0%	6.7%	42.3%	49.0%	1.9%	2.9%	23.1%	73.1%	1.0%	22.1%	40.4%	36.5%	1.0%
	60歳以上	69	2	41	23	3	1	14	53	1	10	21	34	4
		100.0%	2.9%	59.4%	33.3%	4.3%	1.4%	20.3%	76.8%	1.4%	14.5%	30.4%	49.3%	5.8%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	349	49	150	146	4	18	117	207	7	73	166	107	3
	100.0%	14.0%	43.0%	41.8%	1.1%	5.2%	33.5%	59.3%	2.0%	20.9%	47.6%	30.7%	0.9%	
20歳代	62	15	24	23	0	5	19	36	2	21	26	15	0	
	100.0%	24.2%	38.7%	37.1%	0.0%	8.1%	30.6%	58.1%	3.2%	33.9%	41.9%	24.2%	0.0%	
30歳代	69	9	30	29	1	3	26	38	2	12	36	20	1	
	100.0%	13.0%	43.5%	42.0%	1.4%	4.3%	37.7%	55.1%	2.9%	17.4%	52.2%	29.0%	1.4%	
40歳代	75	9	38	27	1	2	30	41	2	18	37	19	1	
	100.0%	12.0%	50.7%	36.0%	1.3%	2.7%	40.0%	54.7%	2.7%	24.0%	49.3%	25.3%	1.3%	
50歳代	74	5	32	36	1	5	21	47	1	10	40	23	1	
	100.0%	6.8%	43.2%	48.6%	1.4%	6.8%	28.4%	63.5%	1.4%	13.5%	54.1%	31.1%	1.4%	
60歳以上	68	10	26	31	1	3	21	44	0	12	26	30	0	
	100.0%	14.7%	38.2%	45.6%	1.5%	4.4%	30.9%	64.7%	0.0%	17.6%	38.2%	44.1%	0.0%	
無回答	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
無回答	5	1	1	3	0	1	2	1	1	2	1	2	0	
	100.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	
鹿平 児成 島2 県8 調査 年度	全体	2,227	240	804	1,052	131	75	409	1,626	117	195	571	1,333	128
		100.0%	10.8%	36.1%	47.2%	5.9%	3.4%	18.4%	73.0%	5.3%	8.8%	25.6%	59.9%	5.7%
	女性	1,252	139	431	627	55	29	215	957	51	124	307	765	56
	100.0%	11.1%	34.4%	50.1%	4.4%	2.3%	17.2%	76.4%	4.1%	9.9%	24.5%	61.1%	4.5%	
男性	928	101	370	420	37	45	193	663	27	71	263	562	32	
	100.0%	10.9%	39.9%	45.3%	4.0%	4.8%	20.8%	71.4%	2.9%	7.7%	28.3%	60.6%	3.4%	

男女共同参画の関連用語の認知度 4/5（性別・年代別，県調査）

	サンプル数	【男女共同参画あまみ会議】				【マタニティハラスメント】				【ダブルケア】				
		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	
上段：度数 下段：%														
全体	770 100.0%	42 5.5%	216 28.1%	500 64.9%	12 1.6%	239 31.0%	416 54.0%	105 13.6%	10 1.3%	32 4.2%	176 22.9%	546 70.9%	16 2.1%	
性別・年代別	女性	416 100.0%	19 4.6%	117 28.1%	271 65.1%	9 2.2%	140 33.7%	220 52.9%	50 12.0%	6 1.4%	15 3.6%	87 20.9%	306 73.6%	8 1.9%
	20歳代	52 100.0%	0 0.0%	11 21.2%	41 78.8%	0 0.0%	18 34.6%	23 44.2%	10 19.2%	1 1.9%	2 3.8%	13 25.0%	37 71.2%	0 0.0%
	30歳代	86 100.0%	3 3.5%	15 17.4%	65 75.6%	3 3.5%	33 38.4%	44 51.2%	8 9.3%	1 1.2%	2 2.3%	12 14.0%	70 81.4%	2 2.3%
	40歳代	105 100.0%	6 5.7%	21 20.0%	77 73.3%	1 1.0%	32 30.5%	61 58.1%	10 9.5%	2 1.9%	2 1.9%	19 18.1%	82 78.1%	2 1.9%
	50歳代	104 100.0%	5 4.8%	40 38.5%	56 53.8%	3 2.9%	37 35.6%	48 46.2%	18 17.3%	1 1.0%	5 4.8%	24 23.1%	72 69.2%	3 2.9%
	60歳以上	69 100.0%	5 7.2%	30 43.5%	32 46.4%	2 2.9%	20 29.0%	44 63.8%	4 5.8%	1 1.4%	4 5.8%	19 27.5%	45 65.2%	1 1.4%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	349 100.0%	23 6.6%	98 28.1%	225 64.5%	3 0.9%	98 28.1%	192 55.0%	55 15.8%	4 1.1%	17 4.9%	88 25.2%	237 67.9%	7 2.0%
	20歳代	62 100.0%	0 0.0%	14 22.6%	48 77.4%	0 0.0%	23 37.1%	30 48.4%	9 14.5%	0 0.0%	1 1.6%	15 24.2%	46 74.2%	0 0.0%
	30歳代	69 100.0%	5 7.2%	12 17.4%	51 73.9%	1 1.4%	24 34.8%	35 50.7%	9 13.0%	1 1.4%	4 5.8%	13 18.8%	50 72.5%	2 2.9%
	40歳代	75 100.0%	5 6.7%	25 33.3%	44 58.7%	1 1.3%	13 17.3%	43 57.3%	17 22.7%	2 2.7%	5 6.7%	21 28.0%	47 62.7%	2 2.7%
	50歳代	74 100.0%	6 8.1%	25 33.8%	42 56.8%	1 1.4%	19 25.7%	44 59.5%	10 13.5%	1 1.4%	4 5.4%	20 27.0%	47 63.5%	3 4.1%
	60歳以上	68 100.0%	7 10.3%	21 30.9%	40 58.8%	0 0.0%	18 26.5%	40 58.8%	10 14.7%	0 0.0%	3 4.4%	18 26.5%	47 69.1%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%

※平成28年度鹿児島県調査は設問なし

男女共同参画の関連用語の認知度 5/5（性別・年代別，県調査）

	サンプル数	【SDGs】				【ワンオペ育児】				【婦人相談員】				
		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	
上段：度数 下段：%														
全体	770	66	166	527	11	124	218	416	12	59	247	452	12	
	100.0%	8.6%	21.6%	68.4%	1.4%	16.1%	28.3%	54.0%	1.6%	7.7%	32.1%	58.7%	1.6%	
性別・年代別	女性	416	33	77	300	6	72	123	213	8	32	139	237	8
		100.0%	7.9%	18.5%	72.1%	1.4%	17.3%	29.6%	51.2%	1.9%	7.7%	33.4%	57.0%	1.9%
	20歳代	52	4	13	35	0	16	12	23	1	5	14	31	2
		100.0%	7.7%	25.0%	67.3%	0.0%	30.8%	23.1%	44.2%	1.9%	9.6%	26.9%	59.6%	3.8%
	30歳代	86	7	13	65	1	24	29	32	1	3	28	54	1
		100.0%	8.1%	15.1%	75.6%	1.2%	27.9%	33.7%	37.2%	1.2%	3.5%	32.6%	62.8%	1.2%
	40歳代	105	13	20	70	2	21	38	44	2	5	31	67	2
		100.0%	12.4%	19.0%	66.7%	1.9%	20.0%	36.2%	41.9%	1.9%	4.8%	29.5%	63.8%	1.9%
	50歳代	104	9	18	75	2	11	24	67	2	12	35	55	2
		100.0%	8.7%	17.3%	72.1%	1.9%	10.6%	23.1%	64.4%	1.9%	11.5%	33.7%	52.9%	1.9%
	60歳以上	69	0	13	55	1	0	20	47	2	7	31	30	1
		100.0%	0.0%	18.8%	79.7%	1.4%	0.0%	29.0%	68.1%	2.9%	10.1%	44.9%	43.5%	1.4%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	349	33	86	225	5	52	95	198	4	27	106	212	4
		100.0%	9.5%	24.6%	64.5%	1.4%	14.9%	27.2%	56.7%	1.1%	7.7%	30.4%	60.7%	1.1%
20歳代	62	6	20	36	0	13	17	32	0	3	15	44	0	
	100.0%	9.7%	32.3%	58.1%	0.0%	21.0%	27.4%	51.6%	0.0%	4.8%	24.2%	71.0%	0.0%	
30歳代	69	5	16	47	1	14	20	34	1	5	19	43	2	
	100.0%	7.2%	23.2%	68.1%	1.4%	20.3%	29.0%	49.3%	1.4%	7.2%	27.5%	62.3%	2.9%	
40歳代	75	7	18	47	3	14	24	35	2	7	30	37	1	
	100.0%	9.3%	24.0%	62.7%	4.0%	18.7%	32.0%	46.7%	2.7%	9.3%	40.0%	49.3%	1.3%	
50歳代	74	10	17	46	1	6	18	49	1	4	22	47	1	
	100.0%	13.5%	23.0%	62.2%	1.4%	8.1%	24.3%	66.2%	1.4%	5.4%	29.7%	63.5%	1.4%	
60歳以上	68	5	15	48	0	4	16	48	0	7	20	41	0	
	100.0%	7.4%	22.1%	70.6%	0.0%	5.9%	23.5%	70.6%	0.0%	10.3%	29.4%	60.3%	0.0%	
無回答	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	5	0	3	2	0	0	0	5	0	0	2	3	0	
	100.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	

※平成28年度鹿児島県調査は設問なし

(3) 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと

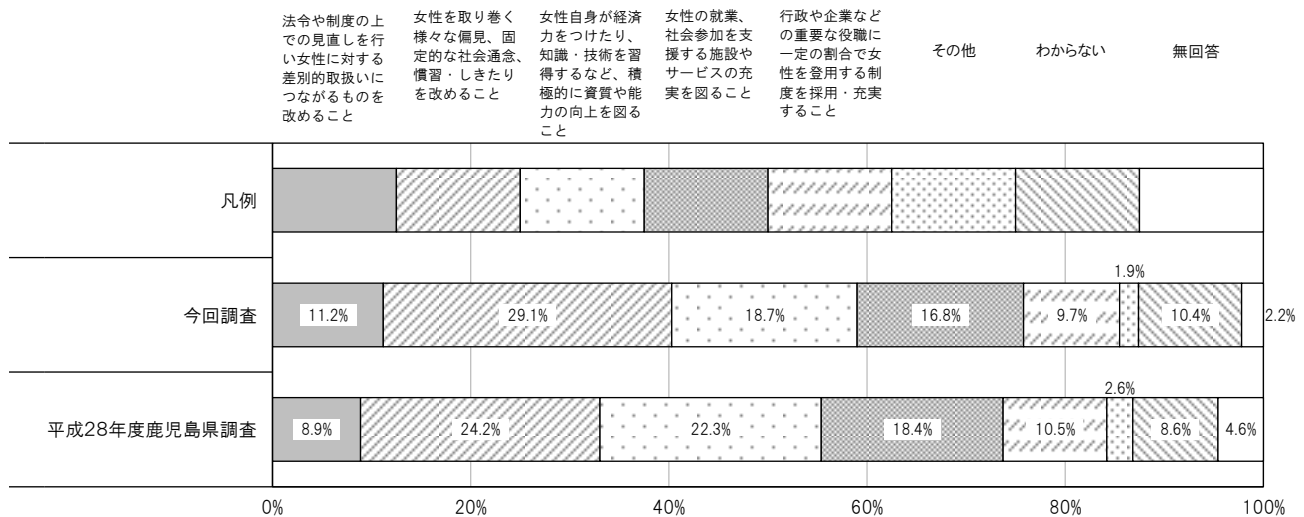
問3 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。(1つ選択)

全体では、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と回答した割合が29.1%で最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」18.7%、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」16.8%の順となっている。

県調査と比較すると、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が4.9ポイント高く、「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」が3.6ポイント低い。

性別で見ると、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」と回答した割合は、女性が20.2%、男性が12.6%で7.6ポイントの差があった。また、年代別では、女性の「20歳代」から「40歳代」と、男性の「20歳代」と「30歳代」の若い世代で「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と回答した人が多い。

男女がもっと平等になるために重要だと思うもの（全体、県調査）



男女がもっと平等になるために重要だと思うもの（性別・年代別）

法令や制度の上での見直しを行い女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること

女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること

女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること

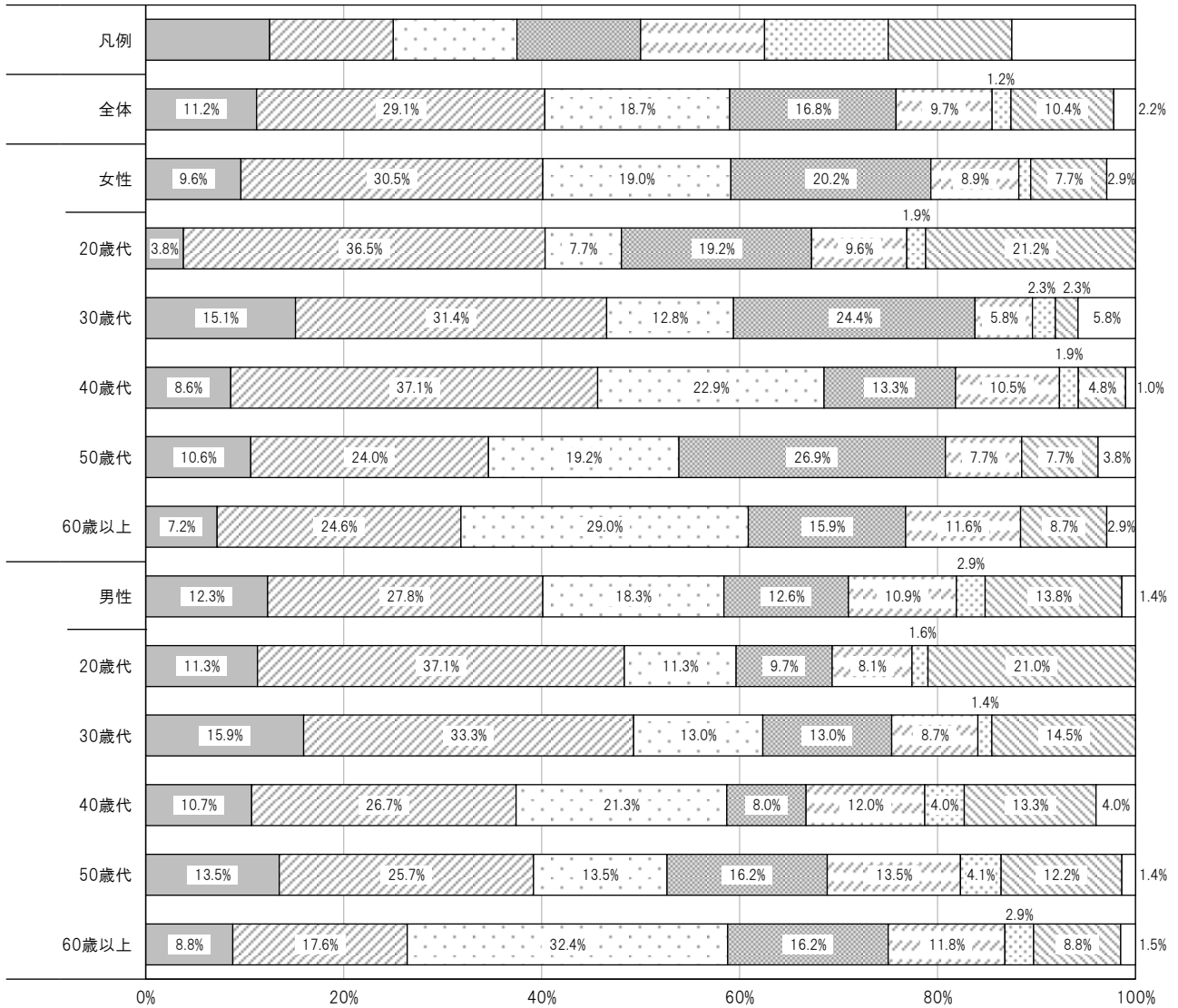
女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること

行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること

その他

わからない

無回答



男女がもっと平等になるために重要だと思うもの（性別・年代別，県調査）

		問3 男女がもっと平等になるために重要だと思うもの													
		サンプル数	女性の権利を改めること	法令や制度の差別的取扱いを直さない、	女性を取り巻く様々な偏見、	固定的な社会通念、慣習、しきたりを	女性自身が経済力をつけるなど、	知識・技術や能力の向上を図ること	女性の就業、サービスの充実を支援すること	行政や企業などの重要な役割に	一定の割合で女性の登用を	制度を採用・充実すること	その他	わからない	無回答
上段：度数 下段：%															
全体		770 100.0%	86 11.2%	224 29.1%	144 18.7%	129 16.8%	75 9.7%	15 1.9%	80 10.4%	17 2.2%					
性別・年代別	女性	416 100.0%	40 9.6%	127 30.5%	79 19.0%	84 20.2%	37 8.9%	5 1.2%	32 7.7%	12 2.9%					
	20歳代	52 100.0%	2 3.8%	19 36.5%	4 7.7%	10 19.2%	5 9.6%	1 1.9%	11 21.2%	0 0.0%					
	30歳代	86 100.0%	13 15.1%	27 31.4%	11 12.8%	21 24.4%	5 5.8%	2 2.3%	2 2.3%	5 5.8%					
	40歳代	105 100.0%	9 8.6%	39 37.1%	24 22.9%	14 13.3%	11 10.5%	2 1.9%	5 4.8%	1 1.0%					
	50歳代	104 100.0%	11 10.6%	25 24.0%	20 19.2%	28 26.9%	8 7.7%	0 0.0%	8 7.7%	4 3.8%					
	60歳以上	69 100.0%	5 7.2%	17 24.6%	20 29.0%	11 15.9%	8 11.6%	0 0.0%	6 8.7%	2 2.9%					
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
	男性	349 100.0%	43 12.3%	97 27.8%	64 18.3%	44 12.6%	38 10.9%	10 2.9%	48 13.8%	5 1.4%					
	20歳代	62 100.0%	7 11.3%	23 37.1%	7 11.3%	6 9.7%	5 8.1%	1 1.6%	13 21.0%	0 0.0%					
	30歳代	69 100.0%	11 15.9%	23 33.3%	9 13.0%	9 13.0%	6 8.7%	1 1.4%	10 14.5%	0 0.0%					
	40歳代	75 100.0%	8 10.7%	20 26.7%	16 21.3%	6 8.0%	9 12.0%	3 4.0%	10 13.3%	3 4.0%					
	50歳代	74 100.0%	10 13.5%	19 25.7%	10 13.5%	12 16.2%	10 13.5%	3 4.1%	9 12.2%	1 1.4%					
	60歳以上	68 100.0%	6 8.8%	12 17.6%	22 32.4%	11 16.2%	8 11.8%	2 2.9%	6 8.8%	1 1.5%					
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
	無回答	5 100.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
鹿平 児成 島2 県8 調査 年度	全体	2,227 100.0%	198 8.9%	538 24.2%	497 22.3%	409 18.4%	233 10.5%	58 2.6%	192 8.6%	102 4.6%					
	女性	1,252 100.0%	78 6.2%	296 23.6%	316 25.2%	273 21.8%	112 8.9%	27 2.2%	111 8.9%	39 3.1%					
	男性	928 100.0%	119 12.8%	239 25.8%	178 19.2%	136 14.7%	117 12.6%	31 3.3%	76 8.2%	32 3.4%					

6 就業について

(4) 女性が職業を持つことについての意識

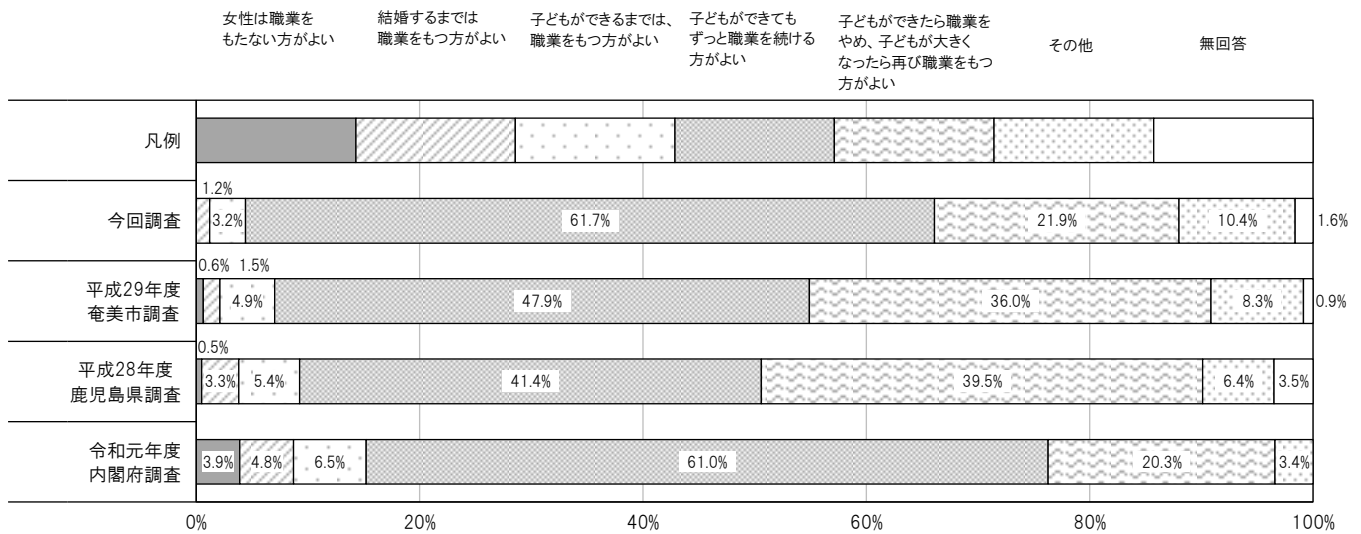
問4 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。
(1つ選択)

全体では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が、61.7%と最も高く、次いで「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」21.9%、「その他」10.4%の順となっている。「女性は職業をもたない方がよい」の回答はなかった。

前回調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が13.8ポイント高く、「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が14.1ポイント低くなっており、県調査との比較でもおおよそ同じであった。内閣府調査との比較では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の回答については、大きな差はないが、「女性は職業をもたない方がよい」「結婚するまでは、職業をもつ方がよい」「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」でそれぞれ3.0ポイント以上の差がある。

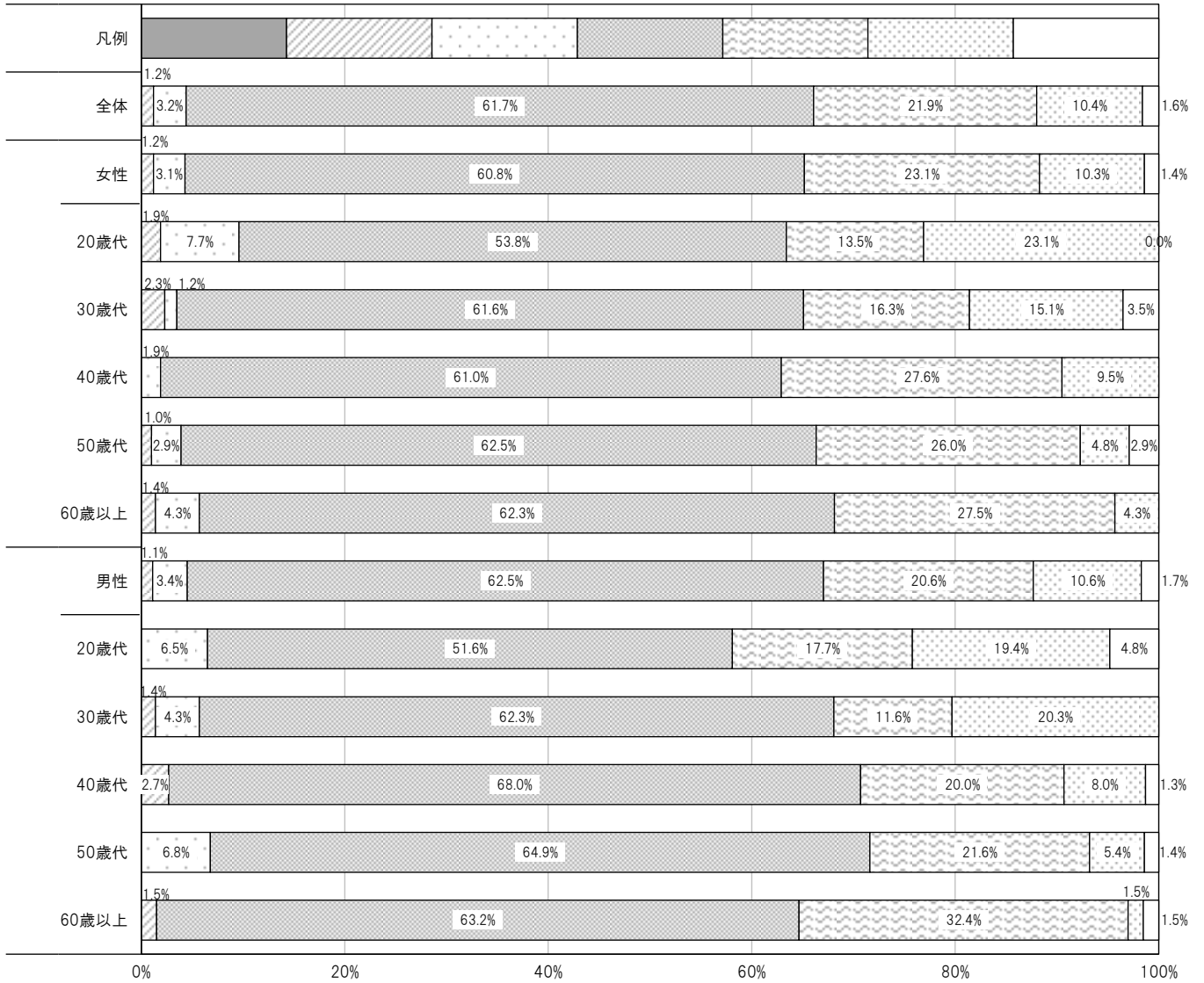
性別では大きな差はないが、年代別では、女性の「20歳代」と男性の「30歳代」で「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合が、他の年代より少なく、「その他」と回答した割合が高くなっている。なお、「その他」の回答では“本人の自由であるべき”とした記述が多かった。(95ページに掲載)

女性が職業をもつことについての意識（全体、前回・県・内閣府調査）



女性が職業をもつことについての意識（性別・年代別）

女性は職業をもたない方がよい 結婚するまでは職業をもつ方がよい 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 子どもができてずっと職業を続ける方がよい 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい その他 無回答



女性が職業をもつことについての意識（性別・年代別、前回・県・内閣府調査）

		問4 女性が職業をもつことについて								
		サンプル数	も女性はない方がよい	結婚するまでは、職業をもつ方がよい	子どもが職業をもつことができるまでは、職業をもつ方がよい	子どもが職業を続ける方がよい	子どもができたなら職業をやめ再び職業をもつ方がよい	子どもができたなら職業をやめ	その他	無回答
上段:度数 下段:%										
全体		770 100.0%	0 0.0%	9 1.2%	25 3.2%	475 61.7%	169 21.9%	80 10.4%	12 1.6%	
性別・年代別	女性	416 100.0%	0 0.0%	5 1.2%	13 3.1%	253 60.8%	96 23.1%	43 10.3%	6 1.4%	
	20歳代	52 100.0%	0 0.0%	1 1.9%	4 7.7%	28 53.8%	7 13.5%	12 23.1%	0 0.0%	
	30歳代	86 100.0%	0 0.0%	2 2.3%	1 1.2%	53 61.6%	14 16.3%	13 15.1%	3 3.5%	
	40歳代	105 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	64 61.0%	29 27.6%	10 9.5%	0 0.0%	
	50歳代	104 100.0%	0 0.0%	1 1.0%	3 2.9%	65 62.5%	27 26.0%	5 4.8%	3 2.9%	
	60歳以上	69 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	43 62.3%	19 27.5%	3 4.3%	0 0.0%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	男性	349 100.0%	0 0.0%	4 1.1%	12 3.4%	218 62.5%	72 20.6%	37 10.6%	6 1.7%	
	20歳代	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.5%	32 51.6%	11 17.7%	12 19.4%	3 4.8%	
	30歳代	69 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	43 62.3%	8 11.6%	14 20.3%	0 0.0%	
	40歳代	75 100.0%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%	51 68.0%	15 20.0%	6 8.0%	1 1.3%	
	50歳代	74 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.8%	48 64.9%	16 21.6%	4 5.4%	1 1.4%	
	60歳以上	68 100.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	43 63.2%	22 32.4%	1 1.5%	1 1.5%	
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
無回答	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%		
奄美市調査	平成29年度 全体	470 100.0%	3 0.6%	7 1.5%	23 4.9%	225 47.9%	169 36.0%	39 8.3%	4 0.9%	
	女性	264 100.0%	1 0.4%	4 1.5%	9 3.4%	126 47.7%	97 36.7%	24 9.1%	3 1.1%	
	男性	206 100.0%	2 1.0%	3 1.5%	14 6.8%	99 48.1%	72 35.0%	15 7.3%	1 0.5%	
鹿児島県調査	平成28年度 全体	2,227 100.0%	11 0.5%	74 3.3%	121 5.4%	921 41.4%	880 39.5%	142 6.4%	78 3.5%	
	女性	1,252 100.0%	5 0.4%	41 3.3%	49 3.9%	518 41.4%	534 42.7%	78 6.2%	27 2.2%	
	男性	928 100.0%	6 0.6%	33 3.6%	71 7.7%	397 42.8%	340 36.6%	61 6.6%	20 2.2%	
内閣府世論調査	令和元年度 全体	2,645 100.0%								
	女性	1,407 100.0%								
	男性	1,238 100.0%								

※平成元年度内閣府世論調査では、選択肢の「わからない」を「その他」に合算して計上

女性が職業をもつことについての意識（職業別・性別）

上段: 度数 下段: %		問4 女性が職業をもつことについて							無回答
		サンプル数	も女性はない方がよい	結婚するまでは、職業をもつ方がよい	子どもができればよい	子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	子どもが大きくなったら職業をやめ、子どもができた方がよい	その他	
職業別・性別	自営業主	73 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.7%	48 65.8%	18 24.7%	4 5.5%	0 0.0%
	女性	32 100.0%	0 0.0%	1 3.1%	2 6.3%	20 62.5%	8 25.0%	1 3.1%	0 0.0%
	男性	41 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 68.3%	10 24.4%	3 7.3%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	家族従事者	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 77.8%	3 16.7%	1 5.6%	0 0.0%
	女性	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 84.6%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	雇用者	524 100.0%	0 0.0%	4 0.8%	13 2.5%	332 63.4%	110 21.0%	57 10.9%	8 1.5%
	女性	289 100.0%	0 0.0%	2 0.7%	5 1.7%	181 62.6%	64 22.1%	34 11.8%	3 1.0%
	男性	231 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	8 3.5%	148 64.1%	45 19.5%	23 10.0%	5 2.2%
	無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	131 100.0%	0 0.0%	2 1.5%	9 6.9%	74 56.5%	29 22.1%	17 13.0%	0 0.0%
	女性	66 100.0%	0 0.0%	1 1.5%	6 9.1%	34 51.5%	18 27.3%	7 10.6%	0 0.0%
	男性	64 100.0%	0 0.0%	1 1.6%	3 4.7%	39 60.9%	11 17.2%	10 15.6%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

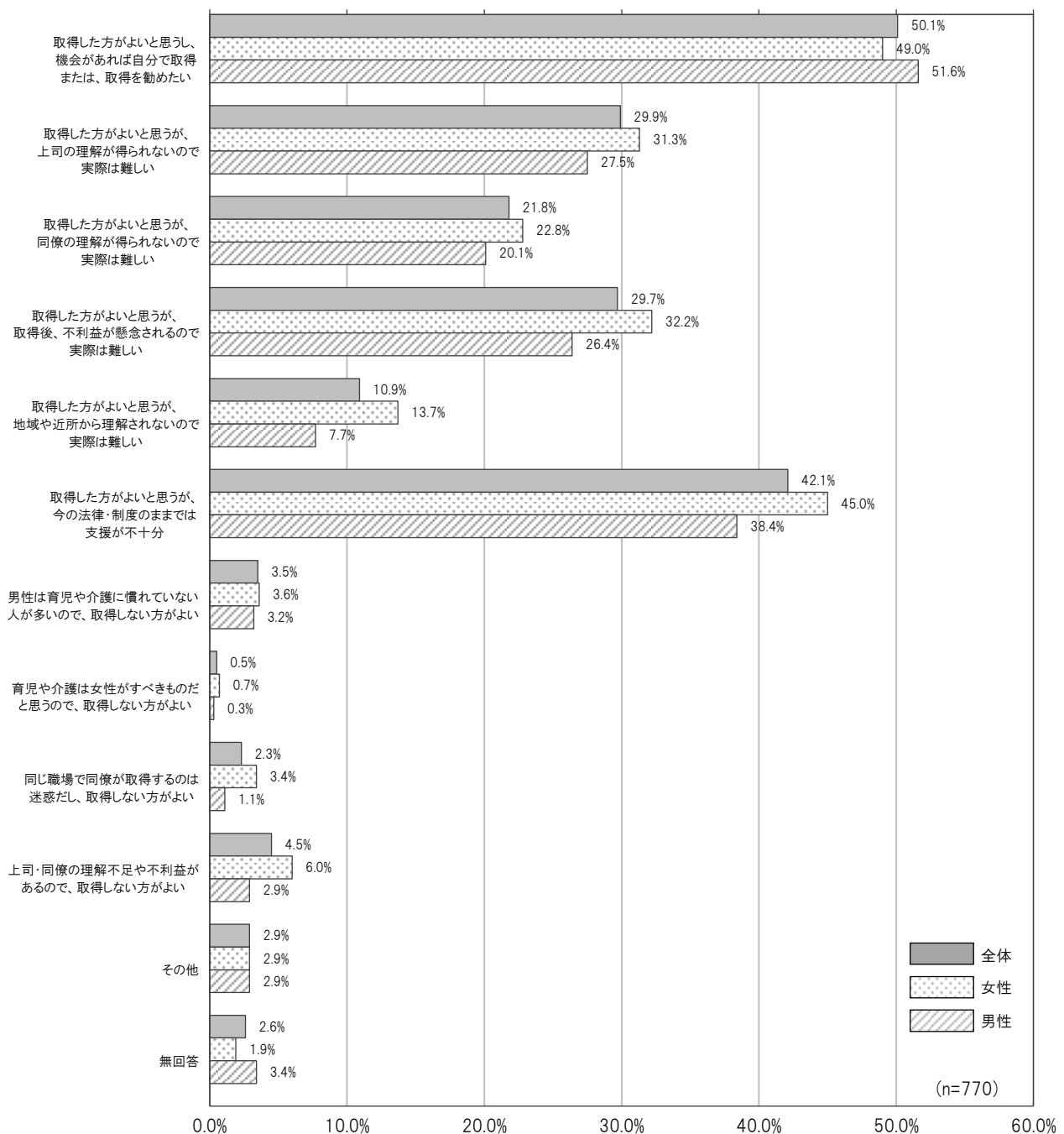
(5) 男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについての意識

問5 あなたは、男性が育児や介護を行うために、休暇を取得することについてどう思いますか。

全体では、「取得した方がよいと思うし、機会があれば自分で取得または、取得を勧めたい」と回答した割合が50.1%と最も高く、次いで「取得した方がよいと思うが、今の法律・制度のままでは支援が不十分」42.1%、「取得した方がよいと思うが、上司の理解が得られないので実際は難しい」29.9%の順となっている。

性別で見ると、男女とも「取得した方がよいと思うし、機会があれば自分で取得または、取得を勧めたい」と回答した割合が最も高いが、女性では「取得した方がよいと思うが、上司の理解が得られないので実際は難しい」「取得した方がよいと思うが、取得後、不利益が懸念されるので実際は難しい」「取得した方がよいと思うが、地域や近所から理解されないので実際は難しい」「取得した方がよいと思うが、今の法律・制度のままでは支援が不十分」など、実際は難しいと回答した割合が男性より高くなっている。

男性が育児や介護休暇を取得することについて（全体・性別）



男性が育児や介護休暇を取得することについて（全体・性別）

上段：度数 下段：%		問5 男性が育児や介護休暇を取得することについて																					
		サンプル数	機会が得られたい	実際に難しい	上司の理解が得られない	実際の理方がよい	同僚の理方がよい	取得した方がよい	取得した方が不利	取得した方が懸念される	地域や近所から理解されない	支援が不十分	今の法律・制度のまま	取得した方がよい	男性は育児や介護に慣れていない	育児や介護は女性がすべき	同じ職場で同僚が取得する	迷惑だし、取得しない	あるので、取得しない	上司・同僚の理解不足や不利益	その他	無回答	
全体	770 100.0%	386 50.1%	230 29.9%	168 21.8%	229 29.7%	84 10.9%	324 42.1%	27 3.5%	4 0.5%	18 2.3%	35 4.5%	22 2.9%	20 2.6%										
性別・年代別	女性	416 100.0%	204 49.0%	130 31.3%	95 22.8%	134 32.2%	57 13.7%	187 45.0%	15 3.6%	3 0.7%	14 3.4%	25 6.0%	12 2.9%	8 1.9%									
	20歳代	52 100.0%	29 55.8%	11 21.2%	7 13.5%	11 21.2%	5 9.6%	24 46.2%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%	4 7.7%	4 7.7%	1 1.9%									
	30歳代	86 100.0%	44 51.2%	31 36.0%	18 20.9%	28 32.6%	13 15.1%	39 45.3%	1 1.2%	0 0.0%	5 5.8%	6 7.0%	1 1.2%	4 4.7%									
	40歳代	105 100.0%	51 48.6%	38 36.2%	30 28.6%	41 39.0%	18 17.1%	47 44.8%	4 3.8%	1 1.0%	2 1.9%	7 6.7%	4 3.8%	0 0.0%									
	50歳代	104 100.0%	44 42.3%	29 27.9%	25 24.0%	28 26.9%	12 11.5%	47 45.2%	4 3.8%	0 0.0%	6 5.8%	7 6.7%	2 1.9%	2 1.9%									
	60歳以上	69 100.0%	36 52.2%	21 30.4%	15 21.7%	26 37.7%	9 13.0%	30 43.5%	4 5.8%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%									
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%									
	男性	349 100.0%	180 51.6%	96 27.5%	70 20.1%	92 26.4%	27 7.7%	134 38.4%	11 3.2%	1 0.3%	4 1.1%	10 2.9%	10 2.9%	12 3.4%									
	20歳代	62 100.0%	41 66.1%	24 38.7%	15 24.2%	16 25.8%	3 4.8%	20 32.3%	2 3.2%	0 0.0%	2 3.2%	0 0.0%	1 1.6%	2 3.2%									
	30歳代	69 100.0%	38 55.1%	18 26.1%	9 13.0%	14 20.3%	6 8.7%	26 37.7%	3 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	3 4.3%	3 4.3%									
	40歳代	75 100.0%	43 57.3%	19 25.3%	19 25.3%	16 21.3%	5 6.7%	30 40.0%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	3 4.0%	3 4.0%	1 1.3%									
	50歳代	74 100.0%	33 44.6%	17 23.0%	16 21.6%	24 32.4%	7 9.5%	28 37.8%	3 4.1%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.7%	3 4.1%	2 2.7%									
	60歳以上	68 100.0%	24 35.3%	18 26.5%	11 16.2%	22 32.4%	6 8.8%	30 44.1%	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.4%	0 0.0%	4 5.9%									
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%									
	無回答	5 100.0%	2 40.0%	4 80.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%									

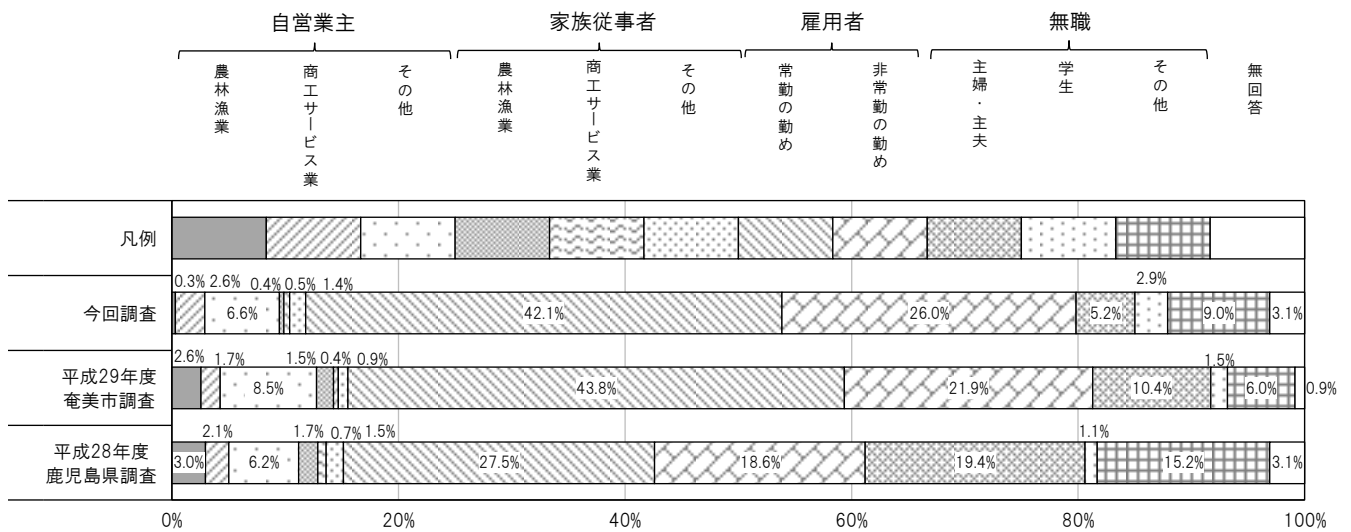
(6) 現在の職業

問 6-1 あなたの職業を次の1～11の中から1つだけお選びください。

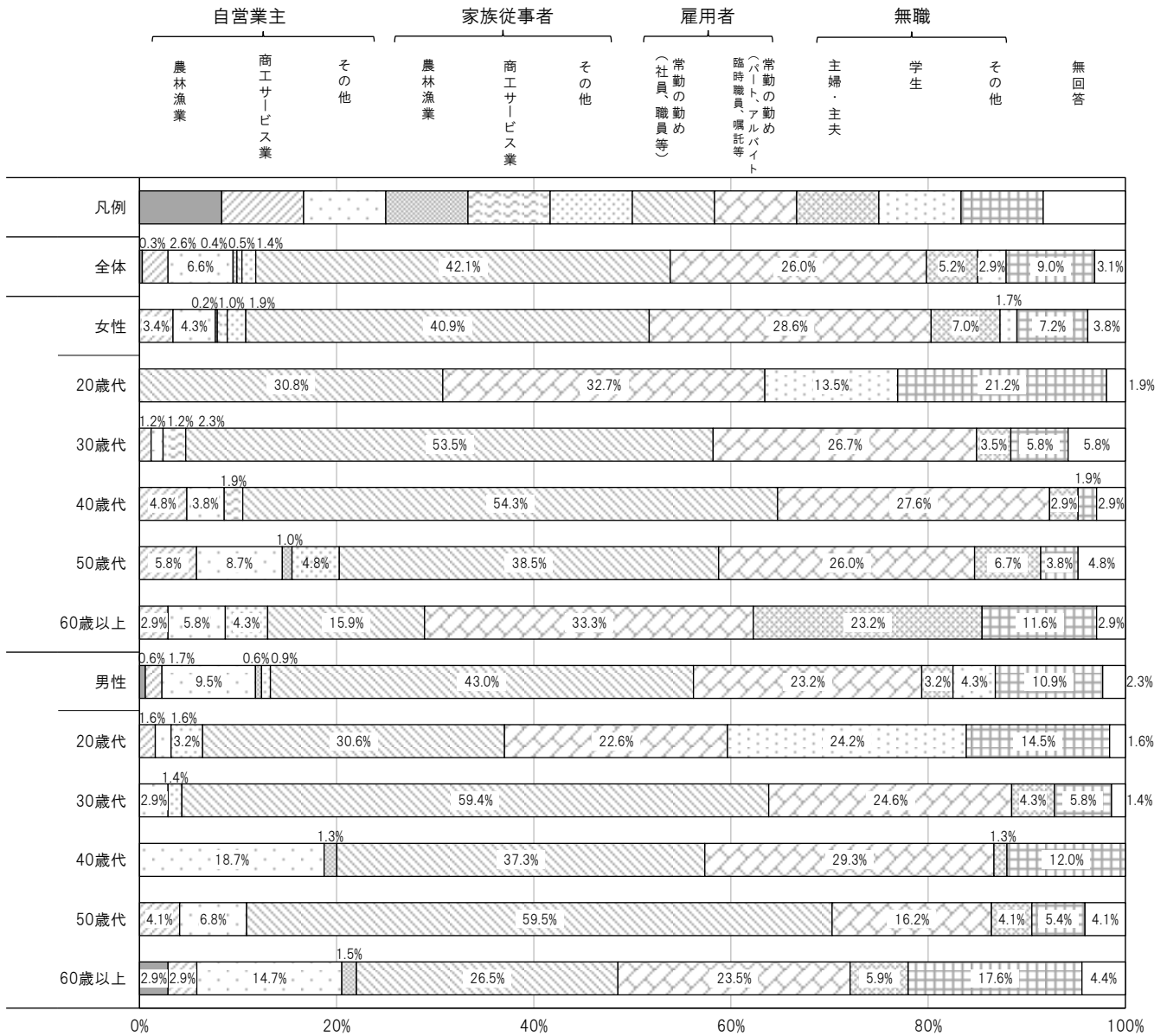
全体では、雇用者の「常勤の勤め（社員、職員等）」と回答した割合が42.1%と最も高く、次いで、雇用者の「非常勤の勤め（パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等）」26.0%、無職の「その他」9.0%の順となっている。

性別で見ると、男女とも雇用者の「常勤の勤め（社員、職員等）」と回答した割合が最も高いが、女性の「20歳代」と「60歳以上」では、「非常勤の勤め（パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等）」と回答した割合が高くなっている。

現在の職業（全体、前回・県調査）



現在の職業（性別・年代別）



現在の職業（性別・年代別，前回・県調査）

上段：度数 下段：%		問6-1 職業												
		サンプル数	自営業主			家族従事者			雇用者		無職			無回答
			農林漁業	商工サービス業	その他	農林漁業	商工サービス業	その他	常勤の勤め (社員、職員等)	非常勤の勤め (パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等)	主婦・主夫	学生	その他	
全体	770	2	20	51	3	4	11	324	200	40	22	69	24	
	100.0%	0.3%	2.6%	6.6%	0.4%	0.5%	1.4%	42.1%	26.0%	5.2%	2.9%	9.0%	3.1%	
性別・年代別	女性	416	0	14	18	1	4	8	170	119	29	7	30	16
		100.0%	0.0%	3.4%	4.3%	0.2%	1.0%	1.9%	40.9%	28.6%	7.0%	1.7%	7.2%	3.8%
	20歳代	52	0	0	0	0	0	0	16	17	0	7	11	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	32.7%	0.0%	13.5%	21.2%	1.9%
	30歳代	86	0	1	1	0	2	0	46	23	3	0	5	5
		100.0%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	2.3%	0.0%	53.5%	26.7%	3.5%	0.0%	5.8%	5.8%
	40歳代	105	0	5	4	0	2	0	57	29	3	0	2	3
		100.0%	0.0%	4.8%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%	54.3%	27.6%	2.9%	0.0%	1.9%	2.9%
	50歳代	104	0	6	9	1	0	5	40	27	7	0	4	5
		100.0%	0.0%	5.8%	8.7%	1.0%	0.0%	4.8%	38.5%	26.0%	6.7%	0.0%	3.8%	4.8%
	60歳以上	69	0	2	4	0	0	3	11	23	16	0	8	2
		100.0%	0.0%	2.9%	5.8%	0.0%	0.0%	4.3%	15.9%	33.3%	23.2%	0.0%	11.6%	2.9%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	349	2	6	33	2	0	3	150	81	11	15	38	8
	100.0%	0.6%	1.7%	9.5%	0.6%	0.0%	0.9%	43.0%	23.2%	3.2%	4.3%	10.9%	2.3%	
20歳代	62	0	1	1	0	0	2	19	14	0	15	9	1	
	100.0%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%	3.2%	30.6%	22.6%	0.0%	24.2%	14.5%	1.6%	
30歳代	69	0	0	2	0	0	1	41	17	3	0	4	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	59.4%	24.6%	4.3%	0.0%	5.8%	1.4%	
40歳代	75	0	0	14	1	0	0	28	22	1	0	9	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	18.7%	1.3%	0.0%	0.0%	37.3%	29.3%	1.3%	0.0%	12.0%	0.0%	
50歳代	74	0	3	5	0	0	0	44	12	3	0	4	3	
	100.0%	0.0%	4.1%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	59.5%	16.2%	4.1%	0.0%	5.4%	4.1%	
60歳以上	68	2	2	10	1	0	0	18	16	4	0	12	3	
	100.0%	2.9%	2.9%	14.7%	1.5%	0.0%	0.0%	26.5%	23.5%	5.9%	0.0%	17.6%	4.4%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
奄美市調査 平成29年度	全体	470	12	8	40	7	2	4	206	103	49	7	28	4
		100.0%	2.6%	1.7%	8.5%	1.5%	0.4%	0.9%	43.8%	21.9%	10.4%	1.5%	6.0%	0.9%
	女性	264	3	3	19	4	2	4	87	79	46	6	10	1
	100.0%	1.1%	1.1%	7.2%	1.5%	0.8%	1.5%	33.0%	29.9%	17.4%	2.3%	3.8%	0.4%	
男性	206	9	5	21	3	0	0	119	24	3	1	18	3	
	100.0%	4.4%	2.4%	10.2%	1.5%	0.0%	0.0%	57.8%	11.7%	1.5%	0.5%	8.7%	1.5%	
鹿児島県調査 平成28年度	全体	2,227	66	46	137	38	16	34	612	414	432	24	339	69
		100.0%	3.0%	2.1%	6.2%	1.7%	0.7%	1.5%	27.5%	18.6%	19.4%	1.1%	15.2%	3.1%
	女性	1,252	12	20	50	23	11	29	245	319	362	14	147	20
	100.0%	1.0%	1.6%	4.0%	1.8%	0.9%	2.3%	19.6%	25.5%	28.9%	1.1%	11.7%	1.6%	
男性	928	53	25	86	12	5	4	365	94	68	10	187	19	
	100.0%	5.7%	2.7%	9.3%	1.3%	0.5%	0.4%	39.3%	10.1%	7.3%	1.1%	20.2%	2.0%	

(7) 希望する働き方

問6-2 【問6-1で無職「9」～「11」と回答された方におたずねします。】

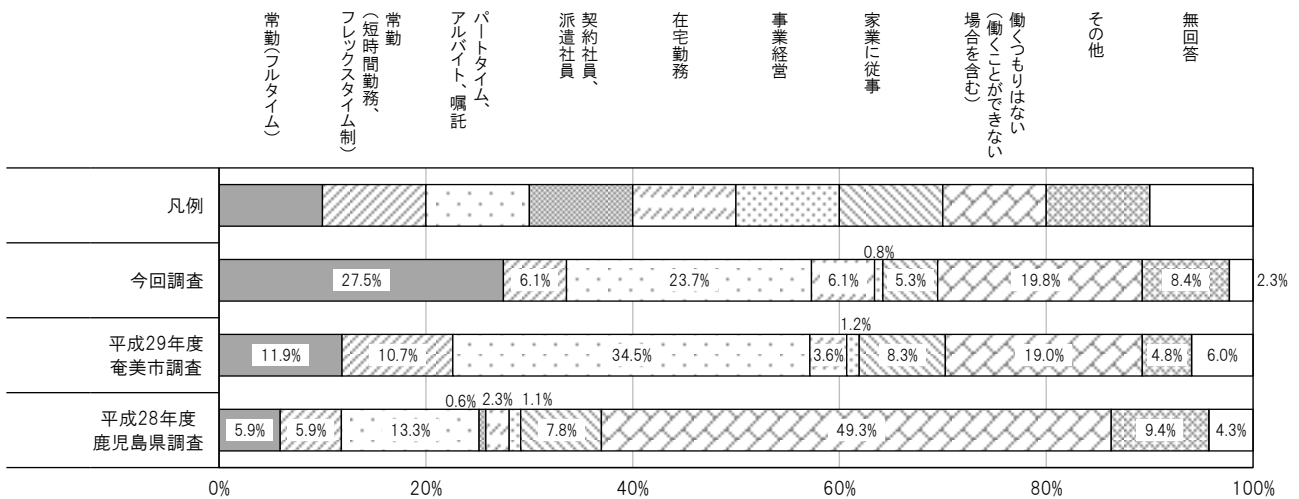
あなたはどのような形で働きたいですか。次の1～9の中から1つだけお選びください。

全体では、「常勤（フルタイム）」と回答した人の割合が、27.5%と最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト、嘱託」23.7%、「働くつもりはない（働くことができない場合を含む）」19.8%の順となっている。

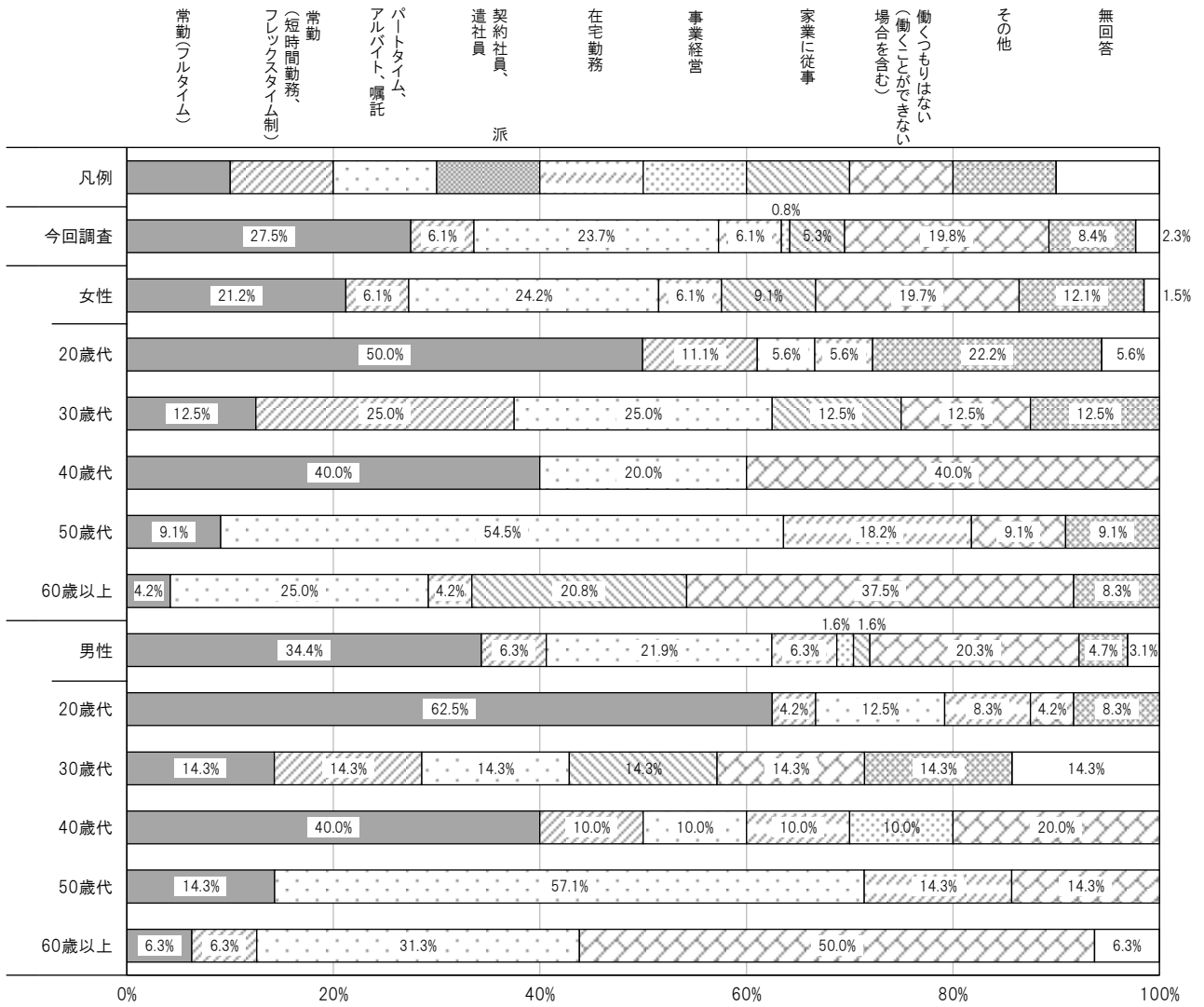
前回調査と比較すると、「常勤（フルタイム）」と回答した人の割合が15.6ポイント増えており、県調査に比べると、21.6ポイント高い。

性別でみると、女性では「パートタイム、アルバイト、嘱託」の24.2%、男性では「常勤（フルタイム）」の34.4%がそれぞれ最も高くなっており、男性で「働くつもりはない（働くことができない場合を含む）」と回答した割合は、前回調査より20.6ポイント低くなっている。年代別では、男女とも「20歳代」と「40歳代」の「常勤（フルタイム）」と回答した割合が高い。

希望する働き方（全体、前回・県調査）



希望する働き方（性別・年代別）



希望する働き方（性別・年代別，前回・県調査）

		問6-2 希望する働き方										
		サンプル数	常勤 （フルタイム）	常勤 （短時間勤務、 フレックスタイム制）	アルバイト、 嘱託	契約社員、 派遣社員	在宅勤務	事業経営	家業に 従事	働くつもりは ない （働くことが できない 場合を含む）	その他	無回答
上段：度数 下段：%												
全体		131 100.0%	36 27.5%	8 6.1%	31 23.7%	0 0.0%	8 6.1%	1 0.8%	7 5.3%	26 19.8%	11 8.4%	3 2.3%
性別・年代別	女性	66 100.0%	14 21.2%	4 6.1%	16 24.2%	0 0.0%	4 6.1%	0 0.0%	6 9.1%	13 19.7%	8 12.1%	1 1.5%
	20歳代	18 100.0%	9 50.0%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 22.2%	1 5.6%
	30歳代	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%
	40歳代	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	11 100.0%	1 9.1%	0 0.0%	6 54.5%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	60歳以上	24 100.0%	1 4.2%	0 0.0%	6 25.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	5 20.8%	9 37.5%	2 8.3%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	64 100.0%	22 34.4%	4 6.3%	14 21.9%	0 0.0%	4 6.3%	1 1.6%	1 1.6%	13 20.3%	3 4.7%	2 3.1%
	20歳代	24 100.0%	15 62.5%	1 4.2%	3 12.5%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	2 8.3%	0 0.0%
	30歳代	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%
	40歳代	10 100.0%	4 40.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳以上	16 100.0%	1 6.3%	1 6.3%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 50.0%	0 0.0%	1 6.3%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
奄美市調査	平成29年度	84 100.0%	10 11.9%	9 10.7%	29 34.5%	0 0.0%	3 3.6%	1 1.2%	7 8.3%	16 19.0%	4 4.8%	5 6.0%
	女性	62 100.0%	6 9.7%	8 12.9%	24 38.7%	0 0.0%	2 3.2%	1 1.6%	7 11.3%	7 11.3%	3 4.8%	4 6.5%
	男性	22 100.0%	4 18.2%	1 4.5%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	9 40.9%	1 4.5%	1 4.5%
鹿平成 児島28 県調査 年度	平成28年度	795 100.0%	47 5.9%	47 5.9%	106 13.3%	5 0.6%	18 2.3%	9 1.1%	62 7.8%	392 49.3%	75 9.4%	34 4.3%
	女性	523 100.0%	28 5.4%	38 7.3%	79 15.1%	4 0.8%	14 2.7%	6 1.1%	57 10.9%	234 44.7%	42 8.0%	21 4.0%
	男性	265 100.0%	19 7.2%	9 3.4%	27 10.2%	1 0.4%	3 1.1%	3 1.1%	5 1.9%	153 57.7%	32 12.1%	13 4.9%

(8) 子育てや介護等の家庭の事情を抱えながら、働きやすい職場であるか

問7 【問6-1で雇用者「7」または「8」と回答された方におたずねします。】

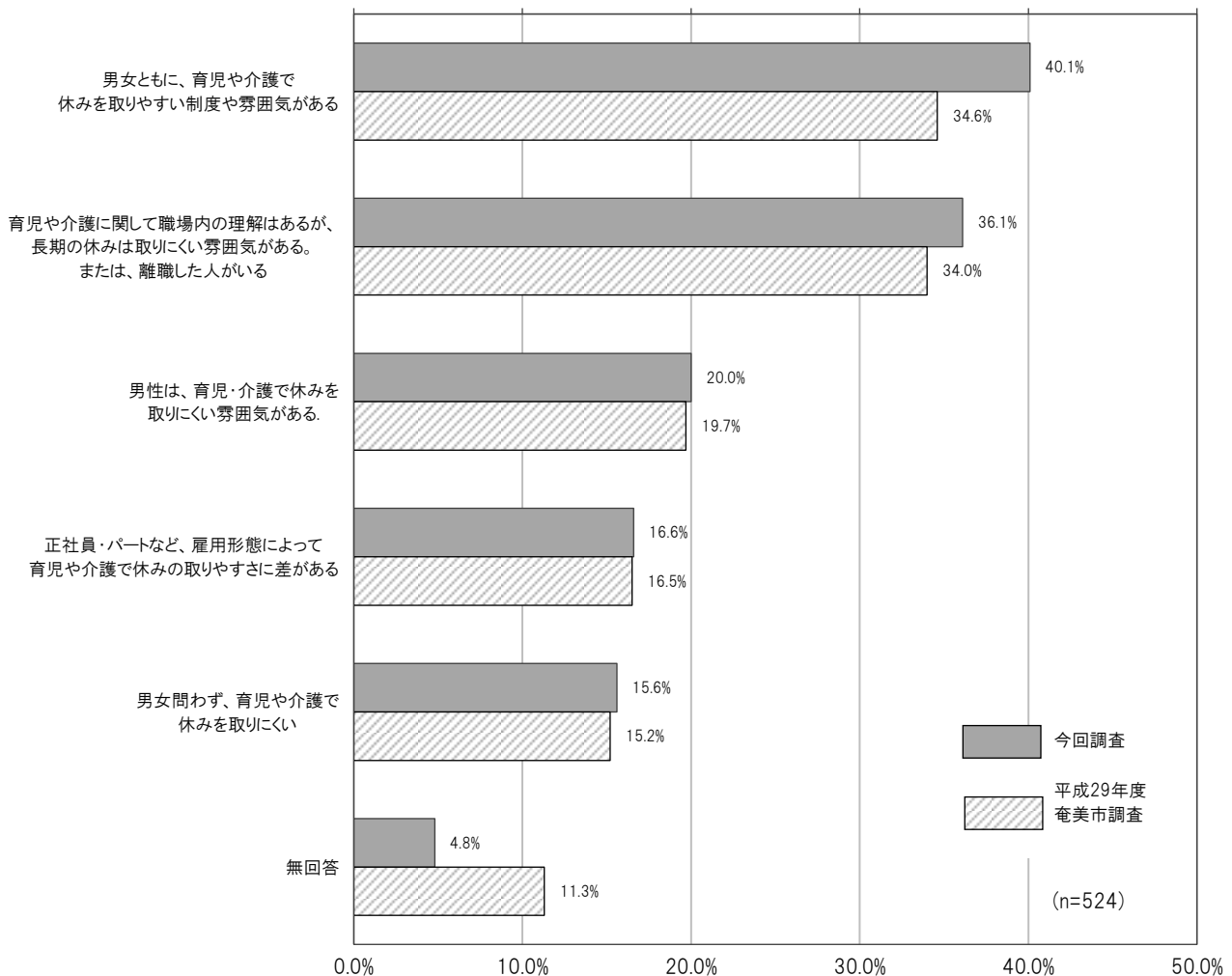
あなたの職場は、子育てや介護等の家庭の事情を抱えながら、働きやすい職場ですか。

全体では、「男女ともに、育児や介護で休みを取りやすい制度や雰囲気がある」と回答した割合が、40.1%と最も高く、次いで「育児や介護に関して職場内の理解はあるが、長期の休みは取りにくい雰囲気がある。または、離職した人がいる」36.1%、「男性は、育児・介護で休みを取りにくい雰囲気がある」20.0%の順となっている。

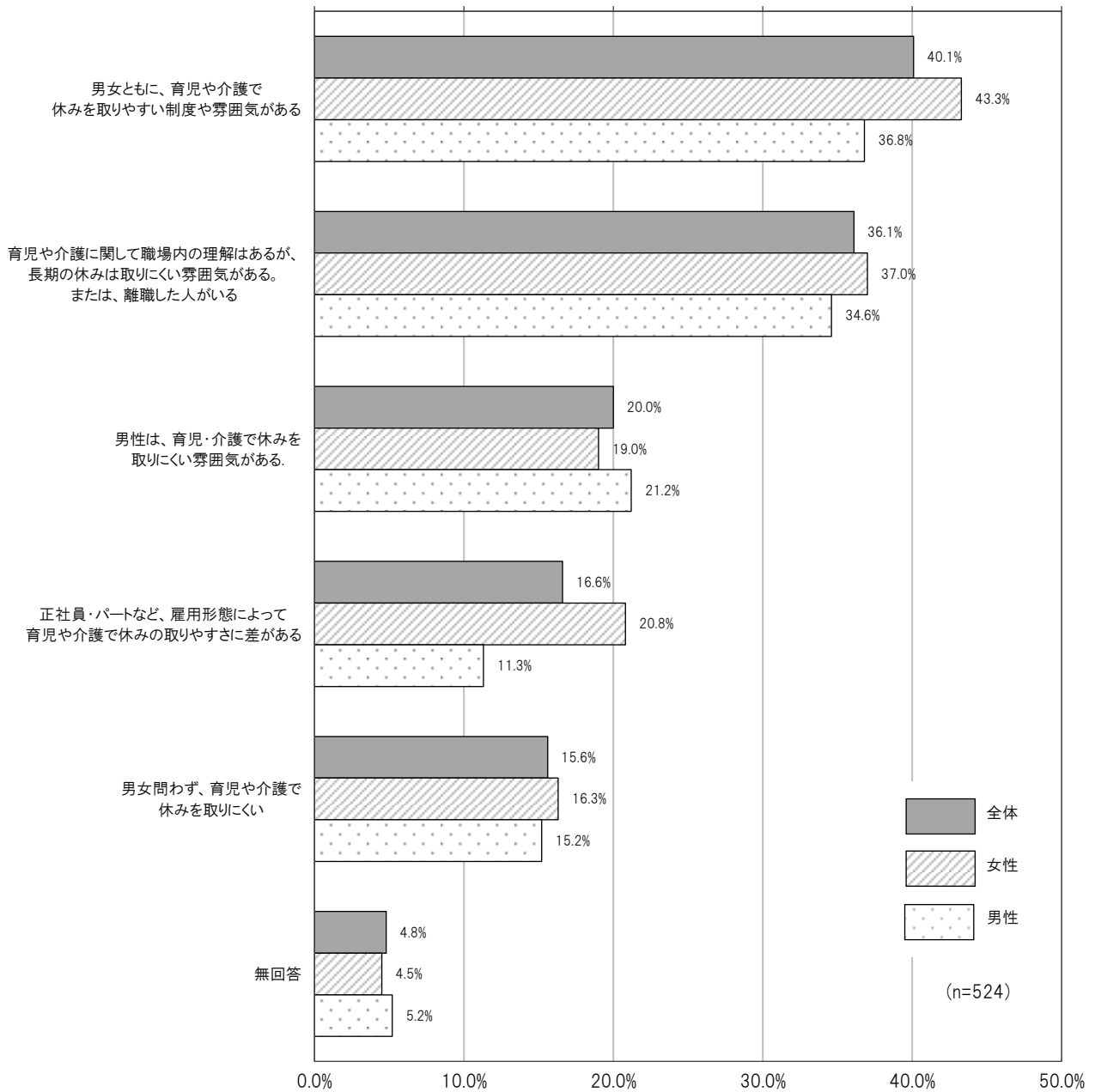
前回調査と比較して大きな差はないが、「男女ともに、育児や介護で休みを取りやすい制度や雰囲気がある」と回答した割合が、5.5ポイント増えている。

性別で見ると、男女とも「男女ともに、育児や介護で休みを取りやすい制度や雰囲気がある」と回答した割合が最も高く、次いで「育児や介護に関して職場内の理解はあるが、長期の休みは取りにくい雰囲気がある。または、離職した人がいる」の順となっている。また、「正社員・パートなど、雇用形態によって育児や介護で休みの取りやすさに差がある」と回答した割合で、女性が男性より9.5ポイント高い。

家庭の事情を抱えながら働きやすい職場であるか（全体、前回調査）



家庭の事情を抱えながら働きやすい職場であるか（全体・性別）



家庭の事情を抱えながら働きやすい職場であるか（性別・年代別、前回調査）

		問7 家庭の事情を抱えながらの職場の働きやすさ								
		サンプル数	休みをとりにやすい制度や雰囲気がある	男女ともに、育児や介護で	また、離職したり人がいる	長期休暇の取得が	育児や介護に関する職場の理解がある	男性には、育児・介護で休みを取りにくい雰囲気がある	正社員・パートなど、雇用形態により	休みを取らず、育児や介護で
上段：度数 下段：%										
全体		524 100.0%	210 40.1%	189 36.1%	105 20.0%	87 16.6%	82 15.6%	25 4.8%		
性別・年代別	女性	289 100.0%	125 43.3%	107 37.0%	55 19.0%	60 20.8%	47 16.3%	13 4.5%		
	20歳代	33 100.0%	17 51.5%	13 39.4%	3 9.1%	1 3.0%	4 12.1%	3 9.1%		
	30歳代	69 100.0%	30 43.5%	26 37.7%	17 24.6%	19 27.5%	12 17.4%	2 2.9%		
	40歳代	86 100.0%	35 40.7%	33 38.4%	20 23.3%	20 23.3%	14 16.3%	2 2.3%		
	50歳代	67 100.0%	28 41.8%	23 34.3%	11 16.4%	10 14.9%	10 14.9%	5 7.5%		
	60歳以上	34 100.0%	15 44.1%	12 35.3%	4 11.8%	10 29.4%	7 20.6%	1 2.9%		
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	男性	231 100.0%	85 36.8%	80 34.6%	49 21.2%	26 11.3%	35 15.2%	12 5.2%		
	20歳代	33 100.0%	14 42.4%	10 30.3%	5 15.2%	4 12.1%	4 12.1%	1 3.0%		
	30歳代	58 100.0%	20 34.5%	22 37.9%	13 22.4%	6 10.3%	9 15.5%	4 6.9%		
	40歳代	50 100.0%	18 36.0%	16 32.0%	10 20.0%	7 14.0%	8 16.0%	1 2.0%		
	50歳代	56 100.0%	22 39.3%	21 37.5%	12 21.4%	4 7.1%	10 17.9%	2 3.6%		
	60歳以上	34 100.0%	11 32.4%	11 32.4%	9 26.5%	5 14.7%	4 11.8%	4 11.8%		
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
無回答	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%			
奄美市調査 平成29年度	全体	309 -	107 34.6%	105 34.0%	61 19.7%	51 16.5%	47 15.2%	35 11.3%		
	女性	166 -	50 30.1%	65 39.2%	23 13.9%	39 23.5%	24 14.5%	17 10.2%		
	男性	143 -	57 39.9%	40 28.0%	38 26.6%	12 8.4%	23 16.1%	18 12.6%		

(9) リーダー・管理職への昇進希望の有無

問 8 【問 6-1 で「雇用者」「7」または「8」と回答された方におたずねします。】
あなたは、職場でリーダー・管理職になりたいですか。

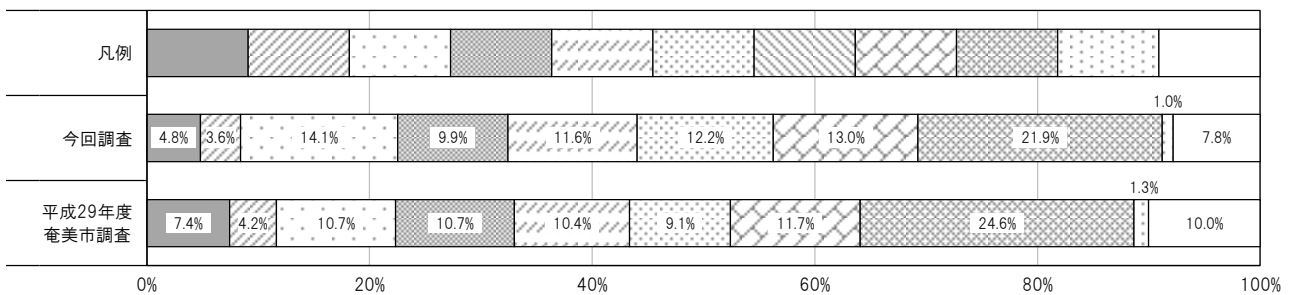
全体では、「特に希望はない」と回答した割合が、21.9%と最も高く、次いで「責任が重くなるので、リーダー・管理職になりたくない」14.1%、「現在リーダー・管理職である」13.0%の順となっている。

前回調査と比較して大きな差はないが、「自分の能力を發揮したいので、リーダー・管理職になりたい」と回答した割合が、若干減少している。

性別で見ると、男女とも「特に希望はない」と回答した割合が最も高く、特に、「20 歳代」の若い世代で高くなっている。また、「自分の能力を發揮したいので、リーダー・管理職になりたい」「賃金が上がるので、リーダー・管理職になりたい」と回答した割合は、男女とも 10%に満たない。

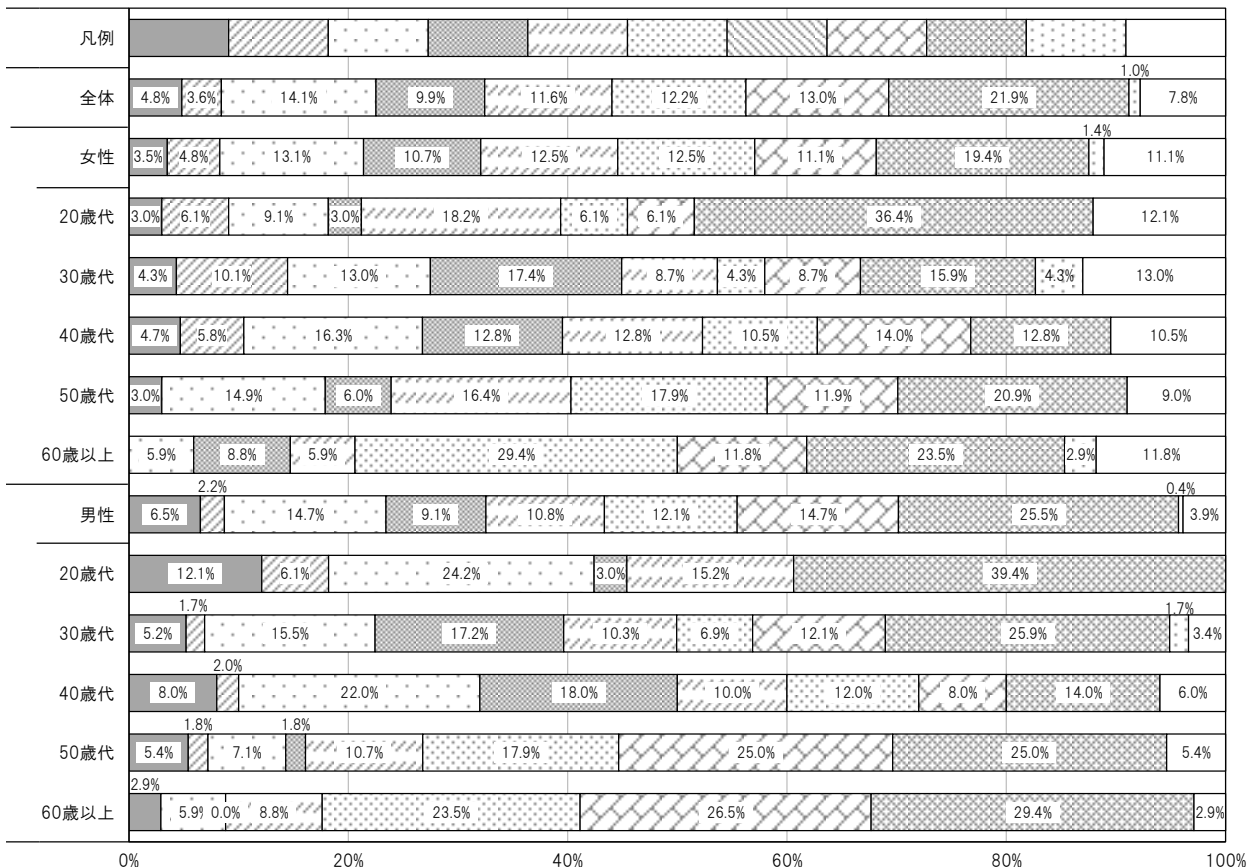
リーダー・管理職への昇進希望の有無（全体、前回調査）

自分の能力を發揮したいのでリーダー・管理職になりたい
賃金が上がるのでリーダー・管理職になりたい
責任が重くなるので、リーダー・管理職になりたくない
仕事と家庭の両立が困難になるので、リーダー・管理職になりたくない
自分の能力に自信がないので、リーダー・管理職になりたくない
雇用条件等で、リーダー・管理職になる可能性はない
男女の性差でリーダー・管理職になる可能性はない
現在リーダー・管理職である
特に希望はない
その他
無回答



リーダー・管理職への昇進希望の有無（性別・年代別）

自分の能力を發揮したいのでリーダー・管理職になりたい
賃金が上がるのでリーダー・管理職になりたい
責任が重くなるので、リーダー・管理職になりたくない
仕事と家庭の両立が困難になるので、リーダー・管理職になりたくない
自分の能力に自信がないので、リーダー・管理職になりたくない
雇用条件等で、リーダー・管理職になる可能性はない
男女の性差でリーダー・管理職になる可能性はない
現在リーダー・管理職である
特に希望はない
その他
無回答



リーダー・管理職への昇進希望の有無（性別・年代別，前回調査）

上段：度数 下段：%		問8 リーダー・管理職になりたい希望の有無												
		サンプル数	・自分の能力を發揮したい	・自分の能力を發揮したい	・賃金が上がる管理職に	・責任が重くなる管理職に	・なるのでリーダーが管理職に	・仕事と家庭の両立が困難に	・ない管理職になりたくない	・自分の能力に自信がない	・雇用条件等でリーダーになる可能性は	・男女の性差でリーダーになる可能性は	・現在リーダーである	特に希望はない
全体		524 100.0%	25 4.8%	19 3.6%	74 14.1%	52 9.9%	61 11.6%	64 12.2%	0 0.0%	68 13.0%	115 21.9%	5 1.0%	41 7.8%	
性別・年代別	女性	289 100.0%	10 3.5%	14 4.8%	38 13.1%	31 10.7%	36 12.5%	36 12.5%	0 0.0%	32 11.1%	56 19.4%	4 1.4%	32 11.1%	
	20歳代	33 100.0%	1 3.0%	2 6.1%	3 9.1%	1 3.0%	6 18.2%	2 6.1%	0 0.0%	2 6.1%	12 36.4%	0 0.0%	4 12.1%	
	30歳代	69 100.0%	3 4.3%	7 10.1%	9 13.0%	12 17.4%	6 8.7%	3 4.3%	0 0.0%	6 8.7%	11 15.9%	3 4.3%	9 13.0%	
	40歳代	86 100.0%	4 4.7%	5 5.8%	14 16.3%	11 12.8%	11 12.8%	9 10.5%	0 0.0%	12 14.0%	11 12.8%	0 0.0%	9 10.5%	
	50歳代	67 100.0%	2 3.0%	0 0.0%	10 14.9%	4 6.0%	11 16.4%	12 17.9%	0 0.0%	8 11.9%	14 20.9%	0 0.0%	6 9.0%	
	60歳以上	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.9%	3 8.8%	2 5.9%	10 29.4%	0 0.0%	4 11.8%	8 23.5%	1 2.9%	4 11.8%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	男性	231 100.0%	15 6.5%	5 2.2%	34 14.7%	21 9.1%	25 10.8%	28 12.1%	0 0.0%	34 14.7%	59 25.5%	1 0.4%	9 3.9%	
	20歳代	33 100.0%	4 12.1%	2 6.1%	8 24.2%	1 3.0%	5 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 39.4%	0 0.0%	0 0.0%	
	30歳代	58 100.0%	3 5.2%	1 1.7%	9 15.5%	10 17.2%	6 10.3%	4 6.9%	0 0.0%	7 12.1%	15 25.9%	1 1.7%	2 3.4%	
	40歳代	50 100.0%	4 8.0%	1 2.0%	11 22.0%	9 18.0%	5 10.0%	6 12.0%	0 0.0%	4 8.0%	7 14.0%	0 0.0%	3 6.0%	
	50歳代	56 100.0%	3 5.4%	1 1.8%	4 7.1%	1 1.8%	6 10.7%	10 17.9%	0 0.0%	14 25.0%	14 25.0%	0 0.0%	3 5.4%	
	60歳以上	34 100.0%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.9%	0 0.0%	3 8.8%	8 23.5%	0 0.0%	9 26.5%	10 29.4%	0 0.0%	1 2.9%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
奄美市調査 平成29年度	全体	309 100.0%	23 7.4%	13 4.2%	33 10.7%	33 10.7%	32 10.4%	28 9.1%	0 0.0%	36 11.7%	76 24.6%	4 1.3%	31 10.0%	
	女性	166 100.0%	7 4.2%	2 1.2%	20 12.0%	26 15.7%	22 13.3%	21 12.7%	0 0.0%	7 4.2%	41 24.7%	2 1.2%	18 10.8%	
	男性	143 100.0%	16 11.2%	11 7.7%	13 9.1%	7 4.9%	10 7.0%	7 4.9%	0 0.0%	29 20.3%	35 24.5%	2 1.4%	13 9.1%	

(10) 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるもの

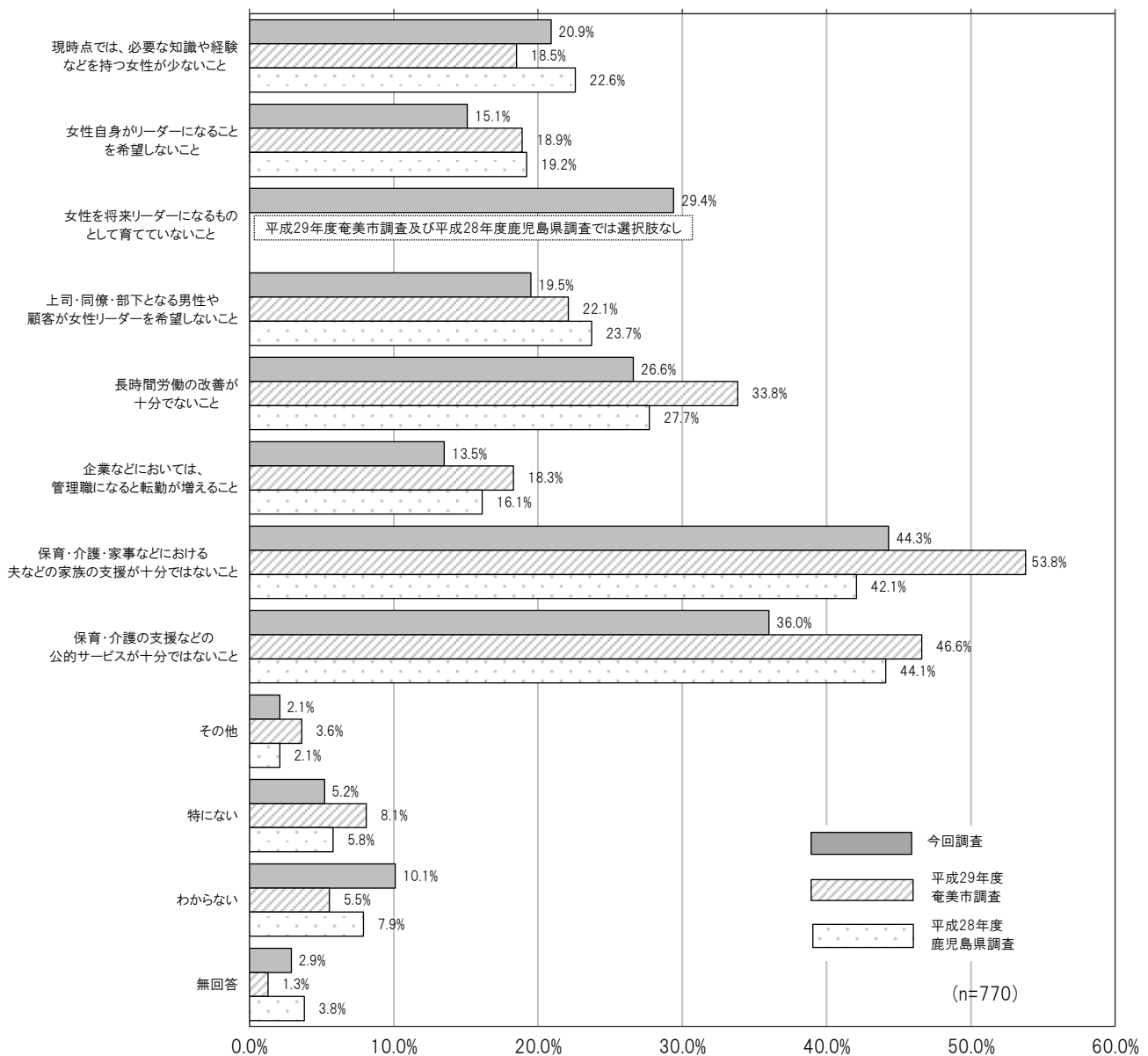
問9 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。

全体では、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」と回答した割合が44.3%と最も高く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」36.0%、「女性を将来リーダーになるものとして育てていないこと」29.4%の順となっている。

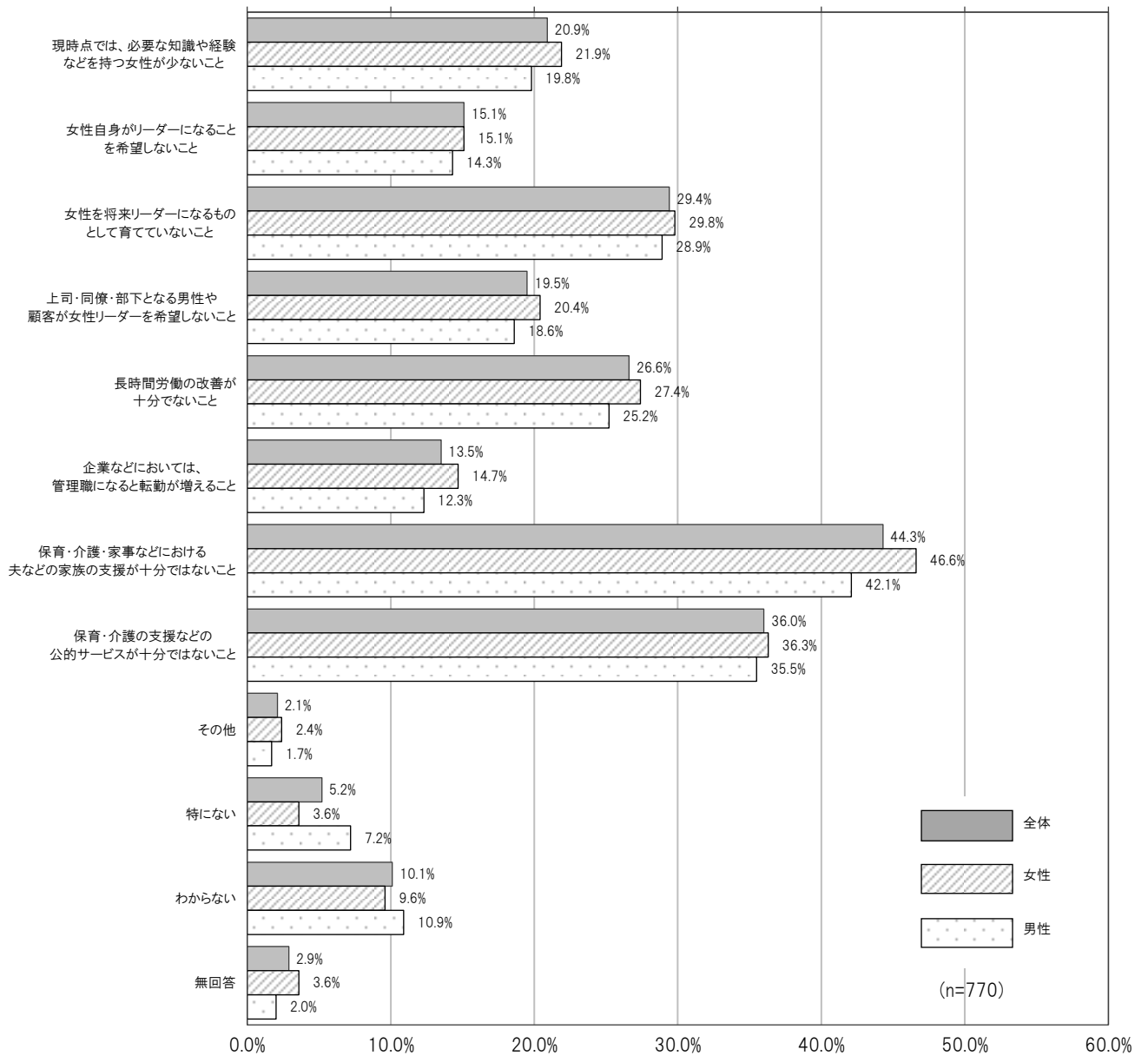
前回調査と比較すると、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」で10.6ポイント、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」で9.5ポイント「長時間労働の改善が十分でないこと」で7.2ポイント低くなっている。

性別で見ると、男女とも大きな差はないが、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」で、4.5ポイントの差がでている。

各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるもの（全体、前回・県調査）



各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるもの（全体・性別）



各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるもの（性別・年代別、前回・県調査）

		問9 女性のリーダーを増やすときに障害となるもの																											
上段：度数 下段：%		サンプル数	現時点では、必要知識や経験	女性自身がリーダーになることを希望しないこと	女性を育てていないこと	顧客が女性リーダーを希望しないこと	上司・同僚・部下となる男性や	長時間労働の改善が	企業などにおいて、管理職になると転勤が増えること	夫などの家族の支援が十分ではないこと	保育・介護・家事などにおけるな	公的サービスの支援ではないこと	その他	特にな	わからない	無回答													
全体		770	161	116	226	150	205	104	341	277	16	40	78	22	100.0%	20.9%	15.1%	29.4%	19.5%	26.6%	13.5%	44.3%	36.0%	2.1%	5.2%	10.1%	2.9%		
性別・年代別	女性	416	91	63	124	85	114	61	194	151	10	15	40	15	100.0%	21.9%	15.1%	29.8%	20.4%	27.4%	14.7%	46.6%	36.3%	2.4%	3.6%	9.6%	3.6%		
	20歳代	52	11	2	12	12	10	5	21	13	2	3	11	3	100.0%	21.2%	3.8%	23.1%	23.1%	19.2%	9.6%	40.4%	25.0%	3.8%	5.8%	21.2%	5.8%		
	30歳代	86	10	10	25	16	26	14	35	30	2	3	10	4	100.0%	11.6%	11.6%	29.1%	18.6%	30.2%	16.3%	40.7%	34.9%	2.3%	3.5%	11.6%	4.7%		
	40歳代	105	21	20	36	25	31	18	58	44	3	1	8	2	100.0%	20.0%	19.0%	34.3%	23.8%	29.5%	17.1%	55.2%	41.9%	2.9%	1.0%	7.6%	1.9%		
	50歳代	104	32	19	30	23	28	11	48	35	2	8	6	3	100.0%	30.8%	18.3%	28.8%	22.1%	26.9%	10.6%	46.2%	33.7%	1.9%	7.7%	5.8%	2.9%		
	60歳以上	69	17	12	21	9	19	13	32	29	1	0	5	3	100.0%	24.6%	17.4%	30.4%	13.0%	27.5%	18.8%	46.4%	42.0%	1.4%	0.0%	7.2%	4.3%		
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	349	69	50	101	65	88	43	147	124	6	25	38	7	100.0%	19.8%	14.3%	28.9%	18.6%	25.2%	12.3%	42.1%	35.5%	1.7%	7.2%	10.9%	2.0%		
	20歳代	62	7	5	16	22	24	5	27	21	0	8	11	2	100.0%	11.3%	8.1%	25.8%	35.5%	38.7%	8.1%	43.5%	33.9%	0.0%	12.9%	17.7%	3.2%		
	30歳代	69	8	7	14	17	18	7	24	20	4	4	10	1	100.0%	11.6%	10.1%	20.3%	24.6%	26.1%	10.1%	34.8%	29.0%	5.8%	5.8%	14.5%	1.4%		
	40歳代	75	19	11	22	8	16	9	33	33	0	4	7	0	100.0%	25.3%	14.7%	29.3%	10.7%	21.3%	12.0%	44.0%	44.0%	0.0%	5.3%	9.3%	0.0%		
	50歳代	74	15	14	28	12	15	13	34	26	1	6	4	3	100.0%	20.3%	18.9%	37.8%	16.2%	20.3%	17.6%	45.9%	35.1%	1.4%	8.1%	5.4%	4.1%		
	60歳以上	68	20	13	21	6	14	9	28	24	1	3	6	1	100.0%	29.4%	19.1%	30.9%	8.8%	20.6%	13.2%	41.2%	35.3%	1.5%	4.4%	8.8%	1.5%		
	無回答	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	5	1	3	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
奄美市	平成29年度 全体	470	87	89		104	159	86	253	219	17	38	26	6	-	18.5%	18.9%		22.1%	33.8%	18.3%	53.8%	46.6%	3.6%	8.1%	5.5%	1.3%		
	女性	264	48	51		76	99	48	170	141	11	12	13	3	-	18.2%	19.3%		28.8%	37.5%	18.2%	64.4%	53.4%	4.2%	4.5%	4.9%	1.1%		
	男性	206	39	38		28	60	38	83	78	6	26	13	3	-	18.9%	18.4%		13.6%	29.1%	18.4%	40.3%	37.9%	2.9%	12.6%	6.3%	1.5%		
鹿児島県	平成28年度 全体	2,227	503	428		528	617	359	937	982	46	129	176	84	-	22.6%	19.2%		23.7%	27.7%	16.1%	42.1%	44.1%	2.1%	5.8%	7.9%	3.8%		
	女性	1,252	283	220		352	360	202	588	611	23	62	105	34	-	22.6%	17.6%		28.1%	28.8%	16.1%	47.0%	48.8%	1.8%	5.0%	8.4%	2.7%		
	男性	928	218	205		174	254	152	342	366	23	65	65	22	-	23.5%	22.1%		18.8%	27.4%	16.4%	36.9%	39.4%	2.5%	7.0%	7.0%	2.4%		

(11) 女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために必要なこと

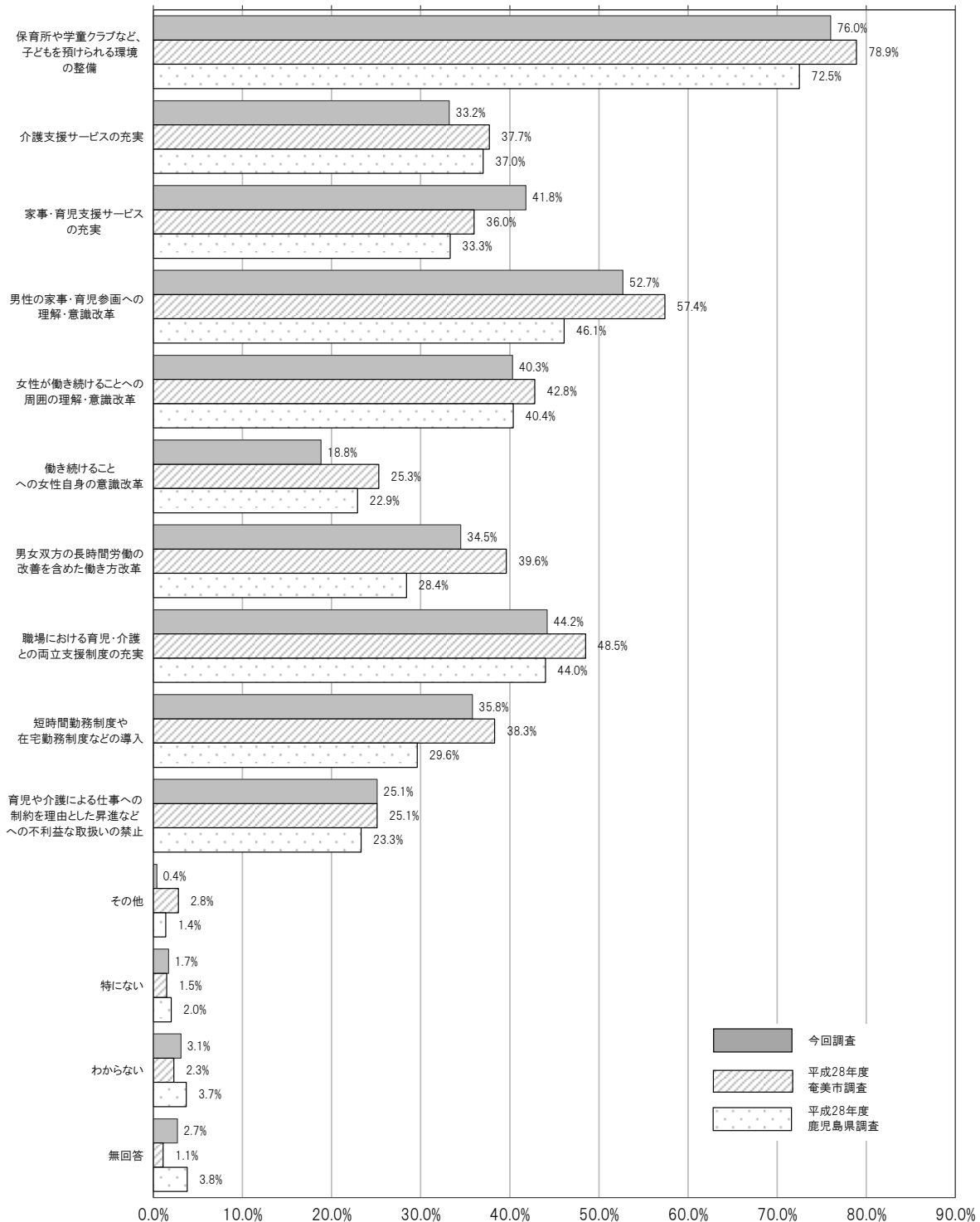
問 10 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いませんか。

全体では、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」と回答した割合が、76.0%と最も高く、次いで「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」52.7%、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」44.2%の順となっている。

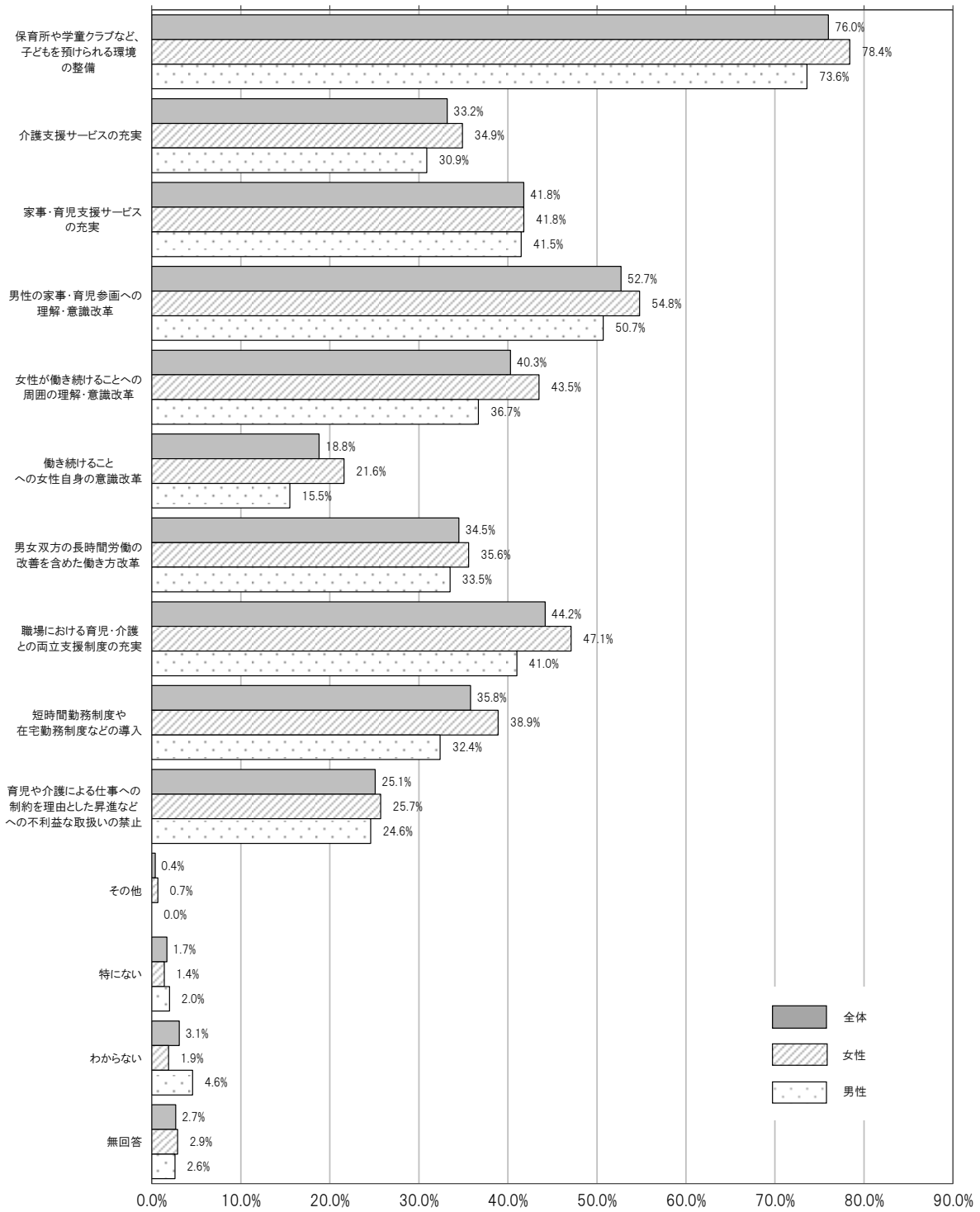
前回調査と比較すると、「働き続けることへの女性自身の意識改革」で6.5ポイント低くなっており、「介護支援サービスの充実」で5.8ポイント高くなっている。

性別で見ると、「女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革」「短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入」「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」の回答割合で、女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために必要なこと（全体、前回・県調査）



女性が出産後も離職せずと同じ職場で働き続けるために必要なこと（全体・性別）



女性が出産後も離職せずと同じ職場で働き続けるために必要なこと（性別・年代別、前回・県調査）

		問10 女性が出産後も同じ職場で働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと																	
		サンプル数	の子どもを預ける環境	保育所や学童クラブなど	介護支援サービスの充実	家事・育児支援サービス	男性の家事・育児参加への理解・意識改革	女性が働き続けることへの周知・意識改革	働き続けることへの女性の意識改革	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	職場における育児・介護の両立支援制度の充実	在宅勤務制度などの導入	短時間勤務制度など	育児や介護による仕事への不利益な取扱いの禁止	その他	特になし	わからない	無回答	
上段:度数 下段:%		770	585	256	322	406	310	145	266	340	276	193	3	13	24	21			
全体		100.0%	76.0%	33.2%	41.8%	52.7%	40.3%	18.8%	34.5%	44.2%	35.8%	25.1%	0.4%	1.7%	3.1%	2.7%			
性別・年代別	女性	416	326	145	174	228	181	90	148	196	162	107	3	6	8	12			
		100.0%	78.4%	34.9%	41.8%	54.8%	43.5%	21.6%	35.6%	47.1%	38.9%	25.7%	0.7%	1.4%	1.9%	2.9%			
	20歳代	52	39	18	21	30	26	11	23	22	19	13	0	0	4	2			
		100.0%	75.0%	34.6%	40.4%	57.7%	50.0%	21.2%	44.2%	42.3%	36.5%	25.0%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%			
	30歳代	86	66	19	38	48	31	17	26	47	42	21	2	1	1	4			
		100.0%	76.7%	22.1%	44.2%	55.8%	36.0%	19.8%	30.2%	54.7%	48.8%	24.4%	2.3%	1.2%	1.2%	4.7%			
	40歳代	105	84	38	52	60	55	23	43	50	45	38	0	0	1	2			
		100.0%	80.0%	36.2%	49.5%	57.1%	52.4%	21.9%	41.0%	47.6%	42.9%	36.2%	0.0%	0.0%	1.0%	1.9%			
	50歳代	104	80	38	38	51	42	22	35	41	34	22	1	4	1	3			
		100.0%	76.9%	36.5%	36.5%	49.0%	40.4%	21.2%	33.7%	39.4%	32.7%	21.2%	1.0%	3.8%	1.0%	2.9%			
	60歳以上	69	57	32	25	39	27	17	21	36	22	13	0	1	1	1			
		100.0%	82.6%	46.4%	36.2%	56.5%	39.1%	24.6%	30.4%	52.2%	31.9%	18.8%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	349	257	108	145	177	128	54	117	143	113	86	0	7	16	9				
	100.0%	73.6%	30.9%	41.5%	50.7%	36.7%	15.5%	33.5%	41.0%	32.4%	24.6%	0.0%	2.0%	4.6%	2.6%				
20歳代	62	41	15	28	37	24	8	25	25	20	12	0	3	5	1				
	100.0%	66.1%	24.2%	45.2%	59.7%	38.7%	12.9%	40.3%	40.3%	32.3%	19.4%	0.0%	4.8%	8.1%	1.6%				
30歳代	69	46	19	26	31	24	10	28	28	25	23	0	2	3	1				
	100.0%	66.7%	27.5%	37.7%	44.9%	34.8%	14.5%	40.6%	40.6%	36.2%	33.3%	0.0%	2.9%	4.3%	1.4%				
40歳代	75	61	27	31	46	30	12	26	34	31	19	0	0	1	2				
	100.0%	81.3%	36.0%	41.3%	61.3%	40.0%	16.0%	34.7%	45.3%	41.3%	25.3%	0.0%	0.0%	1.3%	2.7%				
50歳代	74	57	24	33	37	32	7	19	33	21	20	0	2	2	4				
	100.0%	77.0%	32.4%	44.6%	50.0%	43.2%	9.5%	25.7%	44.6%	28.4%	27.0%	0.0%	2.7%	2.7%	5.4%				
60歳以上	68	51	23	26	25	18	17	19	22	16	12	0	0	5	1				
	100.0%	75.0%	33.8%	38.2%	36.8%	26.5%	25.0%	27.9%	32.4%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%	7.4%	1.5%				
無回答	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	5	2	3	3	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	40.0%	60.0%	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
奄美市調査	平成29年度	470	371	177	169	270	201	119	186	228	180	118	13	7	11	5			
	全体	-	78.9%	37.7%	36.0%	57.4%	42.8%	25.3%	39.6%	48.5%	38.3%	25.1%	2.8%	1.5%	2.3%	1.1%			
	女性	264	213	99	97	163	116	67	113	138	116	64	8	3	3	4			
男性	206	158	78	72	107	85	52	73	90	64	54	5	4	8	1				
	-	76.7%	37.9%	35.0%	51.9%	41.3%	25.2%	35.4%	43.7%	31.3%	26.2%	2.4%	1.9%	3.9%	0.5%				
鹿児島県調査	平成28年度	2,227	1,614	823	742	1,026	899	509	633	979	660	520	31	44	83	85			
	全体	-	72.5%	37.0%	33.3%	46.1%	40.4%	22.9%	28.4%	44.0%	29.6%	23.3%	1.4%	2.0%	3.7%	3.8%			
	女性	1,252	932	512	397	601	527	293	380	579	406	318	13	24	50	33			
男性	928	673	305	341	418	367	211	250	395	248	197	16	17	28	23				
	-	72.5%	32.9%	36.7%	45.0%	39.5%	22.7%	26.9%	42.6%	26.7%	21.2%	1.7%	1.8%	3.0%	2.5%				

7 家庭生活について

(12) 家庭における夫婦の役割分担について

問 11 【現在、結婚している方におたずねします。】

あなたの家庭では、現在、次のような事柄を主に誰が行っていますか。
(各項目ごとに1つずつ選択)

全体では、「主に妻」と回答した割合は、『家事』の70.7%が最も高く、次いで『学校行事やPTA等への参加』49.1%、『育児』48.8%の順となっている。

『家事』『育事』『介護・看護』『学校行事やPTA等への参加』については、「主に夫」と回答した割合は、1割に満たない。

【家事】

全体では、「主に妻」と回答した割合が70.7%と最も高く、次いで「夫と妻が分担」で24.6%の順となっている。

前回調査との比較では、「夫と妻が分担」と回答した割合が6.3ポイント低くなっており、「主に妻」と回答した割合が、4.9ポイント高くなっている。

【育児】

全体では、「主に妻」と回答した割合が48.8%と最も高く、次いで「夫と妻が分担」で30.5%の順となっている。

前回調査との比較では、「主に妻」と回答した割合が7.5ポイント高くなっている。

【介護・看護】

全体では、「主に妻」と回答した割合が31.0%と最も高く、次いで「夫と妻が分担」で17.8%の順となっている。

前回調査との比較では、「主に妻」と回答した割合が8.5ポイント高くなっており、「該当しない」と回答した割合が11.8ポイント低くなっている。

【住宅や家電など、高額なものの購入の決定】

全体では、「夫と妻が分担」と回答した割合が、42.5%と最も高く、次いで「主に夫」32.9%、「主に妻」18.8%の順となっている。

【自治会、町内会、公民館など地域活動への参加】

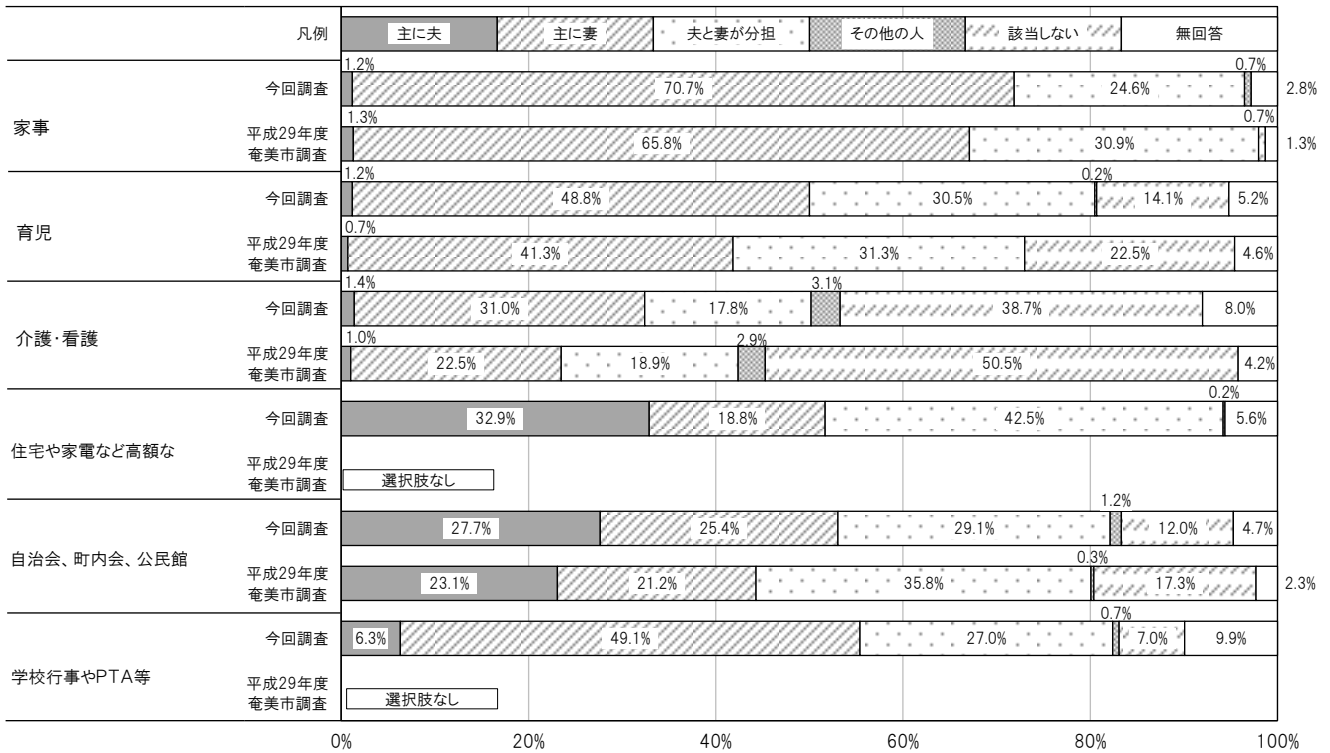
全体では、「主に夫」と回答した割合が、27.7%と最も高く、次いで「夫と妻が分担」29.1%、「主に妻」25.4%の順となっている。

前回調査との比較では、「夫と妻が分担」と回答した割合が6.7ポイント低くなっており、「主に夫」と回答した割合が4.6ポイント、「主に妻」が4.2ポイント、それぞれ高くなっている。

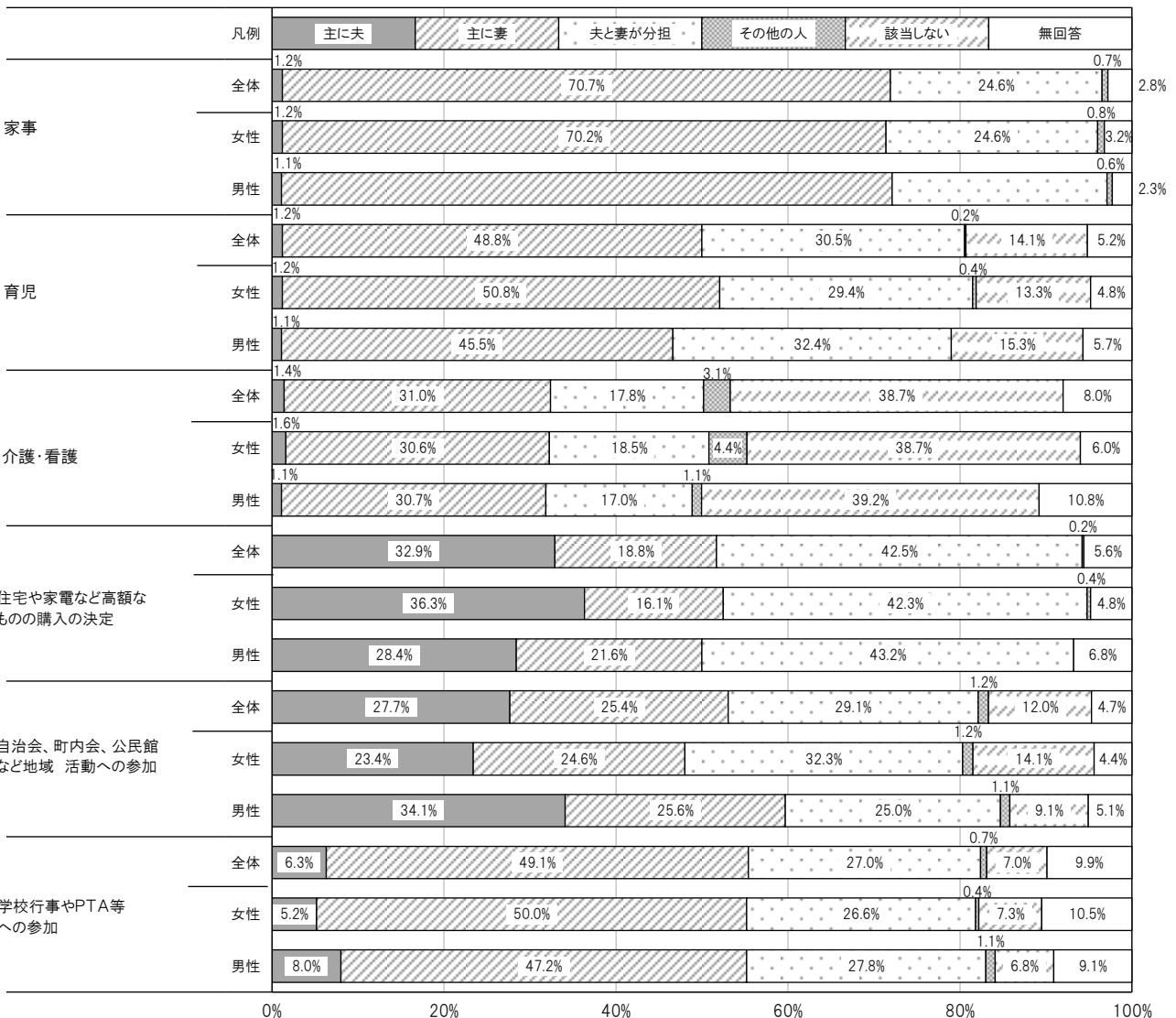
【学校行事やPTA等への参加】

全体では、「主に妻」と回答した割合が、49.1%と最も高く、次いで「夫と妻が分担」27.0%、「主に夫」6.3%の順となっている。

家庭における夫婦の役割分担（全体，前回調査）



家庭における夫婦の役割分担（全体・性別）



家庭における夫婦の役割分担 1/6【家事，育児】

	上段：度数 下段：%	家事						育児							
		サ ン プ ル 数	主 に 夫	主 に 妻	夫 と 妻 が 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答	主 に 夫	主 に 妻	夫 と 妻 が 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答	
全体	426 100.0%	5 1.2%	301 70.7%	105 24.6%	3 0.7%	0 0.0%	12 2.8%	5 1.2%	208 48.8%	130 30.5%	1 0.2%	60 14.1%	22 5.2%		
性別・年代別	女性	248 100.0%	3 1.2%	174 70.2%	61 24.6%	2 0.8%	0 0.0%	8 3.2%	3 1.2%	126 50.8%	73 29.4%	1 0.4%	33 13.3%	12 4.8%	
		20歳代	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	30歳代	47 100.0%	0 0.0%	26 55.3%	19 40.4%	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 42.6%	21 44.7%	1 2.1%	5 10.6%	0 0.0%	
	40歳代	73 100.0%	2 2.7%	50 68.5%	20 27.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.1%	43 58.9%	21 28.8%	0 0.0%	5 6.8%	1 1.4%	
	50歳代	76 100.0%	0 0.0%	58 76.3%	14 18.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.3%	0 0.0%	37 48.7%	23 30.3%	0 0.0%	9 11.8%	7 9.2%	
	60歳以上	50 100.0%	1 2.0%	39 78.0%	7 14.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.0%	0 0.0%	25 50.0%	8 16.0%	0 0.0%	13 26.0%	4 8.0%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	男性	176 100.0%	2 1.1%	125 71.0%	44 25.0%	1 0.6%	0 0.0%	4 2.3%	2 1.1%	80 45.5%	57 32.4%	0 0.0%	27 15.3%	10 5.7%	
		20歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
		30歳代	34 100.0%	0 0.0%	26 76.5%	8 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 58.8%	10 29.4%	0 0.0%	1 2.9%	3 8.8%
		40歳代	31 100.0%	0 0.0%	20 64.5%	11 35.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 54.8%	13 41.9%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%
		50歳代	57 100.0%	1 1.8%	40 70.2%	14 24.6%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	24 42.1%	21 36.8%	0 0.0%	9 15.8%	2 3.5%
		60歳以上	53 100.0%	1 1.9%	38 71.7%	11 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.7%	1 1.9%	19 35.8%	12 22.6%	0 0.0%	16 30.2%	5 9.4%
		無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
奄美市調査 平成29年度	全体	307 100.0%	4 1.3%	202 65.8%	95 30.9%	0 0.0%	2 0.7%	4 1.3%	2 0.7%	126 41.3%	96 31.3%	0 0.0%	69 22.5%	14 4.6%	
	女性	166 100.0%	1 0.6%	112 67.5%	49 29.5%	0 0.0%	1 0.6%	3 1.8%	0 0.0%	72 43.4%	48 28.9%	0 0.0%	38 22.9%	8 4.8%	
	男性	141 100.0%	3 2.1%	90 63.8%	46 32.6%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.4%	54 38.3%	48 34.0%	0 0.0%	31 22.0%	6 4.3%	
夫婦の就業状況別	はい(共働き)	318 100.0%	2 0.6%	222 69.8%	84 26.4%	3 0.9%	0 0.0%	7 2.2%	2 0.6%	155 48.7%	111 34.9%	1 0.3%	37 11.6%	12 3.8%	
		女性	192 100.0%	1 0.5%	135 70.3%	49 25.5%	2 1.0%	0 0.0%	5 2.6%	1 0.5%	98 70.3%	64 25.5%	1 1.0%	21 0.0%	7 2.6%
	男性	126 100.0%	1 0.8%	87 69.0%	35 27.8%	1 0.8%	0 0.0%	2 1.6%	1 0.8%	57 69.0%	47 27.8%	0 0.8%	16 0.0%	5 1.6%	
	いいえ(片働き)	102 100.0%	3 2.9%	74 72.5%	20 19.6%	0 0.0%	0 0.0%	5 4.9%	3 2.9%	48 47.1%	18 17.6%	0 0.0%	23 22.5%	10 9.8%	
		女性	54 100.0%	2 3.7%	37 68.5%	12 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.6%	2 3.7%	26 48.1%	9 16.7%	0 0.0%	12 22.2%	5 9.3%
	男性	48 100.0%	1 2.1%	37 77.1%	8 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.2%	1 2.1%	22 45.8%	9 18.8%	0 0.0%	11 22.9%	5 10.4%	

家庭における夫婦の役割分担 2/6【家事，育児】

	上段：度数 下段：%	家事						育児						
		サ ン プ ル 数	主 に 夫	主 に 妻	夫 と 妻 が 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答	主 に 夫	主 に 妻	夫 と 妻 が 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答
職業別・性別	自営業主	49	0	40	8	0	0	1	1	20	20	0	7	1
		100.0%	0.0%	81.6%	16.3%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	40.8%	40.8%	0.0%	14.3%	2.0%
	女性	23	0	20	2	0	0	1	0	9	10	0	4	0
		100.0%	0.0%	87.0%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	39.1%	43.5%	0.0%	17.4%	0.0%
	男性	26	0	20	6	0	0	0	1	11	10	0	3	1
		100.0%	0.0%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	42.3%	38.5%	0.0%	11.5%	3.8%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従事者	14	0	11	3	0	0	0	0	8	5	0	1	0
		100.0%	0.0%	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	35.7%	0.0%	7.1%	0.0%
	女性	11	0	9	2	0	0	0	0	6	4	0	1	0
		100.0%	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%
	男性	3	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用者	298	4	203	81	3	0	7	4	146	95	1	37	15
		100.0%	1.3%	68.1%	27.2%	1.0%	0.0%	2.3%	1.3%	49.0%	31.9%	0.3%	12.4%	5.0%
	女性	177	3	118	51	2	0	3	3	92	54	1	20	7
		100.0%	1.7%	66.7%	28.8%	1.1%	0.0%	1.7%	1.7%	52.0%	30.5%	0.6%	11.3%	4.0%
男性	119	1	83	30	1	0	4	1	52	41	0	17	8	
	100.0%	0.8%	69.7%	25.2%	0.8%	0.0%	3.4%	0.8%	43.7%	34.5%	0.0%	14.3%	6.7%	
無回答	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無職	55	0	41	11	0	0	3	0	29	7	0	14	5	
	100.0%	0.0%	74.5%	20.0%	0.0%	0.0%	5.5%	0.0%	52.7%	12.7%	0.0%	25.5%	9.1%	
女性	31	0	23	5	0	0	3	0	16	4	0	7	4	
	100.0%	0.0%	74.2%	16.1%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	51.6%	12.9%	0.0%	22.6%	12.9%	
男性	24	0	18	6	0	0	0	0	13	3	0	7	1	
	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.2%	12.5%	0.0%	29.2%	4.2%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	賛成	135	3	97	29	2	0	4	4	70	33	1	22	5
		100.0%	2.2%	71.9%	21.5%	1.5%	0.0%	3.0%	3.0%	51.9%	24.4%	0.7%	16.3%	3.7%
	女性	79	2	52	20	2	0	3	3	43	18	1	11	3
		100.0%	2.5%	65.8%	25.3%	2.5%	0.0%	3.8%	3.8%	54.4%	22.8%	1.3%	13.9%	3.8%
	男性	54	1	43	9	0	0	1	1	25	15	0	11	2
		100.0%	1.9%	79.6%	16.7%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	46.3%	27.8%	0.0%	20.4%	3.7%
	無回答	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
反対	277	2	198	75	0	0	2	1	137	94	0	35	10	
	100.0%	0.7%	71.5%	27.1%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	49.5%	33.9%	0.0%	12.6%	3.6%	
女性	162	1	120	40	0	0	1	0	82	54	0	21	5	
	100.0%	0.6%	74.1%	24.7%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	50.6%	33.3%	0.0%	13.0%	3.1%	
男性	115	1	78	35	0	0	1	1	55	40	0	14	5	
	100.0%	0.9%	67.8%	30.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	47.8%	34.8%	0.0%	12.2%	4.3%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

家庭における夫婦の役割分担 3/6【介護・看護、住宅や家電など高額なものの購入の決定】

上段：度数 下段：%	サンプル数	介護・看護						住宅や家電など高額なものの購入の決定						
		主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	
全体	426	6	132	76	13	165	34	140	80	181	1	0	24	
	100.0%	1.4%	31.0%	17.8%	3.1%	38.7%	8.0%	32.9%	18.8%	42.5%	0.2%	0.0%	5.6%	
性別・年代別	女性	248	4	76	46	11	96	15	90	40	105	1	0	12
		100.0%	1.6%	30.6%	18.5%	4.4%	38.7%	6.0%	36.3%	16.1%	42.3%	0.4%	0.0%	4.8%
	20歳代	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	47	0	4	10	2	30	1	12	11	23	1	0	0
		100.0%	0.0%	8.5%	21.3%	4.3%	63.8%	2.1%	25.5%	23.4%	48.9%	2.1%	0.0%	0.0%
	40歳代	73	3	19	9	5	32	5	29	9	33	0	0	2
		100.0%	4.1%	26.0%	12.3%	6.8%	43.8%	6.8%	39.7%	12.3%	45.2%	0.0%	0.0%	2.7%
	50歳代	76	1	25	18	2	24	6	31	11	28	0	0	6
		100.0%	1.3%	32.9%	23.7%	2.6%	31.6%	7.9%	40.8%	14.5%	36.8%	0.0%	0.0%	7.9%
	60歳以上	50	0	28	9	2	8	3	18	9	19	0	0	4
		100.0%	0.0%	56.0%	18.0%	4.0%	16.0%	6.0%	36.0%	18.0%	38.0%	0.0%	0.0%	8.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	176	2	54	30	2	69	19	50	38	76	0	0	12
		100.0%	1.1%	30.7%	17.0%	1.1%	39.2%	10.8%	28.4%	21.6%	43.2%	0.0%	0.0%	6.8%
	20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	34	0	7	3	0	19	5	7	10	17	0	0	0	
	100.0%	0.0%	20.6%	8.8%	0.0%	55.9%	14.7%	20.6%	29.4%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	31	0	7	6	0	14	4	10	9	12	0	0	0	
	100.0%	0.0%	22.6%	19.4%	0.0%	45.2%	12.9%	32.3%	29.0%	38.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	57	1	22	12	1	17	4	19	12	22	0	0	4	
	100.0%	1.8%	38.6%	21.1%	1.8%	29.8%	7.0%	33.3%	21.1%	38.6%	0.0%	0.0%	7.0%	
60歳以上	53	1	17	9	1	19	6	14	7	24	0	0	8	
	100.0%	1.9%	32.1%	17.0%	1.9%	35.8%	11.3%	26.4%	13.2%	45.3%	0.0%	0.0%	15.1%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
奄美市調査 平成29年度	全体	307	3	69	58	9	155	13	※設問なし					
		100.0%	1.0%	22.5%	18.9%	2.9%	50.5%	4.2%						
	女性	166	0	40	29	6	83	8						
	100.0%	0.0%	24.1%	17.5%	3.6%	50.0%	4.8%							
男性	141	3	29	29	3	72	5							
	100.0%	2.1%	20.6%	20.6%	2.1%	51.1%	3.5%							
夫婦の就業状況別	はい(共働き)	318	2	88	59	12	135	22	101	58	144	1	0	14
		100.0%	0.6%	27.7%	18.6%	3.8%	42.5%	6.9%	31.8%	18.2%	45.3%	0.3%	0.0%	4.4%
	女性	192	1	54	37	11	80	9	63	30	90	1	0	8
		100.0%	0.5%	70.3%	25.5%	1.0%	0.0%	2.6%	32.8%	70.3%	25.5%	1.0%	0.0%	2.6%
	男性	126	1	34	22	1	55	13	38	28	54	0	0	6
		100.0%	0.8%	69.0%	27.8%	0.8%	0.0%	1.6%	30.2%	69.0%	27.8%	0.8%	0.0%	1.6%
	いいえ(片働き)	102	4	40	17	1	29	11	38	19	36	0	0	9
	100.0%	3.9%	39.2%	16.7%	1.0%	28.4%	10.8%	37.3%	18.6%	35.3%	0.0%	0.0%	8.8%	
女性	54	3	21	9	0	16	5	26	9	15	0	0	4	
	100.0%	5.6%	38.9%	16.7%	0.0%	29.6%	9.3%	48.1%	16.7%	27.8%	0.0%	0.0%	7.4%	
男性	48	1	19	8	1	13	6	12	10	21	0	0	5	
	100.0%	2.1%	39.6%	16.7%	2.1%	27.1%	12.5%	25.0%	20.8%	43.8%	0.0%	0.0%	10.4%	

家庭における夫婦の役割分担 4/6【介護・看護、住宅や家電など高額なものの購入の決定】

	上段:度数 下段:%	介護・看護						住宅や家電など高額なものの購入の決定						
		サンプル数	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答
職業別・性別	自営業主	49	0	18	8	1	17	5	16	8	24	0	0	1
		100.0%	0.0%	36.7%	16.3%	2.0%	34.7%	10.2%	32.7%	16.3%	49.0%	0.0%	0.0%	2.0%
	女性	23	0	9	4	1	8	1	9	2	11	0	0	1
		100.0%	0.0%	39.1%	17.4%	4.3%	34.8%	4.3%	39.1%	8.7%	47.8%	0.0%	0.0%	4.3%
	男性	26	0	9	4	0	9	4	7	6	13	0	0	0
		100.0%	0.0%	34.6%	15.4%	0.0%	34.6%	15.4%	26.9%	23.1%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従事者	14	0	5	4	1	3	1	5	0	9	0	0	0
		100.0%	0.0%	35.7%	28.6%	7.1%	21.4%	7.1%	35.7%	0.0%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	11	0	4	4	1	1	1	4	0	7	0	0	0
		100.0%	0.0%	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	36.4%	0.0%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	3	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雇用者	298	5	81	56	10	124	22	96	60	128	1	0	13	
	100.0%	1.7%	27.2%	18.8%	3.4%	41.6%	7.4%	32.2%	20.1%	43.0%	0.3%	0.0%	4.4%	
女性	177	1	32	23	1	50	12	35	27	48	0	0	9	
	100.0%	0.8%	26.9%	19.3%	0.8%	42.0%	10.1%	29.4%	22.7%	40.3%	0.0%	0.0%	7.6%	
男性	119	4	47	33	9	74	10	61	31	80	1	0	4	
	100.0%	2.3%	26.6%	18.6%	5.1%	41.8%	5.6%	34.5%	17.5%	45.2%	0.6%	0.0%	2.3%	
無回答	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無職	55	0	25	8	1	16	5	21	10	18	0	0	6	
	100.0%	0.0%	45.5%	14.5%	1.8%	29.1%	9.1%	38.2%	18.2%	32.7%	0.0%	0.0%	10.9%	
女性	31	0	15	5	0	9	2	6	4	12	0	0	2	
	100.0%	0.0%	48.4%	16.1%	0.0%	29.0%	6.5%	25.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	
男性	24	0	10	3	1	7	3	15	6	6	0	0	4	
	100.0%	0.0%	41.7%	12.5%	4.2%	29.2%	12.5%	48.4%	19.4%	19.4%	0.0%	0.0%	12.9%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	賛成	135	5	42	23	6	54	5	52	24	53	1	0	5
		100.0%	3.7%	31.1%	17.0%	4.4%	40.0%	3.7%	38.5%	17.8%	39.3%	0.7%	0.0%	3.7%
	女性	79	3	21	16	6	31	2	29	10	37	1	0	2
		100.0%	3.8%	26.6%	20.3%	7.6%	39.2%	2.5%	36.7%	12.7%	46.8%	1.3%	0.0%	2.5%
	男性	54	2	19	7	0	23	3	23	12	16	0	0	3
		100.0%	3.7%	35.2%	13.0%	0.0%	42.6%	5.6%	42.6%	22.2%	29.6%	0.0%	0.0%	5.6%
	無回答	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
反対	277	1	89	51	7	108	21	87	54	124	0	0	12	
	100.0%	0.4%	32.1%	18.4%	2.5%	39.0%	7.6%	31.4%	19.5%	44.8%	0.0%	0.0%	4.3%	
女性	162	1	55	29	5	63	9	61	29	67	0	0	5	
	100.0%	0.6%	34.0%	17.9%	3.1%	38.9%	5.6%	37.7%	17.9%	41.4%	0.0%	0.0%	3.1%	
男性	115	0	34	22	2	45	12	26	25	57	0	0	7	
	100.0%	0.0%	29.6%	19.1%	1.7%	39.1%	10.4%	22.6%	21.7%	49.6%	0.0%	0.0%	6.1%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

家庭における夫婦の役割分担 5/6 【地域活動への参加, 学校行事やPTA等への参加】

上段: 度数 下段: %	サンプル数	自治会、町内会、公民館など地域活動への参加						学校行事やPTA等への参加						
		主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	
全体	426	118	108	124	5	51	20	27	209	115	3	30	42	
	100.0%	27.7%	25.4%	29.1%	1.2%	12.0%	4.7%	6.3%	49.1%	27.0%	0.7%	7.0%	9.9%	
性別・年代別	女性	248	58	61	80	3	35	11	13	124	66	1	18	26
		100.0%	23.4%	24.6%	32.3%	1.2%	14.1%	4.4%	5.2%	50.0%	26.6%	0.4%	7.3%	10.5%
	20歳代	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	47	11	9	15	1	11	0	1	26	13	1	5	1
		100.0%	23.4%	19.1%	31.9%	2.1%	23.4%	0.0%	2.1%	55.3%	27.7%	2.1%	10.6%	2.1%
	40歳代	73	18	22	21	1	9	2	6	39	21	0	2	5
		100.0%	24.7%	30.1%	28.8%	1.4%	12.3%	2.7%	8.2%	53.4%	28.8%	0.0%	2.7%	6.8%
	50歳代	76	16	19	30	1	5	5	3	33	23	0	5	12
		100.0%	21.1%	25.0%	39.5%	1.3%	6.6%	6.6%	3.9%	43.4%	30.3%	0.0%	6.6%	15.8%
	60歳以上	50	12	11	13	0	10	4	3	25	9	0	5	8
		100.0%	24.0%	22.0%	26.0%	0.0%	20.0%	8.0%	6.0%	50.0%	18.0%	0.0%	10.0%	16.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	176	60	45	44	2	16	9	14	83	49	2	12	16
		100.0%	34.1%	25.6%	25.0%	1.1%	9.1%	5.1%	8.0%	47.2%	27.8%	1.1%	6.8%	9.1%
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	34	10	8	10	0	4	2	0	22	8	0	1	3	
	100.0%	29.4%	23.5%	29.4%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	64.7%	23.5%	0.0%	2.9%	8.8%	
40歳代	31	7	15	7	0	2	0	3	19	8	0	1	0	
	100.0%	22.6%	48.4%	22.6%	0.0%	6.5%	0.0%	9.7%	61.3%	25.8%	0.0%	3.2%	0.0%	
50歳代	57	23	10	16	0	6	2	3	25	21	1	4	3	
	100.0%	40.4%	17.5%	28.1%	0.0%	10.5%	3.5%	5.3%	43.9%	36.8%	1.8%	7.0%	5.3%	
60歳以上	53	20	11	11	2	4	5	8	16	12	1	6	10	
	100.0%	37.7%	20.8%	20.8%	3.8%	7.5%	9.4%	15.1%	30.2%	22.6%	1.9%	11.3%	18.9%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
奄美市調査 平成29年度	全体	307	71	65	110	1	53	7	設問なし					
		100.0%	23.1%	21.2%	35.8%	0.3%	17.3%	2.3%						
	女性	166	25	41	58	0	37	5						
	100.0%	16.1%	24.7%	34.9%	0.0%	22.3%	3.0%							
男性	141	46	24	52	1	16	2							
	100.0%	32.6%	17.0%	36.9%	0.7%	11.3%	1.4%							
夫婦の就業状況別	はい(共働き)	318	85	85	99	4	34	11	18	163	91	2	20	24
		100.0%	26.7%	26.7%	31.1%	1.3%	10.7%	3.5%	5.7%	51.3%	28.6%	0.6%	6.3%	7.5%
	女性	192	42	52	65	3	24	6	9	97	56	1	12	17
		100.0%	21.9%	70.3%	25.5%	1.0%	0.0%	2.6%	4.7%	70.3%	25.5%	1.0%	0.0%	2.6%
	男性	126	43	33	34	1	10	5	9	66	35	1	8	7
		100.0%	34.1%	69.0%	27.8%	0.8%	0.0%	1.6%	7.1%	69.0%	27.8%	0.8%	0.0%	1.6%
いいえ(片働き)	102	32	20	25	1	16	8	9	43	22	1	10	17	
	100.0%	31.4%	19.6%	24.5%	1.0%	15.7%	7.8%	8.8%	42.2%	21.6%	1.0%	9.8%	16.7%	
女性	54	15	8	15	0	11	5	4	26	9	0	6	9	
	100.0%	27.8%	14.8%	27.8%	0.0%	20.4%	9.3%	7.4%	48.1%	16.7%	0.0%	11.1%	16.7%	
男性	48	17	12	10	1	5	3	5	17	13	1	4	8	
	100.0%	35.4%	25.0%	20.8%	2.1%	10.4%	6.3%	10.4%	35.4%	27.1%	2.1%	8.3%	16.7%	

家庭における夫婦の役割分担 6/6 【地域活動への参加, 学校行事やPTA等への参加】

職業別・性別	上段:度数 下段:%	自治会、町内会、公民館など地域活動への参加						学校行事やPTA等への参加						
		サンプル数	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答
職業別・性別	自営業主	49	13	11	16	0	8	1	7	23	12	0	4	3
		100.0%	26.5%	22.4%	32.7%	0.0%	16.3%	2.0%	14.3%	46.9%	24.5%	0.0%	8.2%	6.1%
	女性	23	6	3	10	0	4	0	4	9	7	0	2	1
		100.0%	26.1%	13.0%	43.5%	0.0%	17.4%	0.0%	17.4%	39.1%	30.4%	0.0%	8.7%	4.3%
	男性	26	7	8	6	0	4	1	3	14	5	0	2	2
		100.0%	26.9%	30.8%	23.1%	0.0%	15.4%	3.8%	11.5%	53.8%	19.2%	0.0%	7.7%	7.7%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従事者	14	3	5	4	1	1	0	0	6	7	0	1	0
		100.0%	21.4%	35.7%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	42.9%	50.0%	0.0%	7.1%	0.0%
	女性	11	1	1	1	0	0	0	0	4	6	0	1	0
		100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%	0.0%
	男性	3	2	4	3	1	1	0	0	2	1	0	0	0
		100.0%	18.2%	36.4%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雇用者	298	83	74	92	3	31	15	15	148	85	2	22	26	
	100.0%	27.9%	24.8%	30.9%	1.0%	10.4%	5.0%	5.0%	49.7%	28.5%	0.7%	7.4%	8.7%	
女性	177	41	48	58	2	21	7	7	93	48	1	13	15	
	100.0%	23.2%	27.1%	32.8%	1.1%	11.9%	4.0%	4.0%	52.5%	27.1%	0.6%	7.3%	8.5%	
男性	119	42	24	34	1	10	8	8	53	37	1	9	11	
	100.0%	35.3%	20.2%	28.6%	0.8%	8.4%	6.7%	6.7%	44.5%	31.1%	0.8%	7.6%	9.2%	
無回答	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無職	55	16	16	9	1	10	3	4	28	9	1	3	10	
	100.0%	29.1%	29.1%	16.4%	1.8%	18.2%	5.5%	7.3%	50.9%	16.4%	1.8%	5.5%	18.2%	
女性	31	9	5	6	0	8	3	2	16	3	0	2	8	
	100.0%	29.0%	16.1%	19.4%	0.0%	25.8%	9.7%	6.5%	51.6%	9.7%	0.0%	6.5%	25.8%	
男性	24	7	11	3	1	2	0	2	12	6	1	1	2	
	100.0%	29.2%	45.8%	12.5%	4.2%	8.3%	0.0%	8.3%	50.0%	25.0%	4.2%	4.2%	8.3%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	賛成	135	29	43	45	3	11	4	10	78	22	2	13	10
		100.0%	21.5%	31.9%	33.3%	2.2%	8.1%	3.0%	7.4%	57.8%	16.3%	1.5%	9.6%	7.4%
	女性	79	15	21	32	1	8	2	6	44	14	1	8	6
		100.0%	19.0%	26.6%	40.5%	1.3%	10.1%	2.5%	7.6%	55.7%	17.7%	1.3%	10.1%	7.6%
	男性	54	14	20	13	2	3	2	4	32	8	1	5	4
		100.0%	25.9%	37.0%	24.1%	3.7%	5.6%	3.7%	7.4%	59.3%	14.8%	1.9%	9.3%	7.4%
	無回答	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
反対	277	88	64	78	2	37	8	17	129	91	1	15	24	
	100.0%	31.8%	23.1%	28.2%	0.7%	13.4%	2.9%	6.1%	46.6%	32.9%	0.4%	5.4%	8.7%	
女性	162	43	39	48	2	26	4	7	79	51	0	10	15	
	100.0%	26.5%	24.1%	29.6%	1.2%	16.0%	2.5%	4.3%	48.8%	31.5%	0.0%	6.2%	9.3%	
男性	115	45	25	30	0	11	4	10	50	40	1	5	9	
	100.0%	39.1%	21.7%	26.1%	0.0%	9.6%	3.5%	8.7%	43.5%	34.8%	0.9%	4.3%	7.8%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(13) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

問 12 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのようにお考えですか。

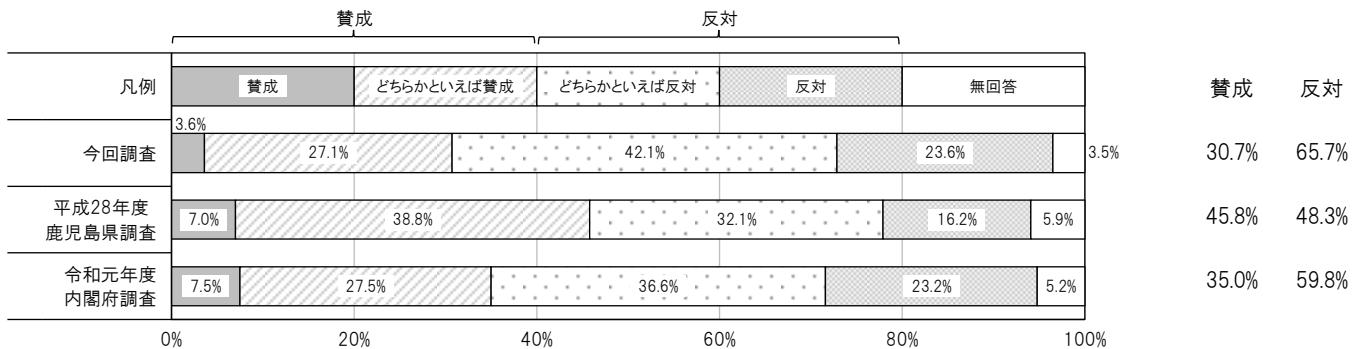
全体では、「どちらかといえば反対」と回答した割合が 42.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば賛成」27.1%、「反対」23.6%の順となっている。

『賛成』と回答した割合が 30.7%、『反対』が 65.7%となっており、県調査と比較すると『賛成』が 15.1 ポイント低く、『反対』は 17.4 ポイント高い。

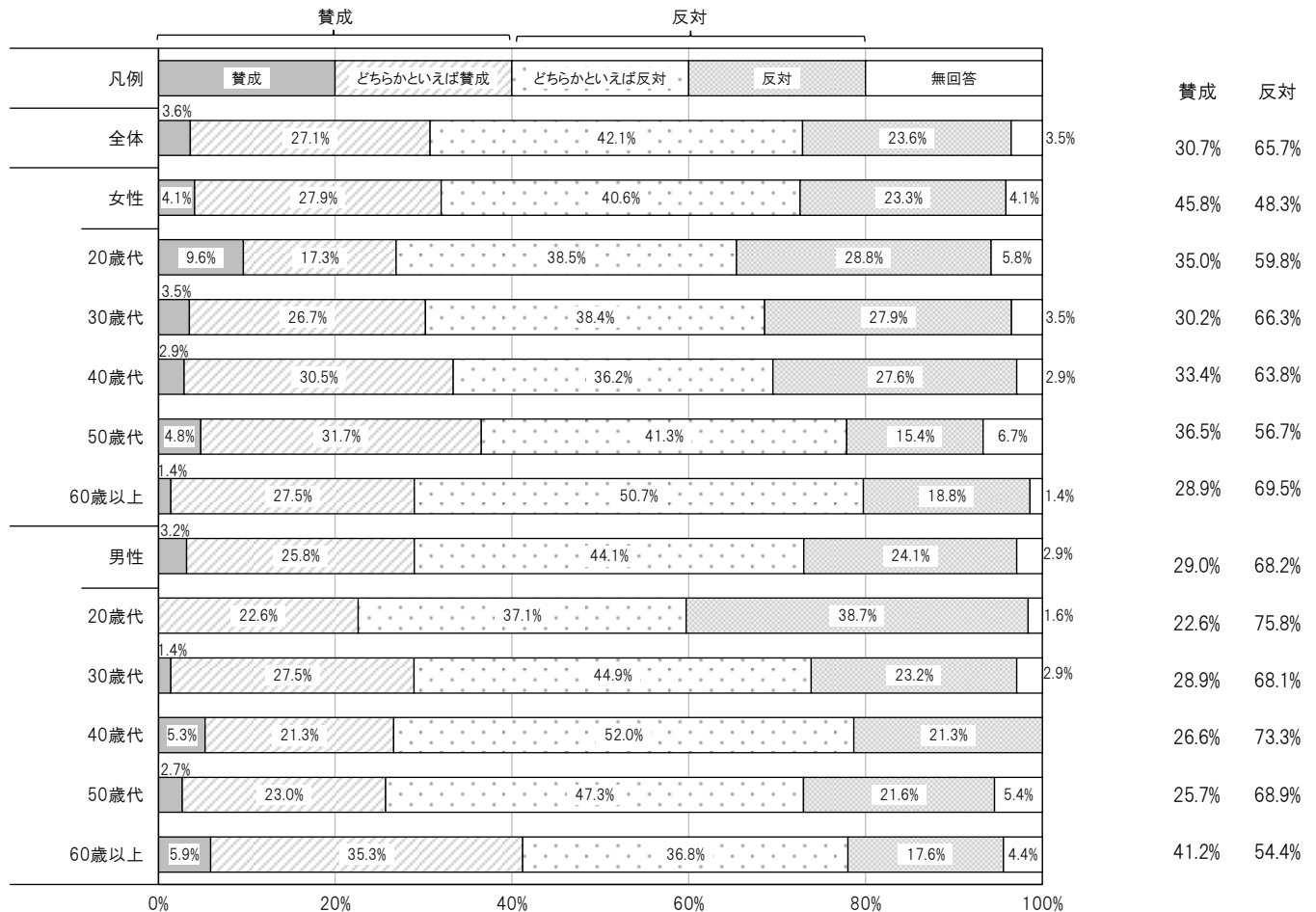
性別・年代別でみると、『賛成』と回答した割合は、女性では「50 歳代」の 36.5%が最も高く、「20 歳代」の 26.9%が最も低くなっており、男性では「60 歳以上」の 41.2%が最も高く、「20 歳代」の 22.6%が最も低くなっている。また、『賛成』と回答した割合は、「50 歳代」では女性が 10.8 ポイント高く、「60 歳以上」では男性が 12.3 ポイント高くなっている。

『反対』と回答した割合が、女性では「60 歳以上」の 69.5%が最も高く、最も少ない「50 歳代」の 56.7%と 12.8 ポイントの差があった。男性では「20 歳代」の 75.8%が最も高く、最も少ない「60 歳以上」の 54.4%と 21.4 ポイントの差があった。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（全体、県・内閣府調査）



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（性別・年代別）



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（性別・年代別、県・内閣府調査）

		問12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について					
		サンプル数	賛成	賛成 どちらか といえば	反対 どちらか といえば	反対	無回答
上段：度数 下段：%							
全体		770 100.0%	28 3.6%	209 27.1%	324 42.1%	182 23.6%	27 3.5%
性別・年代別	女性	416 100.0%	17 4.1%	116 27.9%	169 40.6%	97 23.3%	17 4.1%
	20歳代	52 100.0%	5 9.6%	9 17.3%	20 38.5%	15 28.8%	3 5.8%
	30歳代	86 100.0%	3 3.5%	23 26.7%	33 38.4%	24 27.9%	3 3.5%
	40歳代	105 100.0%	3 2.9%	32 30.5%	38 36.2%	29 27.6%	3 2.9%
	50歳代	104 100.0%	5 4.8%	33 31.7%	43 41.3%	16 15.4%	7 6.7%
	60歳以上	69 100.0%	1 1.4%	19 27.5%	35 50.7%	13 18.8%	1 1.4%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	349 100.0%	11 3.2%	90 25.8%	154 44.1%	84 24.1%	10 2.9%
	20歳代	62 100.0%	0 0.0%	14 22.6%	23 37.1%	24 38.7%	1 1.6%
	30歳代	69 100.0%	1 1.4%	19 27.5%	31 44.9%	16 23.2%	2 2.9%
	40歳代	75 100.0%	4 5.3%	16 21.3%	39 52.0%	16 21.3%	0 0.0%
	50歳代	74 100.0%	2 2.7%	17 23.0%	35 47.3%	16 21.6%	4 5.4%
	60歳以上	68 100.0%	4 5.9%	24 35.3%	25 36.8%	12 17.6%	3 4.4%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%

平成28年度 鹿児島県	全体	2,227 100.0%	156 7.0%	863 38.8%	715 32.1%	361 16.2%	132 5.9%
	女性	1,252 100.0%	89 7.1%	443 35.4%	451 36.0%	214 17.1%	55 4.4%
	男性	928 100.0%	65 7.0%	412 44.4%	261 28.1%	144 15.5%	46 5.0%
令和元年度 内閣府	全体	2,645 100.0%		27.5%	36.6%	23.2%	5.2%
	女性	1,407 100.0%	6.5%	24.6%	38.5%	24.9%	5.5%
	男性	1,238 100.0%	8.6%	30.8%	34.4%	21.2%	4.9%

※わからない

※令和元年度内閣府世論調査の「わからない」は、「無回答」に計上

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

(性別・地区別)

		問12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について					
		サンプル数	賛成	賛成どちらかといえば	反対どちらかといえば	反対	無回答
地区別・性別	上段:度数 下段:%						
	名瀬地区	636	20	176	270	149	21
		100.0%	3.1%	27.7%	42.5%	23.4%	3.3%
	女性	333	12	96	135	78	12
		100.0%	3.6%	28.8%	40.5%	23.4%	3.6%
	男性	301	8	78	135	71	9
		100.0%	2.7%	25.9%	44.9%	23.6%	3.0%
	無回答	2	0	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	住用地区	26	0	8	7	8	3
		100.0%	0.0%	30.8%	26.9%	30.8%	11.5%
	女性	14	0	3	5	4	2
		100.0%	0.0%	21.4%	35.7%	28.6%	14.3%
	男性	12	0	5	2	4	1
		100.0%	0.0%	41.7%	16.7%	33.3%	8.3%
	無回答	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	笠利地区	104	8	23	46	24	3
		100.0%	7.7%	22.1%	44.2%	23.1%	2.9%
	女性	69	5	17	29	15	3
	100.0%	7.2%	24.6%	42.0%	21.7%	4.3%	
男性	35	3	6	17	9	0	
	100.0%	8.6%	17.1%	48.6%	25.7%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	4	0	2	1	1	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
女性	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性	1	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	3	0	1	1	1	0	
	100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	

(性別・職業別)

		問12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について					
		サンプル数	賛成	賛成どちらかといえば	反対どちらかといえば	反対	無回答
職業別・性別	上段:度数 下段:%						
	自営業主	73	4	25	28	15	1
		100.0%	5.5%	34.2%	38.4%	20.5%	1.4%
	女性	32	0	14	8	10	0
		100.0%	0.0%	43.8%	25.0%	31.3%	0.0%
	男性	41	4	11	20	5	1
		100.0%	9.8%	26.8%	48.8%	12.2%	2.4%
	無回答	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従事者	18	0	6	8	4	0
		100.0%	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%
	女性	13	0	3	6	4	0
		100.0%	0.0%	23.1%	46.2%	30.8%	0.0%
	男性	5	0	3	2	0	0
		100.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用者	542	17	135	236	121	15
		100.0%	3.1%	24.9%	43.5%	22.3%	2.8%
	女性	294	13	75	127	66	8
	100.0%	4.4%	25.5%	43.2%	22.4%	2.7%	
男性	244	4	57	109	54	7	
	100.0%	1.6%	23.4%	44.7%	22.1%	2.9%	
無回答	4	0	3	0	1	0	
	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
無職	131	7	35	45	41	3	
	100.0%	5.3%	26.7%	34.4%	31.3%	2.3%	
女性	66	4	19	23	17	3	
	100.0%	6.1%	28.8%	34.8%	25.8%	4.5%	
男性	64	3	16	21	24	0	
	100.0%	4.7%	25.0%	32.8%	37.5%	0.0%	
無回答	1	0	0	1	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
無回答	24	0	8	7	1	8	
	100.0%	0.0%	33.3%	29.2%	4.2%	33.3%	
女性	8	0	3	2	1	2	
	100.0%	0.0%	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	
男性	16	0	5	5	0	6	
	100.0%	0.0%	31.3%	31.3%	0.0%	37.5%	
無回答	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

8 仕事と家庭・地域への取組について

(14) 地域活動への参加状況

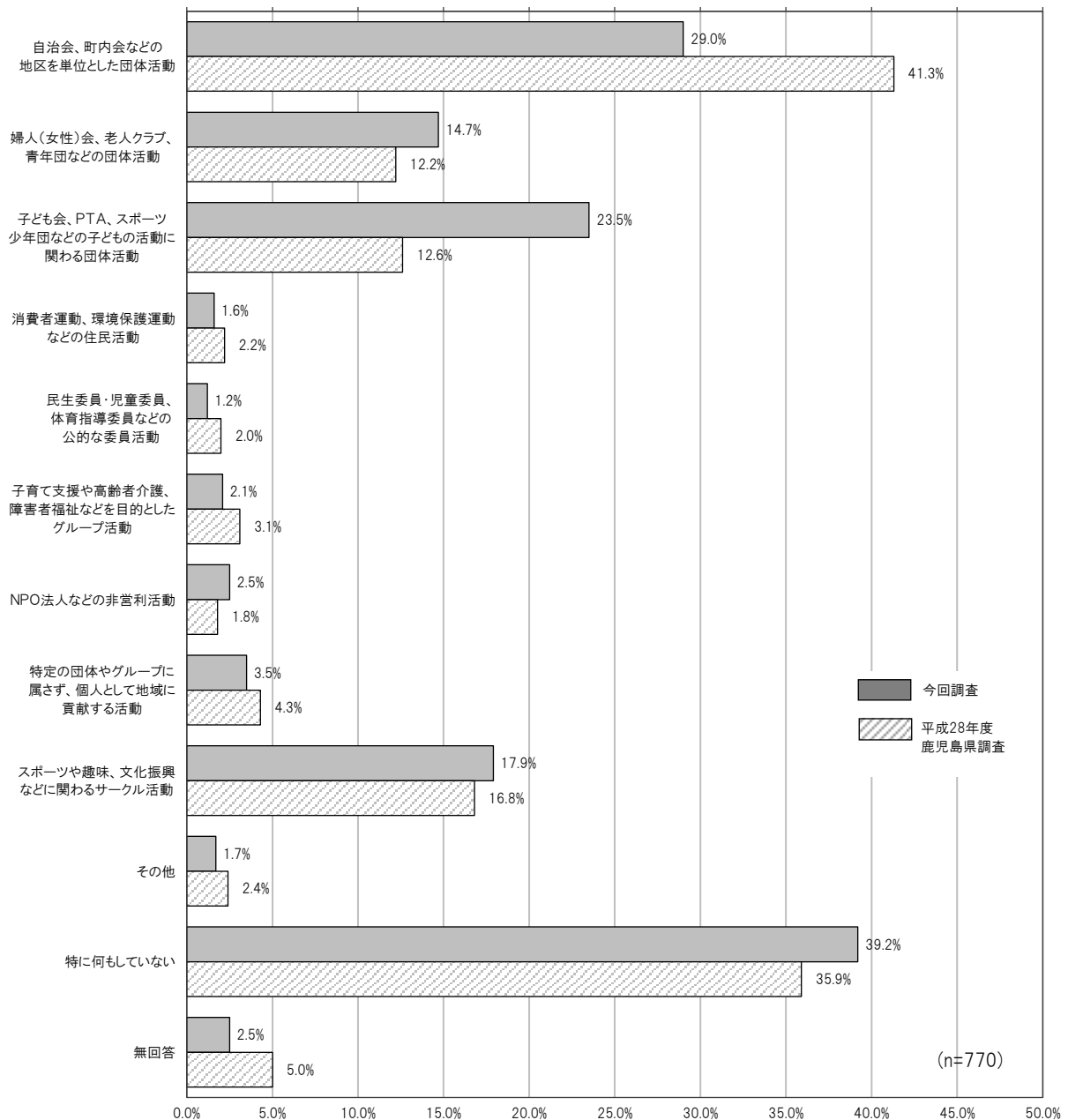
問 13 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。

全体では、「特に何もしていない」と回答した人の割合が 39.2%と最も高く、次いで「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」29.0%、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」23.5%の順となっている。

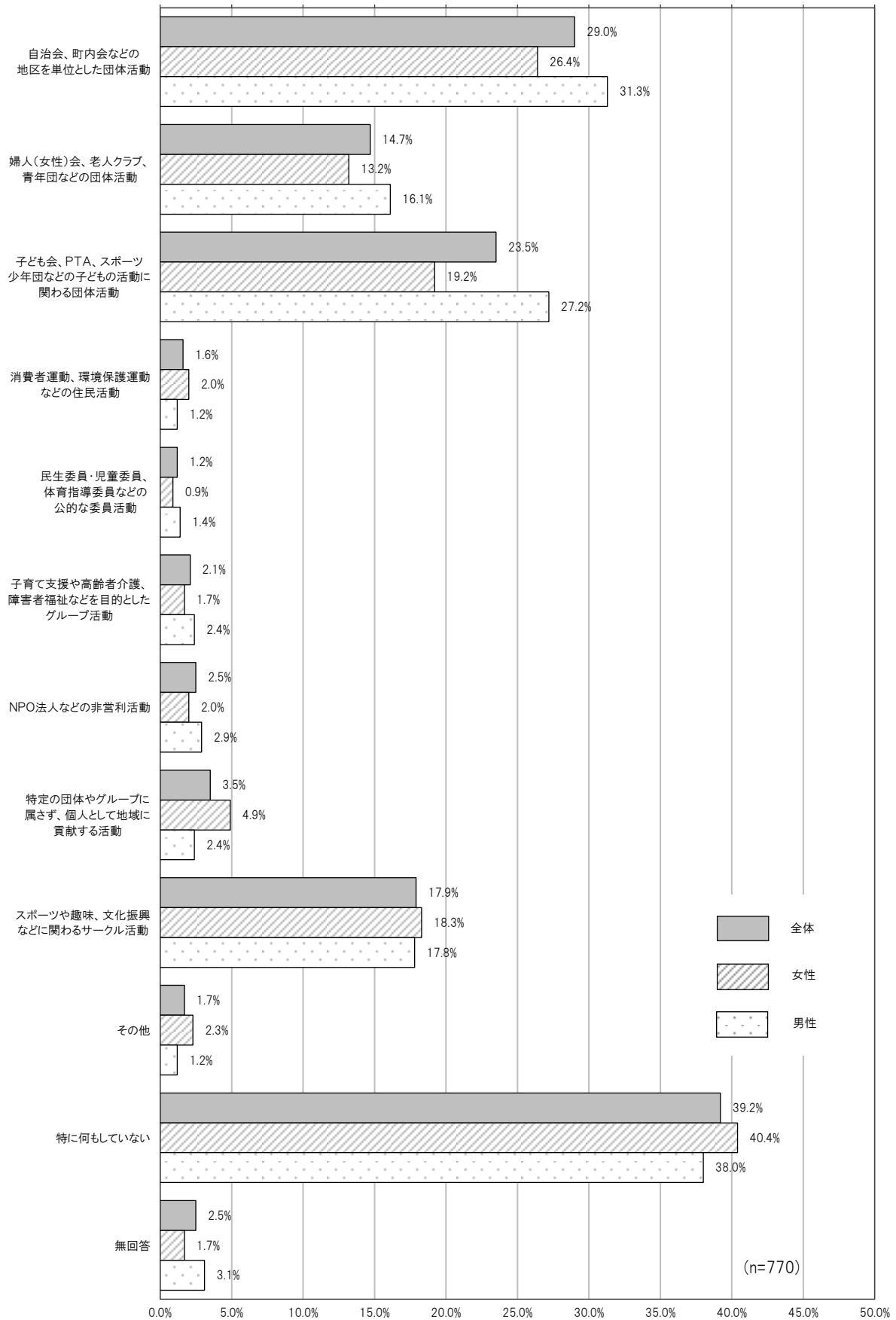
県調査と比較すると、「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」で 12.3 ポイント低く、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」では、10.9 ポイント高くなっている。

性別で見ると、女性では「特に何もしていない」の 40.4%が最も高く、次いで「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」の 26.4%、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」19.2%の順となっている。男性では「特に何もしていない」の 38.0%が最も高く、次いで「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」31.3%、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」27.2%の順となっている。

地域活動への参加状況（全体、県調査）



地域活動への参加状況（全体・性別）



地域活動への参加状況（性別・年代別，県調査）

問13 地域活動への参加状況		サンプル数	自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動	青年団（女性）会、老人クラブ、婦人などの団体活動	子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもに活動に関わる団体活動	消費者運動、環境保護運動などの住民活動	民生委員・児童委員、体育指導委員などの公的な委員活動	障害者福祉などを目的としたグループ活動	NPO法人などの非営利活動	特定の団体やグループに属せず、個人として地域に貢献する活動	スポーツや趣味、文化振興などに関するサークル活動	その他	特に何もしていない	無回答	
		上段：度数 下段：%													
全体		770 100.0%	223 29.0%	113 14.7%	181 23.5%	12 1.6%	9 1.2%	16 2.1%	19 2.5%	27 3.5%	138 17.9%	13 1.7%	302 39.2%	19 2.5%	
性別・年代別	女性	349 100.0%	92 26.4%	46 13.2%	67 19.2%	7 2.0%	3 0.9%	6 1.7%	7 2.0%	17 4.9%	64 18.3%	8 2.3%	141 40.4%	6 1.7%	
	20歳代	62 100.0%	5 8.1%	3 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	4 6.5%	8 12.9%	2 3.2%	42 67.7%	0 0.0%
	30歳代	69 100.0%	19 27.5%	14 20.3%	22 31.9%	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.9%	10 14.5%	0 0.0%	26 37.7%	1 1.4%
	40歳代	75 100.0%	14 18.7%	9 12.0%	27 36.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	1 1.3%	12 16.0%	0 0.0%	31 41.3%	1 1.3%
	50歳代	74 100.0%	24 32.4%	13 17.6%	15 20.3%	2 2.7%	2 2.7%	3 4.1%	3 4.1%	3 4.1%	3 4.1%	17 23.0%	1 1.4%	24 32.4%	3 4.1%
	60歳以上	68 100.0%	30 44.1%	7 10.3%	2 2.9%	2 2.9%	1 1.5%	2 2.9%	1 1.5%	7 10.3%	7 10.3%	17 25.0%	5 7.4%	18 26.5%	1 1.5%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	416 100.0%	130 31.3%	67 16.1%	113 27.2%	5 1.2%	6 1.4%	10 2.4%	12 2.9%	10 2.4%	74 17.8%	5 1.2%	158 38.0%	13 3.1%	
	20歳代	52 100.0%	10 19.2%	2 3.8%	4 7.7%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	1 1.9%	5 9.6%	1 1.9%	32 61.5%	2 3.8%
	30歳代	86 100.0%	30 34.9%	16 18.6%	36 41.9%	2 2.3%	3 3.5%	3 3.5%	2 2.3%	2 2.3%	12 14.0%	1 1.2%	32 37.2%	2 2.3%	
	40歳代	105 100.0%	29 27.6%	16 15.2%	51 48.6%	0 0.0%	1 1.0%	2 1.9%	5 4.8%	2 1.9%	20 19.0%	0 0.0%	32 30.5%	2 1.9%	
	50歳代	104 100.0%	35 33.7%	22 21.2%	19 18.3%	2 1.9%	0 0.0%	3 2.9%	0 0.0%	3 2.9%	17 16.3%	1 1.0%	37 35.6%	6 5.8%	
	60歳以上	69 100.0%	26 37.7%	11 15.9%	3 4.3%	0 0.0%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	20 29.0%	2 2.9%	25 36.2%	1 1.4%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
無回答	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	
鹿平 児成 島2 県8 調年 査度	全体	2,227 -	920 41.3%	271 12.2%	281 12.6%	48 2.2%	44 2.0%	69 3.1%	39 1.8%	96 4.3%	374 16.8%	54 2.4%	800 35.9%	112 5.0%	
	女性	1,252 -	505 40.3%	177 14.1%	179 14.3%	21 1.7%	21 1.7%	53 4.2%	21 1.7%	37 3.0%	231 18.5%	31 2.5%	454 36.3%	38 3.0%	
	男性	928 -	408 44.0%	89 9.6%	100 10.8%	24 2.6%	21 2.3%	15 1.6%	18 1.9%	59 6.4%	142 15.3%	21 2.3%	338 36.4%	44 4.7%	

地域活動への参加状況（性別・地区別，職業別）

		問13 地域活動への参加状況													
		サンプル数	自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動	青年団などの団体活動	婦人（女性）会、老人クラブ、関わる団体活動	子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に	消費者運動、環境保護運動などの住民活動	民生委員・児童委員、公的な委員活動	子育て支援や高齢者介護、障害者福祉などを目的としたグループ活動	NPO法人などの非営利活動	特定の団体やグループに属せず、個人として地域に貢献する活動	スポーツや趣味、文化振興などに関するサークル活動	その他	特に何もしていない	無回答
上段：度数 下段：%															
地区別・性別	名瀬地区	636	158	43	144	8	3	13	16	19	116	11	281	13	
		100.0%	24.8%	6.8%	22.6%	1.3%	0.5%	2.0%	2.5%	3.0%	18.2%	1.7%	44.2%	2.0%	
	女性	333	89	20	87	3	2	7	9	7	59	5	145	8	
		100.0%	26.7%	6.0%	26.1%	0.9%	0.6%	2.1%	2.7%	2.1%	17.7%	1.5%	43.5%	2.4%	
	男性	301	69	23	57	5	1	6	7	12	57	6	134	5	
		100.0%	22.9%	7.6%	18.9%	1.7%	0.3%	2.0%	2.3%	4.0%	18.9%	2.0%	44.5%	1.7%	
	無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	住用地区	26	13	14	4	1	2	1	1	1	0	6	0	3	3
		100.0%	50.0%	53.8%	15.4%	3.8%	7.7%	3.8%	3.8%	0.0%	23.1%	0.0%	11.5%	11.5%	
	女性	14	8	10	4	1	1	1	1	1	0	4	0	0	2
		100.0%	57.1%	71.4%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	
	男性	12	5	4	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	1
		100.0%	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	25.0%	8.3%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
笠利地区	104	50	55	32	3	4	2	2	8	16	2	17	3		
	100.0%	48.1%	52.9%	30.8%	2.9%	3.8%	1.9%	1.9%	7.7%	15.4%	1.9%	16.3%	2.9%		
女性	69	33	37	22	1	3	2	2	3	11	0	13	3		
	100.0%	47.8%	53.6%	31.9%	1.4%	4.3%	2.9%	2.9%	4.3%	15.9%	0.0%	18.8%	4.3%		
男性	35	17	18	10	2	1	0	0	5	5	2	4	0		
	100.0%	48.6%	51.4%	28.6%	5.7%	2.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	5.7%	11.4%	0.0%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
男性	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
職業別・性別	自営業主	73	19	10	12	1	0	1	4	6	19	1	25	0	
		100.0%	26.0%	13.7%	16.4%	1.4%	0.0%	1.4%	5.5%	8.2%	26.0%	1.4%	34.2%	0.0%	
	女性	32	12	5	5	0	0	1	1	0	12	1	10	0	
		100.0%	37.5%	15.6%	15.6%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	37.5%	3.1%	31.3%	0.0%	
	男性	41	7	5	7	1	0	0	3	6	7	0	15	0	
		100.0%	17.1%	12.2%	17.1%	2.4%	0.0%	0.0%	7.3%	14.6%	17.1%	0.0%	36.6%	0.0%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	家族従事者	18	8	7	4	0	0	0	0	0	3	0	6	0	
		100.0%	44.4%	38.9%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
	女性	13	6	5	3	0	0	0	0	0	2	0	4	0	
		100.0%	46.2%	38.5%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	30.8%	0.0%	
	男性	5	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
		100.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
雇用者	542	171	86	150	7	8	14	12	14	96	4	211	9		
	100.0%	31.5%	15.9%	27.7%	1.3%	1.5%	2.6%	2.2%	2.6%	17.7%	0.7%	38.9%	1.7%		
女性	302	92	48	96	4	6	9	9	8	48	1	108	6		
	100.0%	30.5%	15.9%	31.8%	1.3%	2.0%	3.0%	3.0%	2.6%	15.9%	0.3%	35.8%	2.0%		
男性	236	71	31	49	3	2	5	3	6	45	3	94	3		
	100.0%	30.1%	13.1%	20.8%	1.3%	0.8%	2.1%	1.3%	2.5%	19.1%	1.3%	39.8%	1.3%		
無回答	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	
無職	131	29	16	14	3	1	1	2	7	21	7	58	4		
	100.0%	22.1%	12.2%	10.7%	2.3%	0.8%	0.8%	1.5%	5.3%	16.0%	5.3%	44.3%	3.1%		
女性	66	17	8	5	1	0	0	2	2	11	3	31	3		
	100.0%	25.8%	12.1%	7.6%	1.5%	0.0%	0.0%	3.0%	3.0%	16.7%	4.5%	47.0%	4.5%		
男性	64	11	8	9	2	1	1	0	5	10	4	27	1		
	100.0%	17.2%	12.5%	14.1%	3.1%	1.6%	1.6%	0.0%	7.8%	15.6%	6.3%	42.2%	1.6%		
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	24	4	1	5	1	0	0	1	0	2	1	8	6		
	100.0%	16.7%	4.2%	20.8%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	8.3%	4.2%	33.3%	25.0%		
女性	16	3	1	4	0	0	0	0	0	1	0	5	4		
	100.0%	18.8%	6.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	31.3%	25.0%		
男性	8	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	3	2		
	100.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

(15) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 現実（現状）

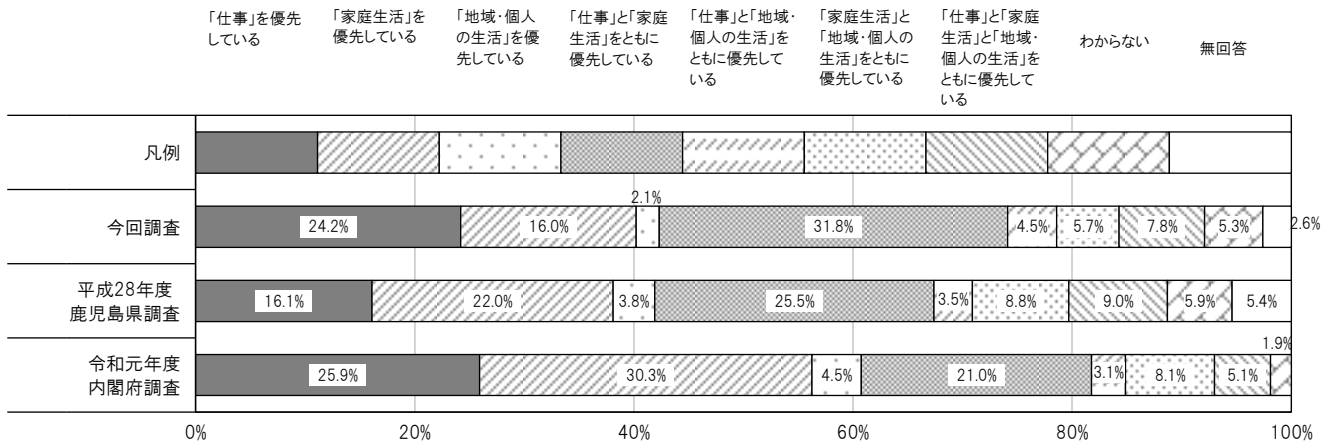
問 14-1 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたはどのようにお考えですか。

全体では、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した割合が、31.8%と最も高く、次いで「仕事」を優先している」24.2%、「家庭生活」を優先している」16.0%の順となっている。

県調査と比較すると、「仕事」を優先している」で8.1ポイント、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」で6.3ポイント高く、「家庭生活」を優先している」で10.9ポイント低い。内閣府調査との比較では、「家庭生活」を優先している」で14.3ポイント低く、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」で10.8ポイント高くなっている。

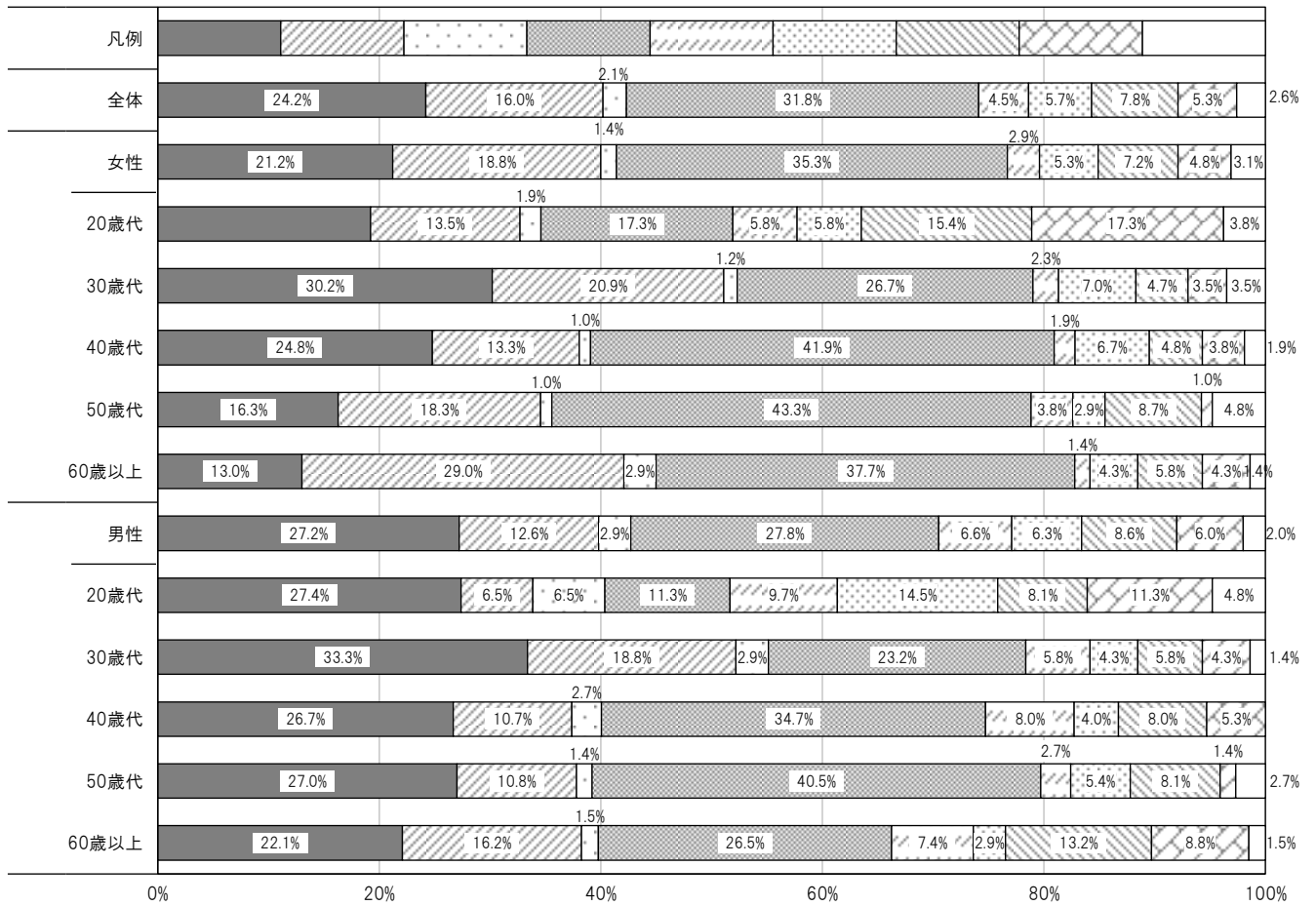
性別で見ると、女性では、「50歳代」の「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した割合が43.3%で最も高く、次いで「40歳代」41.9%、「60歳以上」37.7%の順となっている。男性では「50歳代」の「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した割合が40.5%で最も高く、次いで「40歳代」34.7%の順となっている。また、女性の「30歳代」と男性の「20歳代」、「30歳代」では、「仕事」を優先している」と回答した割合が、最も高くなっている。

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 現実（全体、県・内閣府調査）



「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 現実（性別・年代別）

「仕事」を優先している
「家庭生活」を優先している
「地域・個人の生活」を優先している
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
わからない
無回答



「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 現実（性別・年代別，県・内閣府調査）

上段：度数 下段：%		問14-1 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の現状									
		サンプル数	「仕事」を優先している	優「先家庭して生活る」を	優「先地域・個人の生活る」を	と「仕事」優先して「家庭生活」を	と「地域・仕事」優先して「生活」を	と「地域・家庭生活」優先して「生活」を	と「地域・仕事」優先して「生活」を	わからぬ	無回答
全体		770 100.0%	186 24.2%	123 16.0%	16 2.1%	245 31.8%	35 4.5%	44 5.7%	60 7.8%	41 5.3%	20 2.6%
性別・年代別	女性	416 100.0%	88 21.2%	78 18.8%	6 1.4%	147 35.3%	12 2.9%	22 5.3%	30 7.2%	20 4.8%	13 3.1%
	20歳代	52 100.0%	10 19.2%	7 13.5%	1 1.9%	9 17.3%	3 5.8%	3 5.8%	8 15.4%	9 17.3%	2 3.8%
	30歳代	86 100.0%	26 30.2%	18 20.9%	1 1.2%	23 26.7%	2 2.3%	6 7.0%	4 4.7%	3 3.5%	3 3.5%
	40歳代	105 100.0%	26 24.8%	14 13.3%	1 1.0%	44 41.9%	2 1.9%	7 6.7%	5 4.8%	4 3.8%	2 1.9%
	50歳代	104 100.0%	17 16.3%	19 18.3%	1 1.0%	45 43.3%	4 3.8%	3 2.9%	9 8.7%	1 1.0%	5 4.8%
	60歳以上	69 100.0%	9 13.0%	20 29.0%	2 2.9%	26 37.7%	1 1.4%	3 4.3%	4 5.8%	3 4.3%	1 1.4%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	349 100.0%	95 27.2%	44 12.6%	10 2.9%	97 27.8%	23 6.6%	22 6.3%	30 8.6%	21 6.0%	7 2.0%
	20歳代	62 100.0%	17 27.4%	4 6.5%	4 6.5%	7 11.3%	6 9.7%	9 14.5%	5 8.1%	7 11.3%	3 4.8%
	30歳代	69 100.0%	23 33.3%	13 18.8%	2 2.9%	16 23.2%	4 5.8%	3 4.3%	4 5.8%	3 4.3%	1 1.4%
	40歳代	75 100.0%	20 26.7%	8 10.7%	2 2.7%	26 34.7%	6 8.0%	3 4.0%	6 8.0%	4 5.3%	0 0.0%
	50歳代	74 100.0%	20 27.0%	8 10.8%	1 1.4%	30 40.5%	2 2.7%	4 5.4%	6 8.1%	1 1.4%	2 2.7%
	60歳以上	68 100.0%	15 22.1%	11 16.2%	1 1.5%	18 26.5%	5 7.4%	2 2.9%	9 13.2%	6 8.8%	1 1.5%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	5 x	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
鹿平 児成 島2 県8 調年度 査	全体	2,227 100.0%	359 16.1%	489 22.0%	84 3.8%	567 25.5%	79 3.5%	196 8.8%	200 9.0%	132 5.9%	121 5.4%
	女性	1,252 100.0%	144 11.5%	359 28.7%	46 3.7%	312 24.9%	38 3.0%	124 9.9%	107 8.5%	75 6.0%	47 3.8%
	男性	928 100.0%	211 22.7%	127 13.7%	37 4.0%	253 27.3%	41 4.4%	72 7.8%	91 9.8%	53 5.7%	43 4.6%
内閣 府和 元世 論年度 調査	全体	2,645 100.0%	685 25.9%	801 30.3%	119 4.5%	555 21.0%	82 3.1%	214 8.1%	135 5.1%	50 1.9%	-
	女性	1,407 100.0%	234 16.6%	561 39.9%	52 3.7%	295 21.0%	30 2.1%	135 9.6%	75 5.3%	23 1.6%	-
	男性	1,238 100.0%	452 36.5%	240 19.4%	68 5.5%	260 21.0%	52 4.2%	79 6.4%	59 4.8%	28 2.3%	-

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 現実（職業別・性別）

上段：度数 下段：%		問14-1 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の現状									
		サンプル数	「仕事」を優先している	優先「家庭生活」を	優先「地域・個人の生活」を	「仕事」と優先している	「地域・個人の生活」と優先している	「仕事」と「家庭生活」と優先している	「地域・個人の生活」と優先している	わからない	無回答
職業別・性別	自営業主	73	39	10	0	37	6	4	9	0	0
		100.0%	53.4%	13.7%	0.0%	50.7%	8.2%	5.5%	12.3%	0.0%	0.0%
	女性	32	11	4	0	14	1	1	1	0	0
		100.0%	34.4%	12.5%	0.0%	43.8%	3.1%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%
	男性	41	17	2	0	9	4	2	7	0	0
		100.0%	41.5%	4.9%	0.0%	22.0%	9.8%	4.9%	17.1%	0.0%	0.0%
	無回答	0	11	4	0	14	1	1	1	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従事者	18	8	4	0	17	0	1	0	1	0
		100.0%	44.4%	22.2%	0.0%	94.4%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	女性	13	3	2	0	8	0	0	0	0	0
		100.0%	23.1%	15.4%	0.0%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	5	2	0	0	1	0	1	0	1	0
		100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	無回答	0	3	2	0	8	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用者	524	145	63	9	197	25	21	39	15	10
		100.0%	27.7%	12.0%	1.7%	37.6%	4.8%	4.0%	7.4%	2.9%	1.9%
	女性	289	70	37	5	120	11	10	21	8	7
		100.0%	24.2%	12.8%	1.7%	41.5%	3.8%	3.5%	7.3%	2.8%	2.4%
男性	231	72	26	4	76	14	11	18	7	3	
	100.0%	31.2%	11.3%	1.7%	32.9%	6.1%	4.8%	7.8%	3.0%	1.3%	
無回答	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	
	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無職	131	4	48	7	9	5	18	12	24	4	
	100.0%	3.1%	36.6%	5.3%	6.9%	3.8%	13.7%	9.2%	18.3%	3.1%	
女性	66	0	32	1	2	0	10	7	12	2	
	100.0%	0.0%	48.5%	1.5%	3.0%	0.0%	15.2%	10.6%	18.2%	3.0%	
男性	64	4	15	6	7	5	8	5	12	2	
	100.0%	6.3%	23.4%	9.4%	10.9%	7.8%	12.5%	7.8%	18.8%	3.1%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	24	4	4	0	7	0	1	1	1	6	
	100.0%	16.7%	16.7%	0.0%	29.2%	0.0%	4.2%	4.2%	4.2%	25.0%	
女性	8	0	1	0	4	0	0	0	1	2	
	100.0%	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	
男性	16	4	3	0	3	0	1	1	0	4	
	100.0%	25.0%	18.8%	0.0%	18.8%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	25.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(16) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 希望

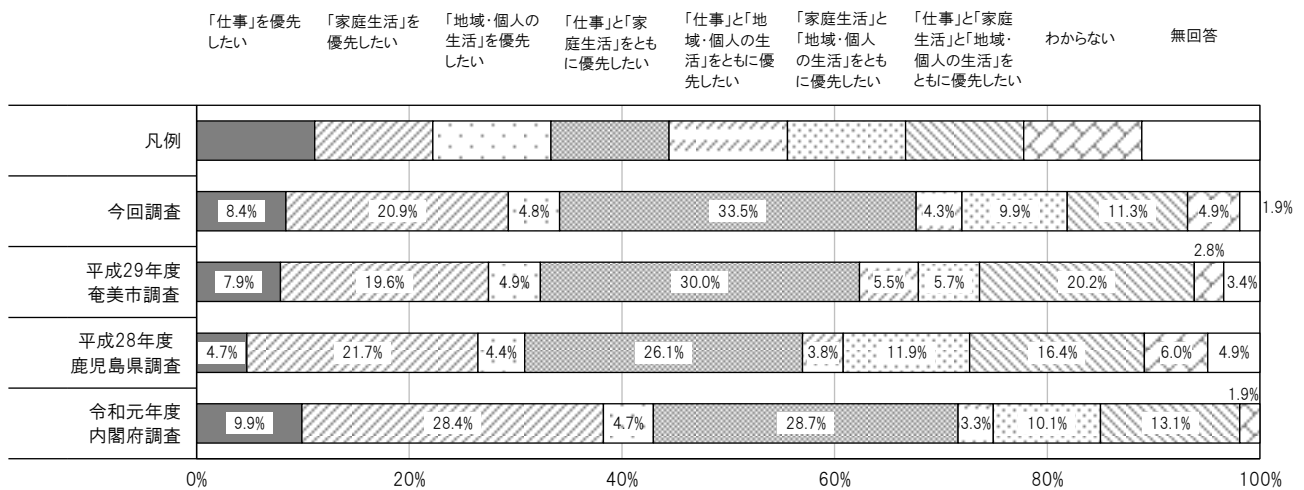
問 14-2 それでは、あなたの希望はどれに当てはまりますか。

全体では、「仕事」と「家庭生活」とともに優先したい」と回答した割合が 33.5%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい 20.9%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」とともに優先したい 11.3%の順となっている。

前回調査と比較すると、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」とともに優先したい」が 8.9 ポイント低くなっている。県調査との比較では「仕事」と「家庭生活」とともに優先したい」で 7.4 ポイント高く、内閣府調査との比較では「家庭生活」を優先したい」で 7.5 ポイント低い。

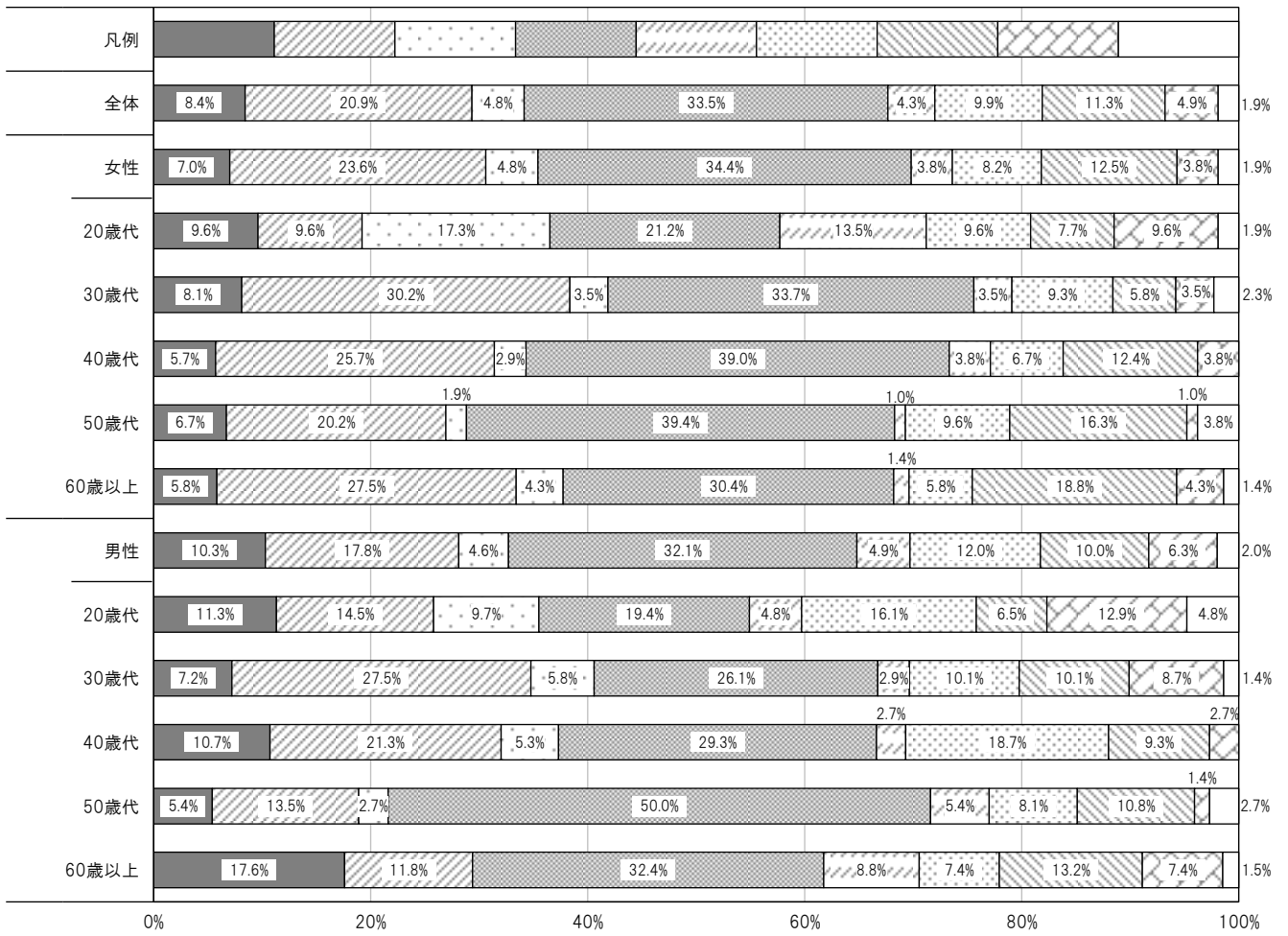
性別で見ると、女性では、「仕事」と「家庭生活」とともに優先したい」の 34.4%が最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい 23.6%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」とともに優先したい 12.5%の順となっている。男性でも「仕事」と「家庭生活」とともに優先したい」の 50.0%が最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい 13.5%の順となっている。いずれの年代でも「仕事」と「家庭生活」とともに優先したい」と回答した割合が高いが、男性の「30 歳代」では「家庭」を優先したい」と回答した割合が、最も高くなっている。

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 希望（全体、前回・県・内閣府調査）



「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 希望（性別・年代別）

「仕事」を優先したい 「家庭生活」を優先したい 「地域・個人の生活」を優先したい 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい わからない 無回答



「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 希望（性別・年代別、前回・県・内閣府調査）

上段：度数 下段：%		問14-2 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望										
		サンプル数	「仕事」を優先したい	優先した「家庭生活」を	優先した「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」を優先したい	「仕事」と「地域・個人生活」を優先したい	「家庭生活」と「地域・個人生活」を優先したい	「仕事」と「地域・個人生活」を優先したい	わからない	無回答	
全体	770	65	161	37	258	33	76	87	38	15		
	100.0%	8.4%	20.9%	4.8%	33.5%	4.3%	9.9%	11.3%	4.9%	1.9%		
性別・年代別	女性	416	29	98	20	143	16	34	52	16	8	
		100.0%	7.0%	23.6%	4.8%	34.4%	3.8%	8.2%	12.5%	3.8%	1.9%	
	20歳代	52	5	5	9	11	7	5	4	5	1	
		100.0%	9.6%	9.6%	17.3%	21.2%	13.5%	9.6%	7.7%	9.6%	1.9%	
	30歳代	86	7	26	3	29	3	8	5	3	2	
		100.0%	8.1%	30.2%	3.5%	33.7%	3.5%	9.3%	5.8%	3.5%	2.3%	
	40歳代	105	6	27	3	41	4	7	13	4	0	
		100.0%	5.7%	25.7%	2.9%	39.0%	3.8%	6.7%	12.4%	3.8%	0.0%	
	50歳代	104	7	21	2	41	1	10	17	1	4	
		100.0%	6.7%	20.2%	1.9%	39.4%	1.0%	9.6%	16.3%	1.0%	3.8%	
	60歳以上	69	4	19	3	21	1	4	13	3	1	
		100.0%	5.8%	27.5%	4.3%	30.4%	1.4%	5.8%	18.8%	4.3%	1.4%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	男性	349	36	62	16	112	17	42	35	22	7	
		100.0%	10.3%	17.8%	4.6%	32.1%	4.9%	12.0%	10.0%	6.3%	2.0%	
	20歳代	62	7	9	6	12	3	10	4	8	3	
	100.0%	11.3%	14.5%	9.7%	19.4%	4.8%	16.1%	6.5%	12.9%	4.8%		
30歳代	69	5	19	4	18	2	7	7	6	1		
	100.0%	7.2%	27.5%	5.8%	26.1%	2.9%	10.1%	10.1%	8.7%	1.4%		
40歳代	75	8	16	4	22	2	14	7	2	0		
	100.0%	10.7%	21.3%	5.3%	29.3%	2.7%	18.7%	9.3%	2.7%	0.0%		
50歳代	74	4	10	2	37	4	6	8	1	2		
	100.0%	5.4%	13.5%	2.7%	50.0%	5.4%	8.1%	10.8%	1.4%	2.7%		
60歳以上	68	12	8	0	22	6	5	9	5	1		
	100.0%	17.6%	11.8%	0.0%	32.4%	8.8%	7.4%	13.2%	7.4%	1.5%		
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	5	0	1	1	3	0	0	0	0	0		
	100.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
奄美市調査	平成29年度	全体	470	37	92	23	141	26	27	95	13	16
			100.0%	7.9%	19.6%	4.9%	30.0%	5.5%	5.7%	20.2%	2.8%	3.4%
		女性	264	13	66	9	74	10	19	51	10	12
			100.0%	4.9%	25.0%	3.4%	28.0%	3.8%	7.2%	19.3%	3.8%	4.5%
	男性	206	24	26	14	67	16	8	44	3	4	
			100.0%	11.7%	12.6%	6.8%	32.5%	7.8%	3.9%	21.4%	1.5%	1.9%
鹿児島調査	平成28年度	全体	2,227	105	484	98	582	85	265	366	133	109
			100.0%	4.7%	21.7%	4.4%	26.1%	3.8%	11.9%	16.4%	6.0%	4.9%
		女性	1,252	40	319	52	295	39	167	214	87	39
			100.0%	3.2%	25.5%	4.2%	23.6%	3.1%	13.3%	17.1%	6.9%	3.1%
	男性	928	64	164	46	284	44	97	150	40	39	
			100.0%	6.9%	17.7%	5.0%	30.6%	4.7%	10.5%	16.2%	4.3%	4.2%
内閣世論調査	令和元年度	全体	2,645									
				9.9%	28.4%	4.7%	28.7%	3.3%	10.1%	13.1%	1.9%	-
		女性	1,407									
			5.0%	35.1%	3.6%	27.2%	2.3%	10.9%	14.4%	1.5%	-	
	男性	1,238										
			15.5%	20.7%	5.8%	30.4%	4.4%	9.3%	11.6%	2.3%	-	

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度 希望（職業別・性別）

職業別・性別		問14-2 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望									
		サンプル数	「仕事」を優先したい	優先したい「家庭生活」を	優先したい「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」を優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい	わからない	無回答
職業別・性別	上段：度数 下段：%										
	自営業主	73 100.0%	17 23.3%	14 19.2%	5 6.8%	42 57.5%	1 1.4%	11 15.1%	14 19.2%	1 1.4%	0 0.0%
	女性	32 100.0%	4 12.5%	6 18.8%	2 6.3%	15 46.9%	0 0.0%	3 9.4%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	41 100.0%	9 22.0%	2 4.9%	1 2.4%	12 29.3%	1 2.4%	5 12.2%	10 24.4%	1 2.4%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	4 0.0%	6 0.0%	2 0.0%	15 0.0%	0 0.0%	3 0.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	家族従事者	18 100.0%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	23 127.8%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%
	女性	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	雇用者	524 100.0%	42 8.0%	104 19.8%	27 5.2%	196 37.4%	25 4.8%	44 8.4%	64 12.2%	16 3.1%	6 1.1%
	女性	289 100.0%	21 7.3%	63 21.8%	14 4.8%	104 36.0%	14 4.8%	20 6.9%	43 14.9%	7 2.4%	3 1.0%
	男性	231 100.0%	21 9.1%	41 17.7%	12 5.2%	89 38.5%	11 4.8%	24 10.4%	21 9.1%	9 3.9%	3 1.3%
	無回答	4 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	131 100.0%	8 6.1%	44 33.6%	6 4.6%	16 12.2%	5 3.8%	23 17.6%	5 3.8%	21 16.0%	3 2.3%
	女性	66 100.0%	3 4.5%	27 40.9%	4 6.1%	8 12.1%	1 1.5%	10 15.2%	3 4.5%	9 13.6%	1 1.5%
	男性	64 100.0%	5 7.8%	16 25.0%	2 3.1%	8 12.5%	4 6.3%	13 20.3%	2 3.1%	12 18.8%	2 3.1%
	無回答	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	24 100.0%	1 4.2%	4 16.7%	0 0.0%	7 29.2%	2 8.3%	1 4.2%	3 12.5%	0 0.0%	6 25.0%
	女性	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%
	男性	16 100.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	4 25.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(17) 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

問 15 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

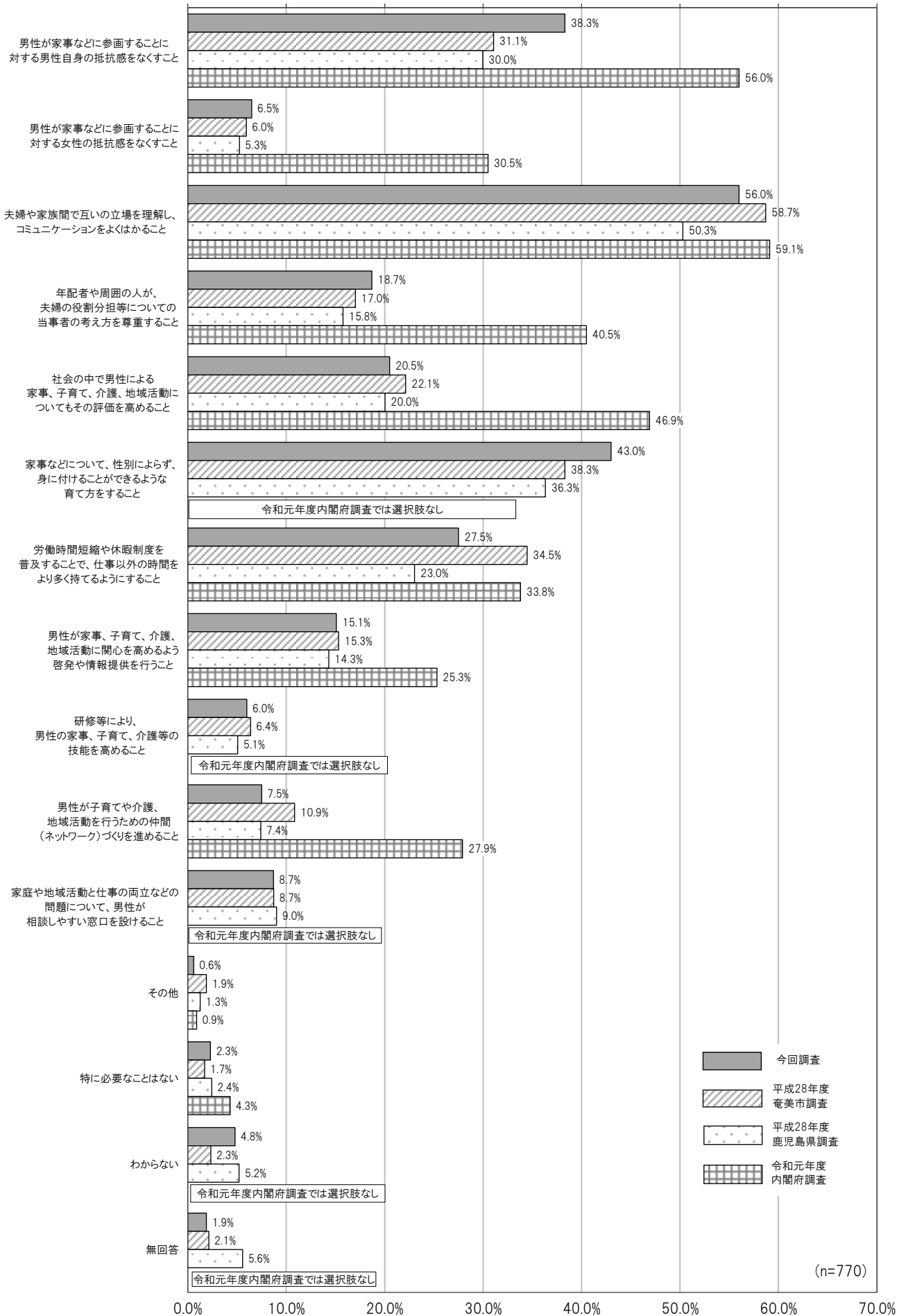
全体では、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」と回答した割合が56.0%と最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」43.0%、「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」38.3%の順となっている。

前回調査と比較すると、「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が7.2ポイント、「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」が4.7ポイント高くなっており、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより高く持てるようにすること」が7.0ポイント低くなっている。また、県調査との比較では、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」が5.7ポイント高くなっている。

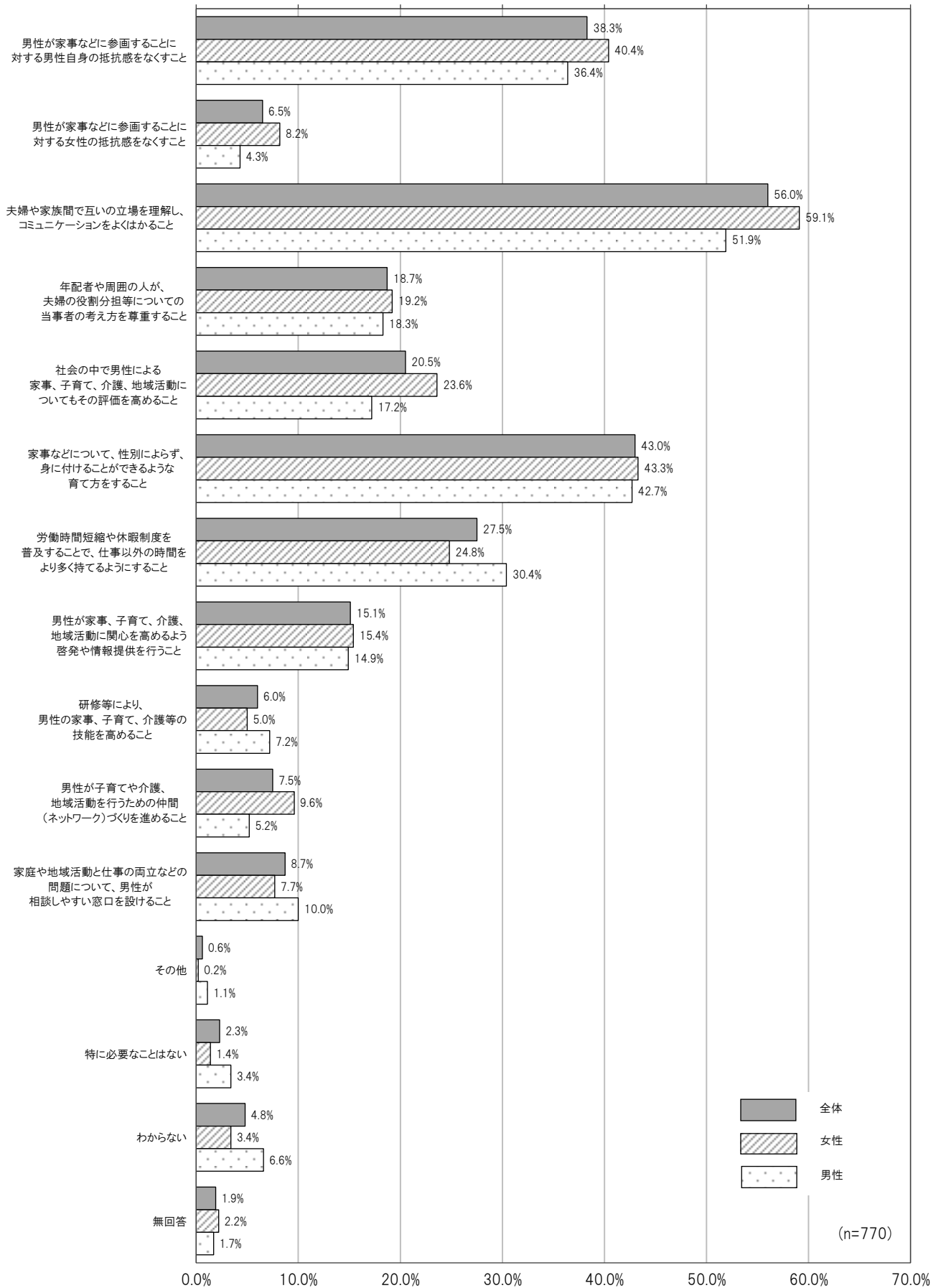
なお、県調査及び奄美市の前回・今回調査とも選択肢は“3つまで”としており、内閣府調査では“いくつでも”となっているため回答割合に差がある。

性別で見ると、男女とも「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の順となっているが、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」で7.2ポイント、「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」で6.4ポイント男性の方が低く、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」で5.6ポイント高くなっている。

男性が家事や子育て等に積極的に参加していくために必要なこと（全体、前回・県・内閣府調査）



男性が家事や子育て等に積極的に参加していくために必要なこと（全体・性別）



男性が家事や子育て等に積極的に参加していくために必要なこと（性別・年代別、前回・県・内閣府調査）

		問15 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと																																
上段：度数 下段：%		サンプル数	男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参画することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること	夫の役割分担等について、当事者の考え方を尊重すること	年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についてのこと	社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動に参画すること	家事などについて、性別によらず、育て方をすること	より多く持てるようにすること	労働時間短縮や休暇制度を普及すること	啓発や情報提供を行うこと	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めること	技能を高めること	研修等により、男性の家事、子育て、介護等の技能を高めること	地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくりを進めること	男性が子育てや介護、相談しやすい窓口を設けること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が問題意識を高めること	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答												
全体		770	295	50	431	144	158	331	212	116	46	58	67	5	18	37	15	100.0%	38.3%	6.5%	56.0%	18.7%	20.5%	43.0%	27.5%	15.1%	6.0%	7.5%	8.7%	0.6%	2.3%	4.8%	1.9%	
性別・年代別	女性	416	168	34	246	80	98	180	103	64	21	40	32	1	6	14	9	100.0%	40.4%	8.2%	59.1%	19.2%	23.6%	43.3%	24.8%	15.4%	5.0%	9.6%	7.7%	0.2%	1.4%	3.4%	2.2%	
	20歳代	52	22	5	26	10	14	20	9	9	3	3	5	1	0	5	1	100.0%	42.3%	9.6%	50.0%	19.2%	26.9%	38.5%	17.3%	17.3%	5.8%	5.8%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%	9.6%	1.9%
	30歳代	86	27	3	45	22	21	33	40	7	5	8	9	0	0	2	2	100.0%	31.4%	3.5%	52.3%	25.6%	24.4%	38.4%	46.5%	8.1%	5.8%	9.3%	10.5%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	
	40歳代	105	54	7	60	19	27	47	29	13	5	10	8	0	2	2	0	100.0%	51.4%	6.7%	57.1%	18.1%	25.7%	44.8%	27.6%	12.4%	4.8%	9.5%	7.6%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	
	50歳代	104	37	14	71	20	22	42	13	18	3	15	5	0	3	3	5	100.0%	35.6%	13.5%	68.3%	19.2%	21.2%	40.4%	12.5%	17.3%	2.9%	14.4%	4.8%	0.0%	2.9%	2.9%	4.8%	
	60歳以上	69	28	5	44	9	14	38	12	17	5	4	5	0	1	2	1	100.0%	40.6%	7.2%	63.8%	13.0%	20.3%	55.1%	17.4%	24.6%	7.2%	5.8%	7.2%	0.0%	1.4%	2.9%	1.4%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	男性	349	127	15	181	64	60	149	106	52	25	18	35	4	12	23	6	100.0%	36.4%	4.3%	51.9%	18.3%	17.2%	42.7%	30.4%	14.9%	7.2%	5.2%	10.0%	1.1%	3.4%	6.6%	1.7%	
	20歳代	62	23	5	30	9	10	23	19	8	8	7	9	0	2	6	1	100.0%	37.1%	8.1%	48.4%	14.5%	16.1%	37.1%	30.6%	12.9%	12.9%	11.3%	14.5%	0.0%	3.2%	9.7%	1.6%	
	30歳代	69	19	3	35	16	16	30	30	6	2	1	10	1	5	6	1	100.0%	27.5%	4.3%	50.7%	23.2%	23.2%	43.5%	43.5%	8.7%	2.9%	1.4%	14.5%	1.4%	7.2%	8.7%	1.4%	
	40歳代	75	26	3	41	15	16	38	22	13	6	1	7	2	1	2	0	100.0%	34.7%	4.0%	54.7%	20.0%	21.3%	50.7%	29.3%	17.3%	8.0%	1.3%	9.3%	2.7%	1.3%	2.7%	0.0%	
	50歳代	74	30	2	45	11	11	34	20	9	3	4	5	1	2	5	2	100.0%	40.5%	2.7%	60.8%	14.9%	14.9%	45.9%	27.0%	12.2%	4.1%	5.4%	6.8%	1.4%	2.7%	6.8%	2.7%	
	60歳以上	68	29	2	30	12	7	23	15	15	6	5	4	0	2	4	2	100.0%	42.6%	2.9%	44.1%	17.6%	10.3%	33.8%	22.1%	22.1%	8.8%	7.4%	5.9%	0.0%	2.9%	5.9%	2.9%	
	無回答	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	5	0	1	4	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
奄美市調査	平成29年度	470	146	28	276	80	104	180	162	72	30	51	41	9	8	11	10	-	31.1%	6.0%	58.7%	17.0%	22.1%	38.3%	34.5%	15.3%	6.4%	10.9%	8.7%	1.9%	1.7%	2.3%	2.1%	
	女性	264	83	16	158	54	70	120	83	39	17	21	23	5	3	4	6	-	31.4%	6.1%	59.8%	20.5%	26.5%	45.5%	31.4%	14.8%	6.4%	8.0%	8.7%	1.9%	1.1%	1.5%	2.3%	
鹿児島県調査	平成28年度	2,227	667	117	1,120	351	446	809	513	319	113	165	201	28	54	116	124	-	30.6%	5.8%	57.3%	12.6%	16.5%	2.9%	3.8%	16.0%	6.3%	14.6%	8.7%	1.9%	2.4%	3.4%	1.9%	
	女性	1,252	389	65	626	224	255	552	257	175	56	91	111	10	30	66	52	-	31.1%	5.2%	50.0%	17.9%	20.4%	44.1%	20.5%	14.0%	4.5%	7.2%	8.9%	0.8%	2.4%	5.3%	4.2%	
内閣府世論調査	令和元年度	2,645	1,407	52	490	125	188	250	254	144	57	74	88	18	20	48	40	-	29.6%	5.6%	52.8%	13.5%	20.3%	26.9%	27.4%	15.5%	6.1%	8.0%	9.5%	1.9%	2.2%	5.2%	4.3%	
	男性	1,238	59.4%	32.8%	62.8%	45.3%	46.9%	-	33.3%	25.2%	-	29.9%	-	0.7%	3.9%	-	-	-	52.1%	27.9%	54.8%	35.1%	46.9%	-	34.3%	25.5%	-	25.7%	-	1.1%	4.7%	-	-	

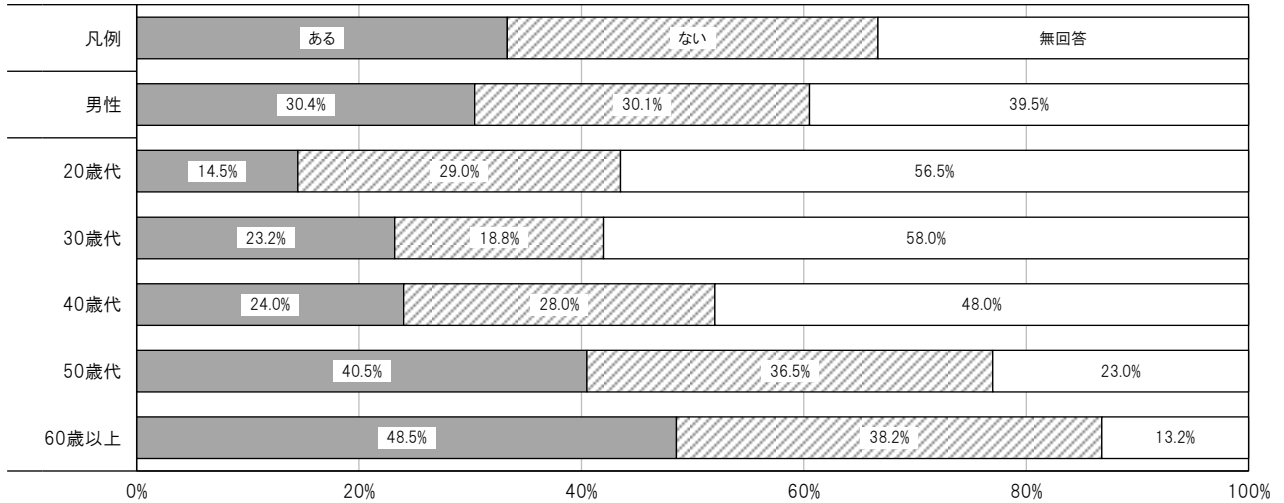
(18) 男であることに「責任」や「つらさ」を感じることの有無

問 16 あなたは、男であることに「責任」や「つらさ」を感じることはありますか。

「ある」が 30.4%、「ない」が 30.1%となっている。

年代別では、「60歳以上」で 48.5%、「50歳代」で 40.5%が「ある」と回答しており、年代が上がるにつれ、「ある」の回答が増えている。

男であることに「責任」や「つらさ」を感じることの有無（全体・年代別）



男であることに「責任」や「つらさ」を感じることの有無（全体・年代別）

		問16 男であることに「責任」や「つらさ」を感じることの有無			
		サンプル数	ある	ない	無回答
上段: 度数 下段: %	男性	349	106	105	138
		100.0%	30.4%	30.1%	39.5%
年代別	20歳代	62	9	18	35
		100.0%	14.5%	29.0%	56.5%
	30歳代	69	16	13	40
		100.0%	23.2%	18.8%	58.0%
	40歳代	75	18	21	36
		100.0%	24.0%	28.0%	48.0%
50歳代		74	30	27	17
		100.0%	40.5%	36.5%	23.0%
60歳以上		68	33	26	9
		100.0%	48.5%	38.2%	13.2%
無回答		1	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

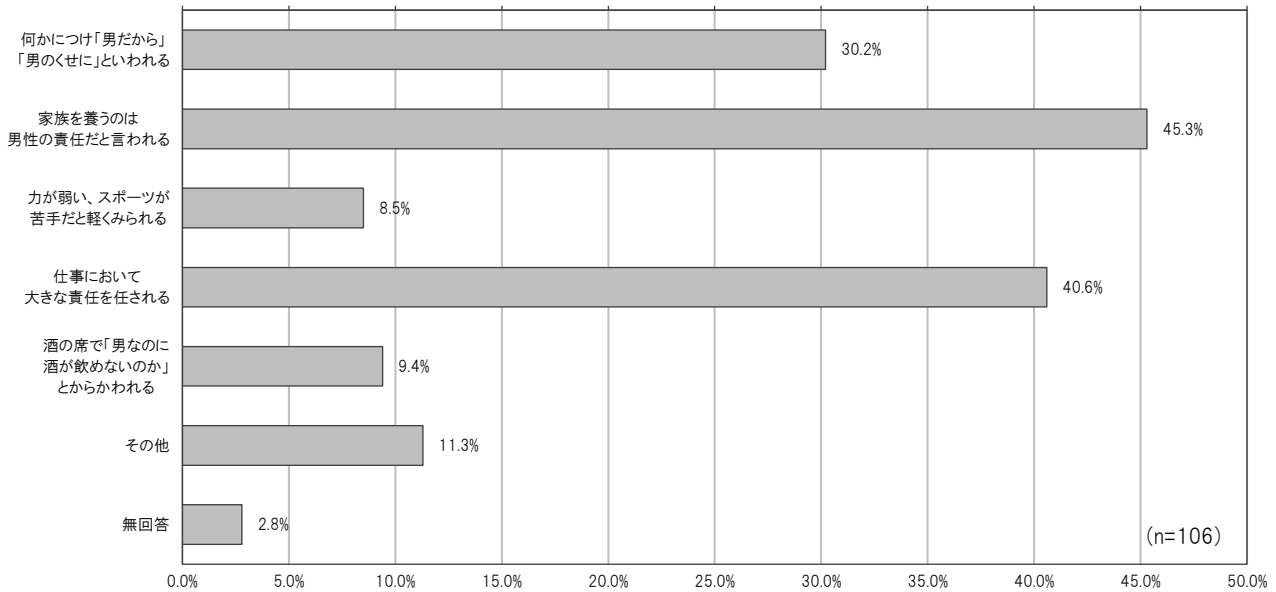
(19) 「責任」や「つらさ」を感じる時

問17 そう感じる時を次の番号の中からあてはまるものをすべて選んでください。

「家族を養うのは男性の責任だと言われる」が45.3%で最も高く、次いで「仕事において大きな責任を任される」40.6%、「何かにつけ「男だから」「男のくせに」といわれる」30.2%の順となっている。

年代別では、「20歳代」と「40歳代」で「何かにつけ「男だから」「男のくせに」といわれる」、「30歳代」と「50歳代」で「仕事において大きな責任を任される」、「60歳以上」では「家族を養うのは男性の責任だと言われる」が、それぞれ最も高い回答割合となっている。

「責任」や「つらさ」を感じる時（全体）



「責任」や「つらさ」を感じる時（全体）

	問17 「責任」や「つらさ」を感じる時								
	サンプル数	何かにつけ「男だから」「男のくせに」といわれる	家族を養うのは男性の責任だと言われる	力が弱い、スポーツが苦手だと軽くみられる	仕事において大きな責任を任される	酒の席で「男なのに酒が飲めないのか」とからかわれる	その他	無回答	
上段：度数 下段：%									
男性	106 100.0%	32 30.2%	48 45.3%	9 8.5%	43 40.6%	10 9.4%	12 11.3%	3 2.8%	
年代別	20歳代	9 100.0%	4 44.4%	4 44.4%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
	30歳代	16 100.0%	7 43.8%	4 25.0%	2 12.5%	8 50.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%
	40歳代	18 100.0%	9 50.0%	9 50.0%	2 11.1%	5 27.8%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%
	50歳代	30 100.0%	8 26.7%	13 43.3%	0 0.0%	16 53.3%	2 6.7%	3 10.0%	1 3.3%
	60歳以上	33 100.0%	4 12.1%	18 54.5%	2 6.1%	11 33.3%	1 3.0%	6 18.2%	1 3.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

9 男女の人権について

(20) 配偶者からの暴行や嫌がらせを受けた経験の有無

問 18 【これまでに結婚したことがある方に、おたずねします。】

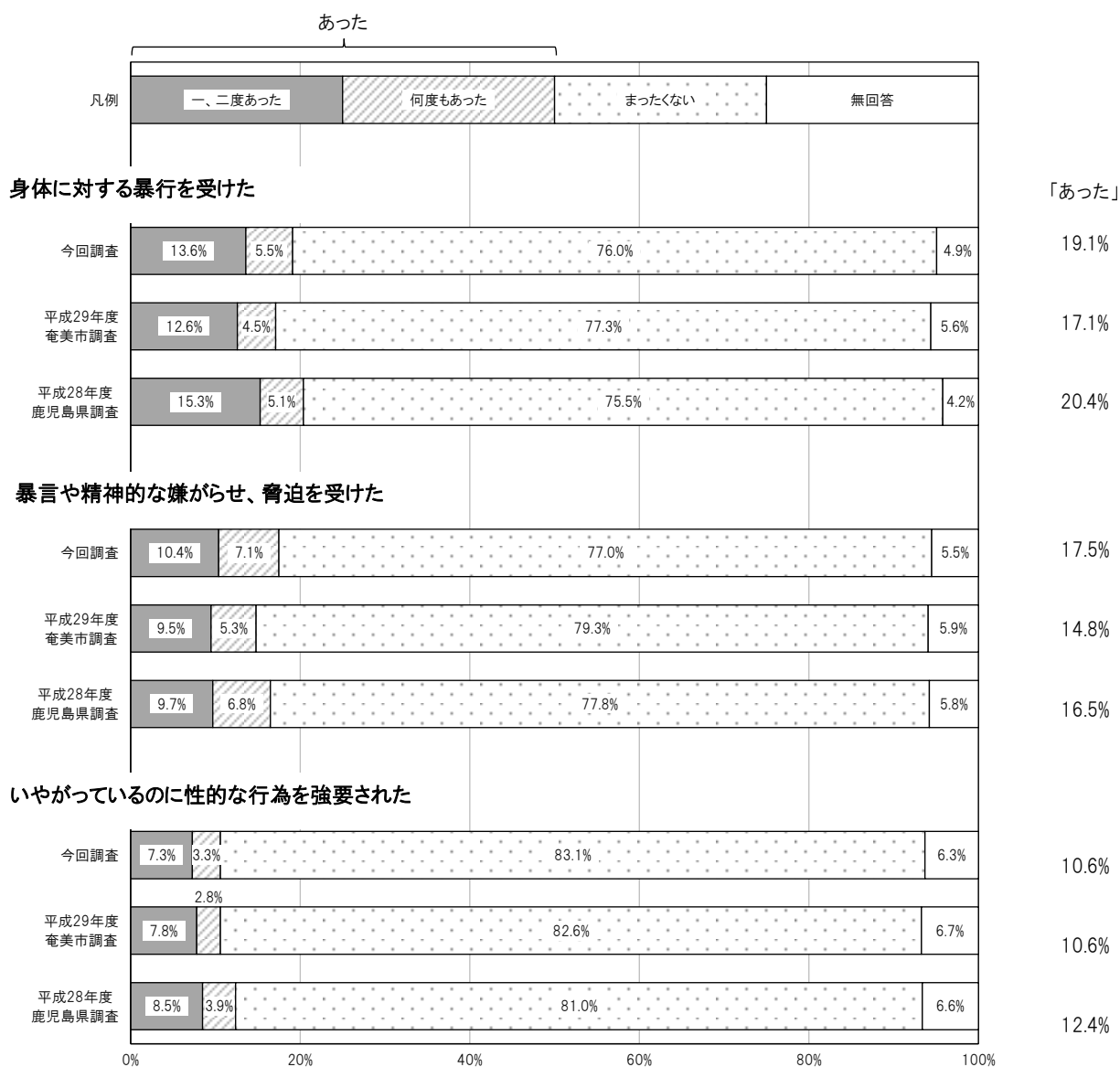
あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。

全体では、『あった』と回答した割合は、「身体に対する暴行を受けた」の19.1%が最も高く、次いで「暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた」17.5%、「いやがっているのに性的な行為を強要された」10.6%となっている。

前回調査と比較すると、「身体に対する暴行を受けた」と「暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた」で『あった』と回答した人が若干増えている。

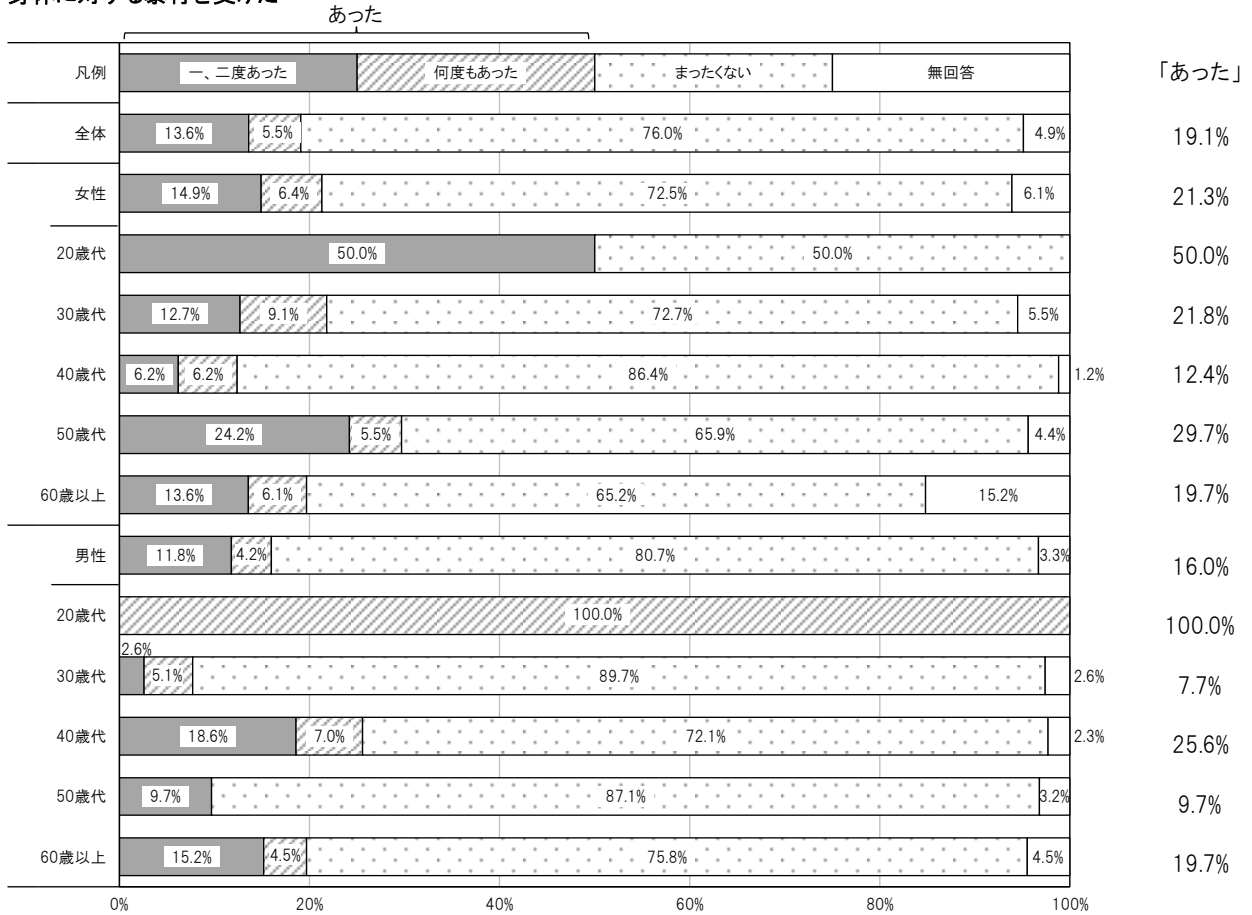
性別でみると、「身体に対する暴行を受けた」が『あった』の回答で、女性の「50歳代」の29.7%、同じく男性の「40歳代」25.6%、「暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた」が『あった』の回答で、女性の「30歳代」23.6%が高い割合になっている。なお、20歳代女性については回答者数が2人で、20歳代男性については回答者数が1人のため、特に高い割合となっている。

配偶者からの暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（全体、前回・県調査）

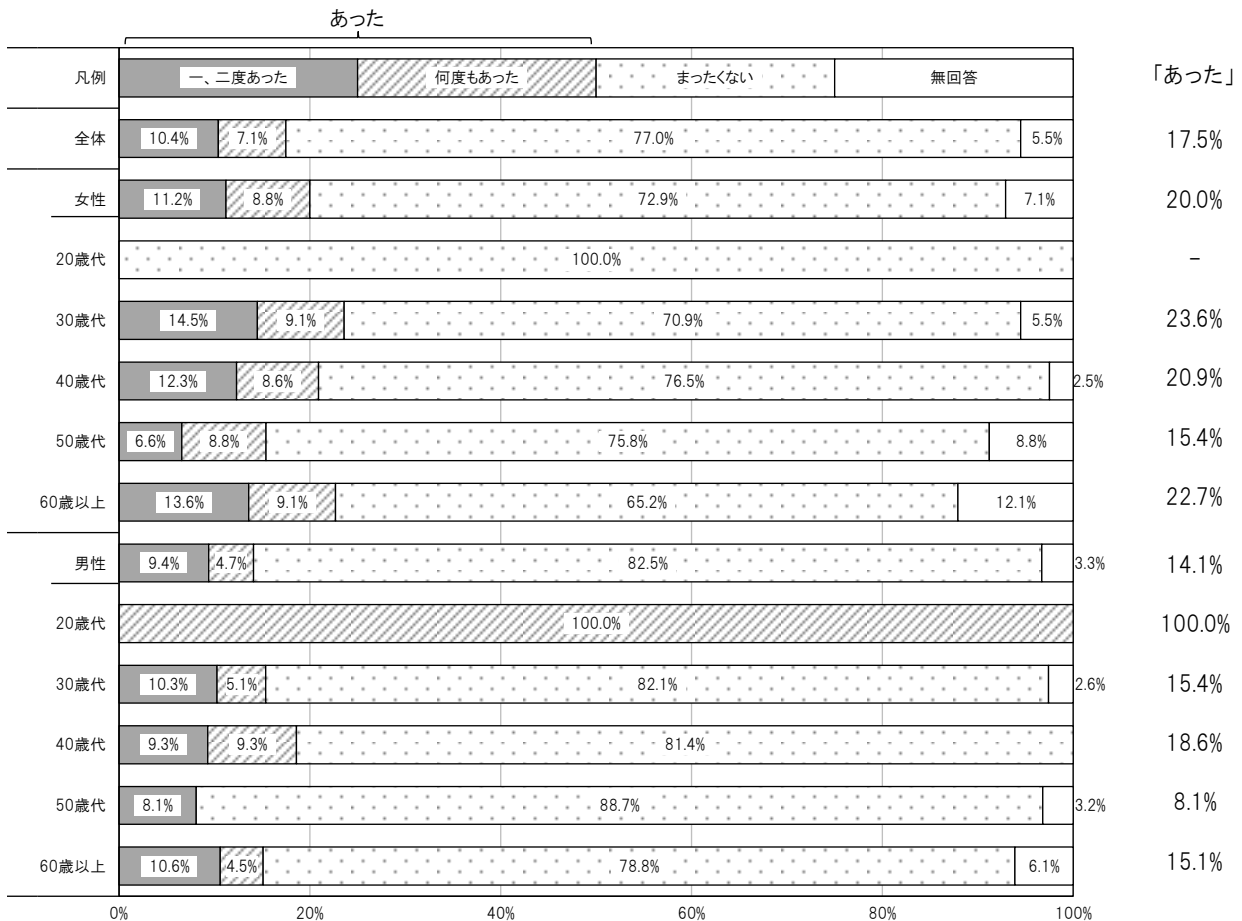


配偶者からの暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（性別・年代別）

身体に対する暴行を受けた

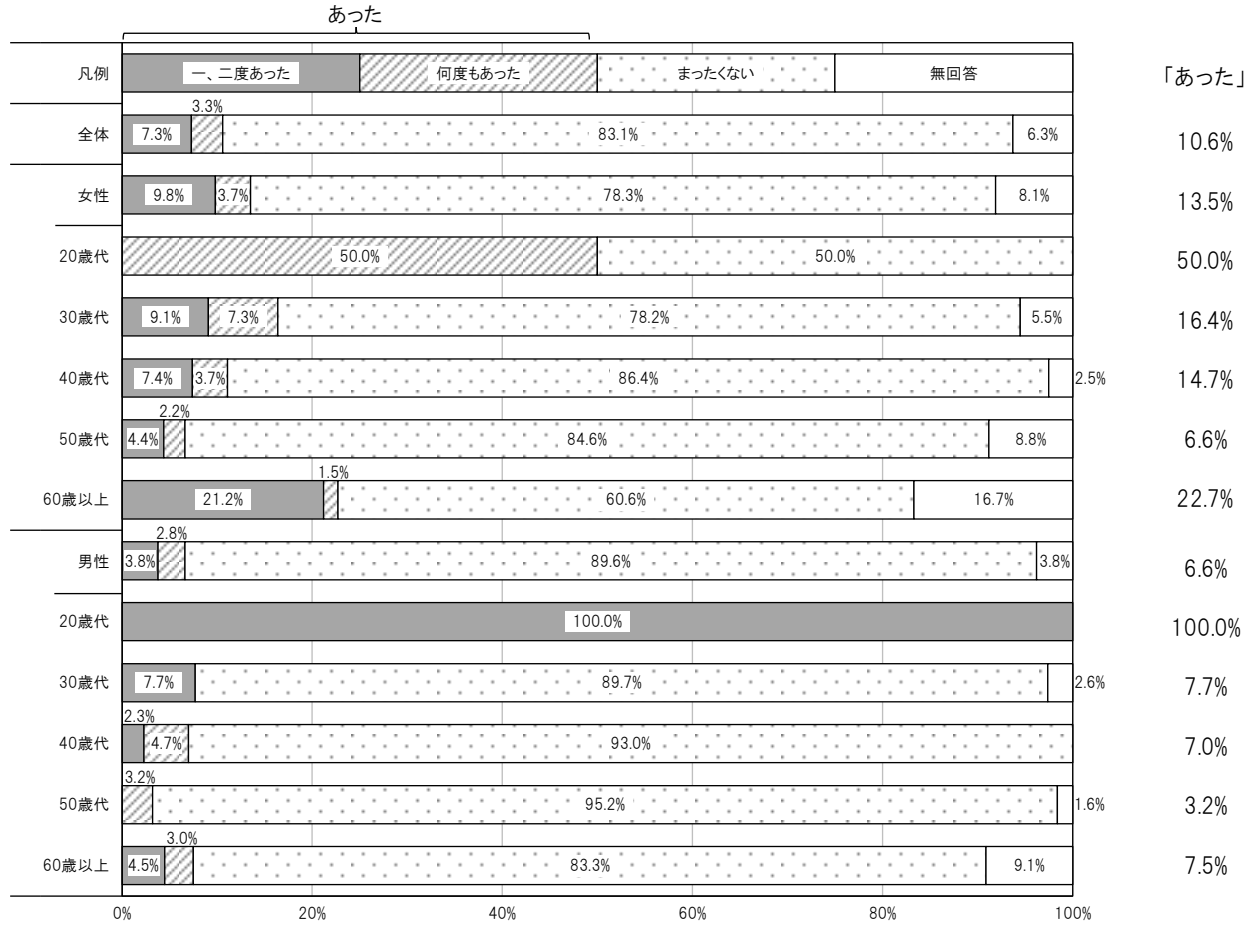


暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた



配偶者からの暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（性別・年代別）

いやがっているのに性的な行為を強要された



配偶者からの暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（性別・年代別，前回・県調査）

	サンプル数	身体に対する暴行を受けた				暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた				いやがっているのに性的な行為を強要された				
		一、二度あった	何度もあった	まったくくない	無回答	一、二度あった	何度もあった	まったくくない	無回答	一、二度あった	何度もあった	まったくくない	無回答	
全体	509	69	28	387	25	53	36	392	28	37	17	423	32	
	100.0%	13.6%	5.5%	76.0%	4.9%	10.4%	7.1%	77.0%	5.5%	7.3%	3.3%	83.1%	6.3%	
性別・年代別	女性	295	44	19	214	18	33	26	215	21	29	11	231	24
		100.0%	14.9%	6.4%	72.5%	6.1%	11.2%	8.8%	72.9%	7.1%	9.8%	3.7%	78.3%	8.1%
	20歳代	2	1	0	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	55	7	5	40	3	8	5	39	3	5	4	43	3
		100.0%	12.7%	9.1%	72.7%	5.5%	14.5%	9.1%	70.9%	5.5%	9.1%	7.3%	78.2%	5.5%
	40歳代	81	5	5	70	1	10	7	62	2	6	3	70	2
		100.0%	6.2%	6.2%	86.4%	1.2%	12.3%	8.6%	76.5%	2.5%	7.4%	3.7%	86.4%	2.5%
	50歳代	91	22	5	60	4	6	8	69	8	4	2	77	8
		100.0%	24.2%	5.5%	65.9%	4.4%	6.6%	8.8%	75.8%	8.8%	4.4%	2.2%	84.6%	8.8%
	60歳以上	66	9	4	43	10	9	6	43	8	14	1	40	11
		100.0%	13.6%	6.1%	65.2%	15.2%	13.6%	9.1%	65.2%	12.1%	21.2%	1.5%	60.6%	16.7%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	212	25	9	171	7	20	10	175	7	8	6	190	8	
	100.0%	11.8%	4.2%	80.7%	3.3%	9.4%	4.7%	82.5%	3.3%	3.8%	2.8%	89.6%	3.8%	
20歳代	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	39	1	2	35	1	4	2	32	1	3	0	35	1	
	100.0%	2.6%	5.1%	89.7%	2.6%	10.3%	5.1%	82.1%	2.6%	7.7%	0.0%	89.7%	2.6%	
40歳代	43	8	3	31	1	4	4	35	0	1	2	40	0	
	100.0%	18.6%	7.0%	72.1%	2.3%	9.3%	9.3%	81.4%	0.0%	2.3%	4.7%	93.0%	0.0%	
50歳代	62	6	0	54	2	5	0	55	2	0	2	59	1	
	100.0%	9.7%	0.0%	87.1%	3.2%	8.1%	0.0%	88.7%	3.2%	0.0%	3.2%	95.2%	1.6%	
60歳以上	66	10	3	50	3	7	3	52	4	3	2	55	6	
	100.0%	15.2%	4.5%	75.8%	4.5%	10.6%	4.5%	78.8%	6.1%	4.5%	3.0%	83.3%	9.1%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
奄美市調査	平成29年度	357	45	16	276	20	34	19	283	21	28	10	295	24
		100.0%	12.6%	4.5%	77.3%	5.6%	9.5%	5.3%	79.3%	5.9%	7.8%	2.8%	82.6%	6.7%
	女性	204	29	14	149	12	21	15	155	13	24	10	155	15
	100.0%	14.2%	6.9%	73.0%	5.9%	10.3%	7.4%	76.0%	6.4%	11.8%	4.9%	76.0%	7.4%	
男性	153	16	2	127	8	13	4	128	8	4	0	140	9	
	100.0%	10.5%	1.3%	83.0%	5.2%	8.5%	2.6%	83.7%	5.2%	2.6%	0.0%	91.5%	5.9%	
鹿児島県調査	平成28年度	1,821	278	92	1,375	76	176	124	1,416	105	154	71	1,475	121
		100.0%	15.3%	5.1%	75.5%	4.2%	9.7%	6.8%	77.8%	5.8%	8.5%	3.9%	81.0%	6.6%
	女性	1,046	193	83	735	35	118	101	776	51	138	65	782	61
	100.0%	18.5%	7.9%	70.3%	3.3%	11.3%	9.7%	74.2%	4.9%	13.2%	6.2%	74.8%	5.8%	
男性	766	84	9	632	41	57	23	635	51	14	6	689	57	
	100.0%	11.0%	1.2%	82.5%	5.4%	7.4%	3.0%	82.9%	6.7%	1.8%	0.8%	89.9%	7.4%	

(21) 10歳代又は20歳代に、交際相手から暴行や嫌がらせを受けた経験の有無

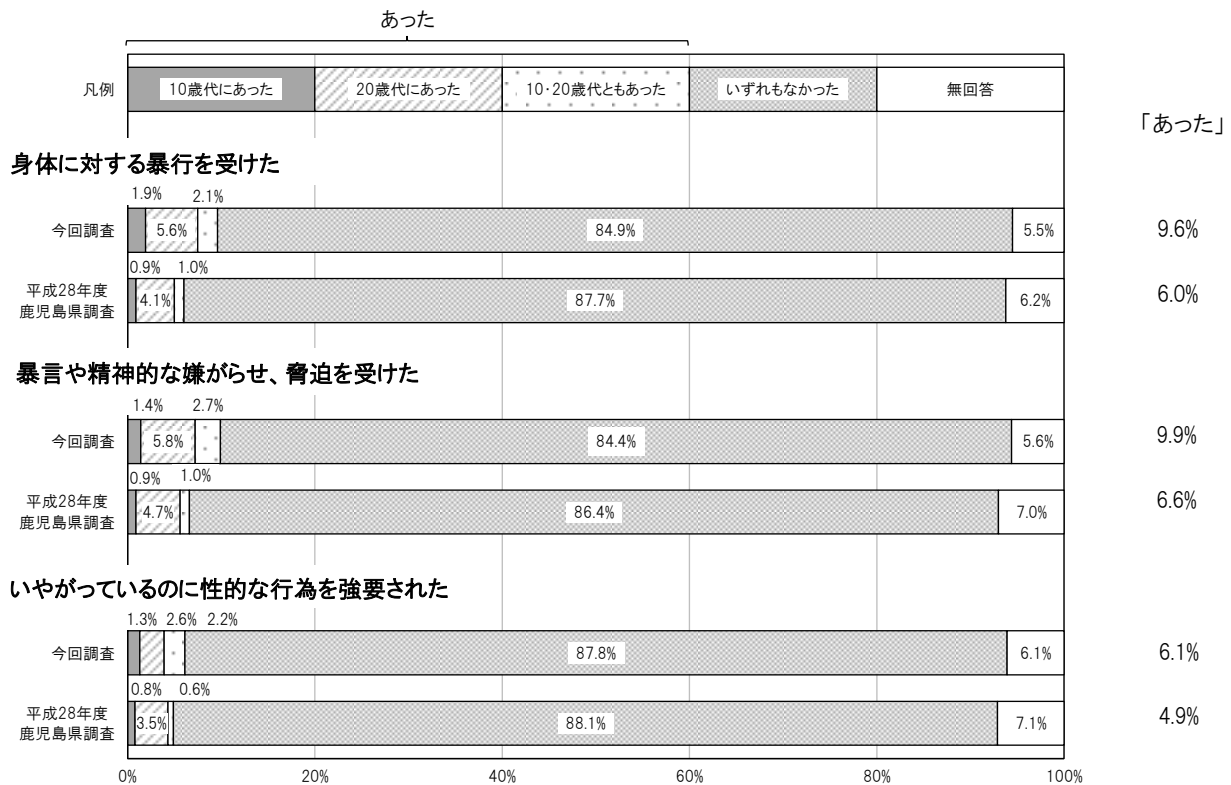
問 19 あなたは、10歳代又は20歳代に、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。

全体では、『あった』と回答した割合は、「暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた」の9.9%が最も高く、次いで「身体に対する暴行を受けた」9.6%、「いやがっているのに性的な行為を強要された」6.1%の順となっている。

県調査と比較すると、いずれの項目でも『あった』と回答した割合が若干増えている。

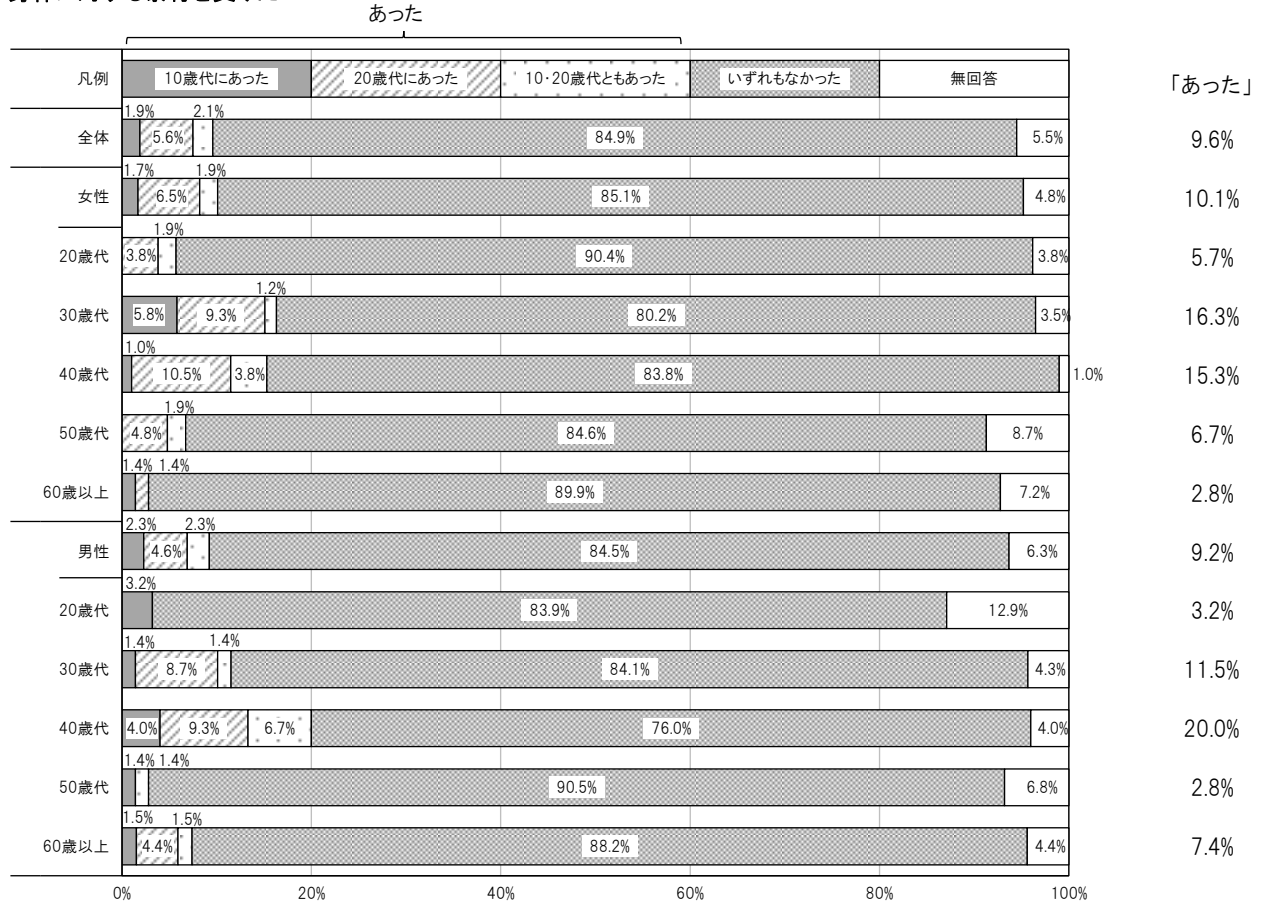
性別・年代別でみると、「身体に対する暴行を受けた」が『あった』の回答で、男性の「40歳代」20.0%と女性の「40歳代」17.4%が、「暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた」が『あった』の回答で、女性の「30歳代」18.9%の割合が高くなっている。

10歳代又は20歳代に、交際相手から暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（全体、県調査）

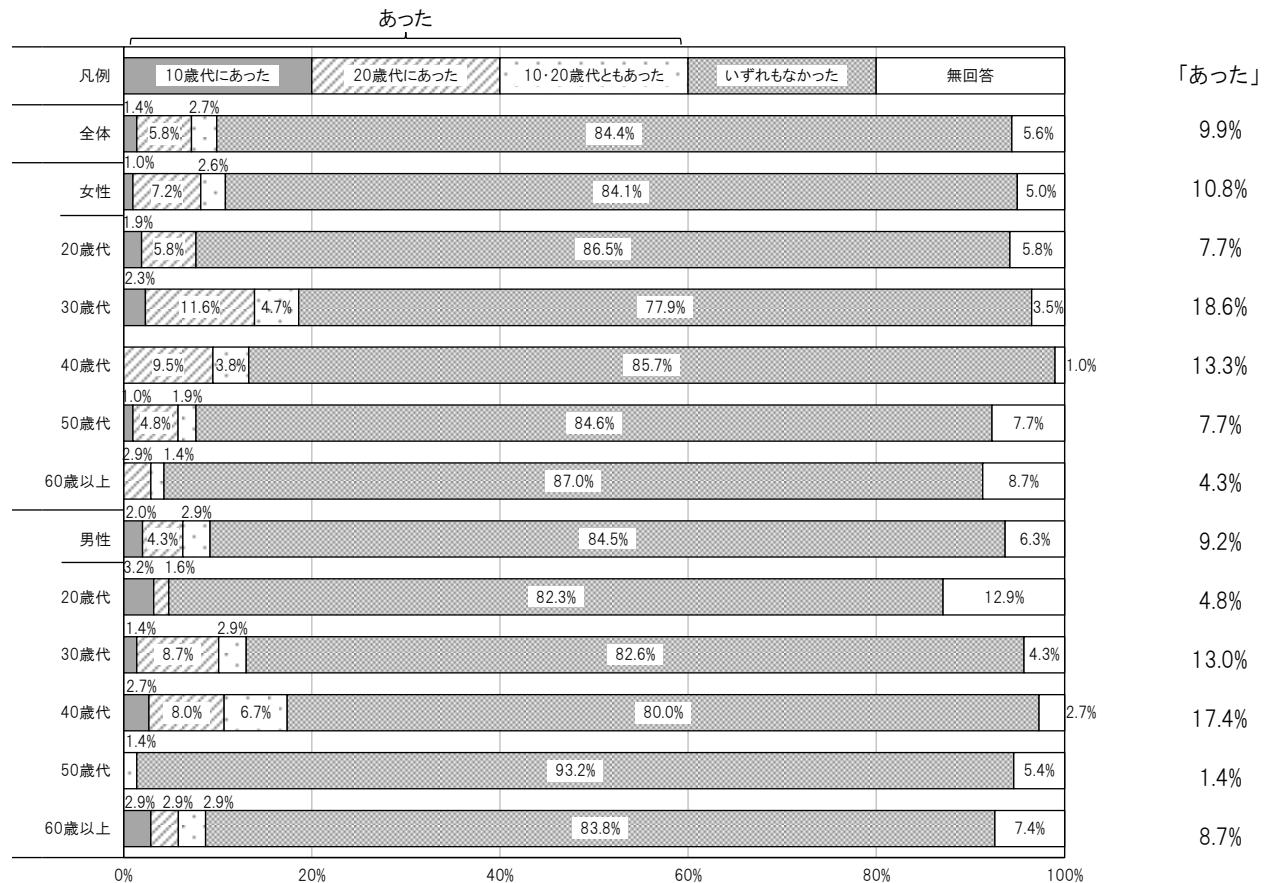


10歳代又は20歳代に、交際相手から暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（性別・年代別）

身体に対する暴行を受けた

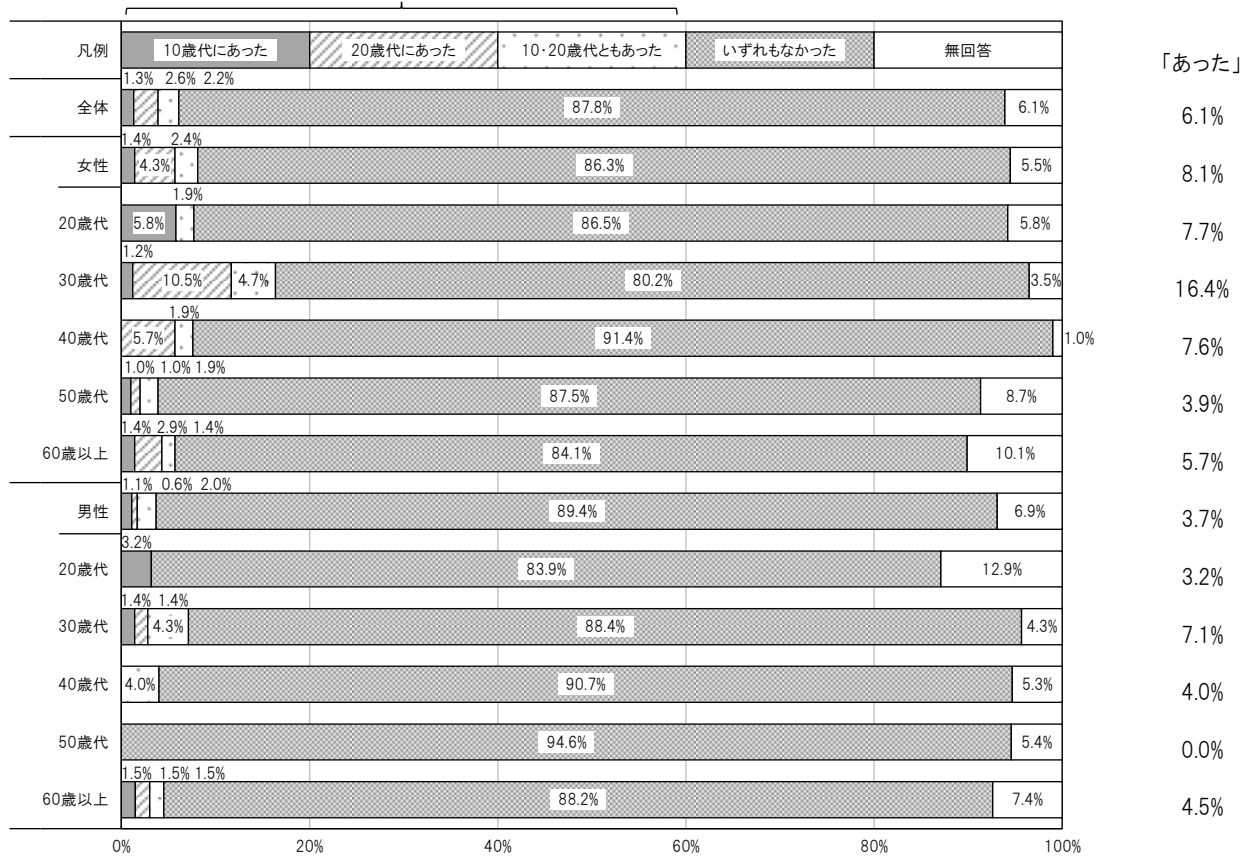


暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた



10歳代又は20歳代に、交際相手から暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（性別・年代別）

いやがっているのに性的な行為を強要された
あった



10歳代又は20歳代に、交際相手から暴行や嫌がらせを受けた経験の有無（性別・年代別，県調査）

	サンプル数	身体に対する暴行を受けた					暴言や精神的な嫌がらせ、脅迫を受けた					いやがっているのに性的な行為を強要された					
		10歳代にあった	20歳代にあった	あつた・20歳代とも	いずれもなかった	無回答	10歳代にあった	20歳代にあった	あつた・20歳代とも	いずれもなかった	無回答	10歳代にあった	20歳代にあった	あつた・20歳代とも	いずれもなかった	無回答	
全体	770	15	43	16	654	42	11	45	21	650	43	10	20	17	676	47	
		100.0%	1.9%	5.6%	2.1%	84.9%	5.5%	1.4%	5.8%	2.7%	84.4%	5.6%	1.3%	2.6%	2.2%	87.8%	6.1%
性別・年代別	女性	416	7	27	8	354	20	4	30	11	350	21	6	18	10	359	23
		100.0%	1.7%	6.5%	1.9%	85.1%	4.8%	1.0%	7.2%	2.6%	84.1%	5.0%	1.4%	4.3%	2.4%	86.3%	5.5%
	20歳代	52	0	2	1	47	2	1	3	0	45	3	3	0	1	45	3
		100.0%	0.0%	3.8%	1.9%	90.4%	3.8%	1.9%	5.8%	0.0%	86.5%	5.8%	5.8%	0.0%	1.9%	86.5%	5.8%
	30歳代	86	5	8	1	69	3	2	10	4	67	3	1	9	4	69	3
		100.0%	5.8%	9.3%	1.2%	80.2%	3.5%	2.3%	11.6%	4.7%	77.9%	3.5%	1.2%	10.5%	4.7%	80.2%	3.5%
	40歳代	105	1	11	4	88	1	0	10	4	90	1	0	6	2	96	1
		100.0%	1.0%	10.5%	3.8%	83.8%	1.0%	0.0%	9.5%	3.8%	85.7%	1.0%	0.0%	5.7%	1.9%	91.4%	1.0%
	50歳代	104	0	5	2	88	9	1	5	2	88	8	1	1	2	91	9
		100.0%	0.0%	4.8%	1.9%	84.6%	8.7%	1.0%	4.8%	1.9%	84.6%	7.7%	1.0%	1.0%	1.9%	87.5%	8.7%
	60歳以上	69	1	1	0	62	5	0	2	1	60	6	1	2	1	58	7
		100.0%	1.4%	1.4%	0.0%	89.9%	7.2%	0.0%	2.9%	1.4%	87.0%	8.7%	1.4%	2.9%	1.4%	84.1%	10.1%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	349	8	16	8	295	22	7	15	10	295	22	4	2	7	312	24	
	100.0%	2.3%	4.6%	2.3%	84.5%	6.3%	2.0%	4.3%	2.9%	84.5%	6.3%	1.1%	0.6%	2.0%	89.4%	6.9%	
20歳代	62	2	0	0	52	8	2	1	0	51	8	2	0	0	52	8	
	100.0%	3.2%	0.0%	0.0%	83.9%	12.9%	3.2%	1.6%	0.0%	82.3%	12.9%	3.2%	0.0%	0.0%	83.9%	12.9%	
30歳代	69	1	6	1	58	3	1	6	2	57	3	1	1	3	61	3	
	100.0%	1.4%	8.7%	1.4%	84.1%	4.3%	1.4%	8.7%	2.9%	82.6%	4.3%	1.4%	1.4%	4.3%	88.4%	4.3%	
40歳代	75	3	7	5	57	3	2	6	5	60	2	0	0	3	68	4	
	100.0%	4.0%	9.3%	6.7%	76.0%	4.0%	2.7%	8.0%	6.7%	80.0%	2.7%	0.0%	0.0%	4.0%	90.7%	5.3%	
50歳代	74	1	0	1	67	5	0	0	1	69	4	0	0	0	70	4	
	100.0%	1.4%	0.0%	1.4%	90.5%	6.8%	0.0%	0.0%	1.4%	93.2%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	94.6%	5.4%	
60歳以上	68	1	3	1	60	3	2	2	2	57	5	1	1	1	60	5	
	100.0%	1.5%	4.4%	1.5%	88.2%	4.4%	2.9%	2.9%	2.9%	83.8%	7.4%	1.5%	1.5%	1.5%	88.2%	7.4%	
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
無回答	5	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
平成28年度 鹿児島県	全体	2,227	21	92	23	1,953	138	20	105	23	1,924	155	17	77	14	1,961	158
		1.0%	0.9%	4.1%	1.0%	87.7%	6.2%	0.9%	4.7%	1.0%	86.4%	7.0%	0.8%	3.5%	0.6%	88.1%	7.1%
	女性	1,252	16	74	16	1,090	56	11	85	17	1,076	63	15	75	11	1,090	61
		1.0%	1.3%	5.9%	1.3%	87.1%	4.5%	0.9%	6.8%	1.4%	85.9%	5.0%	1.2%	6.0%	0.9%	87.1%	4.9%
男性	928	5	18	7	848	50	8	20	6	837	57	2	2	3	860	61	
	1.0%	0.5%	1.9%	0.8%	91.4%	5.4%	0.9%	2.2%	0.6%	90.2%	6.1%	0.2%	0.2%	0.3%	92.7%	6.6%	

(22) 暴行や嫌がらせ等についての相談先

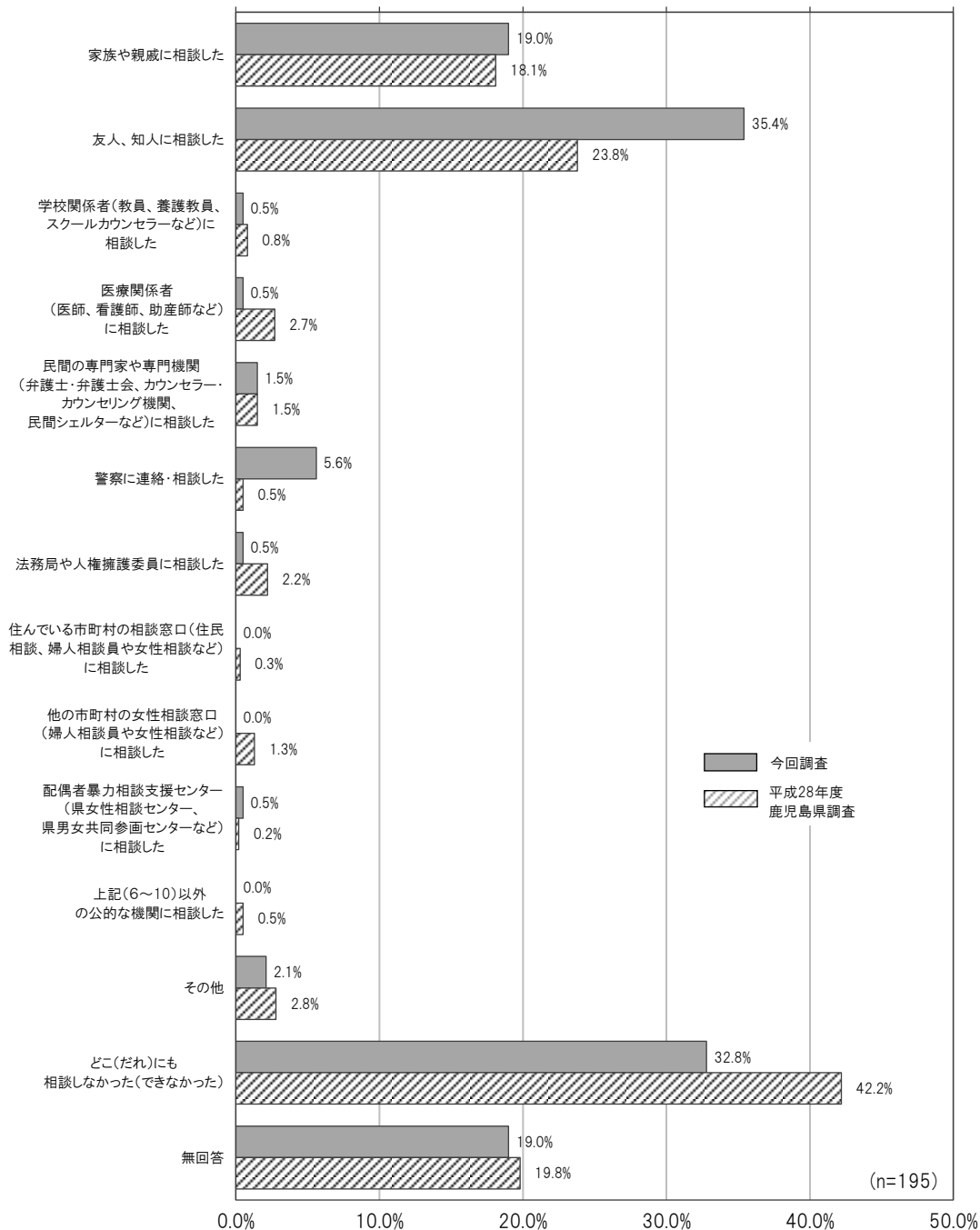
問 20-1 【問 18 または問 19 で 1 つでも行為を受けたことがあった方におたずねします。】
あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

全体では、「友人、知人に相談した」の 35.4% が最も高く、次いで「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」32.8%、「家族や親戚に相談した」19.0% の順となっている。

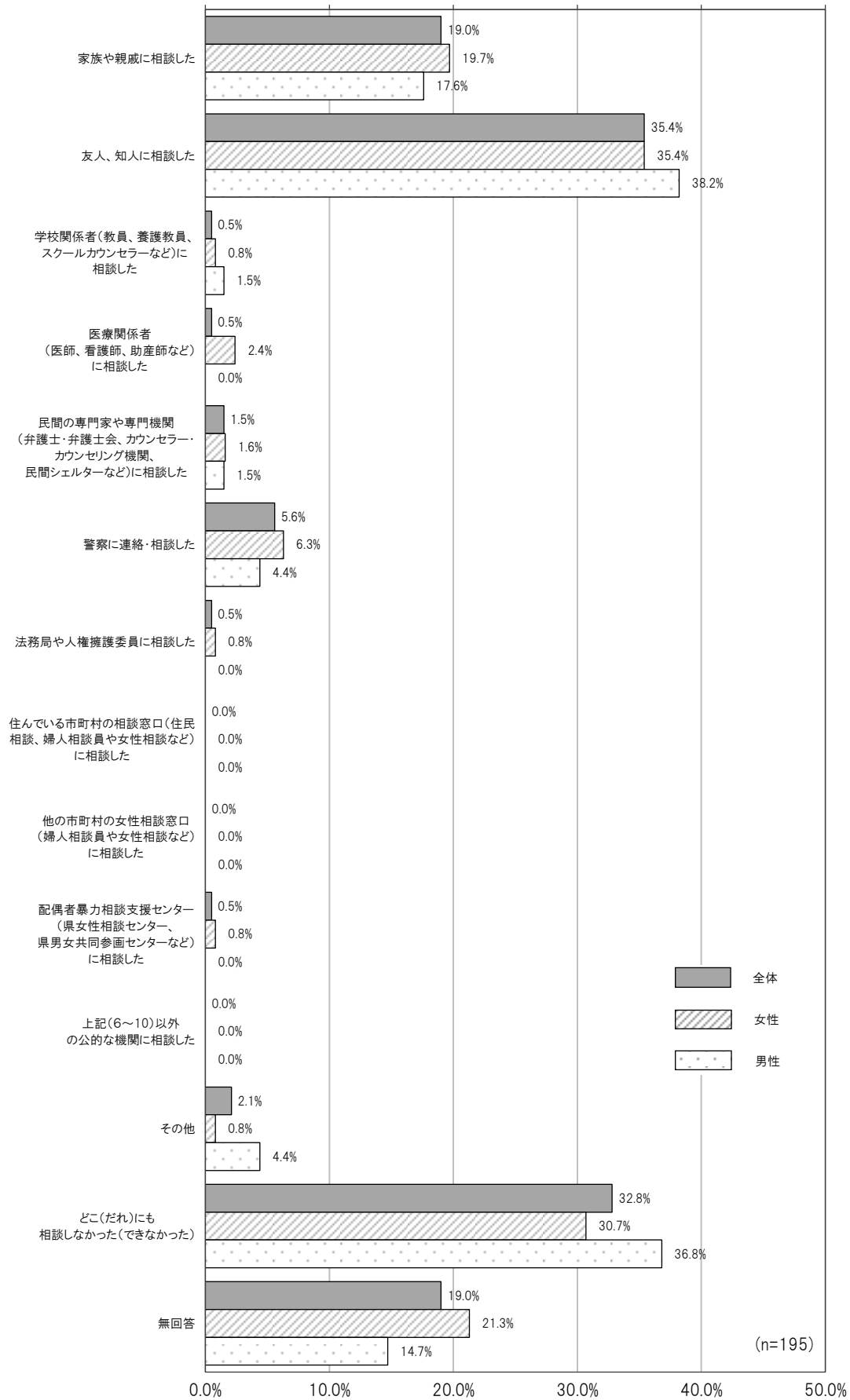
県調査と比較すると、「友人、知人に相談した」が 11.6 ポイント高く、「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」の回答が 9.4 ポイント少ない。

性別・年代別でみると、「友人、知人に相談した」で女性の「20 歳代」と、「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」で男性の「20 歳代」の割合が高くなっている。

暴行や嫌がらせ等についての相談先（全体，県調査）



暴行や嫌がらせ等についての相談先（全体・性別）



暴行や嫌がらせ等についての相談先（性別・年代別，前回・県調査）

上段：度数 下段：%		問20-1 暴行などについての相談の有無														
		サンプル数	家族や親戚に相談した	友人、知人に相談した	学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセセリグ機関、民間シェルターなど）に相談した	警察に連絡・相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	住んでいる市町村の相談窓口（住民相談、婦人相談員や女性相談など）に相談した	他の市町村の女性相談窓口（婦人相談員や女性相談など）に相談した	配偶者暴力相談支援センター（県女性相談センター、県男女共同参画センターなど）に相談した	上記（6510）以外の公的な機関に相談した	その他	どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）	無回答
全体	195	37	69	1	1	3	11	1	0	0	1	0	4	64	37	
	100.0%	19.0%	35.4%	0.5%	0.5%	1.5%	5.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	2.1%	32.8%	19.0%	
性別・年代別	女性	127	25	45	1	3	2	8	1	0	1	0	1	39	27	
		100.0%	19.7%	35.4%	0.8%	2.4%	1.6%	6.3%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	30.7%	21.3%	
	20歳代	8	3	5	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	
		100.0%	37.5%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
	30歳代	26	5	8	0	0	0	2	0	0	0	0	0	13	1	
		100.0%	19.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	3.8%	
	40歳代	34	5	16	0	1	2	4	1	0	0	0	0	10	5	
		100.0%	14.7%	47.1%	0.0%	2.9%	5.9%	11.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	14.7%	
	50歳代	35	10	10	0	1	0	1	0	0	0	1	0	6	12	
		100.0%	28.6%	28.6%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	17.1%	34.3%	
60歳以上	24	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	9		
	100.0%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	37.5%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
男性	68	12	26	1	0	1	3	0	0	0	0	3	25	10		
	100.0%	17.6%	38.2%	1.5%	0.0%	1.5%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	36.8%	14.7%		
20歳代	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0		
	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%		
30歳代	16	5	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	1		
	100.0%	31.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	6.3%		
40歳代	21	4	10	1	0	0	1	0	0	0	0	0	7	1		
	100.0%	19.0%	47.6%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	4.8%		
50歳代	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3		
	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	30.0%		
60歳以上	18	2	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	6	5		
	100.0%	11.1%	27.8%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	27.8%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
鹿平 児成 島2 県8 年 調 査 度	全体	602	109	143	5	16	9	3	13	2	8	1	3	17	254	119
		-	18.1%	23.8%	0.8%	2.7%	1.5%	0.5%	2.2%	0.3%	1.3%	0.2%	0.5%	2.8%	42.2%	19.8%
	女性	443	88	121	3	13	9	3	12	1	8	1	2	12	179	78
	-	19.9%	27.3%	0.7%	2.9%	2.0%	0.7%	2.7%	0.2%	1.8%	0.2%	0.5%	2.7%	40.4%	17.6%	
男性	154	21	22	2	3	0	0	1	0	0	0	0	5	73	39	
	-	13.6%	14.3%	1.3%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	47.4%	25.3%	

(23) 「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」理由

問 20-2 【問 20-1 で「13 どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」を選んだ方におたずねします。】

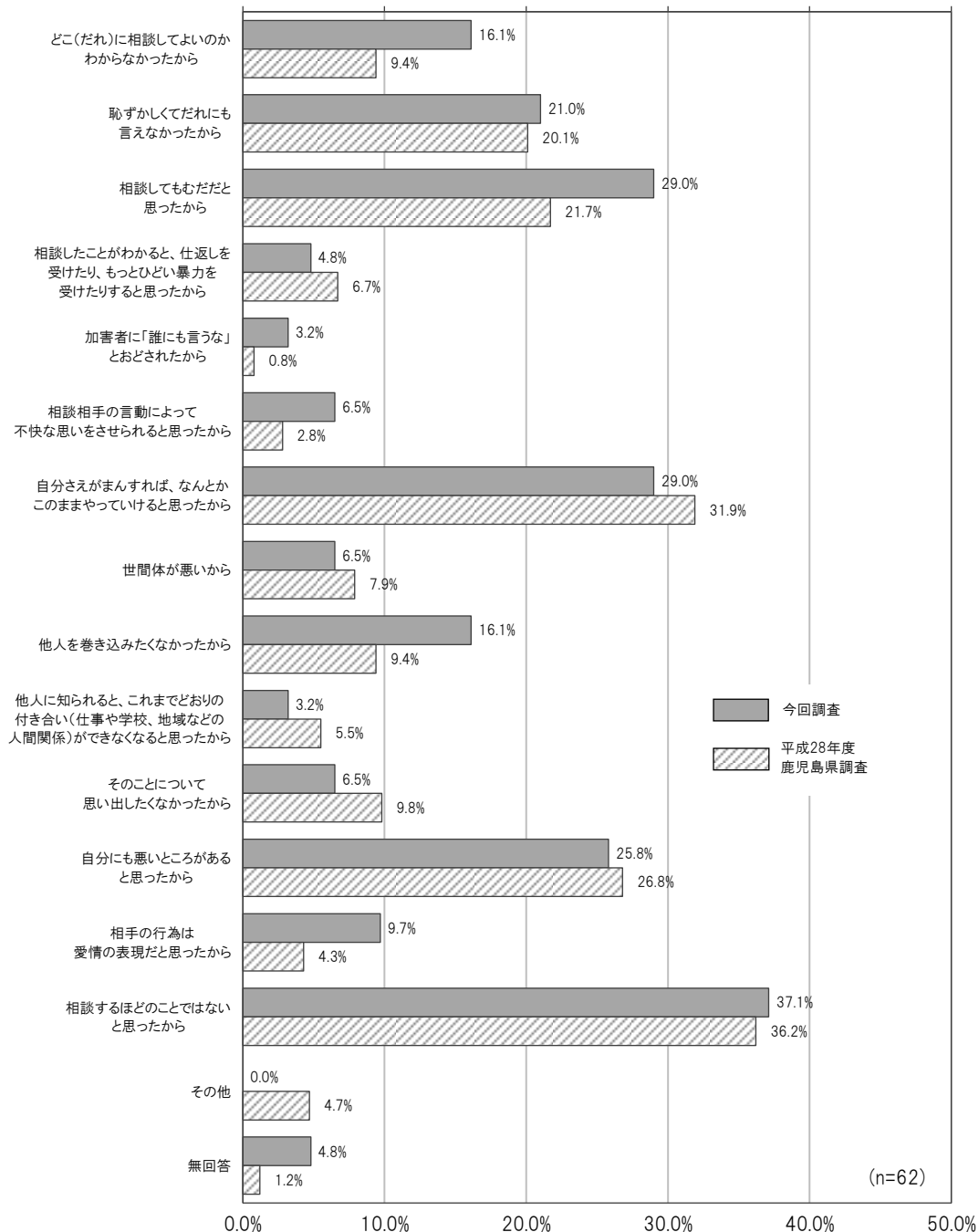
あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。

全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」と回答した割合が 37.1%で最も高く、次いで「相談してもむだだと思ったから」と「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が 29.0%、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」21.0%の順となっている。

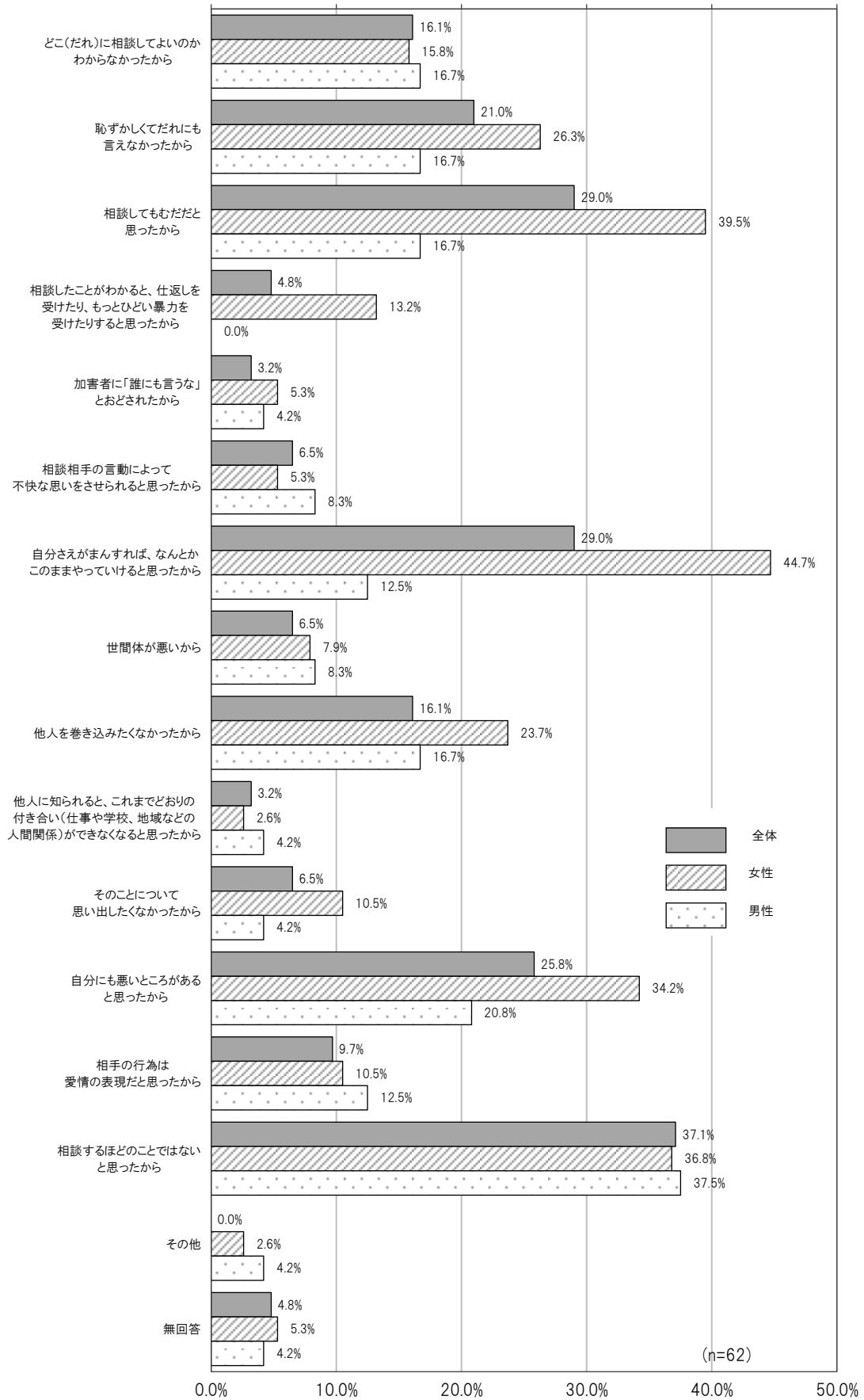
県調査との比較では、「相談してもむだだと思ったから」が 7.3 ポイント、「どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから」と「他人を巻き込みたくなかったから」が 6.7 ポイント高くなっている。

性別・年代別でみると、女性では「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」と回答した割合が 44.7%で最も高く、次いで「相談してもむだだと思ったから」39.5%、「相談するほどのことではないと思ったから」36.8%の順となっており、男性では「相談するほどのことではないと思ったから」が 37.5%で最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」20.8%の順になっている。

どこにも相談しなかった理由（全体，県調査）



どこにも相談しなかった理由（全体・性別）



どこにも相談しなかった理由（全体、県調査）

		問20-2 どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)理由																																		
		サンプル数	わからなかつたから	どこ(だれ)に相談してよいか	言えなかつたから	恥ずかしくてだれにも	相談したから	相談してもむだだと	受けたりすると思つたから	相談したことがわかる、仕返しを	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	不快な思いをさせられると思つたから	相談相手の言動によって	このままやっていると	自分さえがまんすれば、なんとか	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかつたから	他人に知られると、これまでどおりの	付き合い(仕事や学校、地域などの人間関係)がでなくなると思つたから	そのことについて	思い出しなかつたから	自分にも悪いところがある	愛情の表現だと思つたから	相手の行為は	相談するほどのことではない	相談したから	その他	無回答								
		上段:度数	下段:%																																	
全体		62	10	13	18	3	2	4	18	4	10	2	4	16	6	23	0	3	100.0%	16.1%	21.0%	29.0%	4.8%	3.2%	6.5%	29.0%	6.5%	16.1%	3.2%	6.5%	25.8%	9.7%	37.1%	0.0%	4.8%	
性別・年代別	女性	38	6	10	15	5	2	2	17	3	9	1	4	13	4	14	1	2	100.0%	15.8%	26.3%	39.5%	13.2%	5.3%	5.3%	44.7%	7.9%	23.7%	2.6%	10.5%	34.2%	10.5%	36.8%	2.6%	5.3%	
	20歳代	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	30歳代	13	3	3	4	2	1	1	7	1	4	0	1	4	3	4	0	1	100.0%	23.1%	23.1%	30.8%	15.4%	7.7%	7.7%	53.8%	7.7%	30.8%	0.0%	7.7%	30.8%	23.1%	30.8%	0.0%	7.7%	
	40歳代	9	2	2	6	2	0	1	6	1	3	0	1	4	1	5	1	0	100.0%	22.2%	22.2%	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	44.4%	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%	
	50歳代	6	1	1	3	0	0	0	2	1	2	0	2	2	2	0	2	0	100.0%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
	60歳以上	8	0	3	2	1	0	0	2	0	0	0	2	0	3	0	2	0	100.0%	0.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	男性	24	4	4	4	0	1	2	3	2	4	1	1	5	3	9	1	1	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	4.2%	8.3%	12.5%	8.3%	16.7%	4.2%	20.8%	12.5%	37.5%	4.2%	4.2%		
	20歳代	2	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%			
	40歳代	6	2	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	100.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%			
	50歳代	5	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	1	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%			
	60歳以上	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	100.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	鹿平	全体	254	24	51	55	17	2	7	81	20	24	14	25	68	11	92	12	3	100.0%	9.4%	20.1%	21.7%	6.7%	0.8%	2.8%	31.9%	7.9%	9.4%	5.5%	9.8%	26.8%	4.3%	36.2%	4.7%	1.2%
	鹿平	女性	147	16	37	41	6	1	6	44	13	18	5	11	28	11	57	12	3	100.0%	10.9%	25.2%	27.9%	4.1%	0.7%	4.1%	29.9%	8.8%	12.2%	3.4%	7.5%	19.0%	7.5%	38.8%	8.2%	2.0%
鹿平	男性	105	7	20	24	6	0	4	22	2	5	2	9	38	9	47	1	0	100.0%	6.7%	19.0%	22.9%	5.7%	0.0%	3.8%	21.0%	1.9%	4.8%	1.9%	8.6%	36.2%	8.6%	44.8%	1.0%	0.0%	

(24) 男女間における暴力を防止するために必要なこと

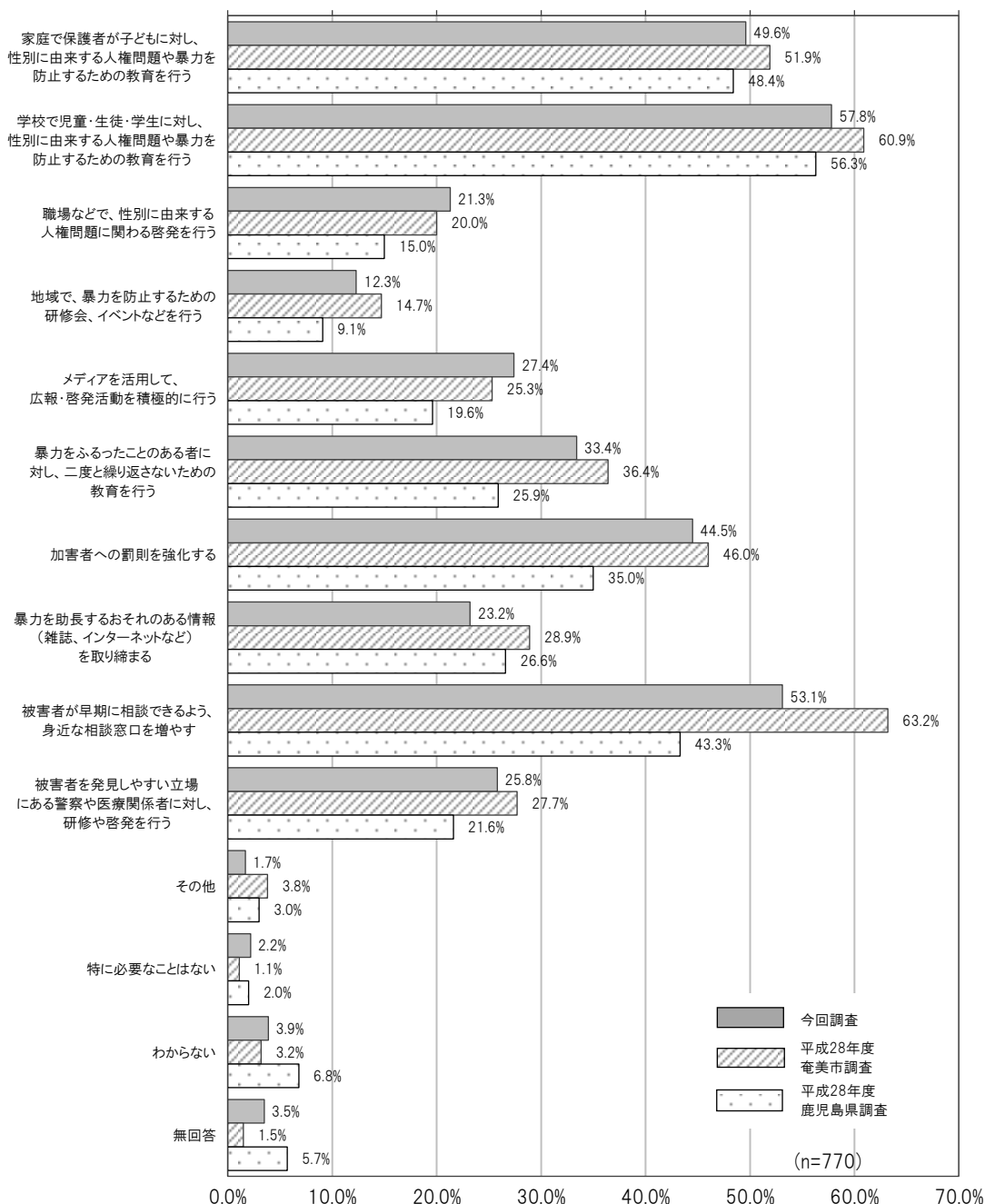
問 21 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。

全体では、「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」と回答した割合が 57.8%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」53.1%、「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」49.6%の順となっている。

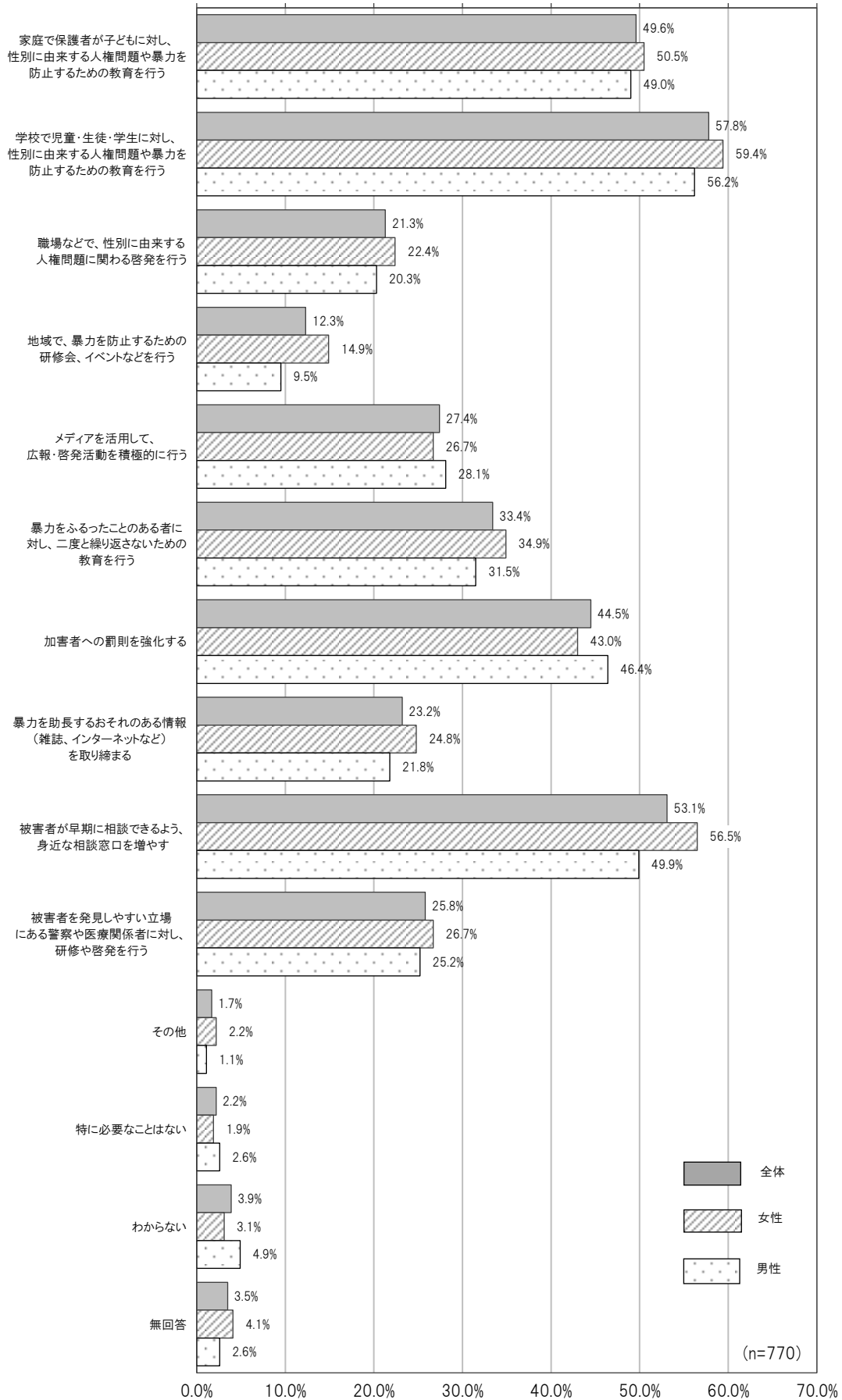
前回調査と比較すると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の回答が 10.1 ポイント低くなっている。県調査との比較では、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」で 9.8 ポイント、「加害者への罰則を強化する」で 9.5 ポイント高い。

性別でみると、男女とも「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」と回答した割合が高いが、年代別で、女性の「40 歳代」と男性の「20 歳代」は「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が、男性の「60 歳以上」は「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」が、それぞれ最も高くなっている。

男女間における暴力を防止するために必要なこと（全体，前回・県調査）



男女間における暴力を防止するために必要なこと（全体・性別）



男女間における暴力を防止するために必要なこと（性別・年代別、前回・県調査）

		問21 男女間における暴力を防止するために必要なこと																							
		サンプル数	性別に由来する教育を行う	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を	防別による教育を行う	学校で児童・生徒・学生に対し、暴力を	人権問題に関わる啓発を行う	職場などで、性別に由来する	研修会、イベントなどを行う	地域で、暴力を防止するための	広報・啓発活動を積極的に	メディアを活用して、	教育を行う	暴力をふるったことのある者への	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を取り締まる	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答			
上段：度数 下段：%																									
性別・年代別	全体	770 100.0%	382 49.6%	445 57.8%	164 21.3%	95 12.3%	211 27.4%	257 33.4%	343 44.5%	179 23.2%	409 53.1%	199 25.8%	13 1.7%	17 2.2%	30 3.9%	27 3.5%									
	女性	416 100.0%	210 50.5%	247 59.4%	93 22.4%	62 14.9%	111 26.7%	145 34.9%	179 43.0%	103 24.8%	235 56.5%	111 26.7%	9 2.2%	8 1.9%	13 3.1%	17 4.1%									
	20歳代	52 100.0%	23 44.2%	31 59.6%	14 26.9%	9 17.3%	12 23.1%	17 32.7%	27 51.9%	8 15.4%	25 48.1%	18 34.6%	3 5.8%	0 0.0%	5 9.6%	1 1.9%									
	30歳代	86 100.0%	41 47.7%	51 59.3%	18 20.9%	8 9.3%	18 20.9%	26 30.2%	45 52.3%	17 19.8%	49 57.0%	19 22.1%	3 3.5%	1 1.2%	2 2.3%	3 3.5%									
	40歳代	105 100.0%	53 50.5%	69 65.7%	25 23.8%	17 16.2%	32 30.5%	48 45.7%	54 51.4%	28 26.7%	73 69.5%	35 33.3%	2 1.9%	2 1.9%	0 0.0%	2 1.9%									
	50歳代	104 100.0%	50 48.1%	58 55.8%	18 17.3%	12 11.5%	28 26.9%	28 26.9%	30 28.8%	25 24.0%	52 50.0%	20 19.2%	1 1.0%	4 3.8%	3 2.9%	7 6.7%									
	60歳以上	69 100.0%	43 62.3%	38 55.1%	18 26.1%	16 23.2%	21 30.4%	26 37.7%	23 33.3%	25 36.2%	36 52.2%	19 27.5%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	4 5.8%									
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%									
	男性	349 100.0%	171 49.0%	196 56.2%	71 20.3%	33 9.5%	98 28.1%	110 31.5%	162 46.4%	76 21.8%	174 49.9%	88 25.2%	4 1.1%	9 2.6%	17 4.9%	9 2.6%									
	20歳代	62 100.0%	26 41.9%	33 53.2%	12 19.4%	4 6.5%	17 27.4%	20 32.3%	34 54.8%	12 19.4%	35 56.5%	17 27.4%	0 0.0%	1 1.6%	4 6.5%	1 1.6%									
	30歳代	69 100.0%	36 52.2%	39 56.5%	11 15.9%	6 8.7%	12 17.4%	20 29.0%	30 43.5%	10 14.5%	34 49.3%	14 20.3%	1 1.4%	3 4.3%	4 5.8%	2 2.9%									
	40歳代	75 100.0%	33 44.0%	41 54.7%	16 21.3%	8 10.7%	20 26.7%	15 20.0%	36 48.0%	14 18.7%	36 48.0%	24 32.0%	1 1.3%	3 4.0%	1 1.3%	2 2.7%									
	50歳代	74 100.0%	41 55.4%	44 59.5%	17 23.0%	7 9.5%	27 36.5%	30 40.5%	35 47.3%	23 31.1%	39 52.7%	19 25.7%	2 2.7%	0 0.0%	5 6.8%	2 2.7%									
	60歳以上	68 100.0%	35 51.5%	38 55.9%	15 22.1%	8 11.8%	21 30.9%	24 35.3%	26 38.2%	17 25.0%	30 44.1%	14 20.6%	0 0.0%	2 2.9%	3 4.4%	2 2.9%									
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%									
	無回答	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%									
	奄美市調査	平成29年度 全体	470 -	244 51.9%	286 60.9%	94 20.0%	69 14.7%	119 25.3%	171 36.4%	216 46.0%	136 28.9%	297 63.2%	135 27.7%	18 3.8%	5 1.1%	15 3.2%	7 1.5%								
		女性	264 -	137 51.9%	157 59.5%	46 17.4%	28 10.6%	64 24.2%	99 37.5%	123 46.6%	81 30.7%	177 67.0%	73 27.7%	14 5.3%	1 0.4%	10 3.8%	2 0.8%								
		男性	206 -	107 51.9%	129 62.6%	48 23.3%	41 19.9%	55 26.7%	72 35.0%	93 45.1%	55 26.7%	120 58.3%	62 30.1%	4 1.9%	4 1.9%	5 2.4%	5 2.4%								
	鹿児島県調査	平成28年度 全体	2,227 -	1,078 48.4%	1,254 56.3%	334 15.0%	203 9.1%	436 19.6%	576 25.9%	780 35.0%	593 26.6%	965 43.3%	481 21.6%	67 3.0%	44 2.0%	151 6.8%	127 5.7%								
		女性	1,252 -	607 48.5%	701 56.0%	175 14.0%	117 9.3%	237 18.9%	351 28.0%	434 34.7%	346 27.6%	570 45.5%	283 22.6%	40 3.2%	21 1.7%	97 7.7%	57 4.6%								
男性		928 -	465 50.1%	546 58.8%	158 17.0%	85 9.2%	196 21.1%	225 24.2%	344 37.1%	245 26.4%	391 42.1%	197 21.2%	27 2.9%	22 2.4%	45 4.8%	41 4.4%									

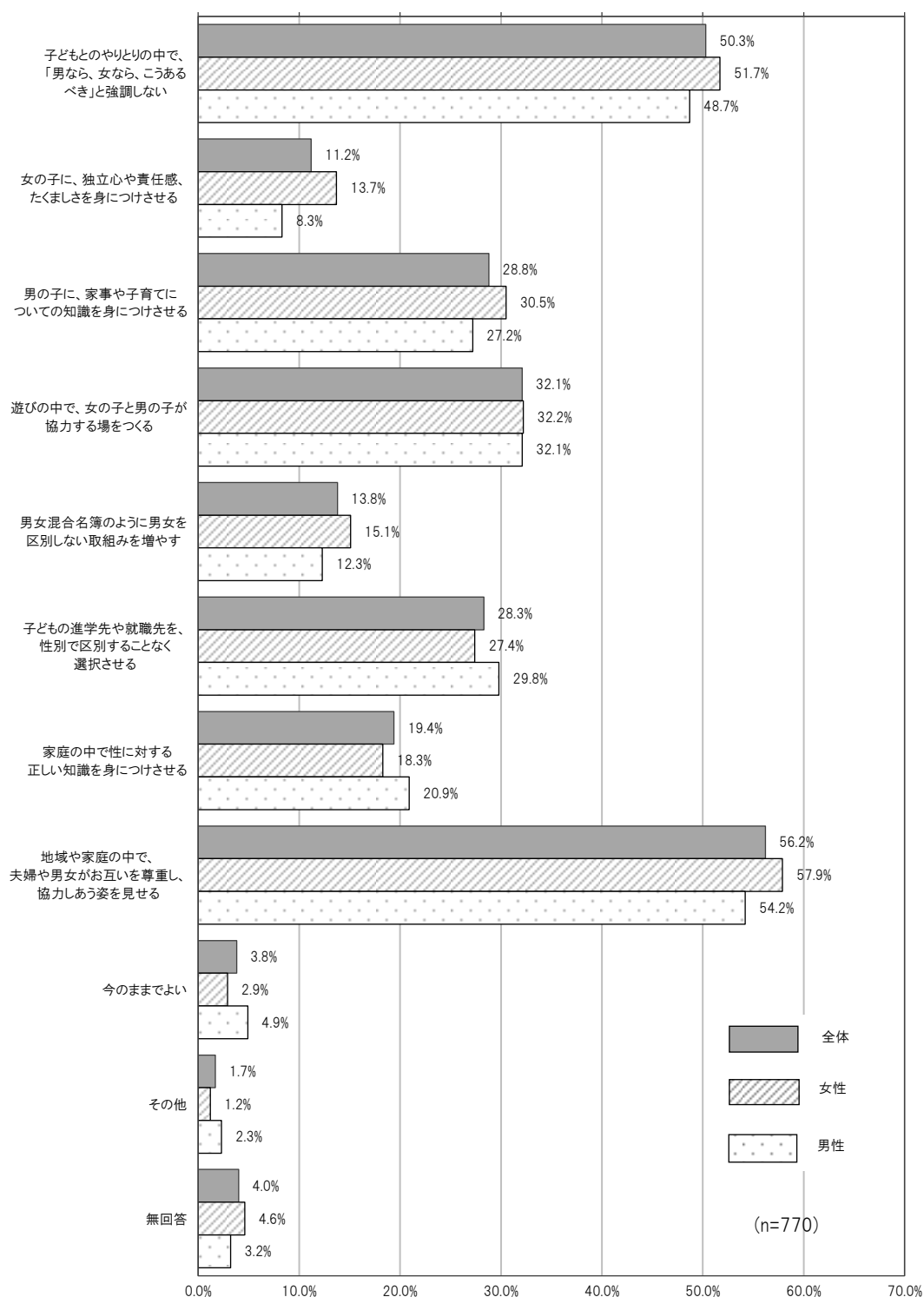
(25) 子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために、親や大人が心がけるべきこと

問 22 子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために、親や大人はどのようなことを心がけるべきだと思いますか。

全体では、「地域や家庭の中で、夫婦や男女がお互いを尊重し、協力しあう姿を見せる」と回答した割合が56.2%で最も高く、次いで「子どもとのやりとりの中で、「男なら、女なら、こうあるべき」と強調しない」50.3%、「男の子に、家事や子育てについての知識を身につけさせる」28.8%の順となっている。

性別・年代別で見ると、男女とも、「40歳代」から「60歳以上」では「地域や家庭の中で、夫婦や男女がお互いを尊重し、協力しあう姿を見せる」と回答した割合が最も高く、「20歳代」「30歳代」では「男なら、女なら、こうあるべき」と強調しない」が最も高くなっている。

子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために、親や大人が心がけるべきこと（全体・性別）



子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために心がけるべきこと（性別・年代別、前回・県調査）

		問22 子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために、親や大人が心がけるべきこと																
上段：度数 下段：%		サンプル数	「べき」と強調しない	子どもとのやりとりの中で、	女の子に、独立心や責任感、	男の子の知識を身につけさせる	遊びの中で、女の子と男の子が	男女混合名簿のように男女を	区別しない取組みを増やす	選別で進学先や就職先を、	子どもの進学先や就職先を、	正しい知識を身につけさせる	家庭の中で性に対する	夫婦やあう姿を見せる	地域や家庭の中で、	今のままよい	その他	無回答
全体		770 100.0%	387 50.3%	86 11.2%	222 28.8%	247 32.1%	106 13.8%	218 28.3%	149 19.4%	433 56.2%	29 3.8%	13 1.7%	31 4.0%					
性別・年代別	女性	416 100.0%	215 51.7%	57 13.7%	127 30.5%	134 32.2%	63 15.1%	114 27.4%	76 18.3%	241 57.9%	12 2.9%	5 1.2%	19 4.6%					
	20歳代	52 100.0%	26 50.0%	7 13.5%	14 26.9%	13 25.0%	10 19.2%	21 40.4%	11 21.2%	20 38.5%	2 3.8%	2 3.8%	3 5.8%					
	30歳代	86 100.0%	47 54.7%	13 15.1%	29 33.7%	31 36.0%	16 18.6%	23 26.7%	15 17.4%	42 48.8%	1 1.2%	0 0.0%	3 3.5%					
	40歳代	105 100.0%	60 57.1%	14 13.3%	36 34.3%	36 34.3%	16 15.2%	24 22.9%	23 21.9%	64 61.0%	3 2.9%	1 1.0%	3 2.9%					
	50歳代	104 100.0%	48 46.2%	13 12.5%	24 23.1%	29 27.9%	14 13.5%	36 34.6%	15 14.4%	68 65.4%	5 4.8%	1 1.0%	5 4.8%					
	60歳以上	69 100.0%	34 49.3%	10 14.5%	24 34.8%	25 36.2%	7 10.1%	10 14.5%	12 17.4%	47 68.1%	1 1.4%	1 1.4%	5 7.2%					
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%					
	男性	349 100.0%	170 48.7%	29 8.3%	95 27.2%	112 32.1%	43 12.3%	104 29.8%	73 20.9%	189 54.2%	17 4.9%	8 2.3%	11 3.2%					
	20歳代	62 100.0%	37 59.7%	3 4.8%	13 21.0%	18 29.0%	12 19.4%	25 40.3%	14 22.6%	29 46.8%	2 3.2%	1 1.6%	3 4.8%					
	30歳代	69 100.0%	41 59.4%	8 11.6%	21 30.4%	17 24.6%	8 11.6%	19 27.5%	15 21.7%	29 42.0%	5 7.2%	4 5.8%	2 2.9%					
	40歳代	75 100.0%	37 49.3%	6 8.0%	24 32.0%	29 38.7%	6 8.0%	17 22.7%	22 29.3%	47 62.7%	2 2.7%	0 0.0%	2 2.7%					
	50歳代	74 100.0%	27 36.5%	3 4.1%	13 17.6%	25 33.8%	6 8.1%	24 32.4%	12 16.2%	46 62.2%	5 6.8%	2 2.7%	4 5.4%					
	60歳以上	68 100.0%	28 41.2%	8 11.8%	23 33.8%	23 33.8%	11 16.2%	19 27.9%	9 13.2%	38 55.9%	3 4.4%	1 1.5%	0 0.0%					
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%					
無回答	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%						

10 市の男女共同参画施策について

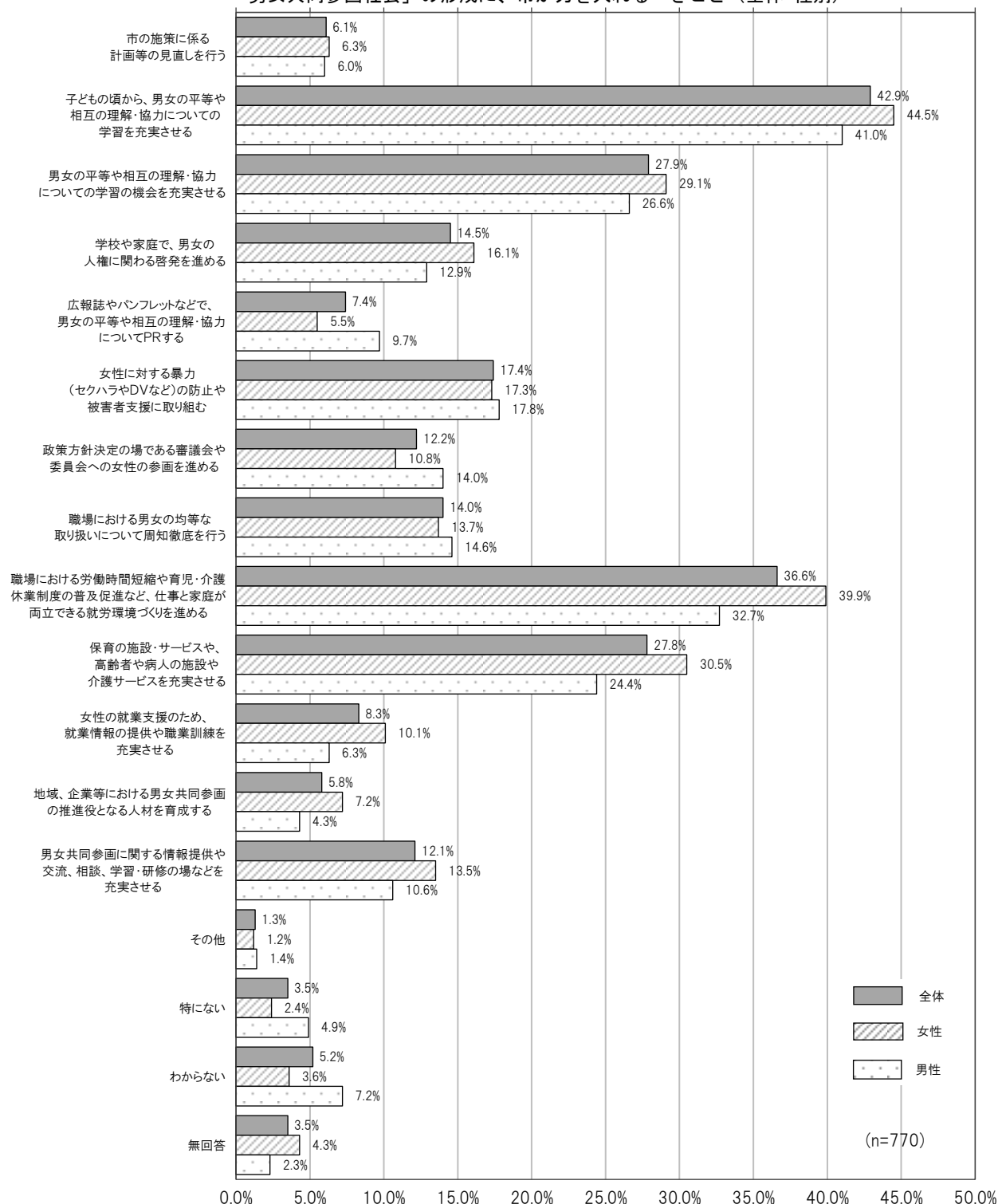
(26) 「男女共同参画社会」の形成に、市が力を入れるべきこと

問 23 あなたは、「男女共同参画社会」を形成していくために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

全体では、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」の回答が42.9%で最も高く、次いで「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」36.6%、「男女の平等や相互の理解・協力についての学習の機会を充実させる」27.9%の順となっている。

性別では、「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」で7.2ポイント、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」で6.1ポイント女性が男性より高くなっている。

「男女共同参画社会」の形成に、市が力を入れるべきこと（全体・性別）



「男女共同参画社会」の形成に、市が力を入れるべきこと（性別・年代別）

		問23 「男女共同参画社会」の形成に、市が力を入れるべきこと																		
		サンプル数	市の施策に係る計画等の見直しを行う	子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力を充実させる	男女の平等や相互の理解・協力についての学習の機会を充実させる	学校や家庭で、男女の人権に関わる啓発を進める	広報誌やパンフレットなどで、男女の平等や相互の理解・協力を広げる	女性に対する暴力（セクハラやDVなど）の防止や被害者支援に取り組む	政策方針決定の場である審議会や委員会への女性の参画を進める	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う	職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを実施させる	女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実させる	地域、企業等における男女共同参画の推進役となる人材を育成する	男女共同参画に関する情報提供や交流、相談、学習・研修の場などを充実させる	その他	特になし	わからない	無回答	
		上段：度数 下段：%																		
全体		770 100.0%	47 6.1%	330 42.9%	215 27.9%	112 14.5%	57 7.4%	134 17.4%	94 12.2%	108 14.0%	282 36.6%	214 27.8%	64 8.3%	45 5.8%	93 12.1%	10 1.3%	27 3.5%	40 5.2%	27 3.5%	
性別・年代別	女性	416 100.0%	26 6.3%	185 44.5%	121 29.1%	67 16.1%	23 5.5%	72 17.3%	45 10.8%	57 13.7%	166 39.9%	127 30.5%	42 10.1%	30 7.2%	56 13.5%	5 1.2%	10 2.4%	15 3.6%	18 4.3%	
	20歳代	52 100.0%	4 7.7%	18 34.6%	14 26.9%	6 11.5%	2 3.8%	14 26.9%	5 9.6%	4 7.7%	11 21.2%	21 40.4%	5 9.6%	3 5.8%	6 11.5%	1 1.9%	2 3.8%	6 11.5%	0 0.0%	
	30歳代	86 100.0%	6 7.0%	41 47.7%	27 31.4%	12 14.0%	2 2.3%	15 17.4%	7 8.1%	10 11.6%	33 38.4%	27 31.4%	8 9.3%	2 2.3%	10 11.6%	2 2.3%	1 1.2%	1 1.2%	6 7.0%	
	40歳代	105 100.0%	12 11.4%	55 52.4%	25 23.8%	22 21.0%	9 8.6%	17 16.2%	10 9.5%	13 12.4%	55 52.4%	29 27.6%	13 12.4%	12 11.4%	15 14.3%	1 1.0%	2 1.9%	1 1.0%	4 3.8%	
	50歳代	104 100.0%	4 3.8%	42 40.4%	36 34.6%	20 19.2%	4 3.8%	15 14.4%	13 12.5%	22 21.2%	35 33.7%	29 27.9%	10 9.6%	9 8.7%	18 17.3%	1 1.0%	3 2.9%	2 1.9%	4 3.8%	
	60歳以上	69 100.0%	0 0.0%	29 42.0%	19 27.5%	7 10.1%	6 8.7%	11 15.9%	10 14.5%	8 11.6%	32 46.4%	21 30.4%	6 8.7%	4 5.8%	7 10.1%	0 0.0%	2 2.9%	5 7.2%	4 5.8%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	男性	349 100.0%	21 6.0%	143 41.0%	93 26.6%	45 12.9%	34 9.7%	62 17.8%	49 14.0%	51 14.6%	114 32.7%	85 24.4%	22 6.3%	15 4.3%	37 10.6%	5 1.4%	17 4.9%	25 7.2%	8 2.3%	
	20歳代	62 100.0%	9 14.5%	17 27.4%	16 25.8%	7 11.3%	2 3.2%	14 22.6%	12 19.4%	10 16.1%	18 29.0%	12 19.4%	4 6.5%	3 4.8%	2 3.2%	1 1.6%	2 3.2%	5 8.1%	2 3.2%	
	30歳代	69 100.0%	2 2.9%	32 46.4%	16 23.2%	11 15.9%	1 1.4%	12 17.4%	6 8.7%	11 15.9%	28 40.6%	16 23.2%	5 7.2%	3 4.3%	11 15.9%	0 0.0%	4 5.8%	6 8.7%	1 1.4%	
	40歳代	75 100.0%	4 5.3%	38 50.7%	26 34.7%	12 16.0%	7 9.3%	11 14.7%	7 9.3%	11 14.7%	23 30.7%	18 24.0%	6 8.0%	3 4.0%	4 5.3%	2 2.7%	4 5.3%	3 4.0%	3 4.0%	
	50歳代	74 100.0%	2 2.7%	33 44.6%	21 28.4%	5 6.8%	14 18.9%	15 20.3%	15 20.3%	10 13.5%	24 32.4%	18 24.3%	6 8.1%	4 5.4%	5 6.8%	1 1.4%	3 4.1%	6 8.1%	2 2.7%	
	60歳以上	68 100.0%	4 5.9%	23 33.8%	14 20.6%	10 14.7%	10 14.7%	9 13.2%	9 13.2%	9 13.2%	21 30.9%	21 30.9%	0 0.0%	2 2.9%	15 22.1%	1 1.5%	4 5.9%	5 7.4%	0 0.0%	
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
無回答	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	

11 その他の記述

問3 男女がもっと平等になるために重要だと思うもの

- ・お互いの承認と自立。
- ・平等にするのは、難しいと思う。
- ・3の女性自身の向上も必要だが、1・2を改めつつ、意見に対し、男女問わず意見を受け入れ討議していくことが重要。
- ・障害のない国。
- ・女性が社会に進出しやすくするために男性に対する理解も深めること。
- ・パートナー（夫等）の理解が必要。
- ・男女の区別なく進みたい方向へ進める社会をつくる。
- ・性別、年齢に関係なく向上できる環境（権利）が必要。理解が必要。女性というカードを悪用しないこと。女性も『女性』を言い訳にしないこと。
- ・家事育児が軽視されている感じが、まだまだあります。仕事をしている方が立場的に上にあるような社会ですが、家事育児をする人がいなければ、社会もまわっていきません。もっと、家事育児が、認められる社会になればいいなと思います。
- ・そもそも男女は役目が違います。何をもって平等とうたうのか？古来の日本は男女性別なく調和がとれていたと学んでいます。現代の日本は、本当の日本の歴史を無視し、世界に誇れる“調和をもたらすしきたり・躰”の教えがあるにも関わらず、外部の影響を受けすぎです。古来の教えを学び直し、教育に活かすことで差別どころか、個々の役目に気づき調和のとれる国に戻ると想います。性別関係なく男女共に心豊かで、それが自然と社会に反映され、想い愛溢れる世界にするのであれば、先人に習った方が良いかと。教育を正し、心身の成長段階で基本の教えとして伝えることが大事だと感じています。
- ・性差別というより、男女のちがいはあって当然。それを認めないといけないと思う。逆にいまは、女性が守られすぎているように思う
- ・1~5全ての項目があてはまりますが、1~5の項目を実施しようとしても婚姻などにより家庭での女性の負担は増える為、実施は難しいと思う。 1~5の項目を実施しただけでは、平等になるとは思わない。

問4 女性が職業をもつことについて

- ・生活できる収入によりけり（3人）
- ・その時その時の状況に合わず。（5人）
- ・人それぞれ（11人）
- ・女性が職業を持つ事は、その家の経済や家庭環境や女性の体調もあるので、そこは話し合っ女性考の考えにまかせる。
- ・本人の自由であるべき（198人）
- ・続けてもらいたい。
- ・個々で選択できるとよい。
- ・女性が自分で決めればよい。
- ・いつどんな時でも、選択できる社会があってほしい。
- ・結婚しても子供ができて、女性の職業に対する価値観や社会背景はそれぞれ違うので、家庭を第一に考え一番うまくいくカタチをとるのがいいと思う。（夫の職業や子供の健康面(持病等)を考慮して生活できる方法が最善かと）
- ・どんな状況においてもその人が輝けるその人らしさが大事なので、仕事をしてしなくても自由でいいと思います
- ・本人の意志を尊重。どちらでも応援できる環境を家族で支え合い築いていきたい。
- ・意味が理解出来ない
- ・生活環境の変化に合わせて、自由に選択出来た方がよいと思う。
- ・それぞれの家庭の事情で決めれば良いと思う。
- ・個人の意思尊重。
- ・あらゆる時間で子供を育てられる事業であれば、ずっと仕事を続ける。そのような環境が少なく、協力者もない。

- ・5番が理想であるが、生きていくため子供を育てるためには結局お金が必要である。また、仕事をしていないブランク、環境の変化等に心配もある。
- ・家庭それぞれ。子供がいて働きたくなくても(子育てに専念したくても)働かないといけない場合もある。
- ・夫婦が支え合い協力しながらでなければ仕事を続けるのは難しい。
- ・その人の性格によると思うので、その人にあった働き方(職業をもつ)をすればよいと思う。
- ・自由だし、夫婦がどう役割分担するかにもよるが、出産に関しては、どうしても女性が担当する上に身体が変わってしまうので、産後は無理しすぎず過ごせる環境を作ってあげたい。よってその女性自身にも、自分の弱い部分やできなくなった部分を認めて動いてほしい。
- ・個人の環境で本人が選択すべき。他人に干渉されるべきではない。
- ・妊娠、出産は病気ではありませんが、未婚、既婚をとわず健康な赤ちゃんを生み、育てられる様に3才になるまで職場を休職する事を認め、無給補填に育児手当を支給する方向へ出来れば理想です。
- ・この質問こそが差別だと思う。
- ・個々で決めることなのでわかりません…
- ・家庭環境にもよるので、わかりません
- ・よくわからない
- ・夫の収入が低いから働かざるをえない
- ・3才頃まで子育てをやりその後仕事する
- ・子どもがいる、いない関係無く本人の意思を尊重出来るのが1番よい
- ・子供が出来たからと言って仕事を辞めるのか続けるのかは個人の自由であるべき
- ・女性が育児しながら働いても良いし育児に専念しても良い。各家庭個々ケースや状況にもよるので画一的には答えられない。
- ・子どもがいてもいなくても職業をもってももたなくてもよい
- ・家庭状況や子供の状況に応じて、仕事を調整する方がよい。
- ・基本的には、子どもができて職業を続ける方がよい。であるが、家庭環境(経済的、体調、6)次第では、色々な選択肢があると思うので一概には言えないと思います。
- ・望む人がいつでも就業できたらいい
- ・仕事をするかどうかしないかどうかは女性本人の意思によるべきだが、復職もしくは再就職しやすくあるべき。“よってこの設問の選択肢自体が不適切であり、行政の勉強不足を感じる”
- ・女性が決めることで男性がとやかくいうことではない
- ・金銭的に余裕があれば
- ・臨機応変に対応したらいい
- ・本人の意思次第・各家庭の考え方次第
- ・子育てしながら、奥さんが仕事もしないといけないとなると、子どもにしっかり向き合う時間が出来なかったり、子育て出来ない母親も居る！女性が社会に進出するものいいけど、子育てしてる時には自治体や旦那さんの会社などが経済的にサポートしてあげて、子育てに専念出来る環境を作ってあげると子どもを産んでもいいかもと感じるかも！1人産んで復職して熱出して休んでつると、会社に居づらい環境になる！一般の会社は旦那さんが休んだりするのも嫌がる傾向がある！
- ・仕事したい人は仕事優先でいい
- ・女性が外で働くことだけがいいことだとは思えない。
- ・共働きでないと生活できない。本当は専業主婦の方がよい。
- ・子供ができたなら時間等を調整しながら続けた方がよいと思う。
- ・結婚する(であろう)、子供ができる(であろう)、などの前提がまず男女が平等ではない。「結婚・子育ての有無問わず働きたいという意思があるならば続ける」が1番近い。
- ・その時々や状況によって変わる為、選択肢が幅広くある事が良いと考える。
- ・職業を持ちたいのなら持つべきだと思います。結婚して子供が出来たとしても夫婦で相談した上で、職業を続けるか辞めるかの答えを出したら良いと思います。”
- ・その人の能力や生活スタイルに合わせて自由で良い。適材適所で働ける環境が増えると、バランス良く働けると思う。

問5 男性が育児や介護休暇を取得することについて

- ・その家庭の、夫婦の状態に合わず。
- ・会社の人数による。少なければむりになる。
- ・育児はわからんけど、介護は力仕事もあるだろうし、むしろ男性がしたほうが良いのでは？
- ・上司と同僚（若い男女共に体験をし、相手の立場にたってみては？）
- ・奄美ではブラックな会社が多い為無理だと思う
- ・男女問わず、育児も介護も経験してみないと分からない事だらけなので、全ての人が協力し合うべきだと思います
- ・理解出来ない
- ・取得した方が良いが業務上無理
- ・個人の自由なのでどちらでもいい（3人）
- ・人員削減を行っている間は無理である。（長期休暇に対応できる）人員の確保が必要。
- ・個人で仕事している人には、長期の休暇は難しい（一人親方など）。
- ・男性の色々な事に関する意識改革がないと、思う様に進まないと思う。
- ・取得した方がよいと思うが、仕事との責任感とバランスも大事と思う。
- ・取得した方が家庭、家族といっしょにすごし、育児や家事介護を行った方がよいのだが、全くしたことがない男性がムリに取得したとしても、妻(母)の負担増につながるかと本末転倒である。休暇より時短などが望ましいと思います。
- ・9、取得しないほうが良いとは思わない。ただ、環境によっては迷惑だと感じるかもしれない。一番感情的に思うことは取得する人の性格によって気持ちが揺らぐということ。10、取得しないほうが良いとは思わない。ただ不利益はあると思う。
- ・人手不足の職場では、取得は難しいのでは。
- ・よくわからない
- ・取得した方が良いが、育児家事を安心して任せられないから不安。
- ・職場環境によってとりにくい(理解が得られない)などの職種によっても異なるので難しい。
- ・女性が収入が多ければ、男性が育休をとる方が良いのでは
- ・男性の同僚が育児休暇を取得したが、迷惑とは思わないが人員補充がなく他の同僚へしわ寄せがいつている、取得に個人差がある
- ・男女問わず育児休暇そのものが会社の不利益になるものだと思っている。会社が育児休暇を給付できる余力があったり、今後も確保しておきたい人材などで育児休暇を与えてるのであればおおいに取得すればいいと思うが「育児休暇があって当たり前」という考え方は個人的に間違っていると思う。
- ・休暇を取得してほしいが、男性は役職に就いている事も多い。休暇中その代役をたてる事が人材不足の現場または、人手が減ると困る医療や介護現場では取得が難しい。
- ・主人の会社は圧力があり社会保険も無し…休みも日曜日のみ育児休暇なんて願うまでもない
- ・育児休暇素晴らしい。地域、職場でそれが当たり前になって欲しい。
- ・小規模の企業だと長期休暇は難しい
- ・男性も女性も同じように休めるのが理想だが、休んだところで、家庭で女性と同じような役割をこなせていない現実もある。
- ・専門職は変わりが直ぐは見つからないので現実には困難だと思う。
- ・個人が決める事で他人の意見はいらなと思う
- ・他者に迷惑かけない範囲で
- ・当人が必要・取得したいと考える場合は取得すべき。
- ・その家庭により、それがベストであれば取得すればよい。
- ・民間企業では難しいと思う
- ・雇用する側の意識の程度で決まると考えている
- ・経営者なので、育児休暇は取得できない。
- ・働いている環境に左右される。その人の働いている仕事内容や、仕事内容の負担次第では、休みを取る事で、周りからの理解や仕事負担による理解が得がたい場合が多いと感じる。
- ・みんなの理解が追いついていない

問6-2 希望する働き方

- ・ 自立支援事業
- ・ 年金生活者なので。
- ・ 学園通所。
- ・ 障害者支援の施設
- ・ 障害をもっているので、働けない。
- ・ 常勤で働きたいが、今は家庭が忙しくしばらくは家業に従事したい。
- ・ 障害者福祉施設にて入所

問8 リーダー・管理職になりたい希望の有無

- ・ 人を扱うタイプではなく、人に支える側
- ・ リーダーになると、子供のための休みとかがなくなる。
- ・ 持病があり、仕事ができない。
- ・ 年令が年令で一応仕事があるだけいいと思っています。
- ・ これからリーダーになることを目指します
- ・ 他人が決めることかと
- ・ 自分の能力を発揮したいので、リーダーや管理職になりたいが、仕事と家庭の両立が難しく希望することが出来ない。

問9 女性のリーダーを増やすときに障害となるもの

- ・ 出産等で、長期にリーダーが不在なんてことにならなければ良いのでは？
- ・ 子育て、家庭の事情を理由に職務の調整を求められそう。(時間がとれないなど)
- ・ 男性が女性を認めてない。
- ・ 姑などの理解が十分でない。親族のもめごと。
- ・ 生理や更年期障害などホルモンバランスの崩れによる乱れがある時がある
- ・ すべてにおいてかなうのか…。実際に実現されてないと思うから！
- ・ 日本はまだ女性に対する昇格への差別感がある
- ・ その人自身が「男女」を気にしすぎている場合が多い。みんな「人間」と思えば変わってくるかもしれないし、プライドを捨て、できない部分は助けを求め、お互いサポートし合えばいいや！ぐらいに受け止められたらいいかもしれない。
- ・ 男性と同じ責任を負おうとしない人、やる気のない人。選り好みで女性というカードを乱用する人。感情論で掻き乱すグループ。
- ・ 健康
- ・ 婦人会活動
- ・ 出産などの離職のリスクがあり、またそのリスクから育成ができない
- ・ 理由はわからないが、才能、素質がある方がたくさんいるのでリーダーとして活躍してほしいし、そういう組織であってほしい。
- ・ 女性がリーダーになるためには、その方の配偶者の方のかなりの理解がないと難しいと思います！
- ・ 体力的な面や各セクションの大きな責任を果たさなければならない際、身体的に無理が生じる。例えば、責任を伴う際ストレスなど少なからずあり、女性の場合、直に体調や不妊などに現れやすい傾向があると思う。
- ・ 出産に伴い、少なからず離職期間が出てしまう点。
- ・ そもそもリーダーとなる基準、資質、条件があいまい。またリーダーになりたい女性が、どれくらいいるかわからない
- ・ 家庭との両立や支援が不十分。保育所や学童クラブがあっても、その時間内に仕事内容が終わらない業務が高く、時間に追われてしまう。仕事後、子どもを迎えてから帰ってからの心身の負担が大きい。そのため、疲弊して続けられなくなることが多い。また、子どもの行事のために休みを取る事が高くなり、両立に繋がらない。”

問 10 女性が出産後も同じ職場で働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと

- ・ 子供に障害があり育休延長希望したがスムーズに受け入れてくれず離職した同僚がいる。ただ使われるだけの人材だが人材を人とみずに扱う職場の気質に問題があるから私の職場は離職者も年々やまずいると思う。
- ・ 出産後に会社に出るのは休みが増えるので反対、育児休暇にも反対。長時間労働に関連するが、無駄なミーティングや朝礼等なくすだけで、「勤務時間」が少しは守られる気がする。だらだら残業する人達の働く姿勢をどうにかしたいと個人的には、日々モヤモヤしている…。
- ・ 子供の発熱時などの緊急時における職場の対応性

問 13 地域活動への参加状況 (10) その他

- ・ 創価学会に入信している。信心しているから。
- ・ タラソで運動している。
- ・ 海岸清掃
- ・ 会社を通じての活動はある
- ・ スポーツ団体役員
- ・ 散歩
- ・ 病気の治療の為、何もできない。病気になる前は、ほとんど活動していた。
- ・ 小学校の運動会。
- ・ 郷友会には参加

問 13 (11) 特に何もしていない理由

- ・ 仕事で多忙 (22 人)
- ・ 環境にない。
- ・ 身体的な不具合による自発的な意識の低下。
- ・ 機会がない。
- ・ 全部妻に任せてる。妻が参加している。(2 人)
- ・ めんどく (6 人)
- ・ 漁業の為、毎日家に帰れない。
- ・ かかわることがあまりないため。
- ・ 知らない人と話すのが苦手。関わりが苦手。人が怖い。(6 人)
- ・ 仕事・子育てで忙しく時間的余裕がない為。
- ・ 休みにならないから。
- ・ ゆっくりしたいから。
- ・ シフト制による勤務体系のため、地域活動に参加できない。
- ・ 病弱な為。体調不良。持病。病気療養中。(5 人)
- ・ 子どもなし。現役で働いているため。
- ・ 子供がみな小さく共働きでそのような状況にないため
- ・ どこから参加するのかわからない
- ・ 子供がまずいない。活動への参加の方法がわからない
- ・ 今は時間がないため
- ・ 親の介護を行っており、色々と活動したい気持ちは有るが時間が合わない
- ・ 知らない
- ・ 選択肢がない
- ・ 周りでどのような活動が行われているのか分からない
- ・ 地域活動に参加する時間がとれない
- ・ 障害者の為 (4 人)
- ・ 学生なので (2 人)
- ・ 話しが解りづらい
- ・ 興味がないから (3 人)
- ・ 仕事の時間が不規則。(2 人)

- ・親類の介護等。
- ・参加しなければならない活動や、参加したいと思う活動が特に無いため。
- ・人との関りは大切だとは思いますが、今住んでいる所の人との距離がとてもとりにくい。必要以上に関わりたくない。
- ・めんどくさい。週休2日でもないので、貴重な休みを使いたくない。
- ・休日は家族でゲーム。
- ・仕事上で時間の都合がとれない為
- ・職業勤務的にムリ
- ・自分の仕事、生活で精一杯である
- ・自由な時間が少ない為
- ・よばれる事がない！
- ・時間がないから。
- ・体調不良が続いているため。改善したら、少しずつ参加したい。
- ・やる気がないので、ゆっくり休みたいので、やる気がある人がやれば良いのでは？
- ・興味なし（2人）
- ・仕事と家庭で疲れて、活動に参加できない。
- ・仕事と家事でゆとりがない
- ・団体活動が苦手（2人）
- ・仕事と介護が最優先なので
- ・参加したいけど1人で入りづらいです。
- ・仕事と家庭の維持で余裕が無い
- ・どんな活動をしてるか？。家族も参加していないため。
- ・機会がない（7人）
- ・どんな活動をしているのか知る機会がないのと仕事が忙しい
- ・子供達も大きくなりPTAとかなくなった
- ・生活に余裕が無い（2人）
- ・一人では出来ない
- ・仕事の帰りが毎日遅いため
- ・活動は主に日曜日や祝日に行われていることが高く、基本的な休みは日曜日しかないので1週間に一回の休みはちゃんと休みたいし、趣味や他に平日出来ないことをそこに予定を入れるので参加する余裕はない!!
- ・子供がいた時にやっていた為、今は、ゆっくりしたい
- ・仕事時間が不規則で予定が入れられない。
- ・地域との付き合いが無い
- ・参加しづらいし、してるかどうか分からない
- ・どうやって参加したらいいか？
- ・住んでいるところに自治会がない。仕事の休みは、ゆっくりしたい
- ・町内会の係にはなっているが、活動がないから。
- ・どういう活動が存在するのか、よくわかっていない
- ・昨年度まで少年団に関わる役員をしていたが、子どもが退団したため
- ・特に意義を感じない
- ・地域活動に参加はしていないが仕事関係の団体に属しており、活動をしている
- ・自分の時間を優先したい
- ・理由はないです
- ・知人以外との活動が苦手。参加しなければならない活動がないため。
- ・誘われた事もなく、そういった環境では無い。
- ・同世代の人達にいじめられていた過去があり、しがらみがあるので、関わりたくない
- ・県外に居るため
- ・タイミングが合わない。
- ・活動に参加したいという意思がないから

- ・したくない
- ・未婚で子供もなく、Uターンで帰ってきて地域のコミュニティにも参加してない期間も高く声もかからないから。
- ・よく分からない
- ・特に参加したいと思うものがない
- ・参加する気が無い
- ・子供がいないので地域との関わりが薄い。
- ・周辺で特に活動がないから
- ・仕事だけで精一杯だから。

問 15

- ・各個人の自由
- ・会社の上司（年配）が理解して家庭にも入らずこと。（仕事ばかりさせない）
- ・所得の格差（シングルマザーや低所得者）による参加への困難の問題。
- ・男性が女性とともに家事等ができるように社会が理解を深めること。（例）小さい子どもがいる場合、女性に配慮はあるが、男性には配慮がほとんどないと感じる。
- ・女性が仕事の「責任」について男性と同等にしたうえで家事や育児の分担をはかること
- ・男女の家事両立による、仕事の減給や負担を減らさなければ、疲弊するだけで、経済的な安心が得られず、結局、同じことの繰り返しになる。

問 17

- ・上記についてすべて感じるが、他人から言われたりみられる事はない。
- ・家族のことで1番責任が重い。私が死んだらあとがコワイ。
- ・男女平等と言われるが、やはり男の役目、女の役目があると思う。その中での軽々しいハラスメントの多さに男が対象になる場合が高く、何も出来なくなる。言えなくなる。
- ・男は仕事して家族や回りを幸せにするのが男の役目だと思う。
- ・体力的に！
- ・書けません、説明しづらいので。

問 20-1-11

- ・記述の回答なし

問 20-1-12

- ・その時代には、ストーカー法もハラスメント対策もない時代だったので、警察や専門機関も手をこまねいているだけだった。
- ・友人が見ていたので、その後の笑話になった。
- ・お互いに話合った
- ・自身で解決した

問 20-2

- ・どんどん追い込まれて思考能力が落ちていった、とにかく相手が怖かった。
- ・その時代は対策がなく、泣き寝入りするしかなかった。警察も専門機関も手をこまねいているだけだった。
- ・わからない
- ・相談に足る場所はない

問 21

- ・これも男女間っていうより人としてな気がする。
- ・加害者の言葉にも耳を傾け、共感できる人材や専門家を育てる。
- ・本人から伝えるは難しいので、周りの環境作りが大事。

- ・学校で性別に関係なく、暴力を防止するための教育を行う。
- ・周囲の人々も他人事ではなく、異変に気づいてあげることの大切さに気づいて欲しい。
- ・信頼できる保護施設の設置。
- ・アンケートしたところで暴力された人の痛み、気持ちは分からないと思う！本当に無くしたいなら、少しの通報でも耳を傾けてあげるべき！暴力されてる人は、自分以外信用できないから！だから、暴力されるの分かってほしい。相手のことが、スキだからなおさらです。
- ・同じくらい痛い目にあわせる。
- ・加害者のメンタルヘルスの介入
- ・女性が暴力をふるうこともある。いずれにせよ、その行動には必ず理由があつて意味があるケースがほとんどなので、そもそもなぜ暴力になってしまうのか落ち着いて気付かせてあげられる環境作りや意識が大切だと思う。筋量の多い「男」が強いと思っている人達の意識を変えたい。男だろうが女だろうが自分の良い面を自分から悪用してしまう人達にもったいないことをしていると伝えたい。
- ・性別に関係なく相談者個人を被害者として話をきくこと。男性→女性、女性→男性、どちらも被害者。判決にも差があつてはならない。
- ・子供に対して、または子供の前で暴力を振るわない
- ・幼い頃から命(動物や食べ物)の尊さ、他者への感謝の心を共有できる環境があれば、感情に操られず、暴力的にはならないのかと。
- ・そういうことをした時に、罰する法律などがあればよい。すぐ捕まればよい。ダメだという認識が薄いから

問 22

- ・2、3については、男女関係ないです。みにつけさせましょう。4について、身体能力の差が無くなるTVゲームがオススメです。また、あるていど年齢があるならトーク型推理ゲーム「人狼」が良いかと。7について、多分ですが学校まかせな人がいると思うので、意識改革？
- ・性別は厳然とあるので、一律的な平等感には違和感がある。男女の得手、不得手を尊重することを理解させたい。
- ・制服も男子用、女子用と決めない。
- ・まずは、親が子に暴力を振るわないこと！振るわれた子供は、男女関係なく暴力を振るうようになるから。
- ・自分の社会経験値を高めるのが一番
- ・男はゴミだと教える
- ・わかりません (3人)
- ・男なら女ならという考えの大人を教育する。
- ・性別に拘らずその子を見ること、よく話すことが大事だと思う
- ・大人がしっかり見本となる姿勢を見せること

問 23

- ・男女平等が何なのかしっかり定義できてないと思うので定義してください。
- ・参画施策が決定したら、周知を徹底して下さい。
- ・「ママスクエア」みたいに、子供を預けながら働ける場所を増やす。
- ・時代はどんどん変わります。その時代背景に合った昔ながらの習慣やならわしも見直していけるよう、広い世代に広い視野や広い心を持ってもらえる様に。
- ・パワーハラスメントも横行していると思われる。
- ・これだけ色々と話題があるのに！何一つ解決できてないからむだ！
- ・男女、育児休暇等の取得率などを各職場にも公表して男女ともに育児休暇等を取りやすい環境を作っていく。
- ・法を知っていて、嫌がらせをする。手におえない。私の負けは決まっている。
- ・市として何ができるかといわれるとよくわからない気もしますが…。ある程度成長した人間を変えるのは非常に難しいので、やはり子供のうちから教育できる学校現場をどう変えるか、そしてその保護者をどこまで納得させられるか、このあたりかなとは思いますが。

- ・独身者、子供のいない家庭への負担増は不公平。家庭を持つ人、子供がいる人からの言動や精神的苦痛は暴力と同じ。逆もまた然り。
- ・すべての職業における週休2日制度の導入！
- ・親と子で作り上げていくしかない。
- ・暴力をしてる方もなぜ自分が暴力をしてしまうのか？が分からないと思う！されている方もこの話をしたらさらに悪化していくのが分かって居る！子育てとは自分が育てられた様にしか子育て出来ないの、親になるための勉強会など必要だと思う！
- ・3つまでは少なすぎる。それぞれ選択肢は4つの分野(市、学校または職場、家庭、地域)から枝分かれでき、分野ごとに住民と共に協力を担うべきである。
- ・セクハラ・DVの被害者対策や、就業支援は男女関係なく行うべきだと思う

問 24

- ・最近、切れやすい子供が多いように思われる。学校教育で、辛抱強い子を育てる事、労働の大切さ、相手を思いやる（同級生等の）心を教えてほしい。
- ・問2について知らない事が多かった。もっと世に向けて発信しても良い。アンケートを終えて、男女の人権についての問は、だれでもありそうに思います。男→女、女→男。どちらにもあると思います。やさしくなれば良き◎ですよー！！
- ・男女共同参画社会の実現も重要だが、それ以前に人種差別の問題も重要だと思う。よくニュースで見る「黒人虐待」場面を見ると心が痛くなる。国籍の枠を取っ払った教育が必要じゃないのか!!いろいろな要素が絡み合った多様な社会、また世界的なコロナ禍における社会で、男女共同参画社会の実現は容易ではないが、教育の面で知識だけ豊富な人間の育成でなくて、多角的な判断が出来る人間の育成が必要じゃないのか。
- ・もっと女性が活躍できるようになってほしいです。
- ・男性にきた用紙なので男性が記入しましたが、DVとかと問18～の質問は女性も記入したい人がいるのでは？って思いました。夫婦なら2通とどいてもいい用紙なのではないかな？
- ・勉強する場を増やした方がよい。学校で男女仲よくできる教育をしてもらいたいです。
- ・少し前とすると、男女が平等になってきたと思うところがありますが、まだ今の現状は女性が弱い立場にあるのかなと感じます。親の立場として、子供に対して小さい頃から男女は平等の教養を教育してあげたいと思いました。
- ・コロナの影響で、今年生まれた孫に会えない。
- ・有能な人材が、男女年齢を問わず能力を存分に発揮できる社会であらねばならないと思います。
- ・平等であるという定義が出来れば、正しい施策が出来、実現可能だと思います。
- ・仕事や買い物以外でなるべく三密や長期滞在しないよう子どもや親に願います。あとは、夜遅く出歩かないよう言ってほしい。
- ・今の職場では、女性の方が高く仕事をしているのに、給料は男性だからとの理由で多いです。こういうのも平等になる社会がきたらいいなと思います。
- ・「男女共同」というと、固苦しいイメージ。もっとイメージしやすい、やわらかい言葉の方が皆興味を持つのではないのかと思う。最初から敬遠してしまうので。どんな言葉がいいのかは浮かびませんが。「男女共同参画」と見るだけで、とっつきにくいイメージです。
- ・我が家は三人家族ですが、コロナ禍だからなのか、夫は県病院から個人病院への転院を進められました。これから病院を通う時に、転院を進められた時のドクターマップみたいな物があれば相談しやすいのですが。また、その医療費が三万近くかかるので、いつも頭を悩ませております。手取りの1/3を占めてくると病院をあきらめる事も将来でてくるのが一番怖いです。奄美の平均給料は、15万～18万程なので、せめて20万は欲しいです！希望ではなく、かなり深刻です。女医さんが増える事を希望します。
- ・現在、妻が子供を出産した後、育児と家庭大変な日々を送っています。その中で、再度職場に戻る際は、周りの助けがないと出来ないのが現状だと思います。その中で少しでも負担を和らげるようにしていければ良いと思います。保育園の改善（入園の際の内容の改善）や周りの支援等。
- ・男女共同参画社会という言葉がまだ理解されていないので積極的に市民へ啓発していける様願います。またコロナ禍においては医療従事者への十分な配慮と保証を望みます。

- ・根強い感覚などはその教えの中で身にしみついているであろうことが沢山あると思います。スグに変えることは難しくても、一歩ずつ進めていることがこのアンケートからも感じられ、嬉しく思います。島は老人の一方的な教えとか強制もあるので、お互いを尊重できるような形作りが大切なのではと思います。何度も耳にしたのですが、母子家庭は助成金を他より高くもらえていいよねなどと言いますが、今回のコロナ禍のような時においてはその不安など一人親には言いしれぬものもあると思います。ひどいことを言うな～と思います。☆男性と女性は生理的に違います。出産・育児などは女性が主体なのはやむをえない部分もあると思いますし、協力はお願いできても、社会の中での在り方とかはこのスピーディーな時代…。歩み寄ることはできてもこれで良いという形は中々実現が難しいと感じています。それでも諦めることなくいけばいつか理想に近づくのかな～と思います。
- ・男女が均等に、共に責任を担うべき社会…、特に田舎には昔からの風習やならわし、自然と男女の仕事が言わずもがな区別されていたり。世代間の意見の違い、時代背景の違いによって男女に限らず年齢差によってもまとまるのが難しいのが現状。年配の意見や古い考えの中にも良き物を見つけ、若年の意見や新しい考え方、時代の中にも良き物を見つけ、決して押しつけや圧力による意見の片寄りがないようにその時代に沿ったまとまりが必要であると思います。
- ・アンケートの内容が多い
- ・各集落で昭和世代の年配の方達の意識改革を行うべき。これは女性がすべきとかいう風潮がまだ集落内で根強い。
- ・男女平等というが、完全に平等にはできないと思う。
- ・配偶者からの暴力はないが、暴言がひどい。・職場においては、やはり男性の方が待遇がいいような気がします。
- ・人手が少なく、子供が熱を出して突然休む時でも代わりがいなくて迷惑そうにされているのが分かるのが嫌です。普通に有休はたくさんあるのに人が少ないから有休を取りづらいことになっています。申し訳なく休むのではなく、堂々と休めるようになりたいです。
- ・島には、まだまだ女性や年齢による職種格差があるように思える。職種というより、雇用による差別である。仕方ない事だろうが、雇用条件に女性、年齢（40、50代～）高齢者雇用、免許取得の有無、正規社員（福利厚生の薄さ）にはなれない。コロナ禍における恐怖は、病の前に所得の不安、保証なしの労働、解雇。
- ・義父が、いわゆる九州男というもので…。家事は女がするもの！男は、台所にはたたない！など。義母をみていて、不便に思うことが多々あります。義父の言動には、とてもいらだちます。
- ・今、今だからこそ、男女共同って…言ってますが！今さらですか？元夫になぐられ、今で言うDVを受けてきた人達！たくさんいると思います。本当に×2今だからDV、ストーカーが（法律）が出来ました。昔の教育、子を育てる、その教育で私は育ってきたと思います。逆に、自分の子供が何でこんなにも、生意気なのかかわからないです。すぐ、先生や、周りの人のせいにしてるのか納得いかないです。こんな考えの子供がいるから育たないと！私は思います。親が、かばいすぎだと…子供は回るところ守ってあげれるのが…親かと！すいません。
- ・子育て支援の強化。
- ・コロナにならぬよう頑張ろう。職を失いました。
- ・コロナ終息を祈る。
- ・各自今一度コロナ禍に対して、きびしく行動してもらいたい！
- ・持病がある人は、死亡する場合がありますとニュースで言っており、コロナ禍早くおさまってほしいと思います。
- ・やはり子供の頃から男女の平等を学習させていく事が一番だと思います。年をとってからはなかなか男女平等という考えは難しいと思います。
- ・男女共同参画社会の用語すら分かりませんでした。アンケート終了後に用語解説で勉強しました。年代的に、男性は男らしく、女性は女らしくで育ってきたので男女共同というのは、難しいですね。これから大人になる子供達に教えて近い将来あたりまえに男女共同参画社会になる様期待してます。コロナ禍の時代、みんなで結いの心助け合いで乗り越えていきたいですね。もし入院、退院とかの情報提供は大事だと思います。うわさにふりまわされて恐怖ですが、現場にかかわっている人達に感謝しています。奄美に来ないでコロナ、で…。

- ・大変そうですが、頑張ってください。古い考えを持ったご年配の方の意識改革がないととてもむずかしいと思います。
- ・アンケート用紙ですが、目が見えない、字が書けない、歩けないので、答えは聞いて、親が代筆しました。自分で答えられない人へのアンケートを送るという事は無理があります。配慮が必要だと思いました。
- ・問3以降は本人が理解できず返答もないので、未回答としています。(代筆)
- ・以前より若い子たちの中では、男性、女性の差別はないと思われます。子どもたちを育て、これまで見ていると、男の子よりも女の子の方が積極的に行動するようにも感じます。(職場においても若い世代は女性職員が元気があると思います。)しかし、出産・育児の場合にはやはり女性の負担は大きく、ここで夫(家族)がどこまで協力できるか、また、職場の協力ができるによるものが大きいのではないかと。職場、学校、家庭、地域、社会すべてが自由に自分のしたいことを積極的に参加することができ、男女の差を感じないように育てていく場となることを希望したい。ただ、男性に向いていること、女性に向いていること、個々としての能力、自分たちにあるものをうまく生かしてお互いに協力しあうことがなによりだと思います。
- ・「男性は…」 「女性は…」といった考えが島では特に残っていると思います。いろんな人が生きやすい社会になっていければ良いなと思います。
- ・1. 政治の世界で女性議員が少ないことも一つの要因だと思います。欧米などのような状態が望ましいと思いますが、とりあえず2割~3割は女性にするような方策が望ましい。2. 奄美市に於ても女性の管理職が増えてきましたが、能力による判断が充分ではないように思います。これからも男女共同参画などという言葉が不必要な状態を作っていただきたいと思います。
- ・島では女性が家庭・育児を優先すべきという意識が高い。実際、60代の親と30代の私の考えはだいぶ差がある。シングルという環境で子育ては親の協力なしではできないが、仕事に関する理解もなかなかきびしい。一緒に住んで約6年。やっと仕事について理解してもらえたが、子育てに関することは今でも意見がしょうとつすることが多々ある。高くいえることは、団塊世代の方たちの意識、それに対して理解が得られない(得にくい)ことだと思います。
- ・世代間で認識に差が大きいと思います。私は60才で親からの育て方もあり、育児・家事は女性がやるのが当たり前と考えることが普通でした。今では通用しない時代が変わってきていると思います。子供の頃からの教育やしつけ等が重要だと思います。頭ではわかっている、行動ができづらい自分がいます。男女平等な社会にできるよう、自分自身が行動できるよう努力したいと思います。
- ・男性も女性も素直で誠実に謙虚で心を成長させて生きなければお互いを大切に守り合うことが大事だと思う。
- ・コロナで女性の方々の自殺者がとても増えていると聞きました。生きづらい世の中にあるんだと思います。女性や子どもたち、社会的弱い立場にあるものがこうゆう時に1番苦しむこととなります。女性が働く場所を失ってしまったりした時にサポートする場所を作って頂きたい。苦しんでいる子どもたちに気付けるように、気付いたらサポートできるように!どうかそんな社会、制度を作ってほしいです。そして、そのような制度を作っても、手が届かない所にほとんどの人がいるのかもしれない。皆でその方々を救って手を差し伸べられるように力を尽くして頂きたいです。女性は母になり妻であり沢山の役割を担っています。男性もそうですが…。男性も女性もそれぞれの役割を尊重し助け合い「男、女だから、こうあるべき」のそのべき論から解放されていく事が出来る世の中になってほしいです。
- ・男性、女性の区別なく、その人(個人)の能力が発揮され、社会の一員として生きていけるような社会であってほしいと願っています。
- ・まずは家族の中から子供達に手本を見せることができるよう夫婦でコミュニケーションをとって、家事、育児等協力してやっていくことが大事だと思います。父親が、家事をやっているとその子供も抵抗なくやると思う。男女に関係なく、それぞれが得意な分野で力を発揮できる社会になるよう母親として、家庭の中から子供への教育、そして姿を見せていけたらと思う。
- ・家庭の中で男女関係なく尊重できる思いやりなど、子供の頃から教育を行い、命の大事さなど家庭の中や学校などで身につけてもらいたい。いろいろな差別などがない助け合う町、奄美市になると願っています。
- ・自粛期間中は、男性より女性の方が休んで子どもを見るのが当たり前という雰囲気だと周囲からよく聞きます。

- ・天災
- ・個人個人が多方面に関心、興味を持ち、コミュニケーションの場が高くある事。
- ・女性が働きやすくする為にもっと保育施設、子育て支援、教育支援に奄美市は力を入れてほしいです。奄美大島全域、平均所得が低いので、どうしても共働きをしないと生活ができない現状です。(コロナ以前から) 実際、私の家庭も主人は会社員ですが、日当月給制なので月の収入がばらつきがあります。子供達は成人をしましたが、教育資金の借金は残っています。職場においても、育児休暇をいただいている社員さんは子どもを預ける環境が整っていない為、1年の育休をできず、早めの復帰する為になりました。勤めてる会社は福利厚生が整っても、住んでいる環境が整っていないと住みやすい奄美市ではなく住みにくい奄美市になってしまいます。もう少し、子育て世代の方々の環境を良くしてほしいです。住民によりそう奄美市になってほしいです。宜しくお願いします。
- ・平等に拘りすぎて、不平等(不公平)を生み不幸な人が増えなければいいなど。権利が権威や優遇へとかわりませんように。主婦(夫)差別につながりませんように。逆も。(職業差別)性別に拘らず、選択の自由がある社会、環境が身近になればいいですね。性別に拘りすぎて、お互いを思いやる気持ちや補い合う気持ちから、義務や適当に合わせておけばいい。という感情に変化しなければいいなど。男性、女性双方の負担が見直されてほしいです。まずは緩和から。
- ・コロナ、コロナの1年間でした。コロナにまけない心で来年を迎えます。市民協働推進課のみなさん今年もおつかれ様です。
- ・知らない言葉が高くあり、一付録を見て勉強になりました。改めて、意識していけたらと思います。ありがとうございました。
- ・男女平等といいますが、なんでも平等にはいかないと思います。できる人ができることをする。相手に対しての思いやりの気持ちを一番に考えて行動をすることがベストなのではないかと思います。
- ・女性、家事育児負担が多すぎます。男性の意識改革教育が必要と思います。
- ・コロナとは関係ないですが、ひとり親の申請を子ども医療と同じように、申請書ではなく、自動振込にしてほしいです。医療機関を後日行く事。平日の夕方までに市役所に提出する事。仕事をしていて平日に休みが無い人にはとても難しいです。せめて、土日でも提出するようになるか、自動振込にしてほしいです。よろしくお願いします。
- ・☆自分の意見を素直に伝えられる職場環境。(男女または上司部下関係なく)☆提案を否定せず実行してみようとする周りの協調性。
- ・祖母は、お風呂は男から入ってしていました。そうやって育てられている父親世代の男性方は、男がまずは先とかえらいとか、どこかに植え付けられているのではないのでしょうか。男女共同とかとうぶん先だと思います。男女って分けている時点で、別と考えています。難しい言葉ばかり作って・・・
- ・女性が職業を持つことについての質問が偏見が大きすぎると感じた。必ず子供を産まなければならない、必ず結婚しなければならないように感じた。もっと女性が伸び伸び生きれる選択肢が増えるといい。
- ・解雇され、求職活動しましたがこういう時はやはり体力のある男性は土木の仕事にすぐ就くことができ、高給をもらえます。女性は学なり資格なりがないと、普段でも就職には困り果て、結局非正規での仕事に就く機会が多い気がしました。
- ・日本古來からの男尊女卑についてはとても不快に思うが仕事というものに関してはやはり育児などの面を考慮すると会社を運営する方々にとってはやはり難しいところがある。その辺もしっかり考慮して頑張ってもらいたい。
- ・女性が休まざるをなくなった。産休を前倒しする人が増えた(有給や欠勤を合わせて)全て均等に取り組む必要があるとおもいます。
- ・昔と比べて男性の家事への参加、女性の就労は増えていると思います。自分の子供には男女共に自立した人間に育て、互いを尊重し協力しあえる精神を身に付けてあげたいと思います。
- ・男女平等なので特に意見はない
- ・議員など、政治の場で女性がもっと活躍できるようにしてほしい。
- ・男性が大半以上を占めているのはおかしいと思う。皆をまとめ、地域の方針を決める場所がそのような環境であれば、男女共同参画社会の実現は難しい。また、若い人たちも政治で活躍していくべきである。男尊女卑の考えが今よりも一般的であった時代を生きている老人達だけでは、頼らないというか無理ではないだろうか。”

- ・男女と言う区分だけでなく、能力・境遇全てが異なっていて当たり前である。よって全てを一括にする政策ではなく、それぞれの考えを尊重して話し合える空気を作っていくべきである。”
- ・男女は平等であると思いつつながら、子どもを産めるのは女性である様に子どもが産みやすい社会にもつとなれば少子化に歯止めがかかるのかも！色々な事を変えていかないといけないので臨機応変になれば！
- ・男女共同参画を推奨する中で、実際の当事者や社会がその受け入れ態勢が確立していない中で男女共同参画という言葉だけが先走りしている感があります。
- ・今回のアンケートにもいくつかありましたが、じっくりと体制づくりが急務化と思います。ただ、生活していく中で男女共同参画を支えるべき経済発展がなされなければ、生活をする中で、男女ともにお互いに対するの尊厳を持っていないままに疲弊してしまう気がします。
- ・個人的には、男子たるもの・・・女子たるもの・・・の意味をしっかりと踏まえたうえでの模索が必要かと思います。
- ・より良い奄美市・地域になる為にもご尽力のほどよろしくお願いいたします。
- ・職場での男女の差別は難しい問題です。特に中小企業では、企業が求める事と女性の求める事への乖離が大きい。女性の管理職への希望は田舎は特に少ないのでそもそも論で同じとはならない。根本的な社会の仕組みが変わらなければムリだと思う。少子化の問題も有ります。そことどう関連付けていくか。
- ・社会や世の中の動向により、男女の社会の中での意識や価値が、変動していくように感じる。男女平等社会や男女共同参画社会は、より良い形の方へ導かれるように、個人や社会が努力していくべきものだと思います。
- ・講習の場を増やして欲しい
- ・特にありません。有難う御座いました。
- ・絵空事にしないで頂きたいです。
- ・男女平等なので特に意見はない
- ・活動してる事すら知らない！

資料 (調査票等)

奄美市男女共同参画に関する市民意識調査のお願い

市民の皆様には日頃より市政にご理解とご協力をご賜り、誠にありがとうございます。

奄美市では、奄美市男女共同参画基本計画に基づき、市民一人ひとりが個人として尊重され、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができ、かつ安全・安心で豊かに暮らすことができる男女共同参画社会の形成に向けて、様々な施策を進めているところです。

この調査は、その豊かな暮らしの実現のために、市民の皆様様の男女平等感や、職場・家庭・地域といった生活の場での意識と実態を把握し、今後の男女共同参画のまちづくりをめざした市の施策・サービスの充実を図る基礎資料とするため、住民基本台帳から20歳以上の市民2,000人を無作為で抽出してご意見を伺うものです。

その一人としてあなた様にも調査をお願いすることになりましたので、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、調査の回答は、無記名であり、すべて統計数字として取りまとめ処理をいたしますので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をお掛けすることは一切ございません。どうぞ、仕事や日頃の暮らしの中で感じる思いを率直にお答えください。

令和2年11月

奄美市長 朝山 毅

<ご回答にあたって>

ご記入いただきました調査票は、**令和2年12月15日(火)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。なお、本調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンでのオンライン回答も可能となっております。

詳細は、裏面の「アンケートの回答方法」をご確認ください。

裏面をご確認ください

<アンケートの回答方法>

次の2つの方法からいずれか1つをお選びいただき回答してください。

1 調査票（この冊子）で回答

- (1) 調査票は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
- (2) ご回答は、当てはまる番号を○で囲んでください。○をつける数については、「1つだけ」「いくつでも」などの案内に従ってください。「その他」をお選びになった場合は、() の中に具体的な内容をご記入ください。
- (3) 一部の方だけに回答をお願いしている質問があります。その場合は説明文に従ってお答えください。
- (4) ご記入いただきました調査票は、令和2年12月15日(火)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。
(調査票及び返信用封筒には、氏名や住所を記入しないでください。)

2 パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

- (1) パソコン・タブレット・スマートフォンで下記 URL または QR コードへアクセスし、オンライン回答画面の説明に従って回答してください。

オンライン回答ページ URL

<https://forms.gle/PfwfGU5wb5oolW2619>

オンライン回答ページ QRコード



- (2) 令和2年12月15日(火)までに回答してください。

- (3) オンラインで回答いただきましたら、調査票（この冊子）の返送は不要です。重複して回答されないようご注意ください。

■本調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

《調査実施》

奄美市 市民部 市民協働推進課 市民協働係

TEL：0997-52-1111（内線 5262）

FAX：0997-52-1001

《調査受託》

アシスト株式会社

TEL：099-243-6776

FAX：099-243-6673

問3 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。次の1～7の中から1つだけお選びください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること |
| 2 | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること |
| 3 | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること |
| 4 | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること |
| 5 | 行政や企業などの重要な役割に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること |
| 6 | その他（具体的に：） |
| 7 | わからない |

II 就業について

問4 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようなようにお考えですか。次の1～6の中からあなたの考えに最も近い番号を1つだけお選びください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 女性は職業をもたない方がよい |
| 2 | 結婚するまでは、職業をもつ方がよい |
| 3 | 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい |
| 4 | 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい |
| 5 | 子どもができてきたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい |
| 6 | その他（具体的に：） |

問5 あなたは、男性が育児や介護を行うため、休暇を取得することにどう思いますか。あてはまる番号をいくつかもお選びください。

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 取得した方がよいと思うし、機会があれば自分で取得または、取得を勧めたい |
| 2 | 取得した方がよいと思うが、上司の理解が得られないので実際は難しい |
| 3 | 取得した方がよいと思うが、同僚の理解が得られないので実際は難しい |
| 4 | 取得した方がよいと思うが、取得後、不利益が懸念されるので実際は難しい |
| 5 | 取得した方がよいと思うが、地域や近所から理解されないのでは実際は難しい |
| 6 | 取得した方がよいと思うが、今の法律・制度のままでは支障が不十分 |
| 7 | 男性は育児や介護に慣れていない人が多いので、取得しない方がよい |
| 8 | 育児や介護は女性がすべきものだと思うので、取得しない方がよい |
| 9 | 同じ職場で同僚が取得するのは迷惑だし、取得しない方がよい |
| 10 | 上司・同僚の理解不足や不利益があるので、取得しない方がよい |
| 11 | その他（具体的に：） |

問6-1 あなたの職業を次の1～11の中から1つだけお選びください。

- | | | |
|----|-------|------------------------------|
| 1 | 自営業主 | 1 農林漁業 |
| 2 | 自営業主 | 2 商工サービス業 |
| 3 | | 3 その他の自営業 |
| 4 | | 4 農林漁業 |
| 5 | 家族従事者 | 5 商工サービス業 |
| 6 | | 6 その他の家族従事者 |
| 7 | | 7 常勤の勤め（社員、職員等） |
| 8 | 雇用者 | 8 非常勤の勤め（パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等） |
| 9 | | 9 主婦・主夫 |
| 10 | | 10 学生 |
| 11 | 無職 | 11 その他の無職 |
- 問9へお進み下さい。
- 問7へお進み下さい。

【問6-1で無職「9」～「11」と回答された方におたずねします。】

問6-2 あなたはどのような形で働きたいですか。次の1～9の中から1つだけお選びください。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 常勤（フルタイム） |
| 2 | 常勤（短時間勤務、フレックスタイム制） |
| 3 | パートタイム、アルバイト、嘱託 |
| 4 | 契約社員、派遣社員 |
| 5 | 在宅勤務 |
| 6 | 専業経営 |
| 7 | 家業に従事 |
| 8 | 働くつもりはない（働くことができない場合を含む） |
| 9 | その他（具体的に：） |

【問6-1で雇用者「7」または「8」と回答された方におたずねします。】

問7 あなたの職場は、子育てや介護等の家庭の事情を抱えながら、働きやすい職場ですか。あてはまる番号をいくつかもお選びください。

※現在、子育てや介護をしていない方は、上司や同僚の状況でお答えください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 男女ともに、育児や介護で休みを取りやすい制度や雰囲気がある |
| 2 | 育児や介護に関して職場内の理解はあるが、長期の休みは取りにくい雰囲気がある
または、離職した人がいる |
| 3 | 男性は、育児・介護で休みを取りにくい雰囲気がある |
| 4 | 正社員・パートなど、雇用形態によって育児や介護で休みの取りやすさに差がある |
| 5 | 男女問わず、育児や介護で休みを取りにくい |

【問6-1で雇用者】「7」または「8」と回答された方におたずねします。】

問8 あなたは、職場でリーダー・管理職になりたいですか。あなたの気持ちに最も近い番号を次の1～10の中から1つだけお選びください。

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 自分の能力を駆使したいので、リーダー・管理職になりたい |
| 2 | 賃金が上がるので、リーダー・管理職になりたい |
| 3 | 責任が重くなるので、リーダー・管理職になりたくない |
| 4 | 仕事と家庭の両立が困難になるので、リーダー・管理職になりたくない |
| 5 | 自分の能力に自信がないので、リーダー・管理職になりたくない |
| 6 | 雇用条件等で、リーダー・管理職になる可能性はない |
| 7 | 男女の性差で、リーダー・管理職になる可能性はない |
| 8 | 現在リーダー・管理職である |
| 9 | 特に希望はない |
| 10 | その他（具体的に：) |

【全員におたずねします。】

問9 あなたは、政治・経済・総務・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。あてはまる番号を1つだけお選びください。

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと |
| 2 | 女性自身がリーダーになることを希望しないこと |
| 3 | 女性を将来リーダーになるものとして育てていないこと |
| 4 | 上司・同僚・部下となる男性や番長が女性リーダーを希望しないこと |
| 5 | 長時間労働の改善が十分でないこと |
| 6 | 企業などにおいては、管理職になると転勤が増えること |
| 7 | 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支拂が十分ではないこと |
| 8 | 保育・介護の支拂などの公的サービスが十分ではないこと |
| 9 | その他（具体的に：) |
| 10 | 特にない |
| 11 | わからない |

問10 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるため、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。あてはまる番号を1つでもお選びください

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 保育所や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 |
| 2 | 介護支援サービスの充実 |
| 3 | 家事・育児支援サービスの充実 |
| 4 | 男性の家事・育児参画への理解・意識改革 |
| 5 | 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革 |
| 6 | 働き続けることへの女性自身の意識改革 |
| 7 | 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革 |
| 8 | 職場における育児・介護との両立支援制度の充実 |
| 9 | 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入 |
| 10 | 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止 |
| 11 | その他（具体的に：) |
| 12 | 特にない |
| 13 | わからない |

Ⅲ 家庭生活について

【現在、結婚している方におたずねします。それ以外の方は問12へお進みください。】

問11 あなたの家庭では、現在、次のような事例を主に誰が行っていますか。①～⑥のそれぞれについて、右欄の1～5の中からあてはまる番号を1つずつお選びください。（育児と介護・看護については、現在該当しなくても、過去の経験があればそれをもとにお選びください。該当しない場合は、「5」をお選びください。）

※ 下記①～⑥の項目ごとに右の数字を選んでください。 (○印はそれ以外です)	主に夫	主に妻	夫と妻が分担	その他	該当しない
① 家事	1	2	3	4	5
② 育児	1	2	3	4	5
③ 介護・看護	1	2	3	4	5
④ 住宅や家電など、高額なものの購入の決定	1	2	3	4	5
⑤ 自治会、町内会、公民館など地域活動への参加	1	2	3	4	5
⑥ 学校行事やPTA等への参加	1	2	3	4	5

【全員におたずねします。】

問12 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのようにお考えですか。次の1～4の中からあなたの考えに最も近い番号を1つだけお選びください。

- | | |
|---|------------|
| 1 | 賛成 |
| 2 | どちらかといえば賛成 |
| 3 | どちらかといえば反対 |
| 4 | 反対 |

Ⅳ 仕事と家庭・地域への取組について

問13 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。次の1～11の中からあてはまる番号を1つでもお選びください。

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動 |
| 2 | 婦人（女性）会、老人クラブ、青年団などの団体活動 |
| 3 | 子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動 |
| 4 | 消費者運動、環境保護運動などの住民活動 |
| 5 | 民生委員・児童委員、体育相談委員などの公的な委員活動 |
| 6 | 子育て支援や高齢者介護、障害福祉などを目的としたグループ活動 |
| 7 | NPO法人などの非営利活動 |
| 8 | 特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動 |
| 9 | スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動 |
| 10 | その他（具体的に：) |
| 11 | 特に何もしていない（理由：) |

問14-1 生活の中で、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先順について、あなたほどのお考えを、次の1～8の中から、あなたの現実(現状)に最も近い番号を1つだけお選びください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 「仕事」を優先している |
| 2 | 「家庭生活」を優先している |
| 3 | 「地域・個人の生活」を優先している |
| 4 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している |
| 5 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している |
| 6 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している |
| 7 | 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している |
| 8 | わからない |

問14-2 それでは、あなたの希望ほどに当てはまりますか。次の1～8の中から1つだけお選びください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 「仕事」を優先したい |
| 2 | 「家庭生活」を優先したい |
| 3 | 「地域・個人の生活」を優先したい |
| 4 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい |
| 5 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい |
| 6 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい |
| 7 | 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい |
| 8 | わからない |

問15 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の1～14の中からあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- | | |
|----|---|
| 1 | 男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすること |
| 2 | 男性が家事などに参画することに対する女性の抵抗感をなくすること |
| 3 | 夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること |
| 4 | 年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること |
| 5 | 社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること |
| 6 | 家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること |
| 7 | 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持つようになること |
| 8 | 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと |
| 9 | 研修等により、男性の家事、子育て、介護等の技能を高めること |
| 10 | 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)をつくりを進めること |
| 11 | 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること |
| 12 | その他(具体的に:) |
| 13 | 特に必要なことはない |
| 14 | わからない |

【男性の方におたずねします。】

問16 あなたは、男であることに「責任」や「つらさ」を感じることはありませんか。次の番号の中から1つをお選びください。

- | | |
|---|----|
| 1 | ある |
| 2 | ない |

【問16で「ある」と答えた方におたずねします。】

問17 そう感じるときは次の番号の中からあてはまるものすべてを選んでください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 何かにつけ「男だから」「男のくせに」といわれる。 |
| 2 | 家族を養うのは男性の責任だと言われる。 |
| 3 | 力が弱い、スポーツが苦手だと軽くみられる。 |
| 4 | 仕事において大きな責任を任せられる。 |
| 5 | 酒の席で「男なのに酒が飲めないのか」とからかわれる。 |
| 6 | その他(具体的に:) |

V 男女の人権について

【これまでに結婚したことのある方に、おたずねします。】

問18 あなたはこれまで、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。次の①～③のそれぞれについて、右欄の1～3の中からあてはまる番号を1つずつお選びください。

①	②	③
※ 下記の～③の項目ごとに右の数字を選んでください。 (○印は <u>えられた1つずつ</u>)	1 2 3	1 2 3
① なくったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2 3
② 人格を否定するような悪言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと思わせるような脅迫を受けた	1	2 3
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2 3

【全員におたずねします。】

問19 あなたの年齢は20歳代又は10歳代、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。次の①～④のそれぞれについて、右欄の1～4の中からあてはまる番号を1つずつお選びください。

※ 下記の①～④の項目ごとに右の数字を選んでください。 (○印はまれまわしつづつ)	10歳代にありました	20歳代にありました	30歳代にありました	いすれもなかった
① なくったり、げったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3	4
② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3	4
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3	4

【問18 または問19 で1つでも行為を受けたことがあった方におたずねします。それ以外の方は、問21へお進みください。】

問20-1 あなたの年齢は、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまる番号を1つずつお選びください。

1 家族や親戚に相談した	
2 友人、知人に相談した	
3 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	
4 医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した	
5 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した	
6 警察に連絡・相談した	
7 法務局や人権擁護委員に相談した	
8 住んでいる市町村の相談窓口（住民相談、婦人相談員や女性相談員など）に相談した	
9 他の市町村の女性相談窓口（婦人相談員や女性相談員など）に相談した	
10 配偶者暴力相談支援センター（県女性相談センター、県男女共同参画センターなど）に相談した	
11 上記（6～10）以外の公的な機関に相談した（相談機関：）	
12 その他（具体的に：）	
13 どこ（た）にも相談しなかった（できなかった）	

【問20-1で「18 どこ（た）にも相談しなかった（できなかった）」を選んだ方におたずねします。それ以外の方は、問21へお進みください。】

問20-2 あなたが、どこ（た）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。あてはまる番号を1つずつお選びください。

1 どこ（た）に相談してよいかわからなかったから	
2 恥ずかしくてたれにも言えなかったから	
3 相談してもむだだと思ったから	
4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	
5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	
6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	
7 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	
8 世間体が悪いから	
9 他人を巻き込みたくなかったから	
10 他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校、地域などの人間関係）ができなくなると思ったから	
11 そのことについて思い出したくなかったから	
12 自分にも悪いところがあると思ったから	
13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから	
14 相談するほどのことではないと思ったから	
15 その他（具体的に：）	

問21 あなたは、男女間における暴力を防止するためのことは、今後、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を1つずつお選びください。

1 家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う	
2 学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う	
3 職場などで、性別に由来する人権問題に関する啓発を行う	
4 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	
5 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	
6 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	
7 加害者への罰則を強化する	
8 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を取り締まる	
9 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	
10 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	
11 その他（具体的に：）	
12 特に必要なことはない	
13 わからぬ	

問22 子供たちが男女平等の人間関係を作っていくために、親や大人はどのようなことを心がけるべきだと思いますか。あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 子どもとのやりとりの中で、「男なら、女なら、こうあるべき」と強調しない |
| 2 | 女の子に、独立心や責任感、たくましさや身につけさせる |
| 3 | 男の子に、家事や子育てについての知識を身につけさせる |
| 4 | 遊びの中で、女の子と男の子が協力する場をつくる |
| 5 | 男女混合各賞のように男女を区別しない取組みを増やす |
| 6 | 子どもの進学先や就職先を、性別で区別することなく選択させる |
| 7 | 家庭の中で性に対する正しい知識を身につけさせる |
| 8 | 地域や家庭の中で、夫婦や男女がお互いを尊重し、協力しあう姿を見せる |
| 9 | 今のままでよい |
| 10 | その他（具体的に：_____） |

Ⅶ 市の男女共同参画施策について

問23 あなたは「男女共同参画社会」を形成していくために、市は今後どのようなことを力を入れていくべきだと思いますか。あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- | | |
|----|--|
| 1 | 市の施策に係る計画等の見直しを行う |
| 2 | 子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる |
| 3 | 男女の平等や相互の理解・協力についての学習の機会を充実させる |
| 4 | 学校や家庭で、男女の人権に関わる啓蒙を進める |
| 5 | 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等や相互の理解・協力についてPRする |
| 6 | 女性に対する暴力（セクハラやDVなど）の防止や被害者支援に取り組む |
| 7 | 政策方針決定の場である審議会や委員会への女性の参画を進める |
| 8 | 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う |
| 9 | 職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就業環境づくりを進める |
| 10 | 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる |
| 11 | 女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実させる |
| 12 | 地域、企業等における男女共同参画の推進役となる人材を育成する |
| 13 | 男女共同参画に関する情報提供や交流、相談、学習・研修の場などを充実させる |
| 14 | その他（具体的に：_____） |
| 15 | 特にない |
| 16 | わからない |

問24 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

また、コロナ禍において、男性・女性ということで、何らかの影響があった場合など、詳しく教えていただければ幸いです。

～ ご協力ありがとうございました ～
ご記入漏れがないかもう一度ご確認ください。同時の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
12月15日（火）までにご返送ください。よろしくお願いいたします。

付録 用語解説

用語	解説
男女共同参画社会	すべての人々が、その人権を尊重され、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会であり、男女共同参画社会基本法第9条第1号においては、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と定義されている。
男女共同参画社会基本法	将来に向かって男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的に推進するために制定された法律（平成11年5月23日施行） 男女共同参画社会の形成についての基本理念、国・地方公共団体及び国民の責務、基本的施策について規定している。
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律（平成13年10月13日（一部14年4月1日）施行、16年・19年・25年改正） 都道府県における計画の策定や配偶者暴力相談支援センターの設置、保護命令制度等が規定されている。被害者が男性の場合や、同居の恋人からの暴力もこの法律の対象となる。
女子差別撤廃条約	昭和54年（1979年）に国連総会で我が国を含む130か国の賛成によって採択され、昭和56年（1981年）に発効。我が国は昭和60年（1985年）に批准。女子に対するあらゆる差別を撤廃することを基本理念とし、具体的には、女子に対する差別を定義し、政治的及び公的活動、教育、雇用、保健、家族関係等あらゆる分野での男女の平等を規定する。 締約国に対し、政治的及び公的活動、並びに経済的及び社会的活動における差別の撤廃のために適当な措置をとることを求めている。
男女雇用機会均等法	雇用における男女の均等な機会と待遇の確保を図るとともに、女性労働者の就業に関して妊娠中及び出産後の健康の確保を図るための措置を推進するために制定された法律（昭和61年4月1日施行） 労働者の募集、採用、配置・昇進、福利厚生、定年・退職等における男女間の差別の禁止等について規定している。
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	働く場面で活躍したいという希望を持つ全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために制定された法律（平成27年9月4日（一部28年4月1日）施行）。女性の活躍推進に向けた目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業※）に義務づけられた。 ※ 常時雇用する労働者が300人以下の民間企業等には 努力義務
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を、人生の段階に応じて自分の希望するバランスで実現できる状態のこと

用語	解説
ダイバーシティ	「多様性」のこと。性別や国籍、年齢等にかかわらず、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。
ジェンダー	「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス/sex）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー/gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それぞれに良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。
マタニティハララスメント	女性の妊娠・出産を理由に、解雇や降格などの不利益な取扱いを受けたり、ことばや態度による嫌がらせなどを行うことの意味
ダブルケア	子育てと親の介護の両方に直面する状態
SDGs（エス・ディー・ジーズ）	2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものです。17の目標のうち、目標5に「ジェンダー平等を実現しよう」がある。
ワンオペ育児	「ワンオペ」とは「ワンオペレーション」の略で、配偶者の単身赴任など、何らかの理由で1人で仕事、家事、育児の全てをこなさなければならない状態を指す言葉である。
婦人相談員	売春禁止法によって規定された職業で、売春を行っている、あるいは売春を行うおそれのある女性を発見して相談・指導を行う役割を担う。また、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第4条により、配偶者からの暴力被害者の相談、必要な指導を行う。
男女混合名簿	男女共学の学校において、児童、生徒を、性別に関係なく、生年月日やその用いられる言語により姓名の五十音順、アルファベット順などの順序によって並べた名簿である。

男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

奄美市市民部市民協働推進課 市民協働係
〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町 25-8
TEL : 0997-52-1111 (代表) FAX : 0997-52-1001